
泉大津市
男女共同参画に関するアンケート
調査報告書
(速報版)

令和7年6月

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収方法	1
6	調査結果の表示方法	1
7	標本誤差	2
II	調査結果	3
1	回答者属性	3
2	男女平等について	16
3	家庭生活について	58
4	労働・社会参加について	86
5	暴力・ハラスメントについて	118
6	泉大津市の取組について	152

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第4次泉大津市男女共同参画推進計画」の策定にあたり、市の実情にあった計画の策定に資する基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

泉大津市在住の満18歳以上の市民から無作為抽出

3 調査期間

令和7年4月22日～令和7年5月10日

4 調査方法

郵送による配布、郵送またはWebによる回答

5 回収方法

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000件	708件	35.4%

6 調査結果の表示方法

- ① 「n」は「number」の略で、比率算出の母数です。
- ② 「MA」は「Multiple Answer（複数回答）」の略で、1つの質問に対して複数の選択肢を提示し、該当するものをすべて選んでもらう形式を指します。複数回答の場合、図中に MA（Multiple Answer=いくつでも）、3LA（3 Limited Answer=3つまで）と記載しています。
- ③ 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合があります。
- ④ 不明（無回答）はグラフから除いている場合があります。
- ⑤ 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしています。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けています。
- ⑥ 母数が少ない場合、分析から除外する場合があります。

7 標本誤差

本調査は標本調査のため、調査結果から母集団を推定することができます。

調査結果の信頼度 95%レベル（同一の調査を 100 回行なった場合 95 回まではこの結果になるであろうという推定）における信頼区間は以下のとおりです。

主な%について求めたのが下表です。

この表から、例えば問「あなたの職業」の質問で女性は「勤め人（正規社員・職員）」に約 20%の人が答えている場合、信頼区間の2分の1幅が 3.9%であるので 100 回調査すると 95 回までは 16.1%から 23.9%の間の答えが得られるということになります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

ただし
 N = 母集団数
 n = 有効回答数
 P = 母集団の比率 (%)

		母集団数 (N)	有効 回答数 (p)	母集団の比率(P)				
				10% 90%	20% 80%	30% 70%	40% 60%	50%
全体		62,451	708	±2.2	±2.9	±3.4	±3.6	±3.7
性別	女性	33,092	397	±2.9	±3.9	±4.5	±4.8	±4.9
	男性	29,359	303	±3.4	±4.5	±5.1	±5.5	±5.6
性年齢	女性 20歳代以下	5,075	20	±13.1	±17.5	±20.0	±21.4	±21.9
	30歳代	3,795	34	±10.0	±13.4	±15.3	±16.4	±16.7
	40歳代	4,525	45	±8.7	±11.6	±13.3	±14.2	±14.5
	50歳代	6,334	71	±6.9	±9.3	±10.6	±11.3	±11.6
	60歳代	4,165	66	±7.2	±9.6	±11.0	±11.7	±12.0
	70歳以上	9,198	152	±4.7	±6.3	±7.2	±7.7	±7.9
	男性 20歳代以下	4,974	17	±14.2	±19.0	±21.7	±23.3	±23.7
	30歳代	3,834	19	±13.5	±17.9	±20.6	±22.0	±22.4
	40歳代	4,300	35	±9.9	±13.2	±15.1	±16.2	±16.5
	50歳代	6,044	51	±8.2	±10.9	±12.5	±13.4	±13.7
60歳代	3,998	55	±7.9	±10.5	±12.0	±12.9	±13.1	
70歳以上	6,209	120	±5.3	±7.1	±8.1	±8.7	±8.9	

II 調査結果

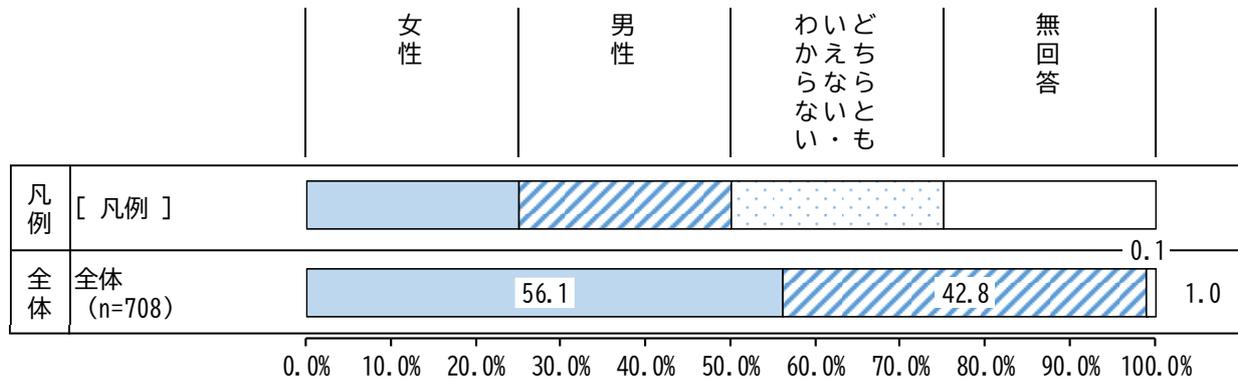
1 回答者属性

F1 あなたの性別は（ご自分で認識している性別をお書きください）

【全体】

- 性別について、「女性」が56.1%で最も多く、次いで「男性」が42.8%、「どちらともいえない・わからない」が0.1%となっています。

【性別】

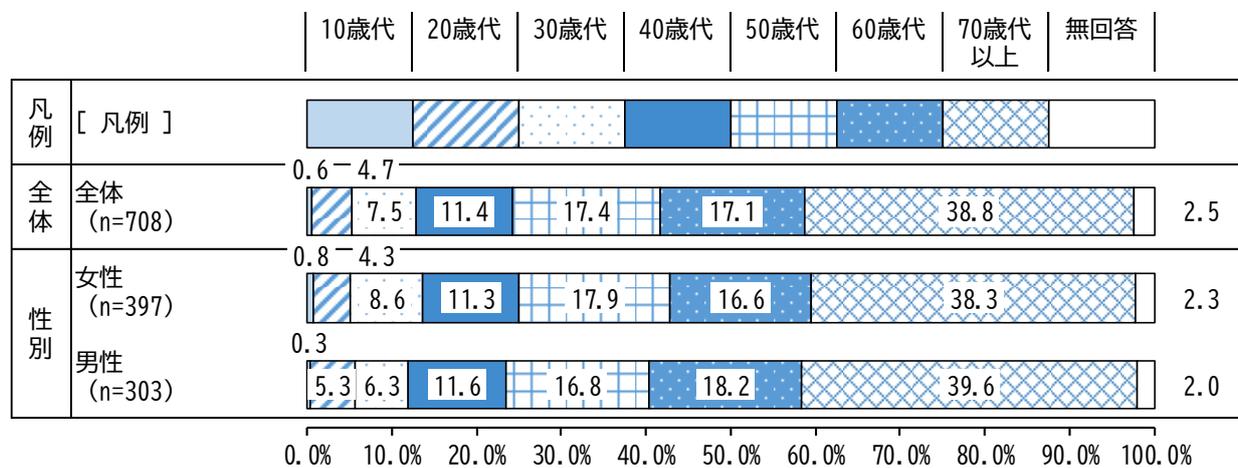


F2 あなたの年齢は

【全体】

- 年齢について、「70歳代以上」が38.8%で最も多く、次いで「50歳代」が17.4%、「60歳代」が17.1%となっています。

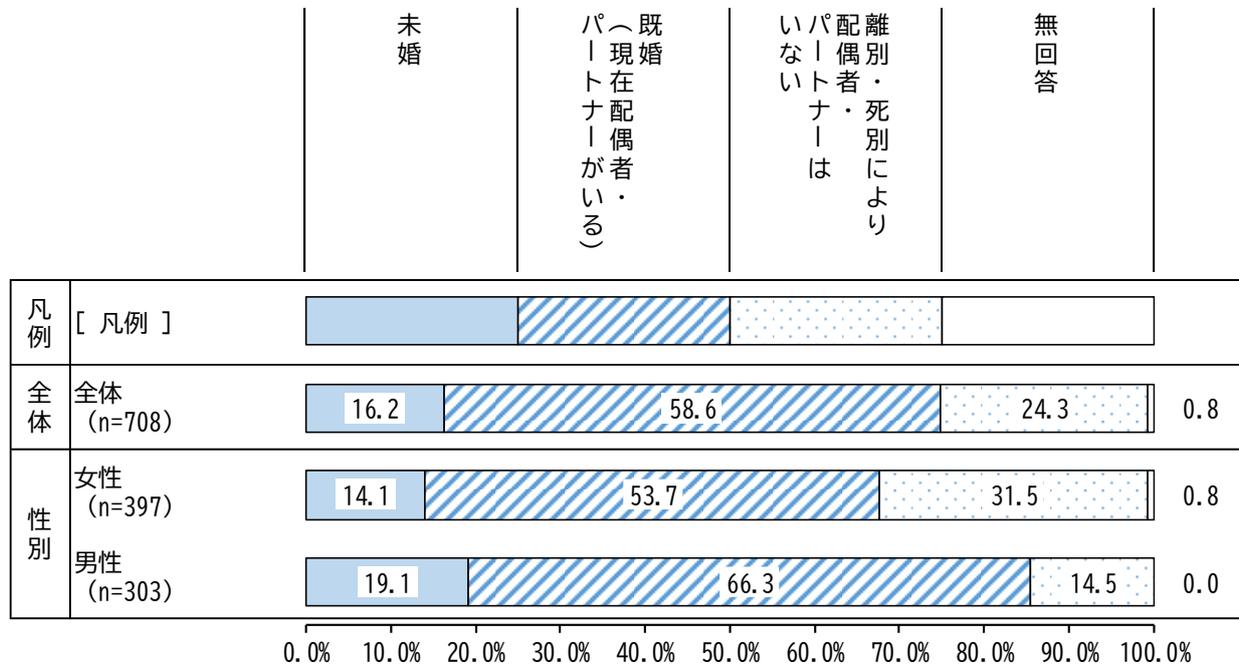
【年齢】

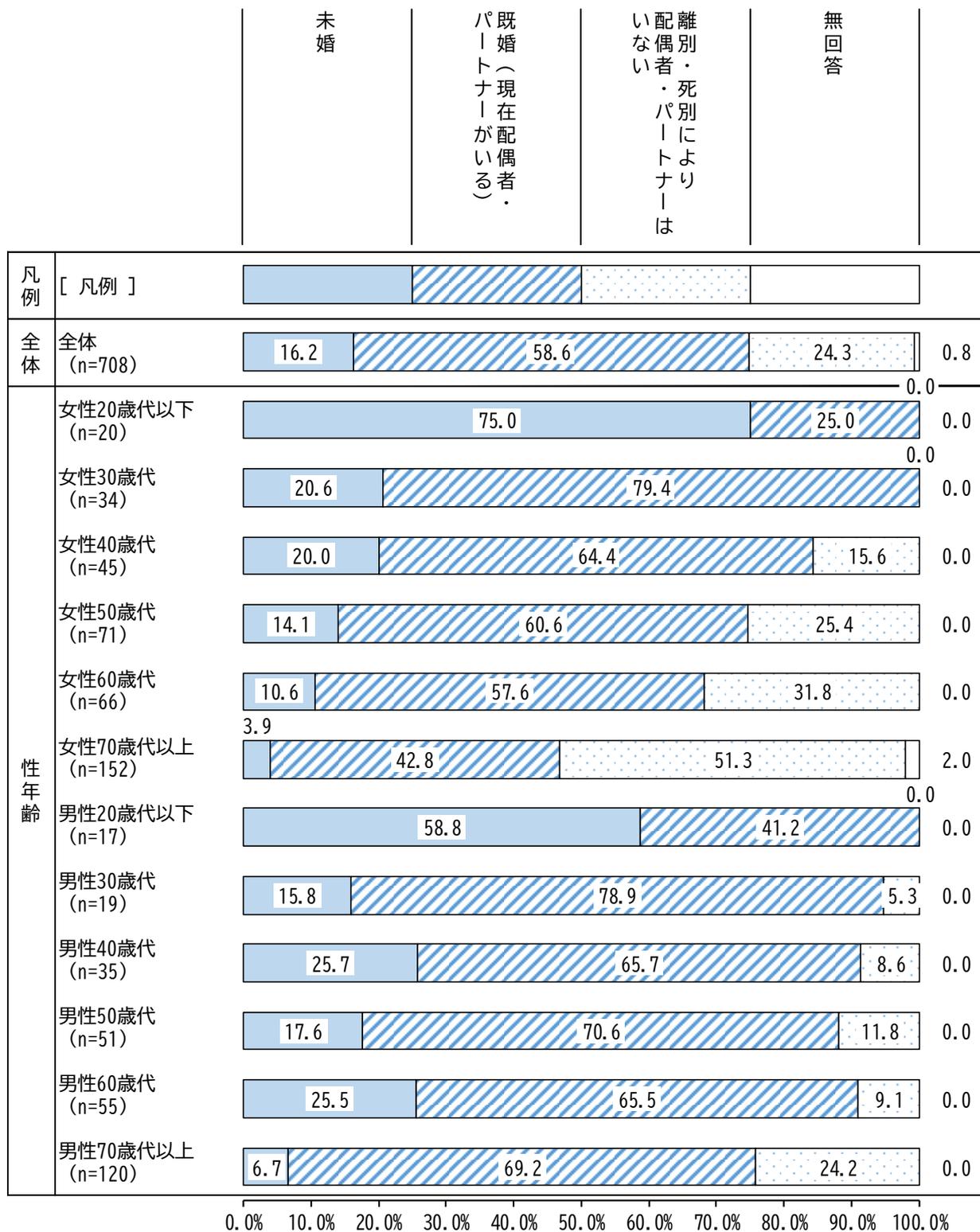


F3 あなたは結婚されていますか（配偶者・パートナーとは夫・妻などで、事実婚の場合も含まれます）（○は1つ）

【全体】
 ○ 配偶者の有無について、「既婚（現在配偶者・パートナーがいる）」が58.6%で最も多く、次いで「離別・死別により配偶者・パートナーはいない」が24.3%、「未婚」が16.2%となっています。

【配偶者の有無】





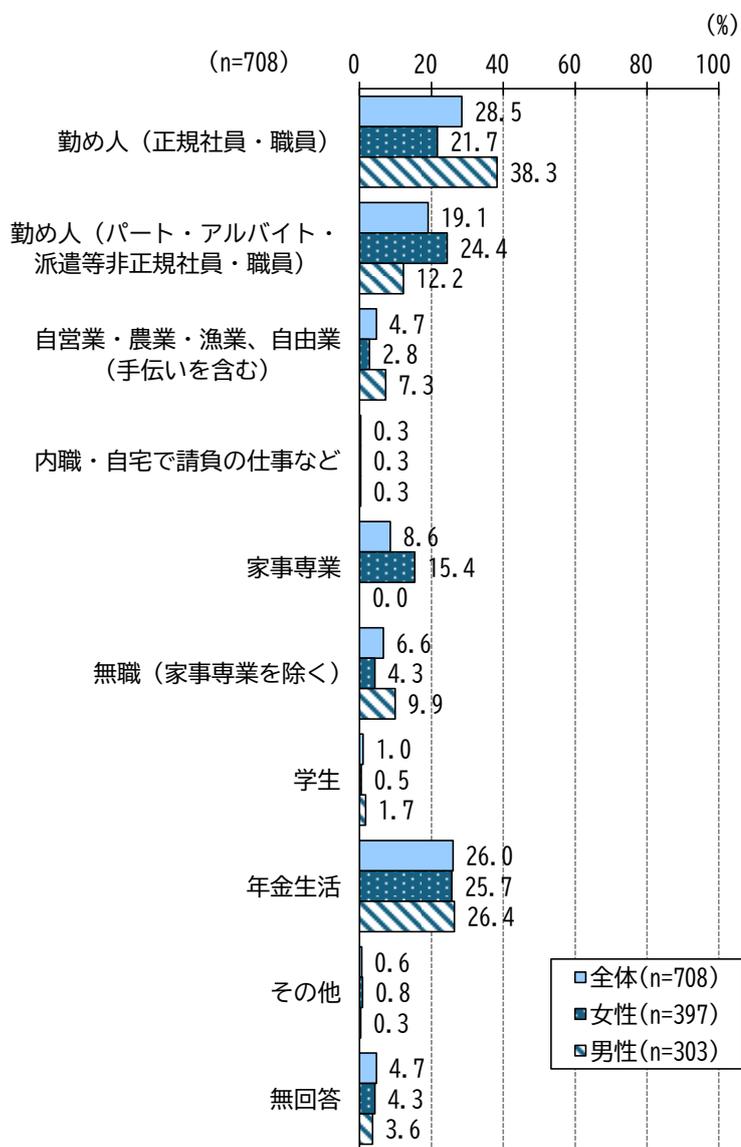
F4 あなたと配偶者・パートナーの主なお仕事は

あなたの職業

【全体】

- あなたの職業について、「勤め人（正規社員・職員）」が28.5%で最も多く、次いで「年金生活」が26.0%、「勤め人（パート・アルバイト・派遣等非正規社員・職員）」が19.1%となっています。

【あなたの職業】



単位：％

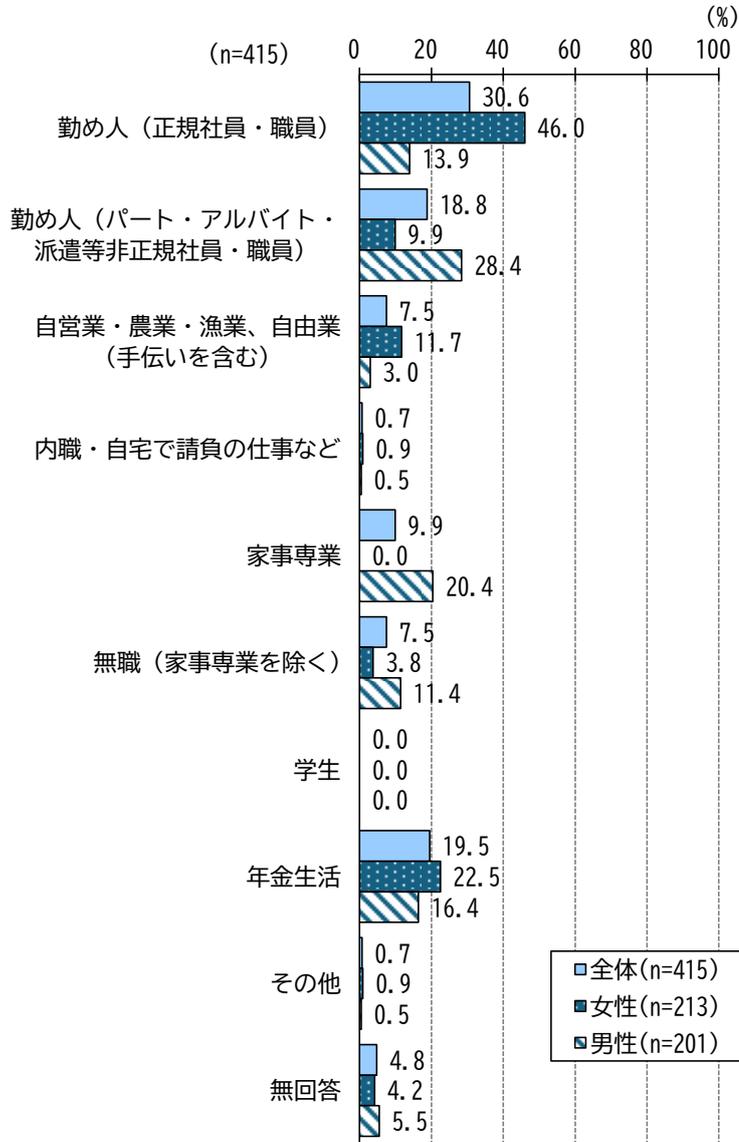
	母数 (n)	あなたの職業										
		勤め人 (正規社員・職員)	勤め人(パート・ アルバイト・派遣等 非正規社員・職員)	自営業・農業・漁業、 自由業(手伝いを含む)	内職・自宅で 請負の仕事など	家事専業	無職 (家事専業を除く)	学生	年金生活	その他	無回答	
全体	708	28.5	19.1	4.7	0.3	8.6	6.6	1.0	26.0	0.6	4.7	
性 年 齢	女性20歳代以下	20	△ 65.0	10.0	-	-	10.0	5.0	10.0	-	-	-
	女性30歳代	34	△ 58.8	23.5	-	-	11.8	5.9	-	-	-	-
	女性40歳代	45	△ 48.9	26.7	4.4	-	15.6	2.2	-	-	-	2.2
	女性50歳代	71	△ 29.6	△ 46.5	2.8	-	16.9	1.4	-	-	1.4	1.4
	女性60歳代	66	▼ 9.1	△ 36.4	4.5	1.5	△ 19.7	3.0	-	21.2	-	4.5
	女性70歳代以上	152	▼ 0.7	▼ 7.9	2.6	-	15.1	6.6	-	△ 57.9	1.3	7.9
	男性20歳代以下	17	△ 58.8	▼ 5.9	5.9	5.9	-	-	△ 23.5	-	-	-
	男性30歳代	19	△ 89.5	▼ 5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-
	男性40歳代	35	△ 74.3	14.3	2.9	-	-	8.6	-	-	-	-
	男性50歳代	51	△ 72.5	▼ 7.8	9.8	-	-	5.9	-	-	2.0	2.0
	男性60歳代	55	34.5	25.5	9.1	-	-	10.9	-	20.0	-	-
男性70歳代以上	120	▼ 3.3	9.2	6.7	-	-	15.0	-	△ 57.5	-	8.3	

配偶者・パートナーの職業

【全体】

- 配偶者・パートナーの職業について、「勤め人（正規社員・職員）」が30.6%で最も多く、次いで「年金生活」が19.5%、「勤め人（パート・アルバイト・派遣等非正規社員・職員）」が18.8%となっています。

【配偶者・パートナーの職業】



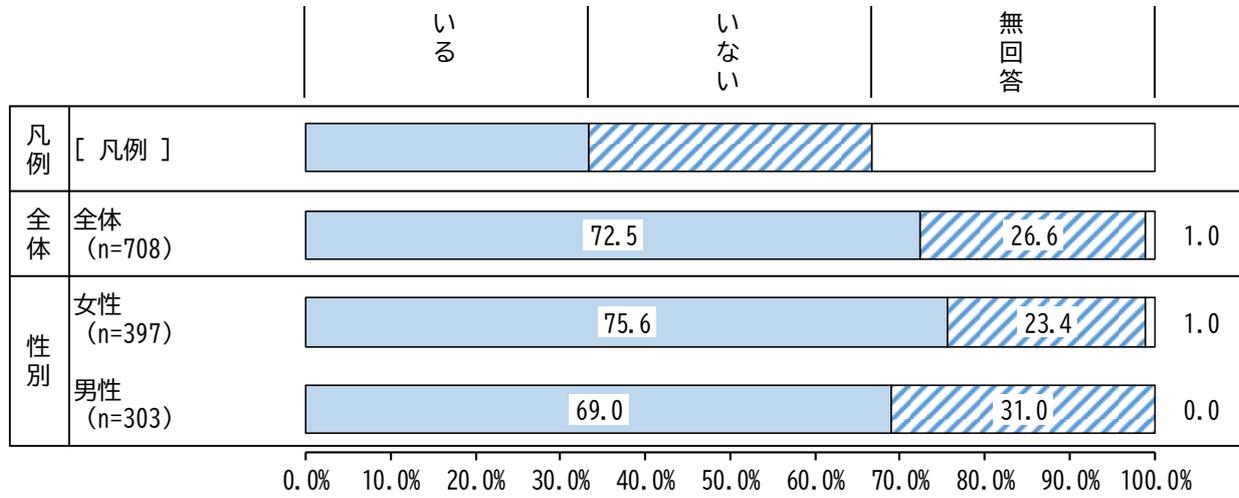
単位：％

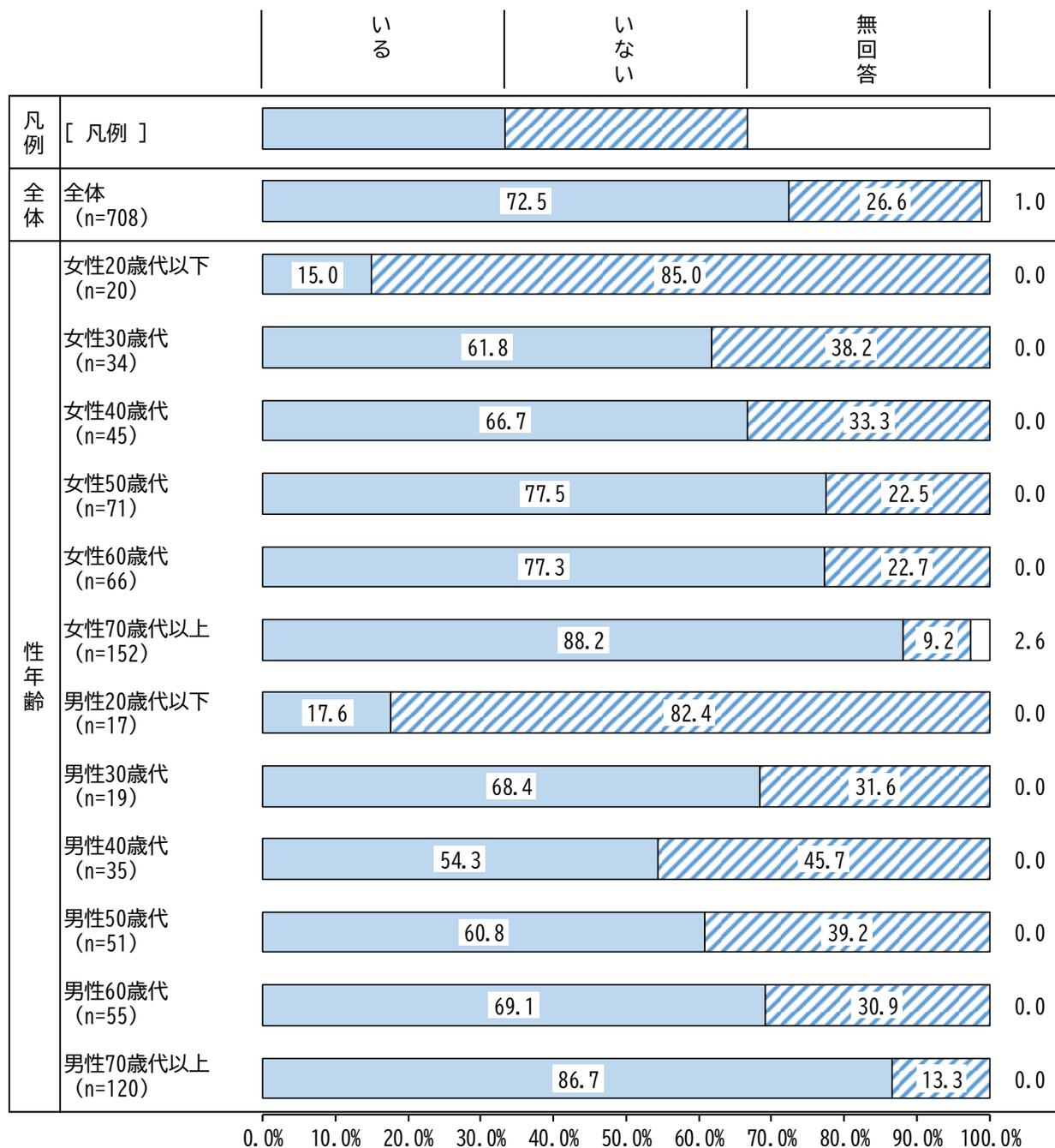
	母数 (n)	配偶者・パートナーの職業										
		勤め人 (正規社員・職員)	アルバイト・派遣等 非正規社員・職員)	勤め人(パート)	自営業・農業・漁業、 自由業(手伝いを含む)	内職・自宅で 請負の仕事など	家事専業	無職 (家事専業を除く)	学生	年金生活	その他	無回答
全体	415	30.6	18.8	7.5	0.7	9.9	7.5	-	19.5	0.7	4.8	
性 年 齢	女性20歳代以下	5	△ 80.0	-	△ 20.0	-	-	-	-	-	-	
	女性30歳代	27	△ 92.6	-	7.4	-	-	-	-	-	-	
	女性40歳代	29	△ 75.9	▼ 6.9	17.2	-	-	-	-	-	-	
	女性50歳代	43	△ 72.1	▼ 7.0	△ 18.6	-	-	-	-	2.3	-	
	女性60歳代	38	23.7	△ 28.9	7.9	-	-	7.9	-	28.9	-	2.6
	女性70歳代以上	65	▼ 4.6	▼ 6.2	7.7	3.1	-	7.7	-	△ 56.9	1.5	12.3
	男性20歳代以下	7	△ 71.4	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	-
	男性30歳代	15	26.7	△ 46.7	-	-	△ 26.7	-	-	-	-	-
	男性40歳代	23	39.1	△ 30.4	-	-	△ 26.1	4.3	-	-	-	-
	男性50歳代	36	▼ 19.4	△ 52.8	2.8	2.8	13.9	5.6	-	-	-	2.8
	男性60歳代	36	▼ 8.3	△ 38.9	2.8	-	△ 33.3	11.1	-	▼ 5.6	-	-
	男性70歳代以上	83	-	9.6	4.8	-	16.9	△ 18.1	-	△ 37.3	1.2	12.0

F5 あなたに子どもはいますか

【全体】
 ○ 子どもの有無について、「いる」が72.5%、「いない」が26.6%となっています。

【子どもの有無】

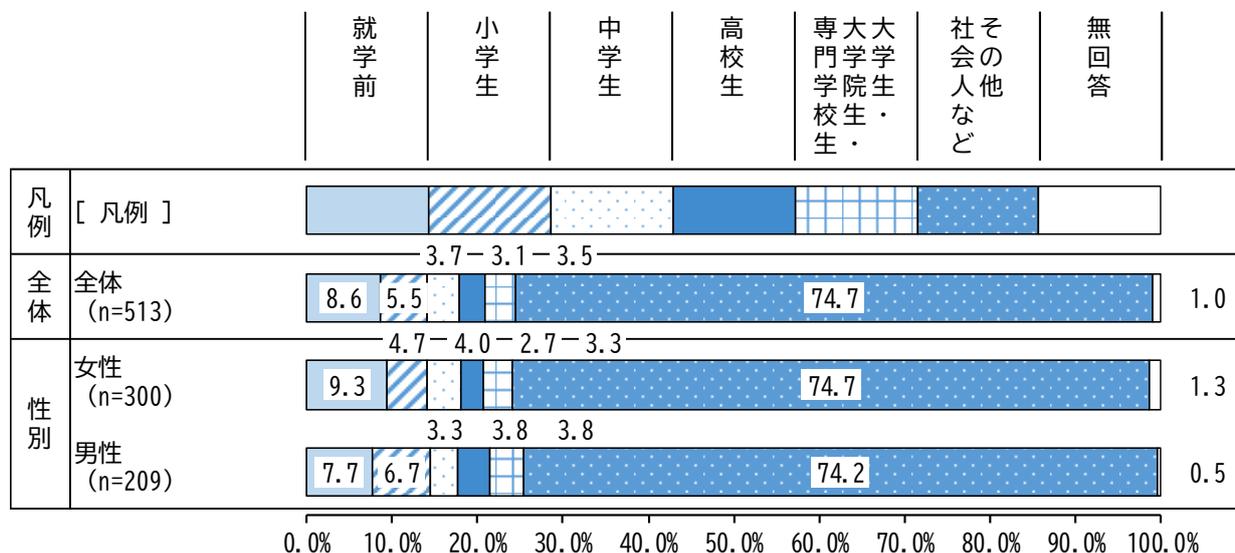


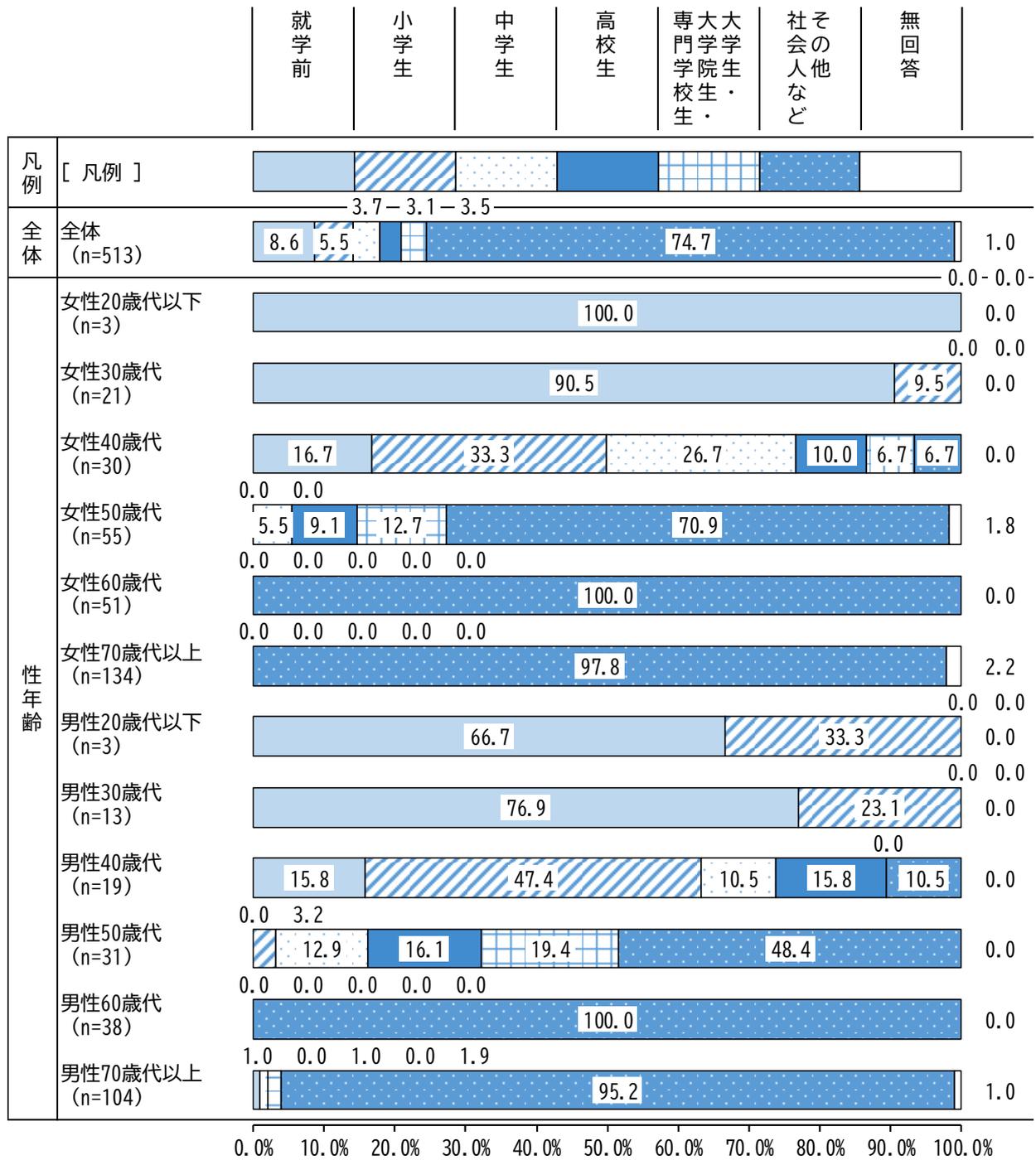


F5-1 いる場合、一番下のお子さんは次のどの年齢層にあたりますか（○は1つ）

【全体】
 ○ 一番下の子どもの年齢層について、「その他社会人など」が74.7%で最も多く、次いで「就学前」が8.6%、「小学生」が5.5%となっています。

【一番下の子どもの年齢層】



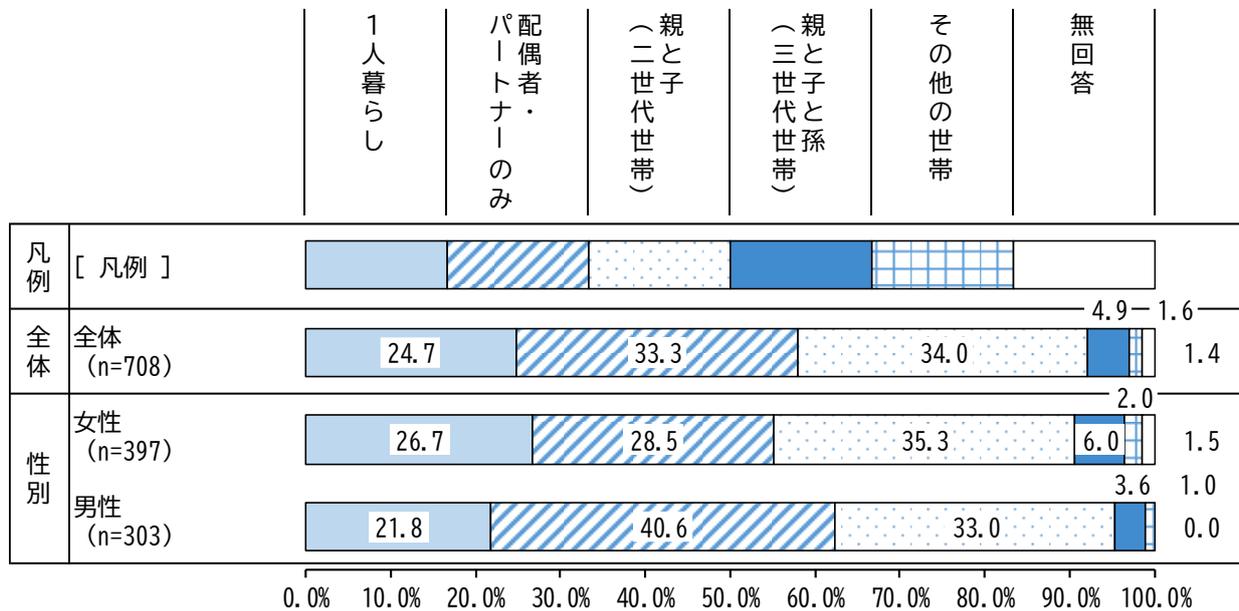


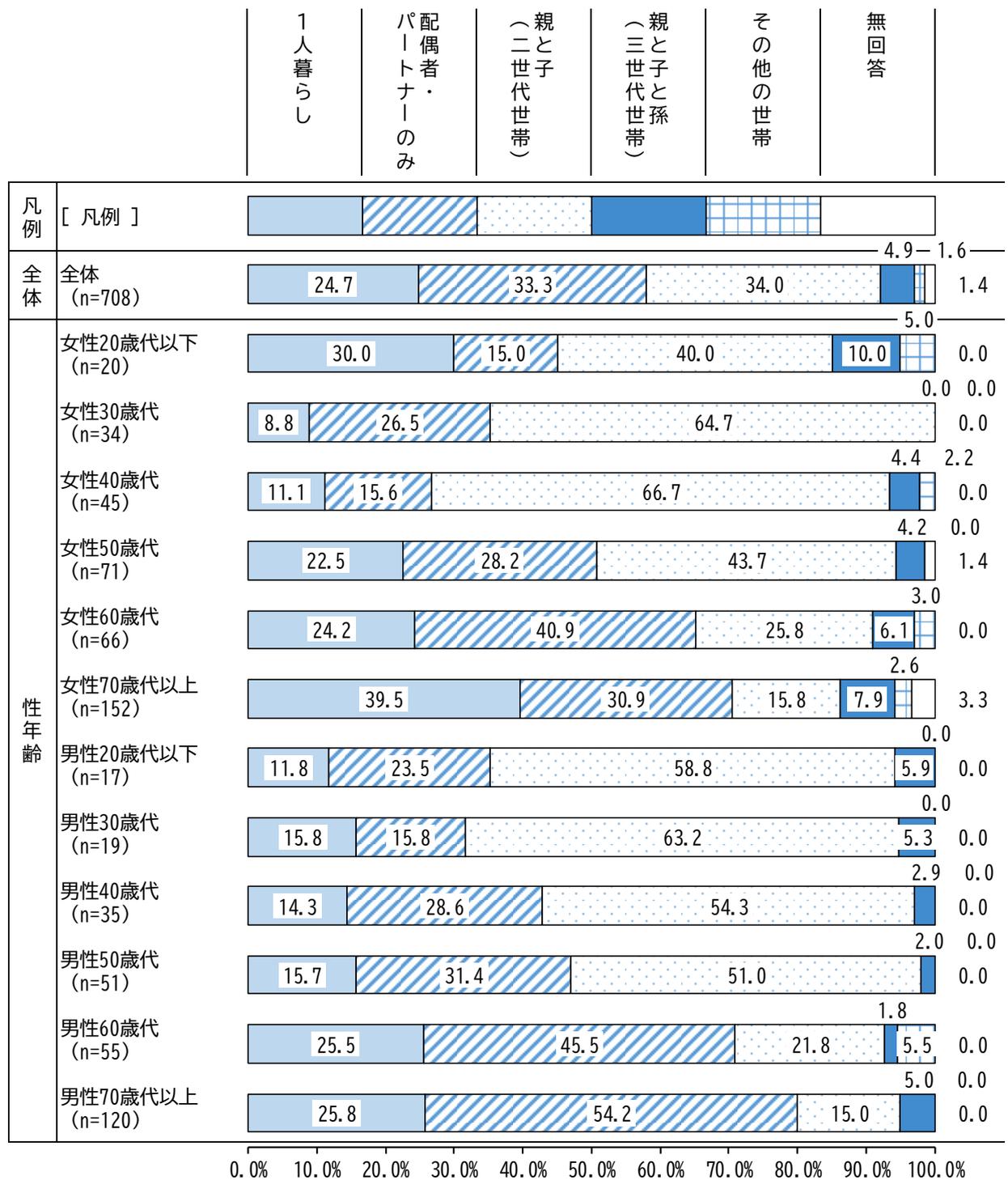
F6 あなたが同居している家族構成は

【全体】

- 家族構成について、「親と子（二世世代世帯）」が34.0%で最も多く、次いで「配偶者・パートナーのみ」が33.3%、「1人暮らし」が24.7%となっています。

【家族構成】





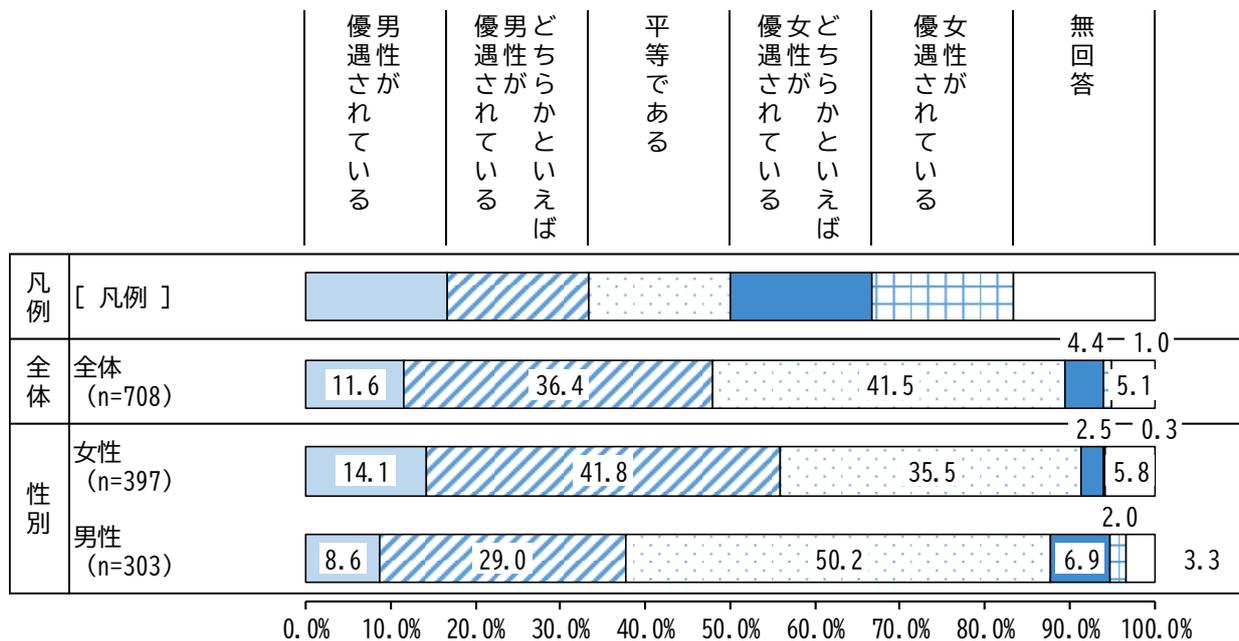
2 男女平等について

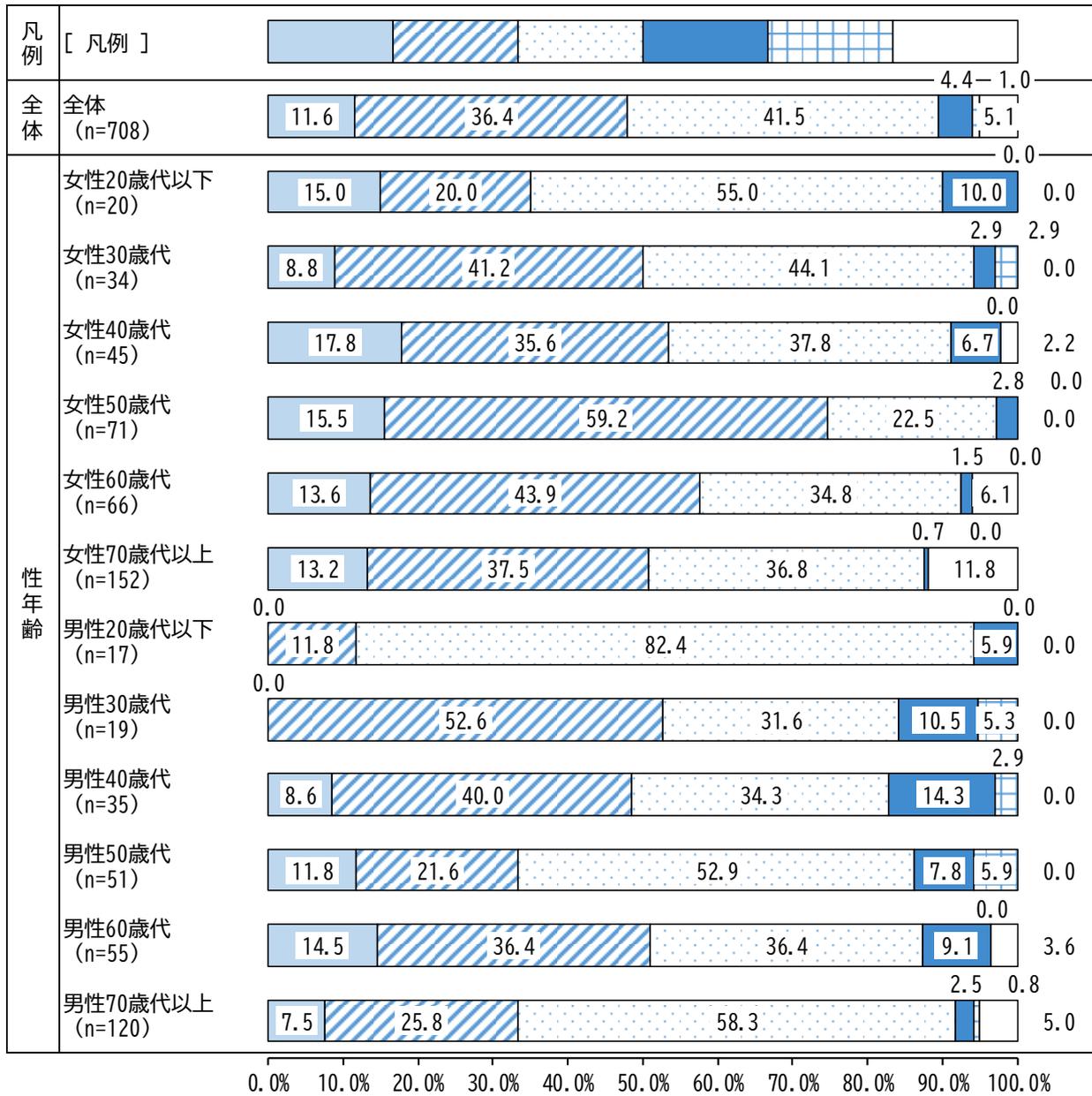
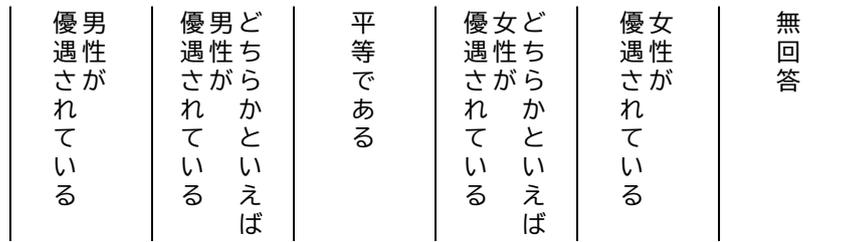
問1 あなたは、現在の社会全般をみたときに、次のような場面で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑨までのそれぞれに当てはまる番号に○をつけてください。(各項目でそれぞれ○は1つ)

①法律や制度の上では

【全体】
○ 「平等である」が 41.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が 36.4%、「男性が優遇されている」が 11.6%となっています。
○ 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は 48.0%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は 5.4%となっています。

【①法律や制度の上では】



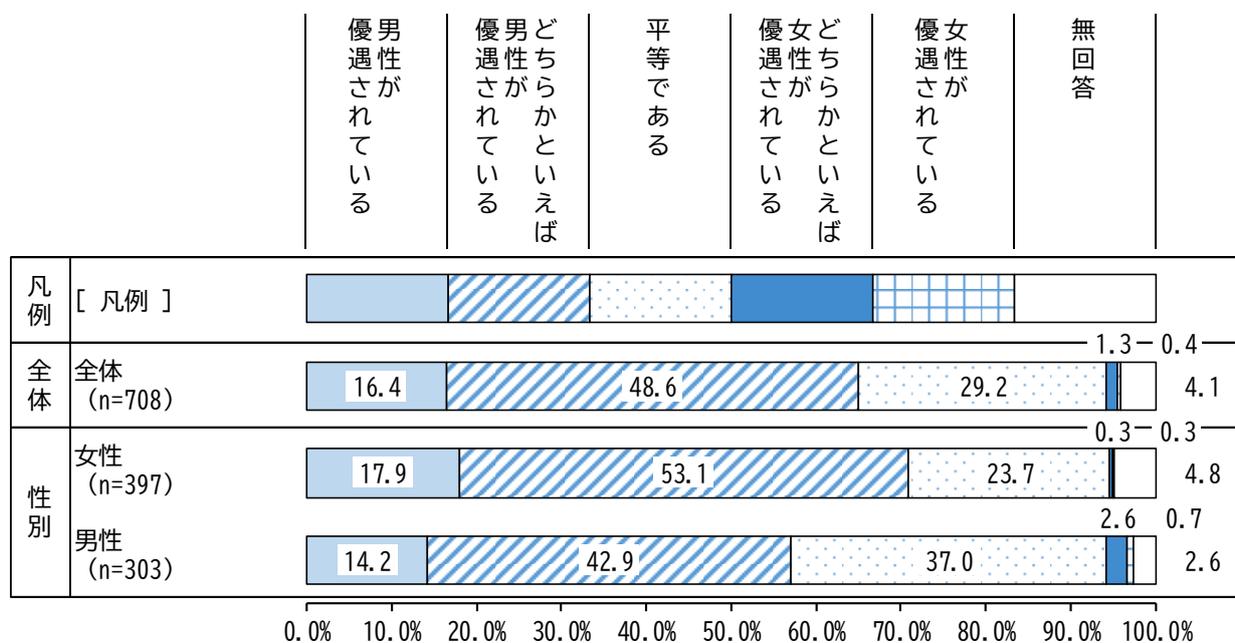


②地域の慣習やしきたりでは

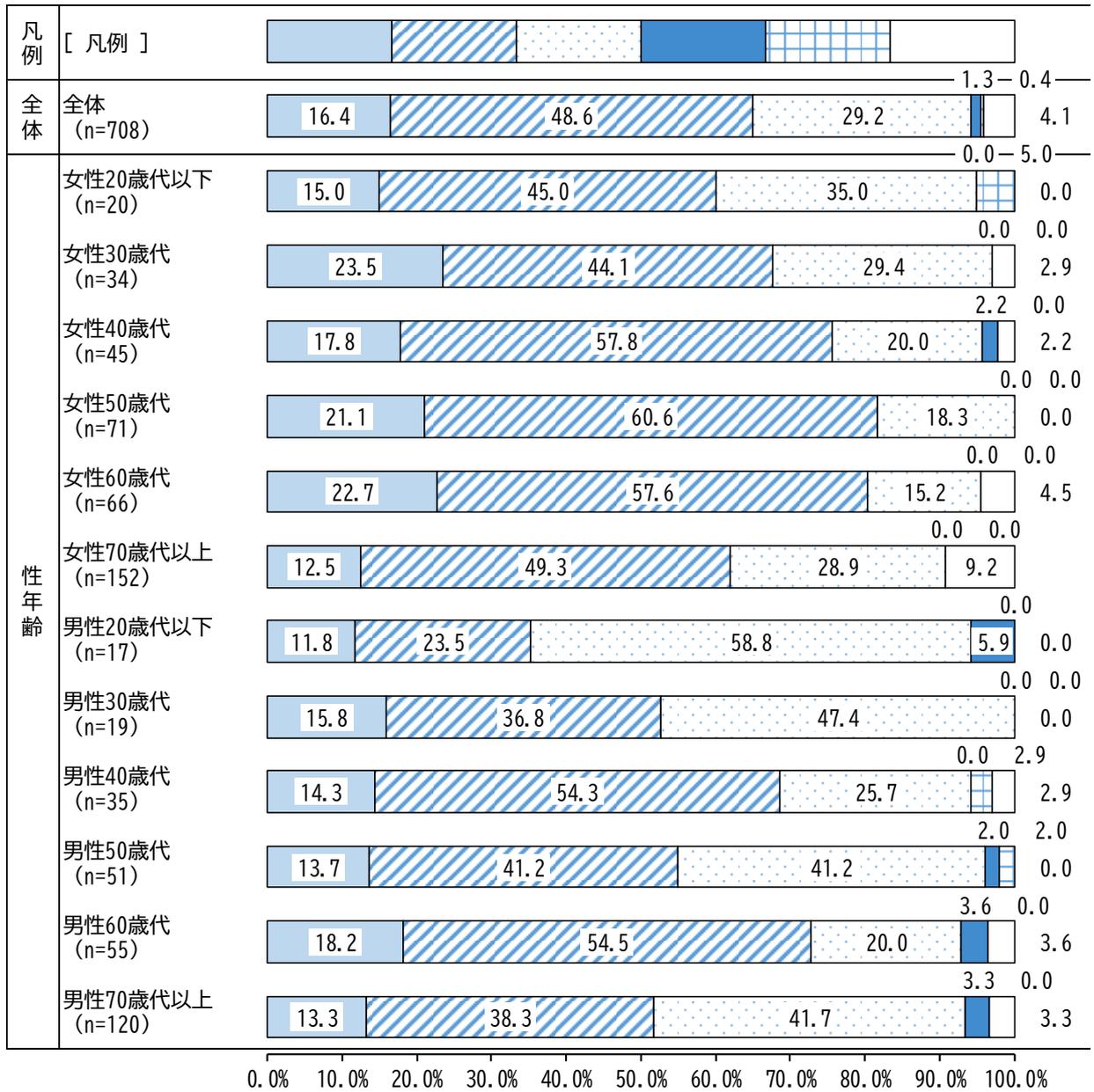
【全体】

- 「どちらかといえば男性が優遇されている」が 48.6%で最も多く、次いで「平等である」が 29.2%、「男性が優遇されている」が 16.4%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は 65.0%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は 1.7%となっています。

【②地域の慣習やしきたりでは】



優男性が されている	優男性が されている どちらか といえば	平等 である	優女性が されている どちらか といえば	優女性が されている	無 回答
---------------	-------------------------------	-----------	-------------------------------	---------------	---------

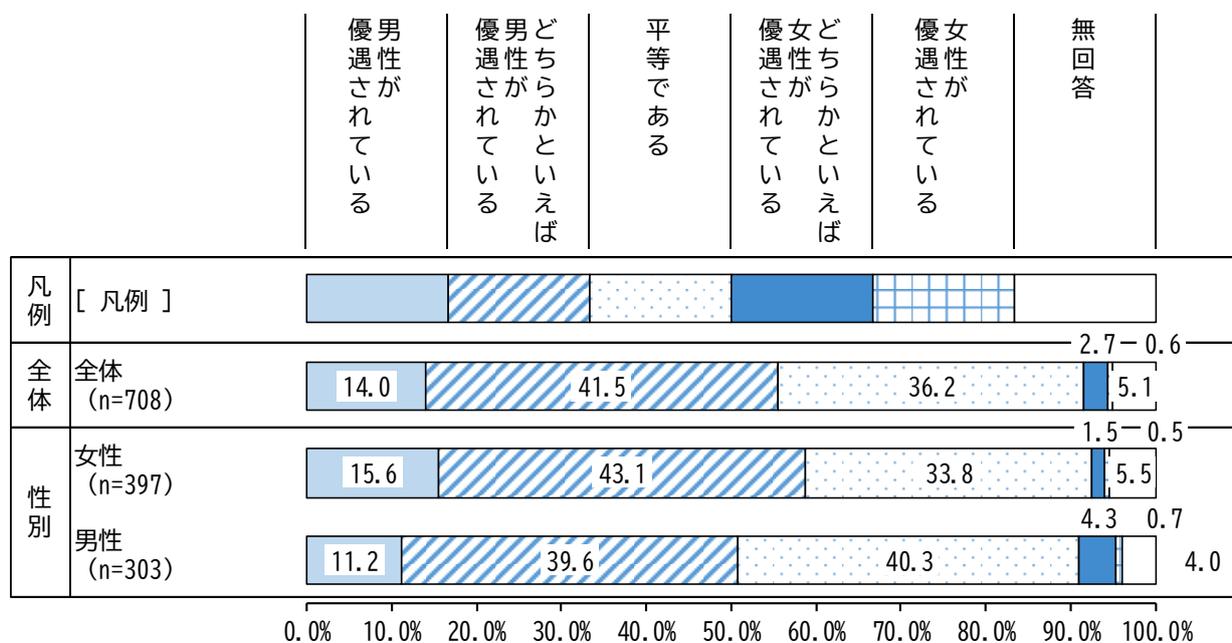


③自治会やPTA、祭りなどの地域活動では

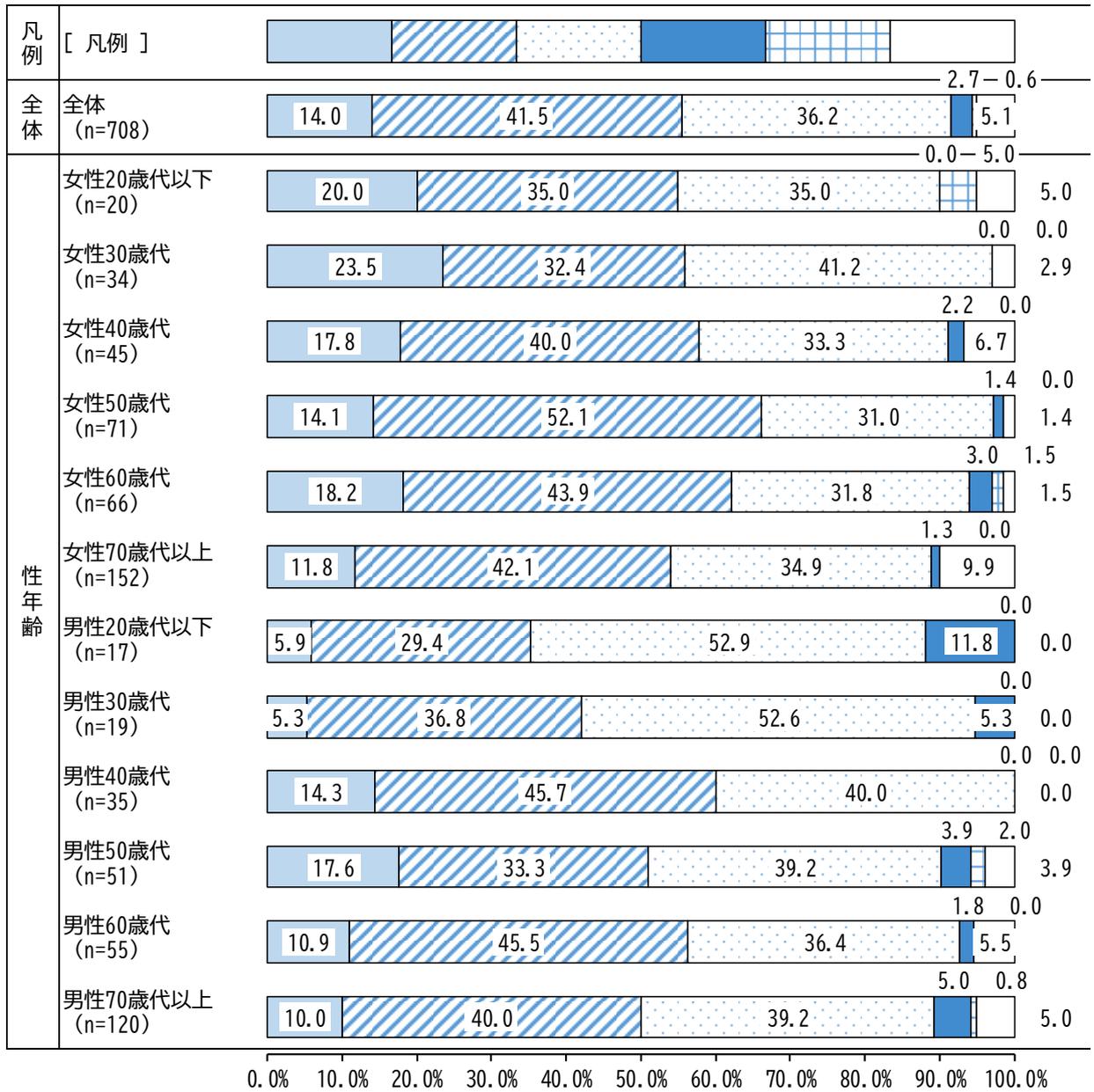
【全体】

- 「どちらかといえば男性が優遇されている」が 41.5%で最も多く、次いで「平等である」が 36.2%、「男性が優遇されている」が 14.0%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は 55.5%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は 3.3%となっています。

【③自治会やPTA、祭りなどの地域活動では】



優男性が されている	優男性が されている どちらか といえ ば	平等 である	優女性が されている どちらか といえ ば	優女性が されている	無 回 答
---------------	-----------------------------------	-----------	-----------------------------------	---------------	-------------

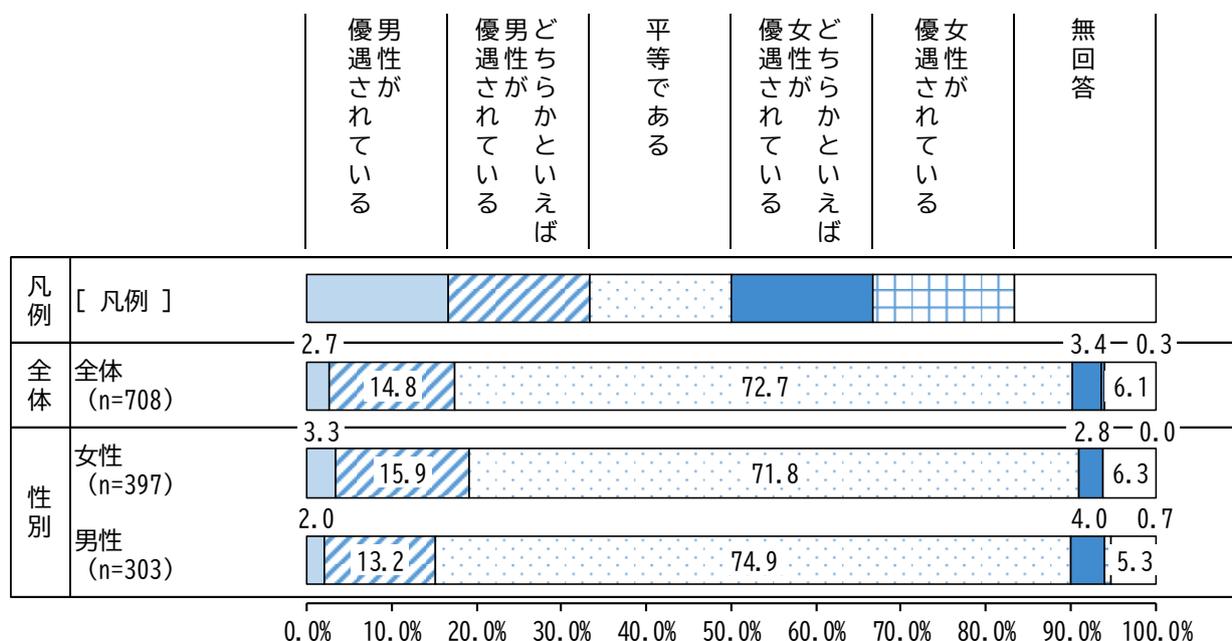


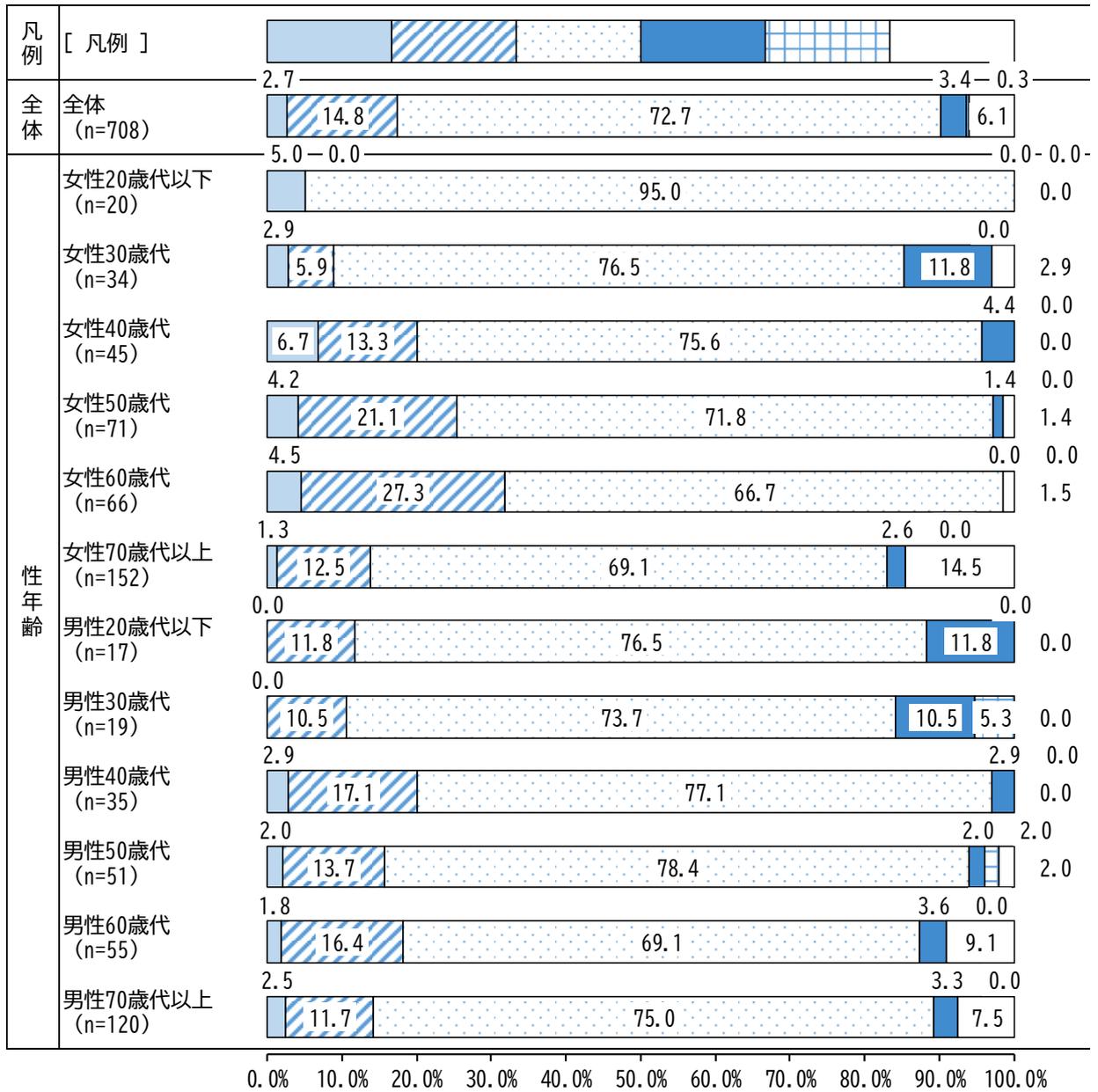
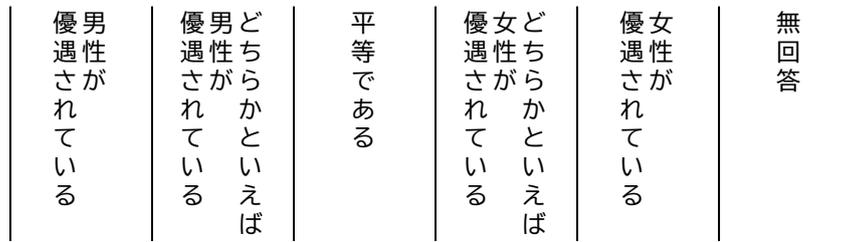
④学校教育では

【全体】

- 「平等である」が 72.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が 14.8%、「どちらかといえば女性が優遇されている」が 3.4%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は 17.5%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は 3.7%となっています。

【④学校教育では】



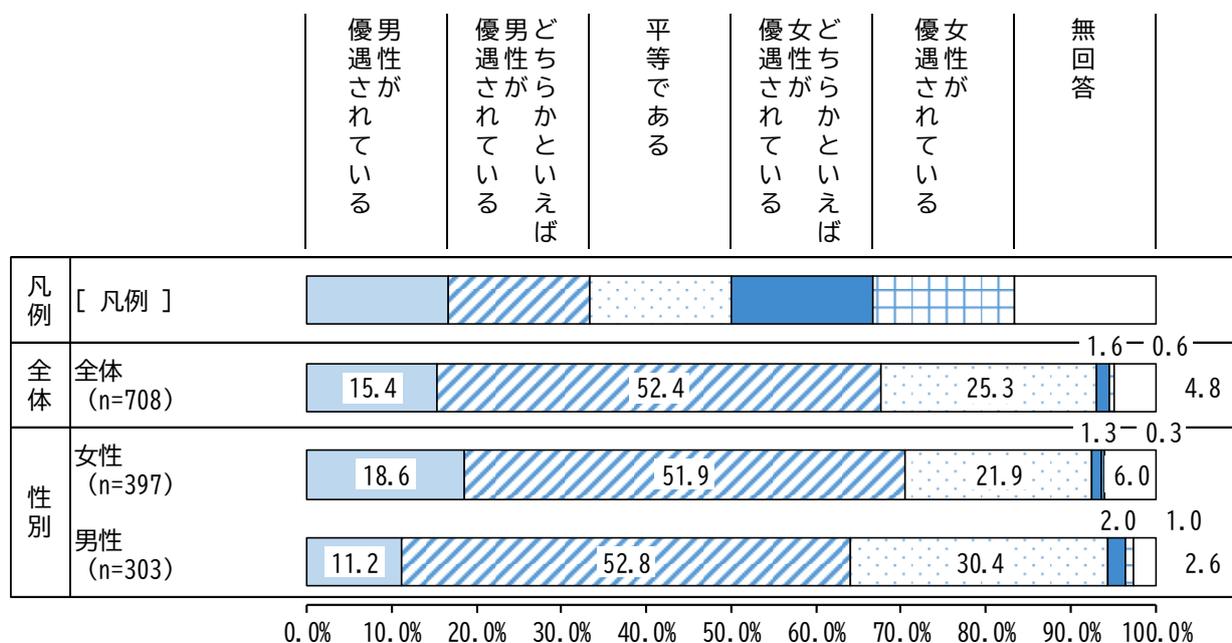


⑤雇用の機会や職業の選択では

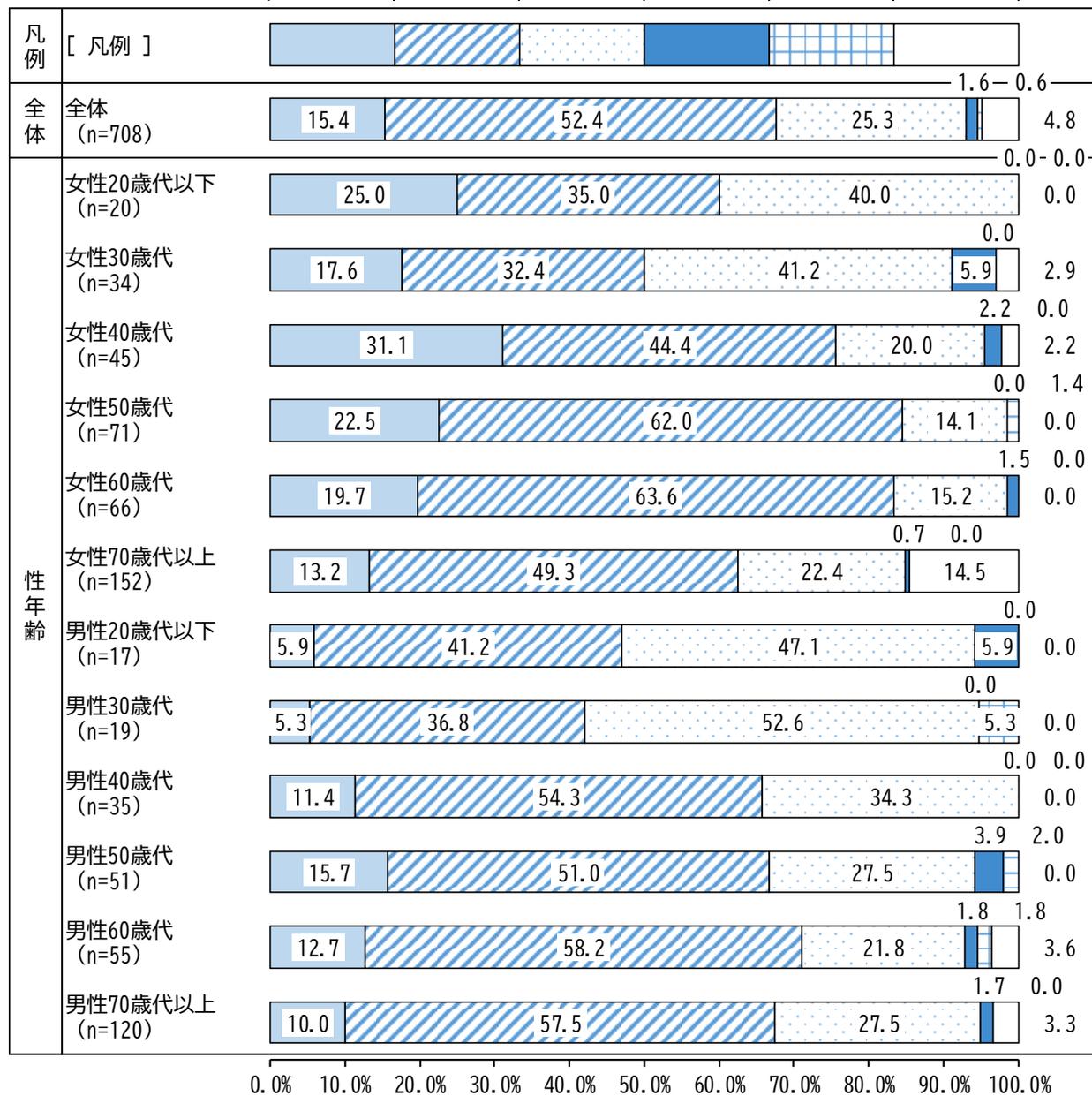
【全体】

- 「どちらかといえば男性が優遇されている」が 52.4%で最も多く、次いで「平等である」が 25.3%、「男性が優遇されている」が 15.4%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は67.8%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は2.2%となっています。

【⑤雇用の機会や職業の選択では】



優男性が されている	優男性が どちらか かといえ ば されている	平等 である	優女性が どちらか かといえ ば されている	優女性が されている	無 回 答
---------------	------------------------------------	-----------	------------------------------------	---------------	-------------

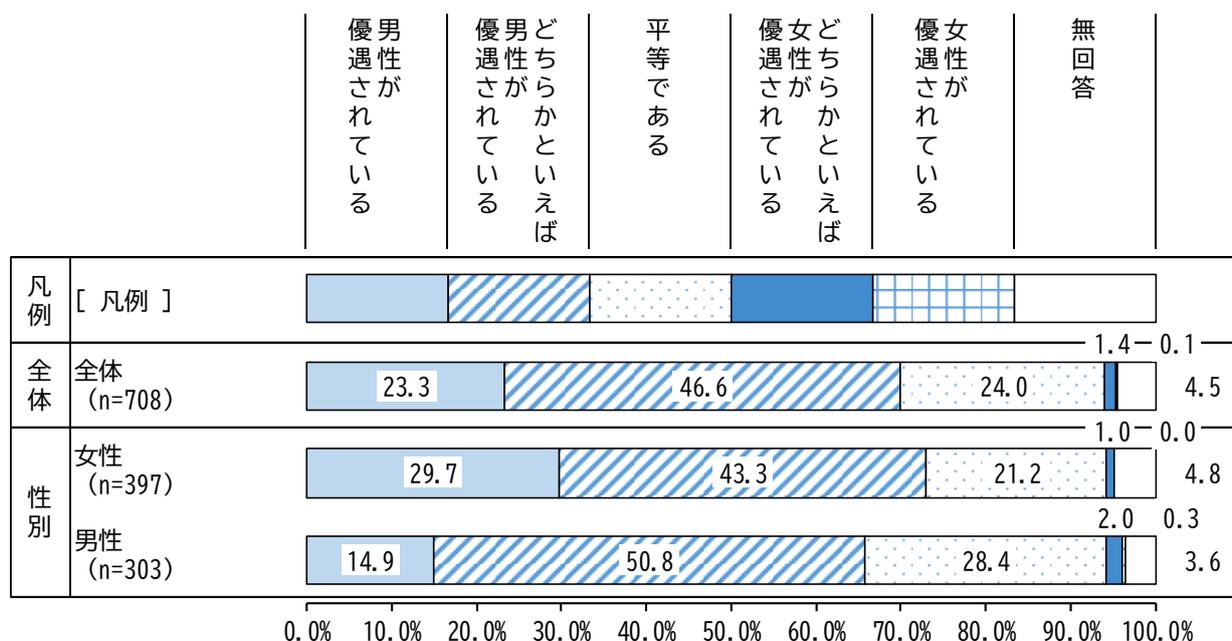


⑥職場の賃金や待遇では

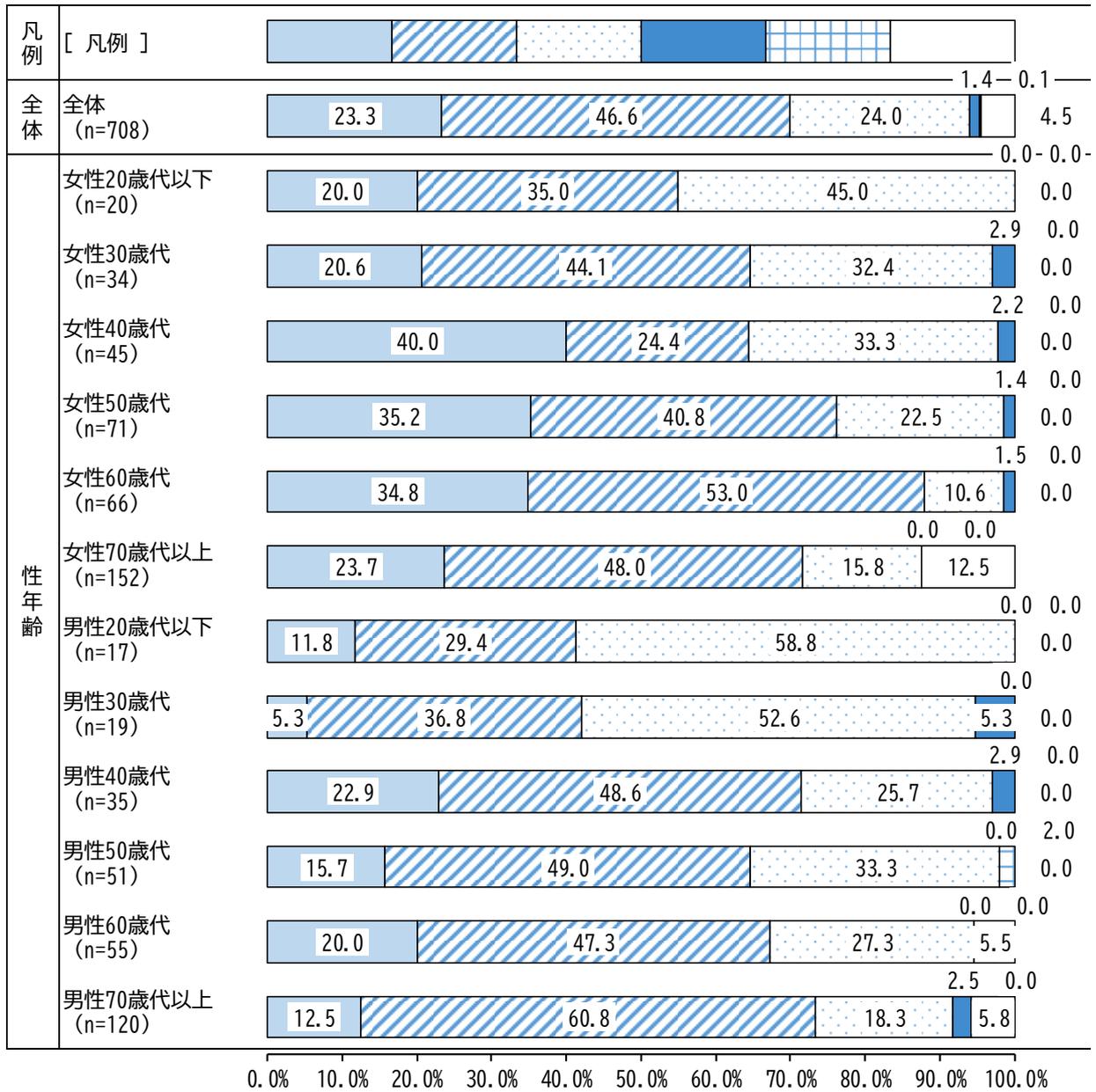
【全体】

- 「どちらかといえば男性が優遇されている」が 46.6%で最も多く、次いで「平等である」が 24.0%、「男性が優遇されている」が 23.3%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は69.9%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は 1.5%となっています。

【⑥職場の賃金や待遇では】



優男性が 遇さ されて いる	優男性が 遇さ されて いる ど ちら か とい え ば	平等 で あ る	優女性が 遇さ されて いる ど ちら か とい え ば	優女性が 遇さ されて いる	無 回 答
-------------------------	---	-------------------	---	-------------------------	-------------

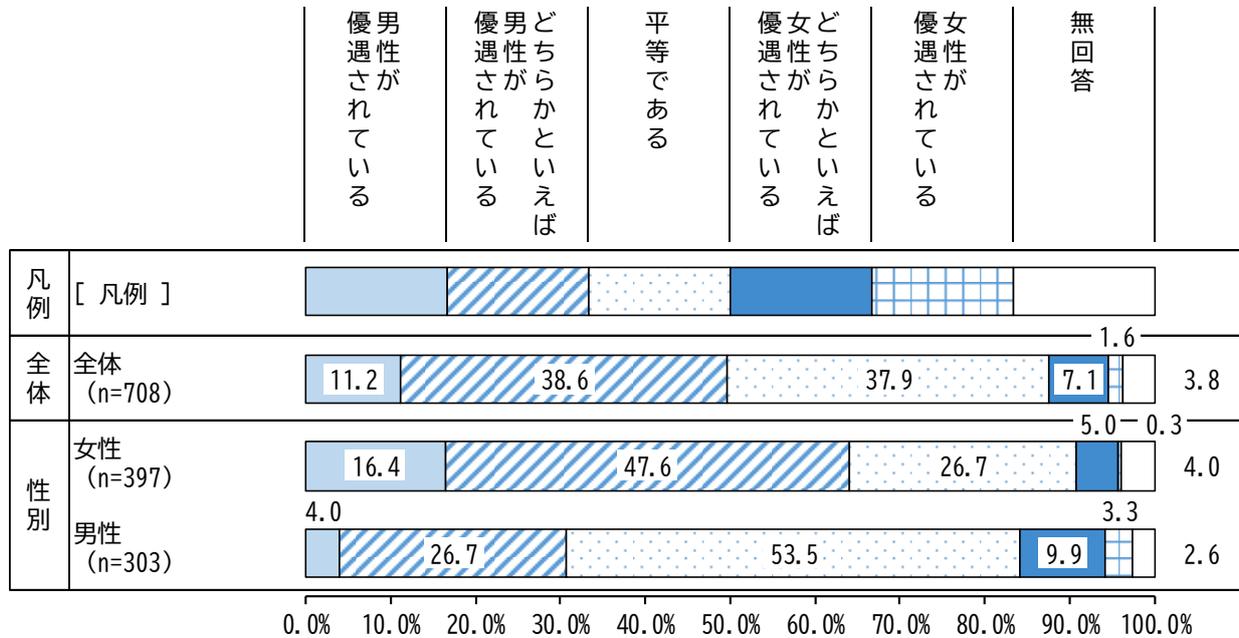


⑦家庭生活では

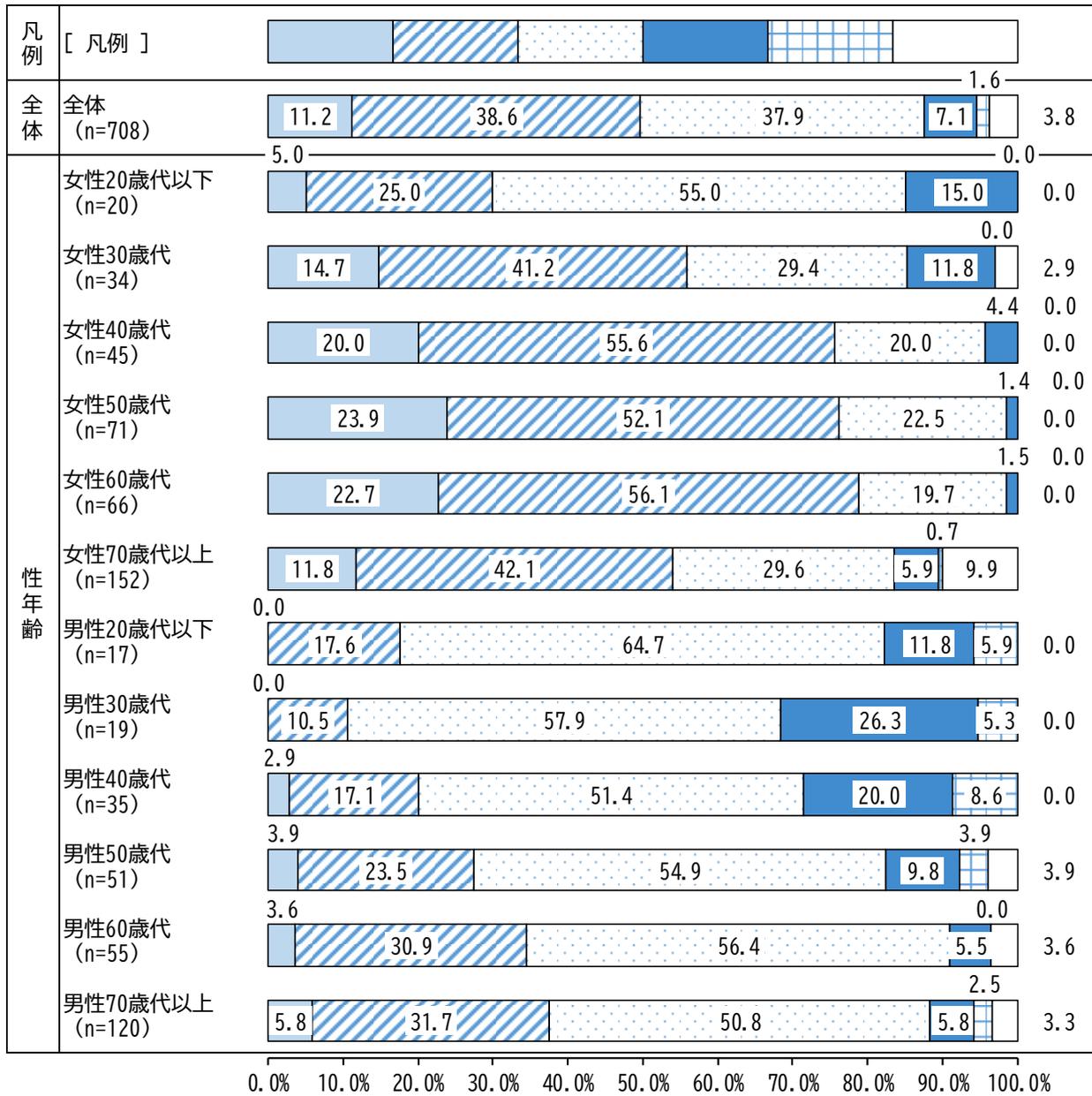
【全体】

- 「どちらかといえば男性が優遇されている」が 38.6%で最も多く、次いで「平等である」が 37.9%、「男性が優遇されている」が 11.2%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は49.8%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は8.7%となっています。

【⑦家庭生活では】



優男性が 優遇されて いる	優男性が 優遇されて いる どちらか といえ ば	平等 である	優女性が 優遇されて いる どちらか といえ ば	優女性が 優遇されて いる	無 回 答
---------------------	---	-----------	---	---------------------	-------------

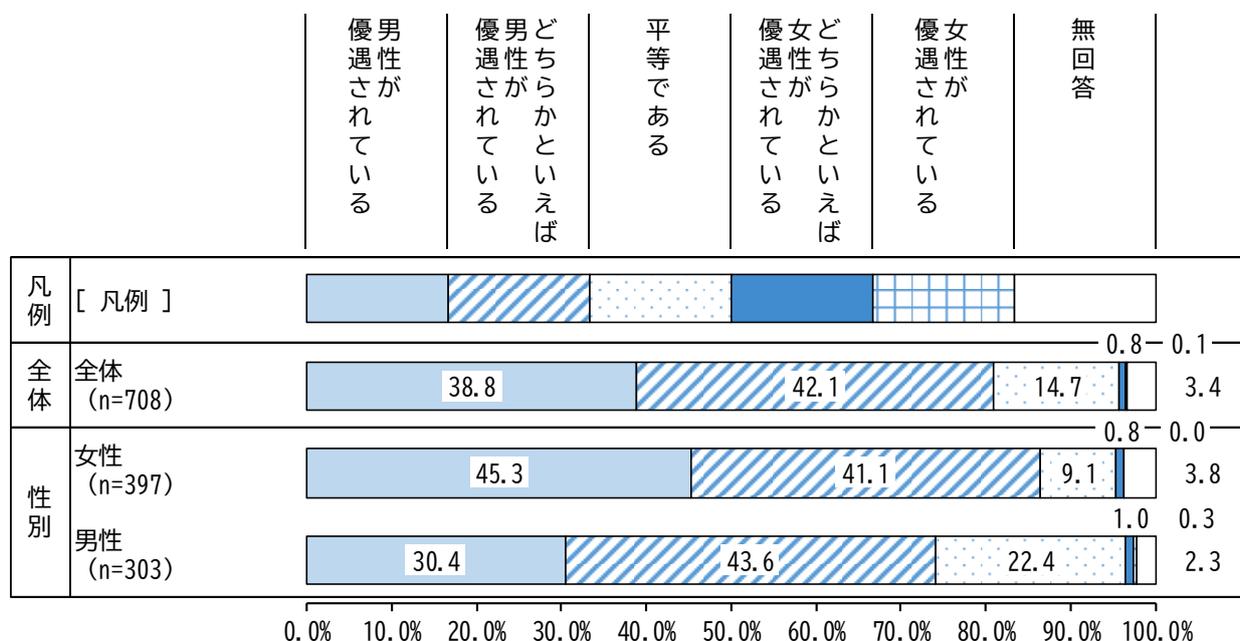


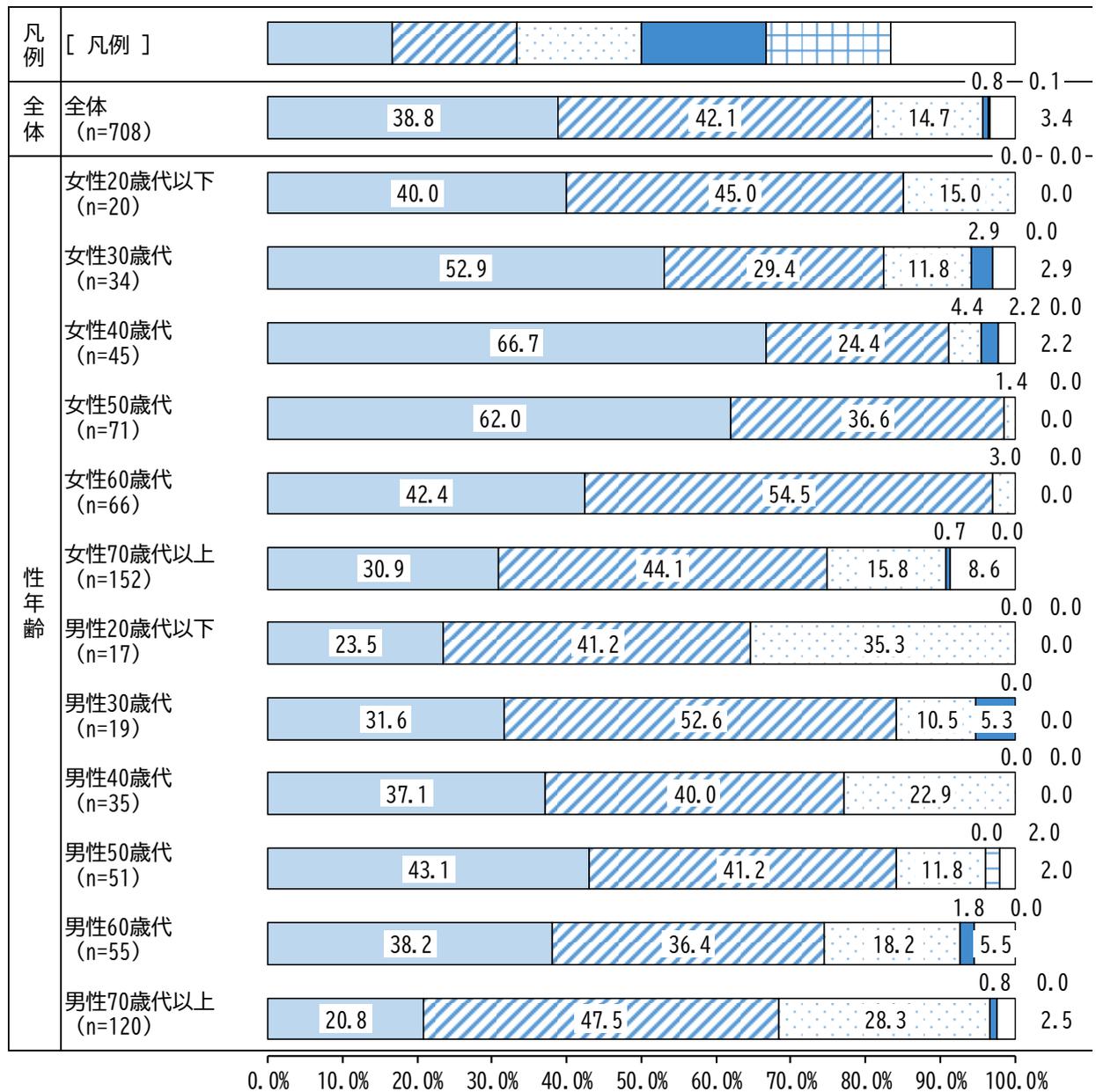
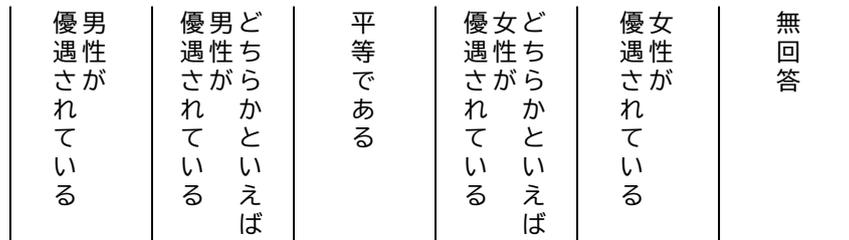
⑧政治の場では

【全体】

- 「どちらかといえば男性が優遇されている」が42.1%で最も多く、次いで「男性が優遇されている」が38.8%、「平等である」が14.7%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は80.9%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は0.9%となっています。

【⑧政治の場では】



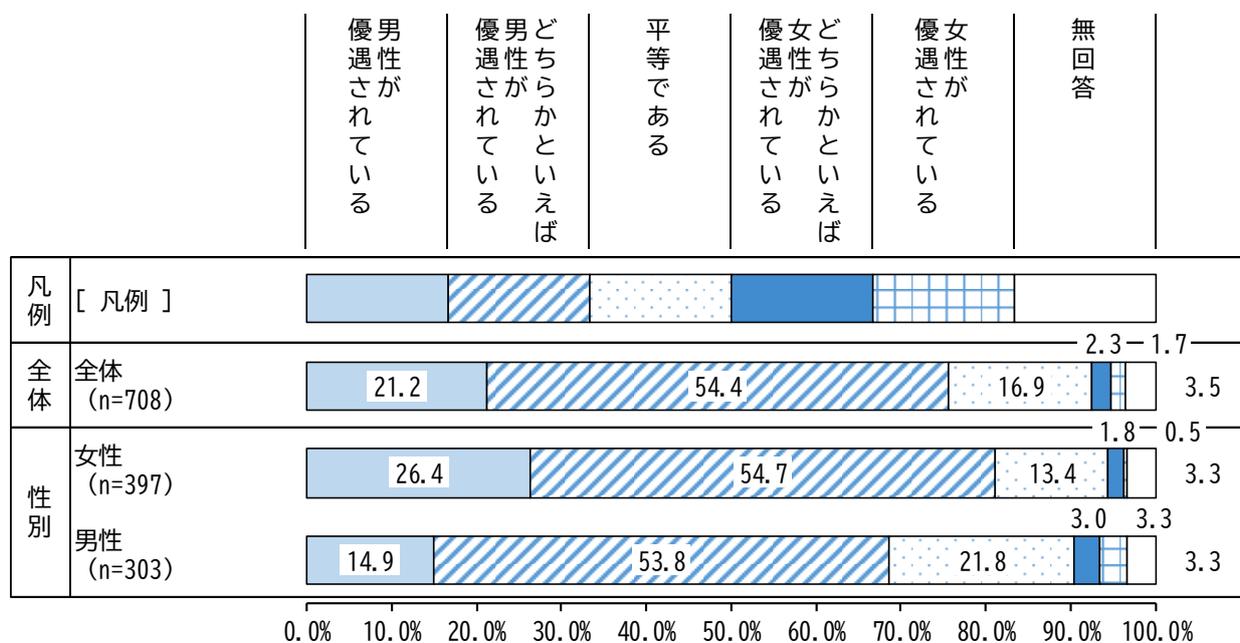


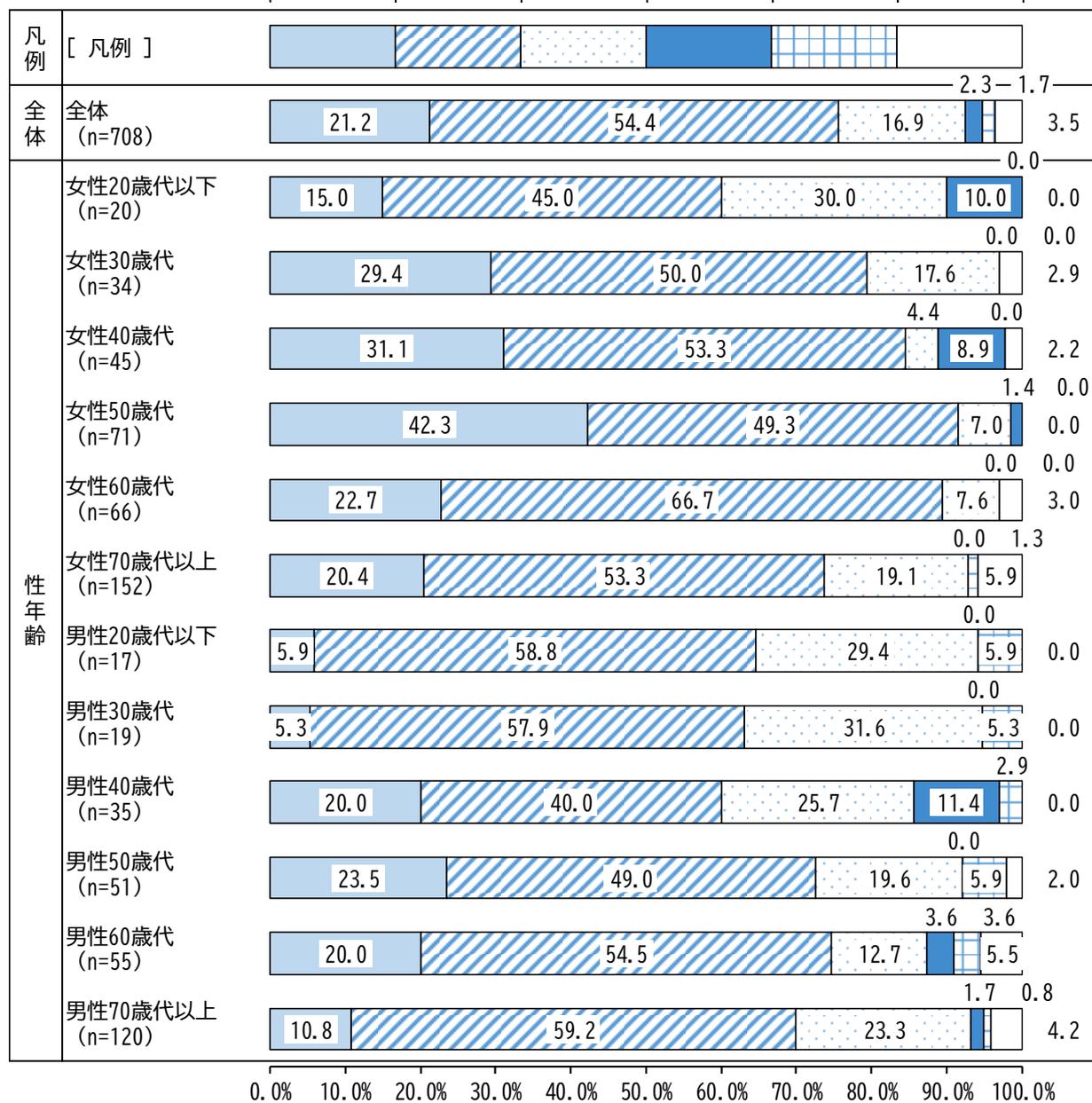
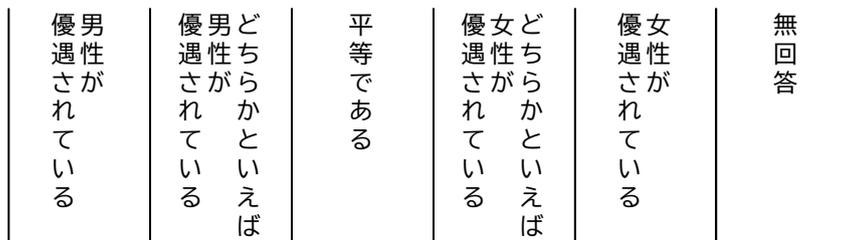
⑨社会全体では

【全体】

- 「どちらかといえば男性が優遇されている」が54.4%で最も多く、次いで「男性が優遇されている」が21.2%、「平等である」が16.9%となっています。
- 「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた“男性優遇”は75.6%となっています。「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた“女性優遇”は4.0%となっています。

【⑨社会全体では】



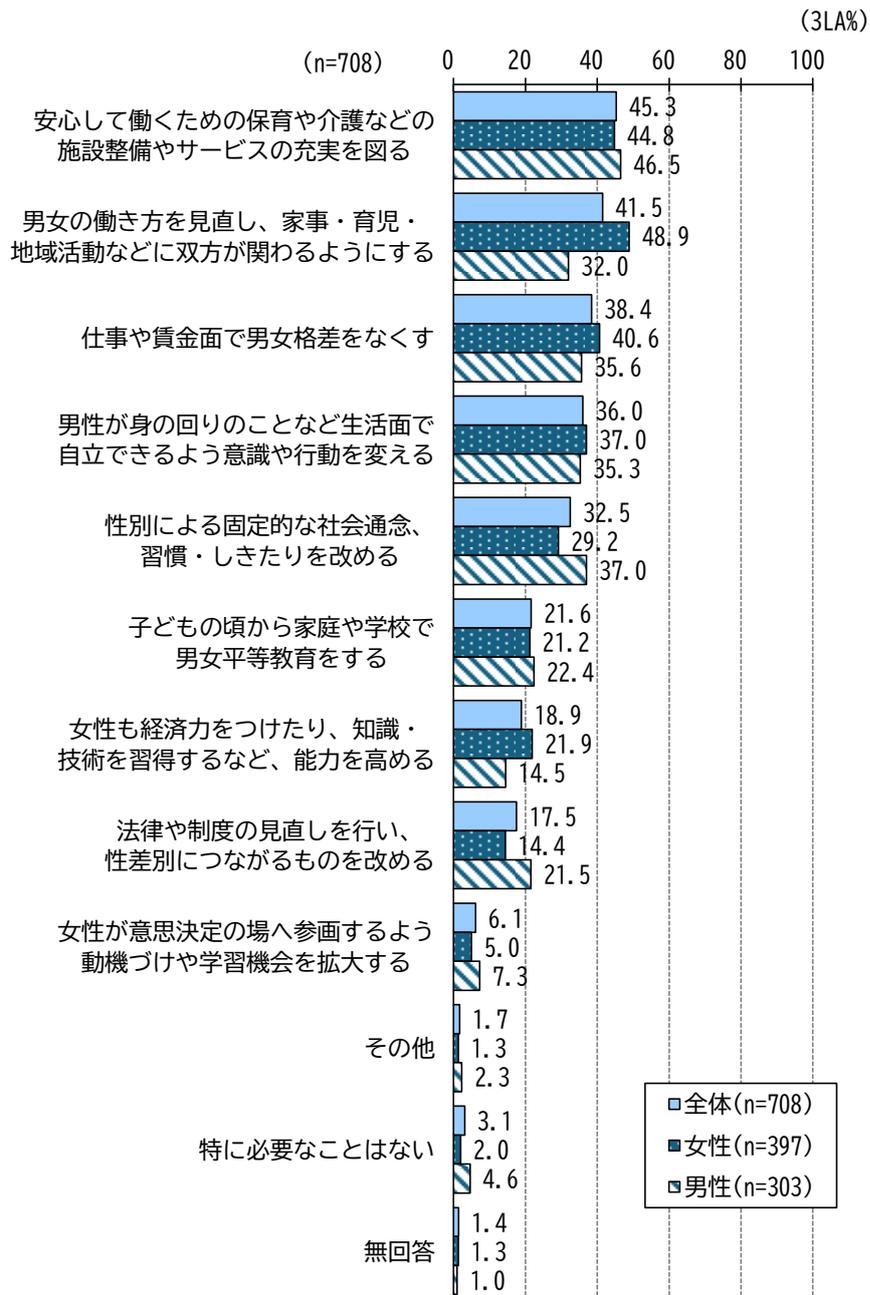


問2 あなたは、今後さらに、だれもが暮らしやすい社会になるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

【全体】

○ だれもが暮らしやすい社会になるために必要なことについて、「安心して働くための保育や介護などの施設整備やサービスの充実を図る」が45.3%で最も多く、次いで「男女の働き方を見直し、家事・育児・地域活動などに双方が関わるようにする」が41.5%、「仕事や賃金面で男女格差をなくす」が38.4%となっています。

【だれもが暮らしやすい社会になるために必要なこと(3LA)】



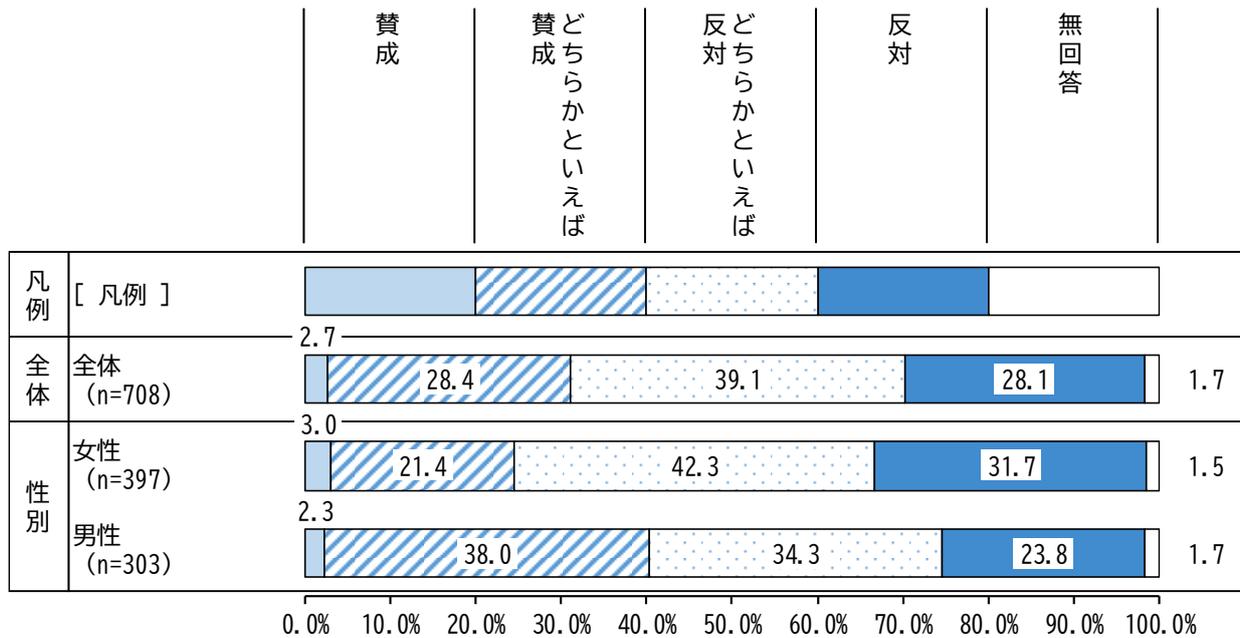
		だれもが暮らしやすい社会になるために必要なこと(3LA)																								
母数 (n)		性 差 別 に つ な が る も の を 改 め る	法 律 や 制 度 の 見 直 し を 行 い 、 習 慣 ・ し き た り を 改 め る	性 別 に よ る 固 定 的 な 社 会 通 念 、	男 子 の 頃 か ら 家 庭 や 学 校 で 男 女 平 等 教 育 を す る	仕 事 や 賃 金 面 で 男 女 格 差 を な く す	双 方 が 関 わ る よ う に す る	家 事 ・ 育 児 ・ 地 域 活 動 な ど に	男 女 の 働 き 方 を 見 直 し 、	サ ー ビ ス の 充 実 を 図 る	介 護 な ど の 施 設 整 備 や	安 心 し て 働 く た め の 保 育 や	学 習 機 会 を 拡 大 す る	参 画 す る よ う な 機 構 の 設 立 や	女 性 が 意 思 決 定 の 場 合 へ	能 力 を 高 め る	知 識 ・ 技 術 を 習 得 す る な ど 、	女 性 も 経 済 力 を つ け たり 、	意 識 や 行 動 を 変 え る	男 性 が 身 の 回 り の こ と な ど	生 活 面 で 自 立 で き る よ う	そ の 他	特 に 必 要 な こ と は な い	無 回 答		
全体		708	17.5	32.5	21.6	38.4	41.5	45.3	6.1	18.9	36.0	1.7	3.1	1.4												
性 年 齢	女性20歳代以下	20	15.0	35.0	▼ 10.0	△ 70.0	△ 65.0	▼ 25.0	5.0	10.0	▼ 25.0	5.0	-	-												
	女性30歳代	34	11.8	▼ 17.6	26.5	35.3	△ 64.7	44.1	11.8	17.6	44.1	-	-													
	女性40歳代	45	15.6	37.8	22.2	37.8	△ 57.8	▼ 31.1	4.4	17.8	35.6	-	-	2.2												
	女性50歳代	71	14.1	35.2	18.3	33.8	△ 54.9	△ 56.3	4.2	15.5	38.0	2.8	-	-												
	女性60歳代	66	19.7	37.9	15.2	36.4	48.5	50.0	6.1	24.2	36.4	1.5	1.5	-												
	女性70歳代以上	152	13.2	▼ 22.4	23.0	42.8	38.8	44.1	3.9	27.6	36.2	0.7	4.6	2.6												
	男性20歳代以下	17	▼ 5.9	35.3	29.4	▼ 23.5	△ 58.8	52.9	11.8	23.5	▼ 11.8	-	5.9	-												
	男性30歳代	19	△ 36.8	31.6	21.1	△ 52.6	47.4	▼ 31.6	10.5	15.8	26.3	-	-													
	男性40歳代	35	20.0	37.1	17.1	31.4	▼ 20.0	51.4	2.9	14.3	37.1	8.6	8.6	-												
	男性50歳代	51	23.5	33.3	15.7	▼ 27.5	▼ 23.5	45.1	3.9	11.8	△ 49.0	-	9.8	-												
	男性60歳代	55	△ 30.9	△ 43.6	21.8	45.5	32.7	54.5	7.3	10.9	27.3	1.8	3.6	1.8												
男性70歳代以上	120	16.7	35.8	27.5	35.8	32.5	43.3	9.2	15.0	38.3	0.8	2.5	1.7													

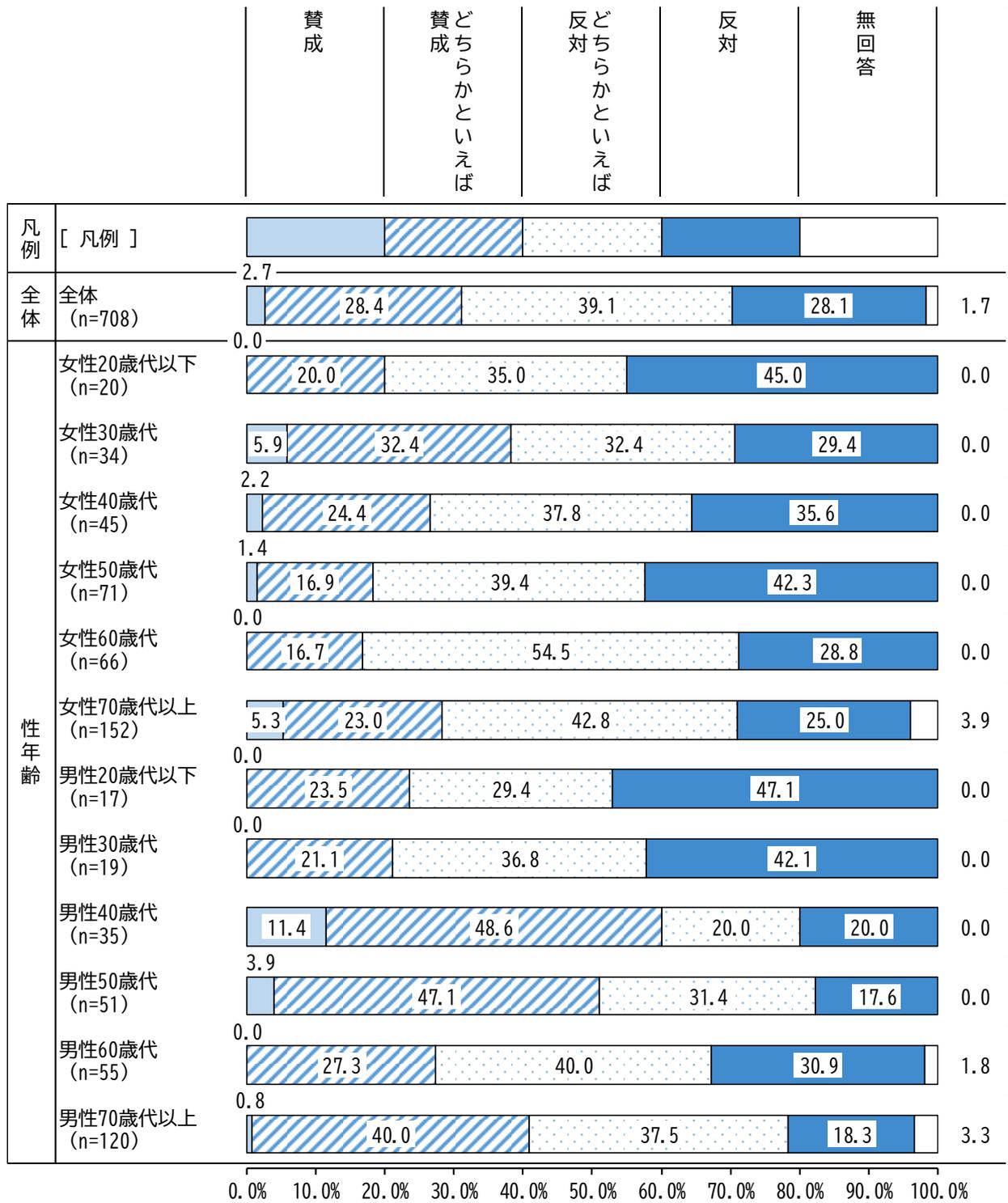
問3 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。①～⑨までそれぞれについてお答えください。(各項目で○は1つ)

①「男性は仕事、女性は家庭」という考え方

【全体】
○ 「どちらかといえば反対」が 39.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が 28.4%、「反対」が 28.1%となっています。
○ 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は 31.1%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は 67.2%となっています。

【①「男性は仕事、女性は家庭」という考え方】



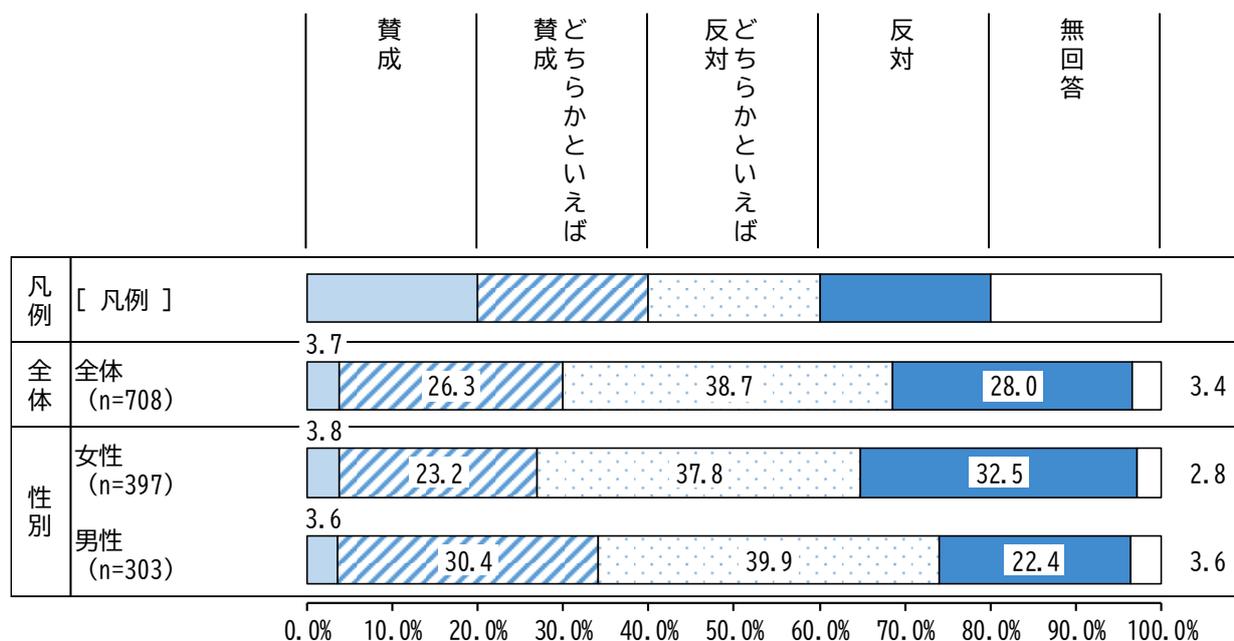


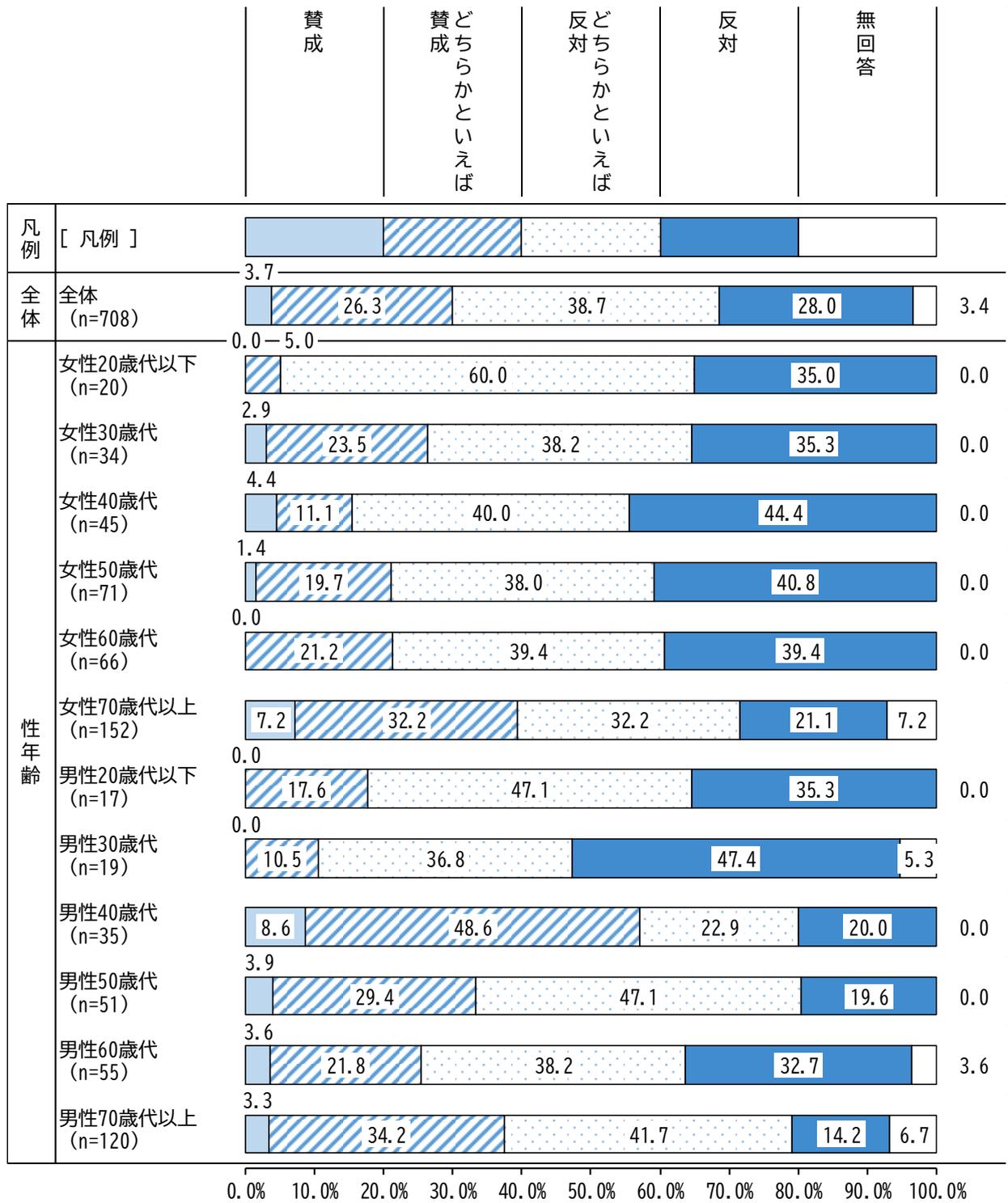
②女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい

【全体】

- 「どちらかといえば反対」が38.7%で最も多く、次いで「反対」が28.0%、「どちらかといえば賛成」が26.3%となっています。
- 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は30.0%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は66.7%となっています。

【②女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家庭を中心に考えて生活したほうがよい】



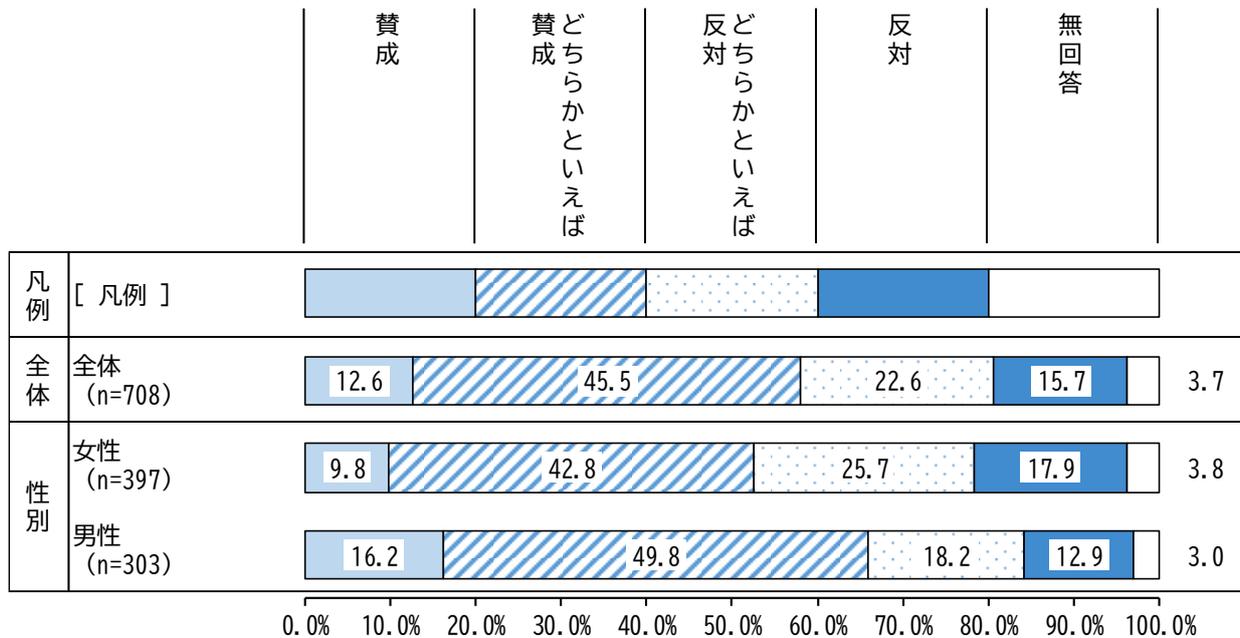


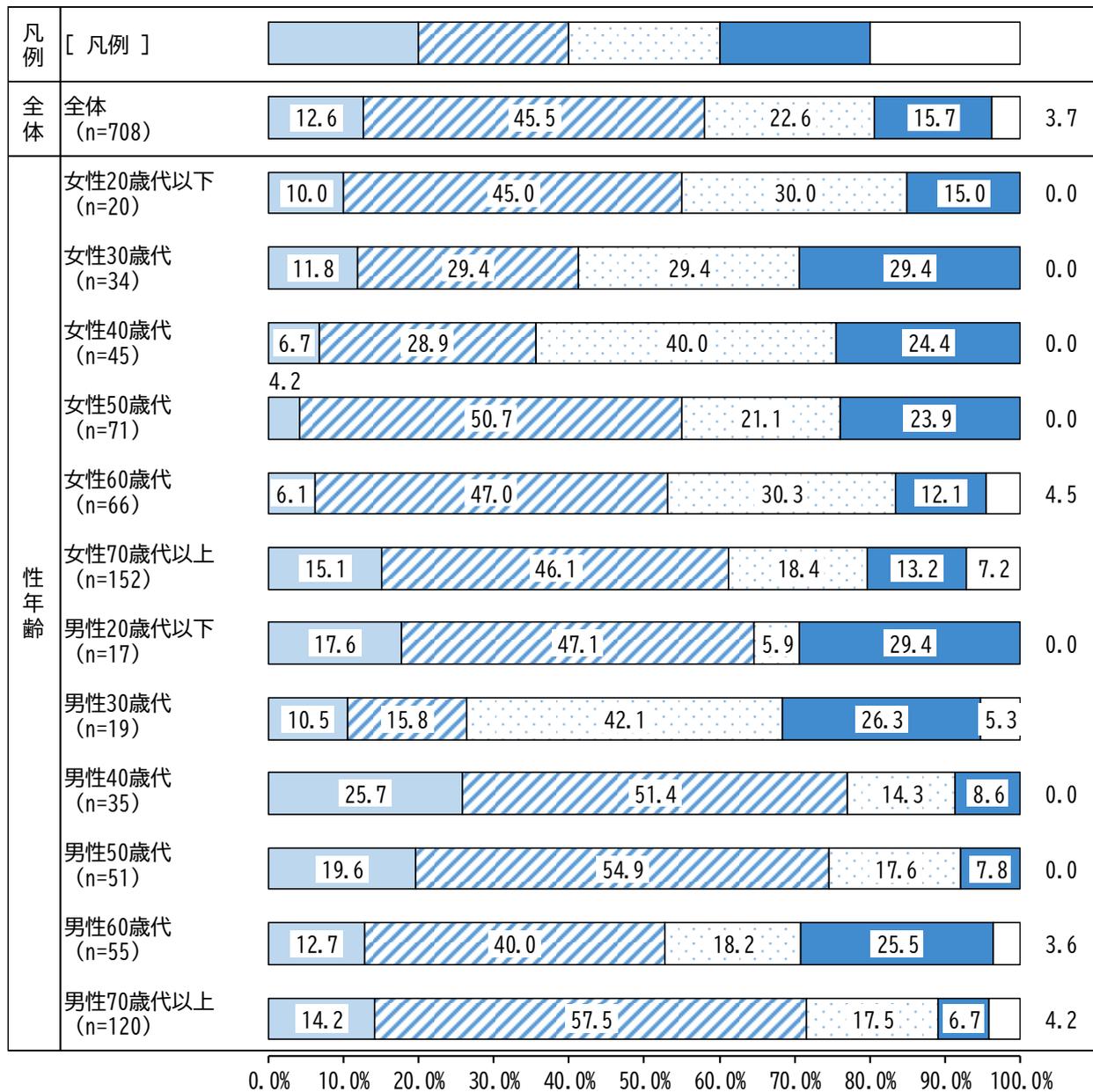
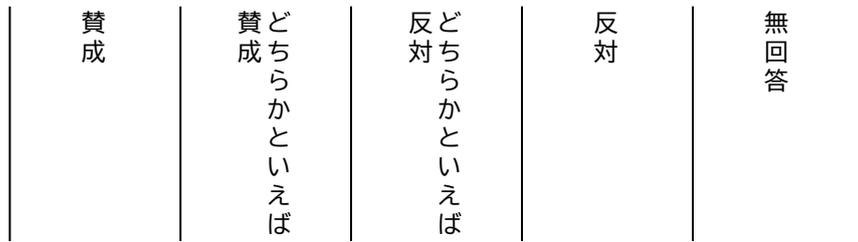
③妻子を養うのは男性の責任である

【全体】

- 「どちらかといえば賛成」が 45.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が 22.6%、「反対」が 15.7%となっています。
- 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は 58.1%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は 38.3%となっています。

【③妻子を養うのは男性の責任である】



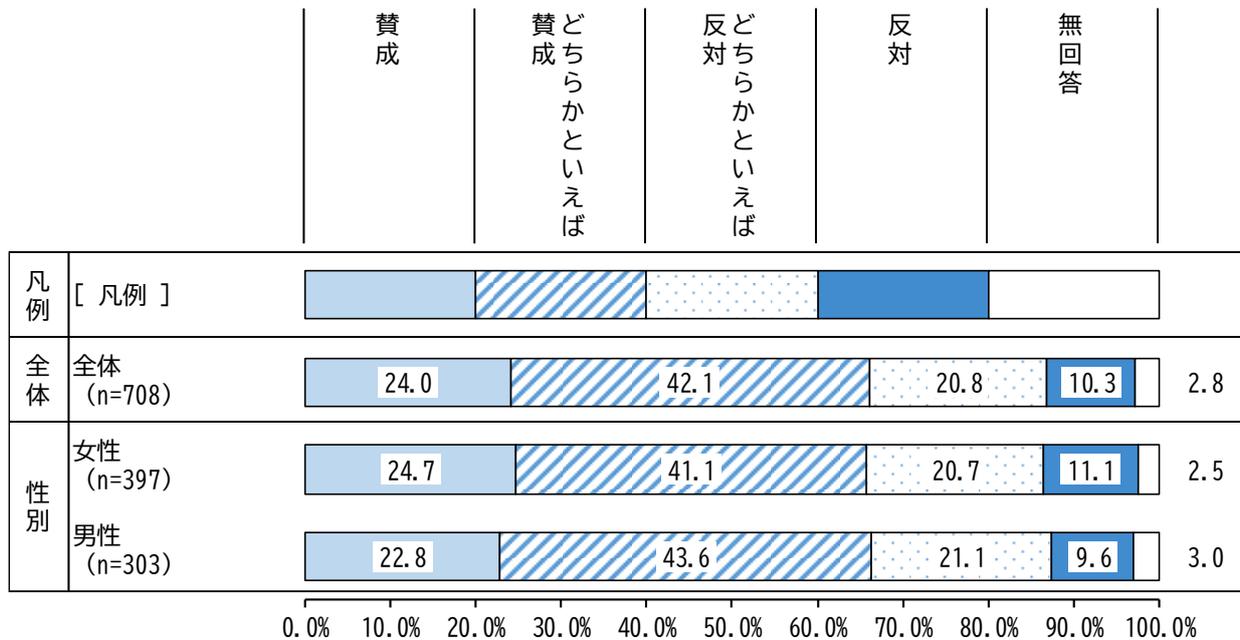


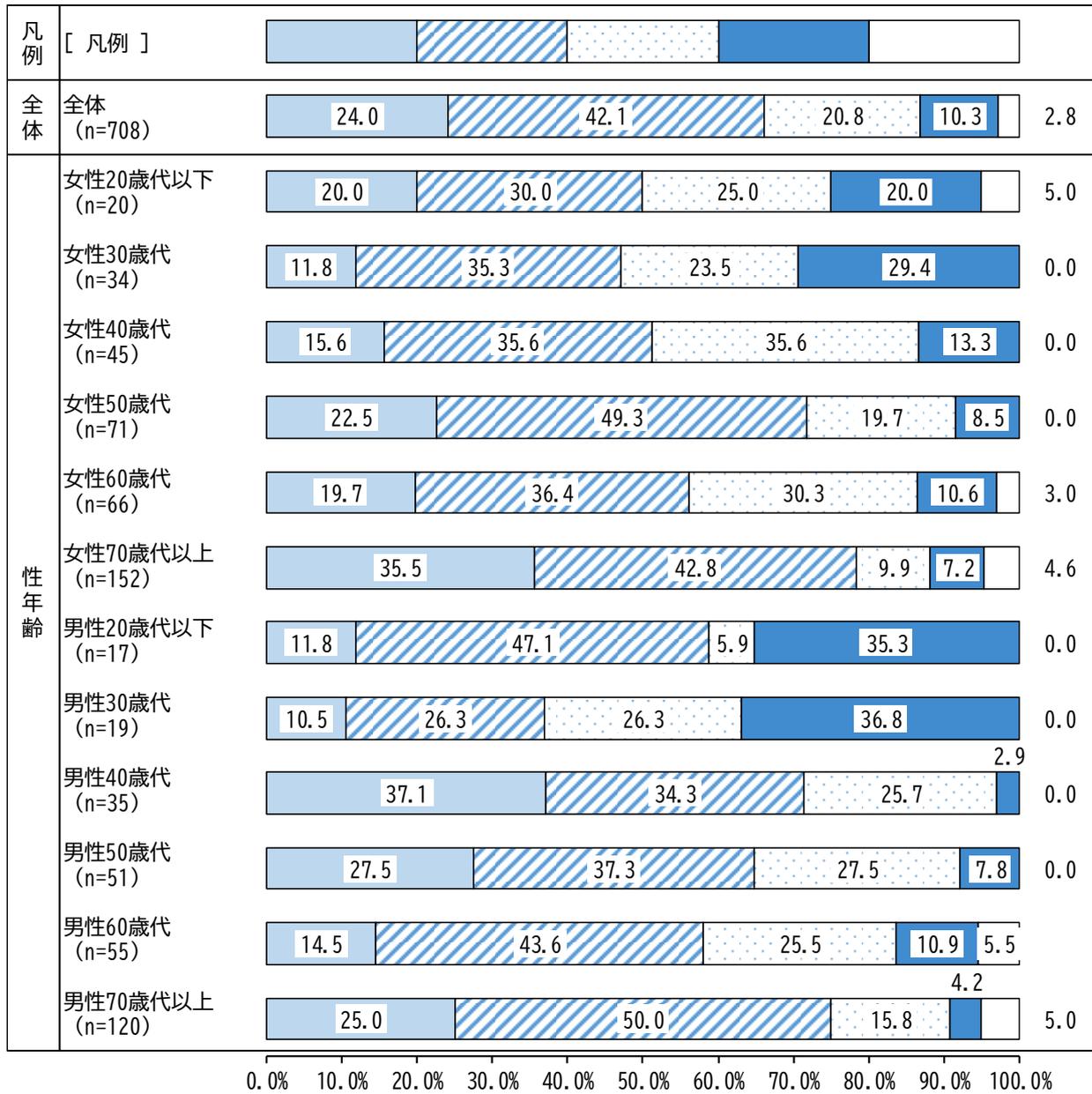
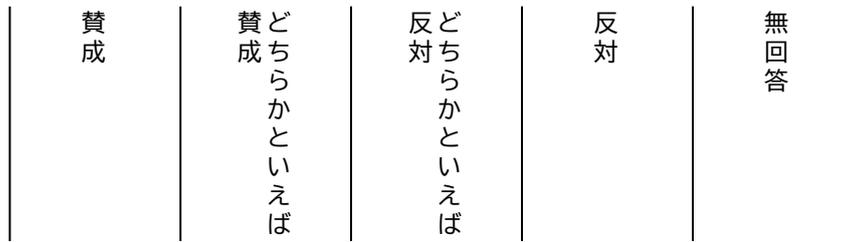
④子どもが3歳までは母親の手で育てるのがよい

【全体】

- 「どちらかといえば賛成」が42.1%で最も多く、次いで「賛成」が24.0%、「どちらかといえば反対」が20.8%となっています。
- 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は66.1%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は31.1%となっています。

【④子どもが3歳までは母親の手で育てるのがよい】



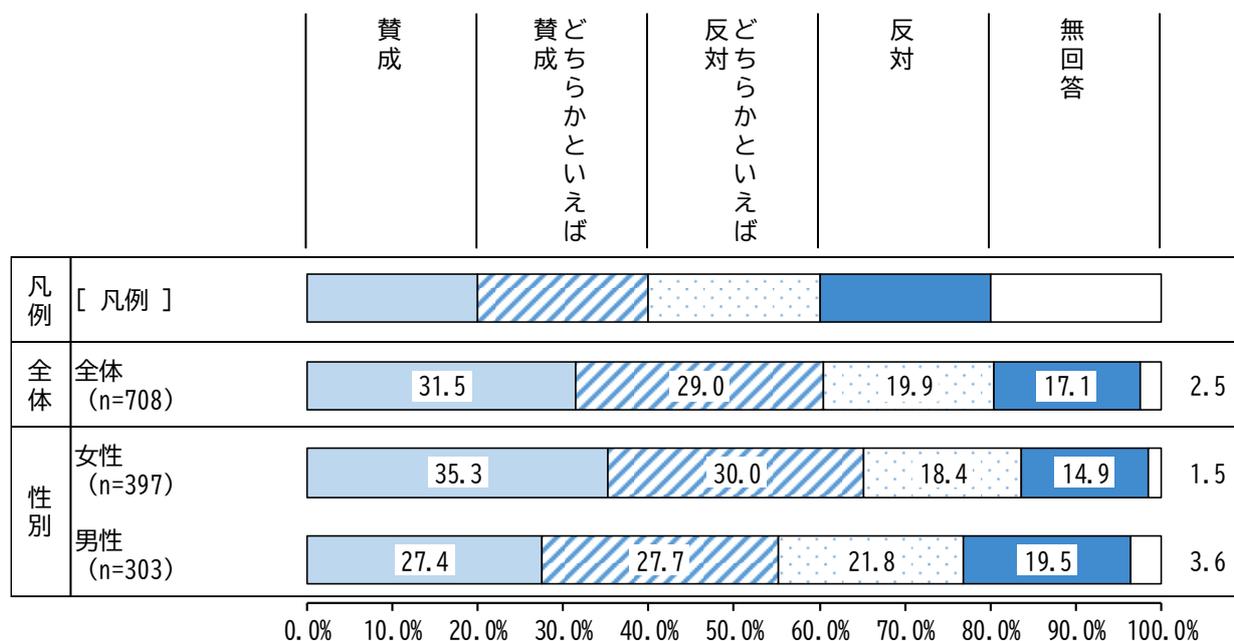


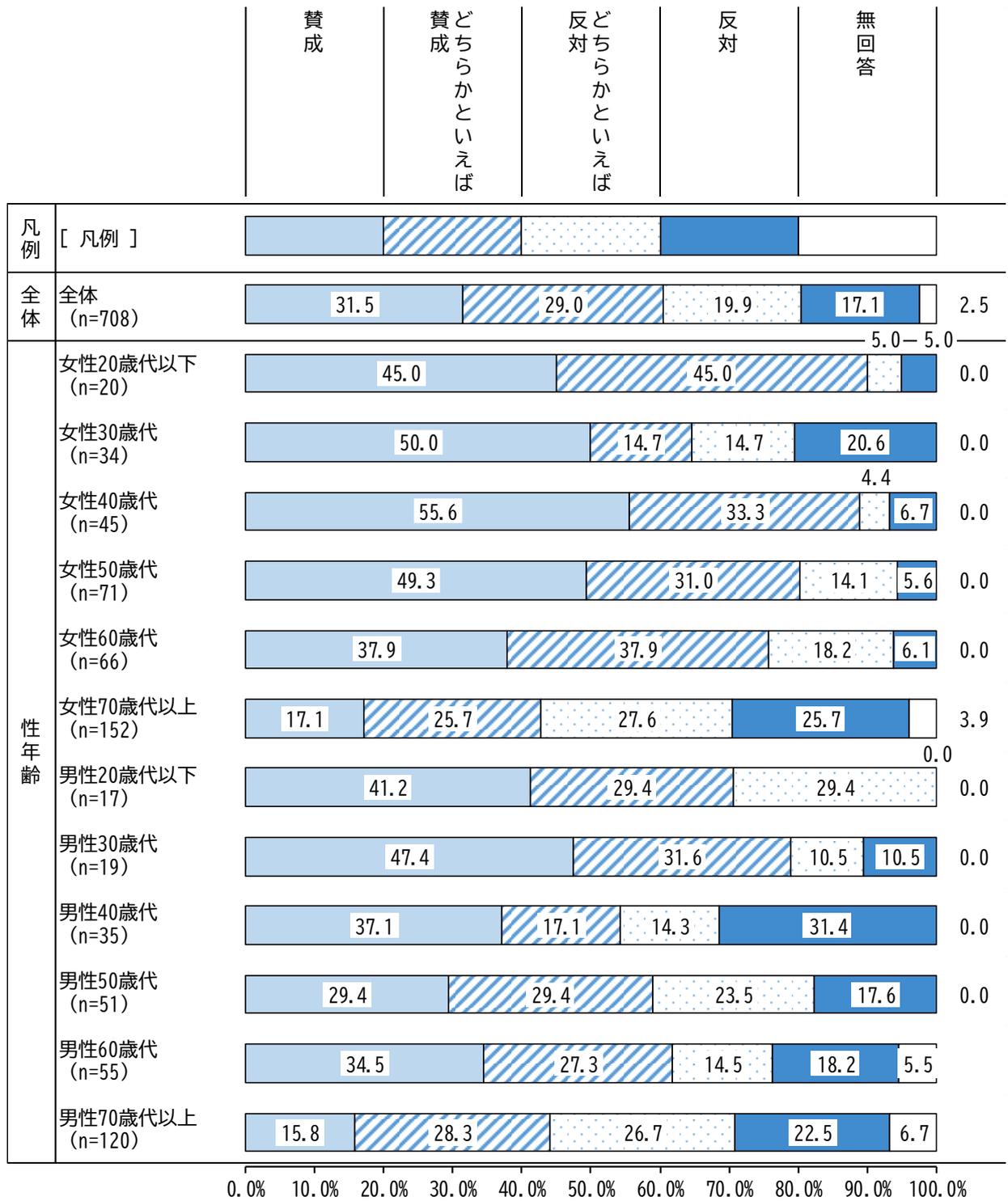
⑤希望する夫婦は別々の姓を名乗っても構わない

【全体】

- 「賛成」が31.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が29.0%、「どちらかといえば反対」が19.9%となっています。
- 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は60.5%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は37.0%となっています。

【⑤希望する夫婦は別々の姓を名乗っても構わない】



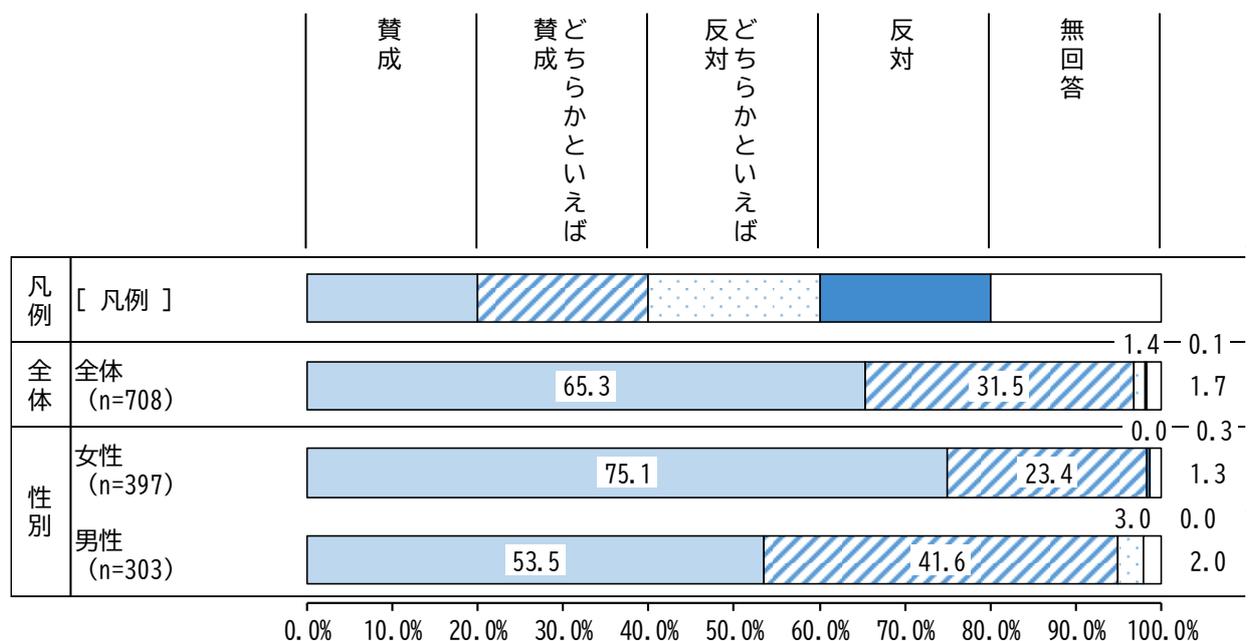


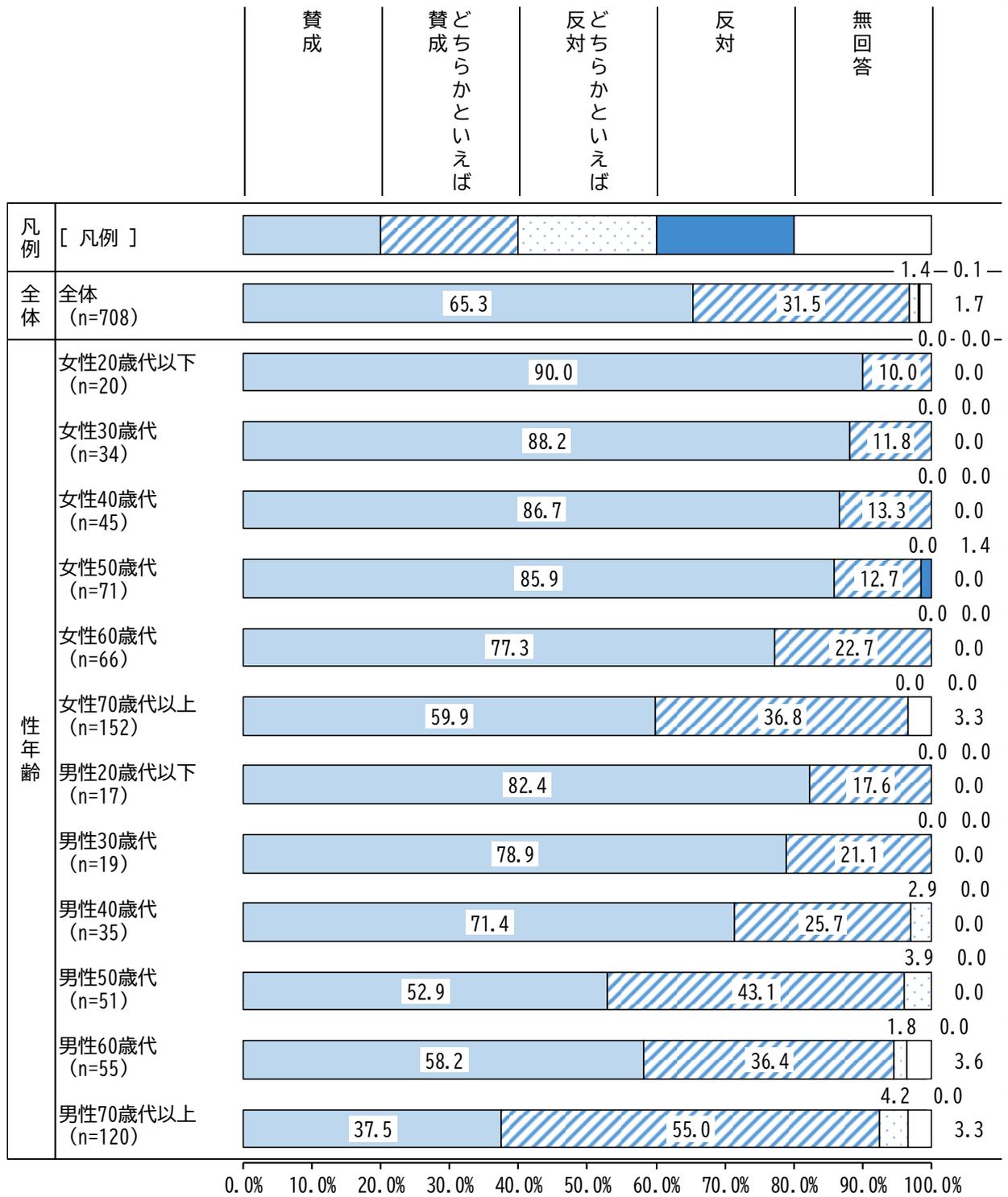
⑥父親も子育てに積極的に関わった方がよい

【全体】

- 「賛成」が65.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が31.5%、「どちらかといえば反対」が1.4%となっています。
- 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は96.8%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は1.5%となっています。

【⑥父親も子育てに積極的に関わった方がよい】

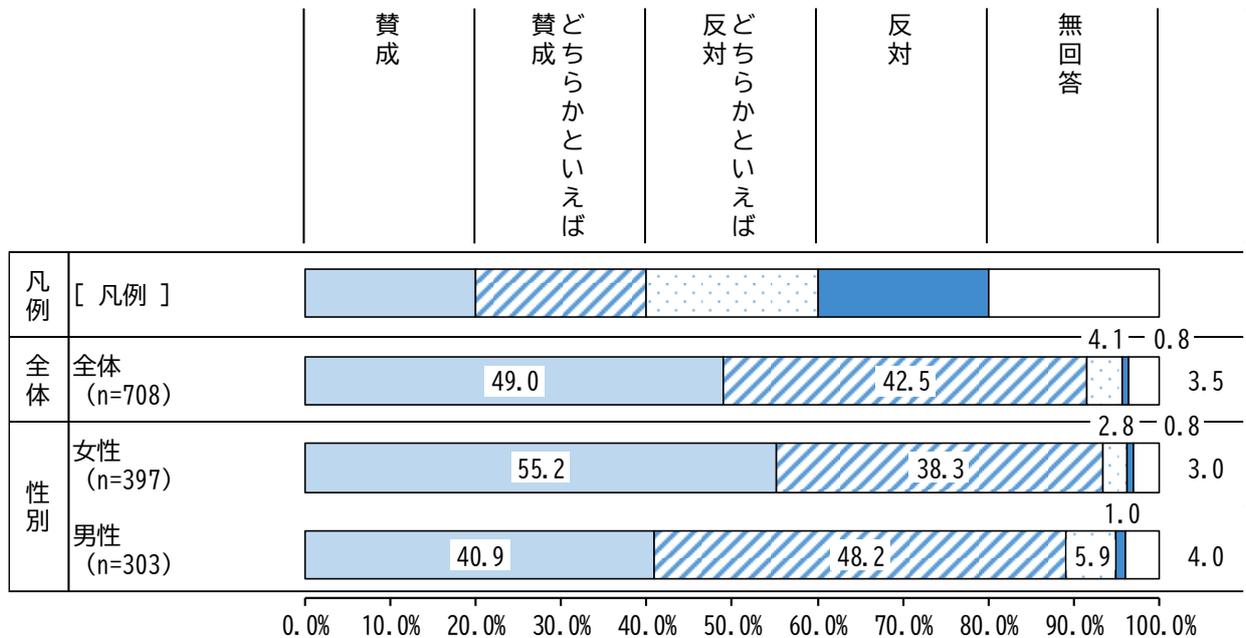


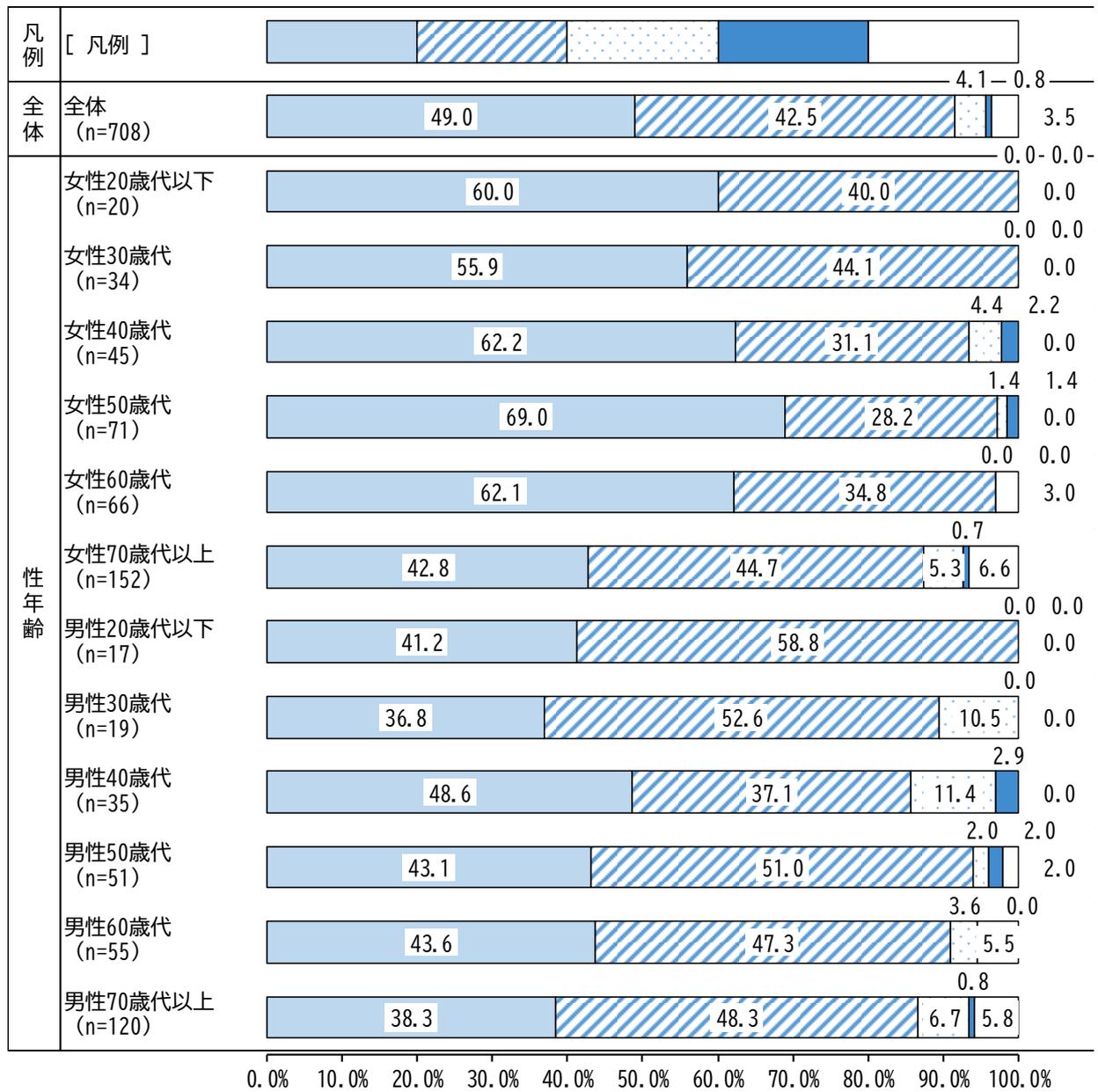
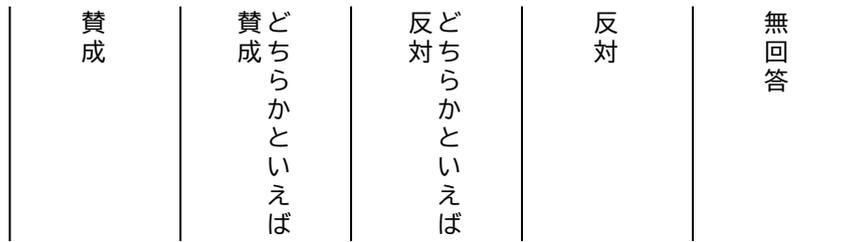


⑦政治など方針決定の場に参画する女性が今よりも増えた方がよい

- 【全体】
- 「賛成」が49.0%で最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が42.5%、「どちらかといえば反対」が4.1%となっています。
 - 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は91.5%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は4.9%となっています。

【⑦政治など方針決定の場に参画する女性が今よりも増えた方がよい】



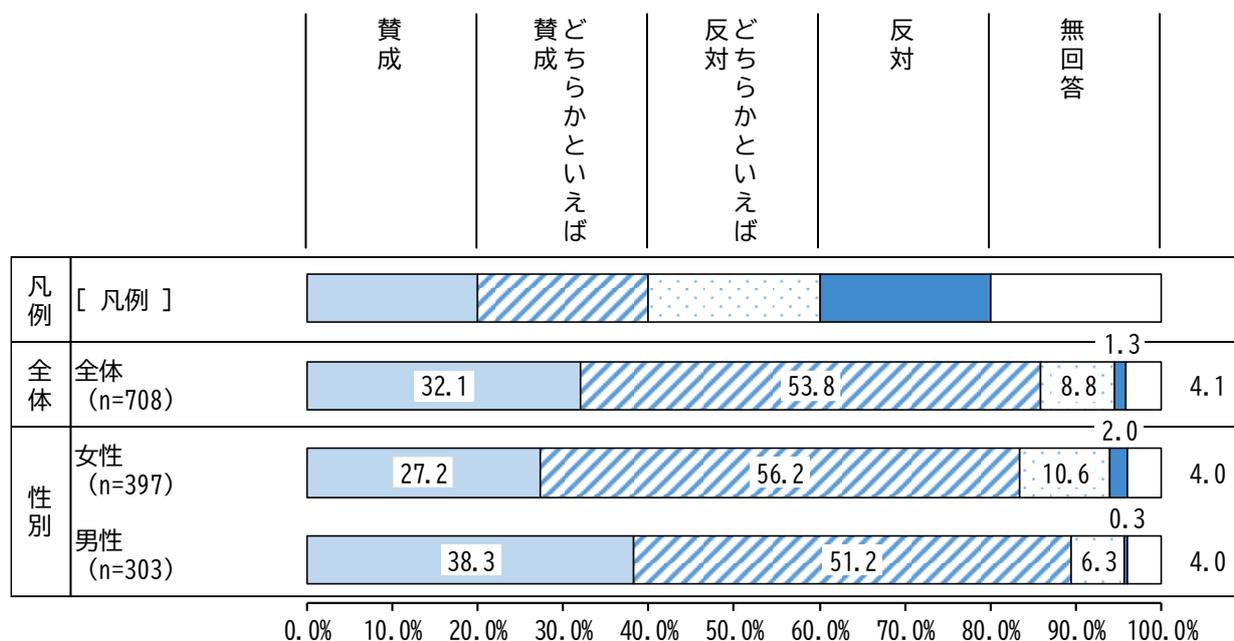


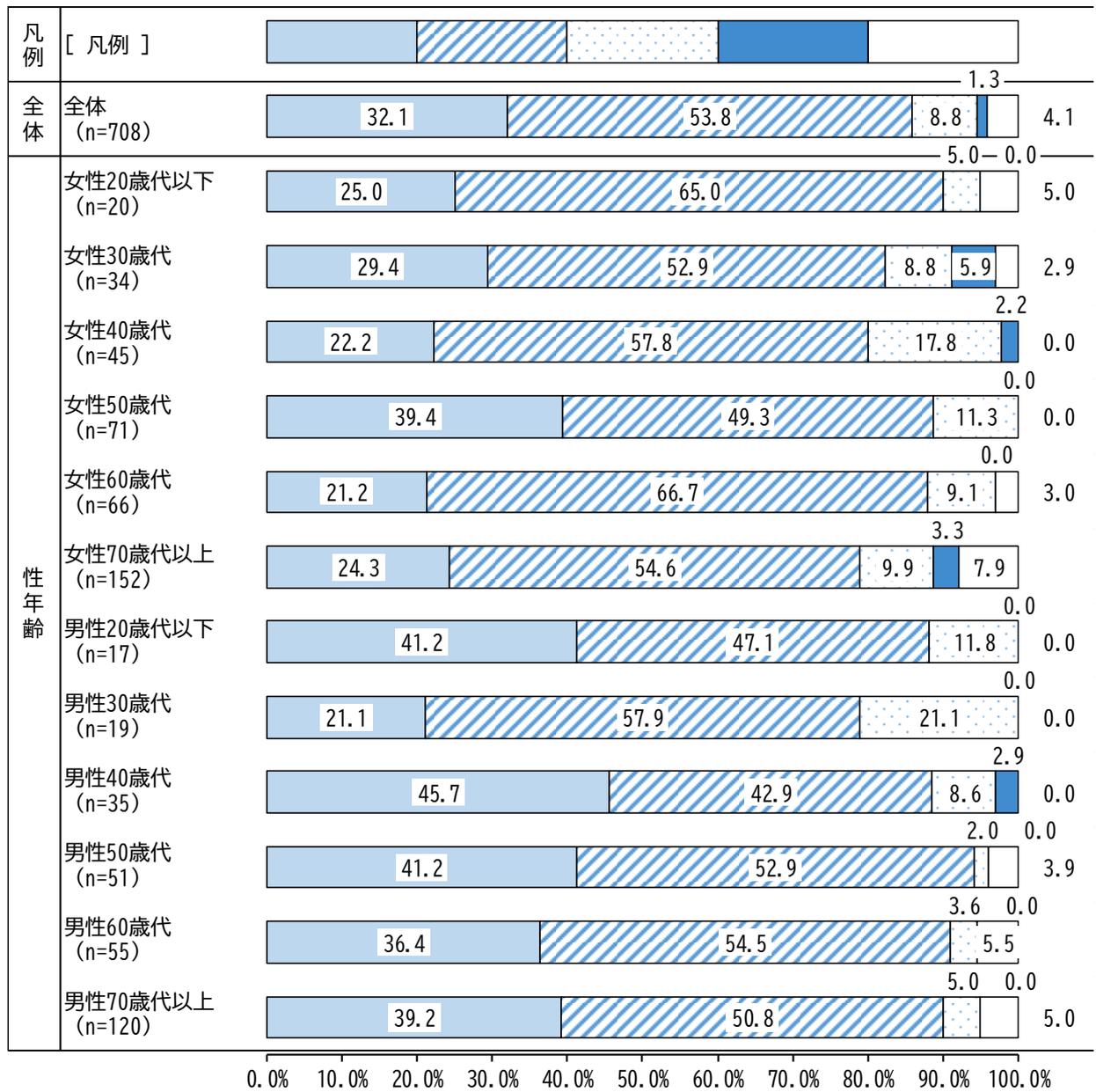
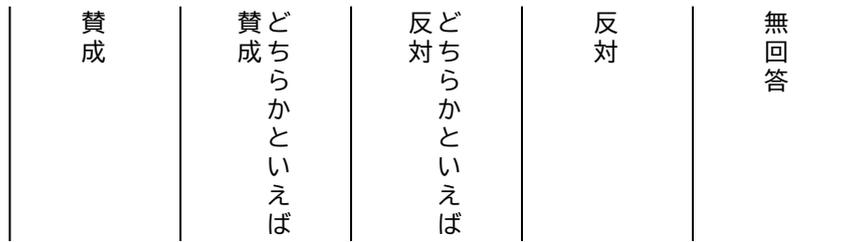
⑧自治会やPTAなどの会長や役員に女性が増えた方がよい

【全体】

- 「どちらかといえば賛成」が53.8%で最も多く、次いで「賛成」が32.1%、「どちらかといえば反対」が8.8%となっています。
- 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は85.9%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は10.1%となっています。

【⑧自治会やPTAなどの会長や役員に女性が増えた方がよい】



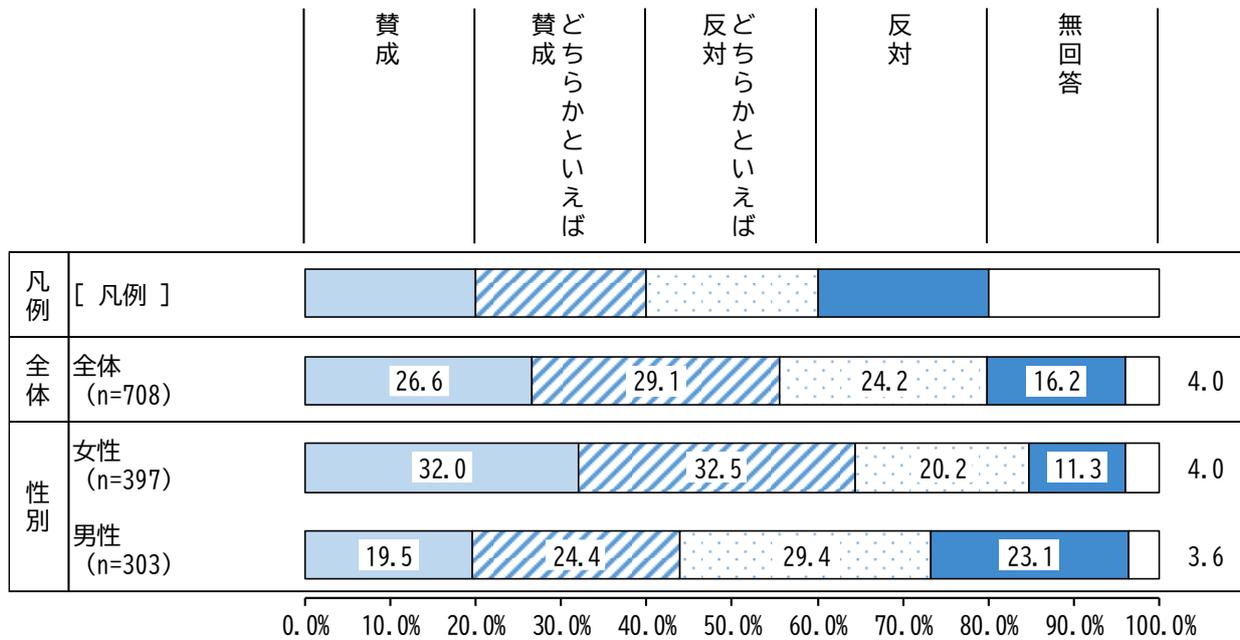


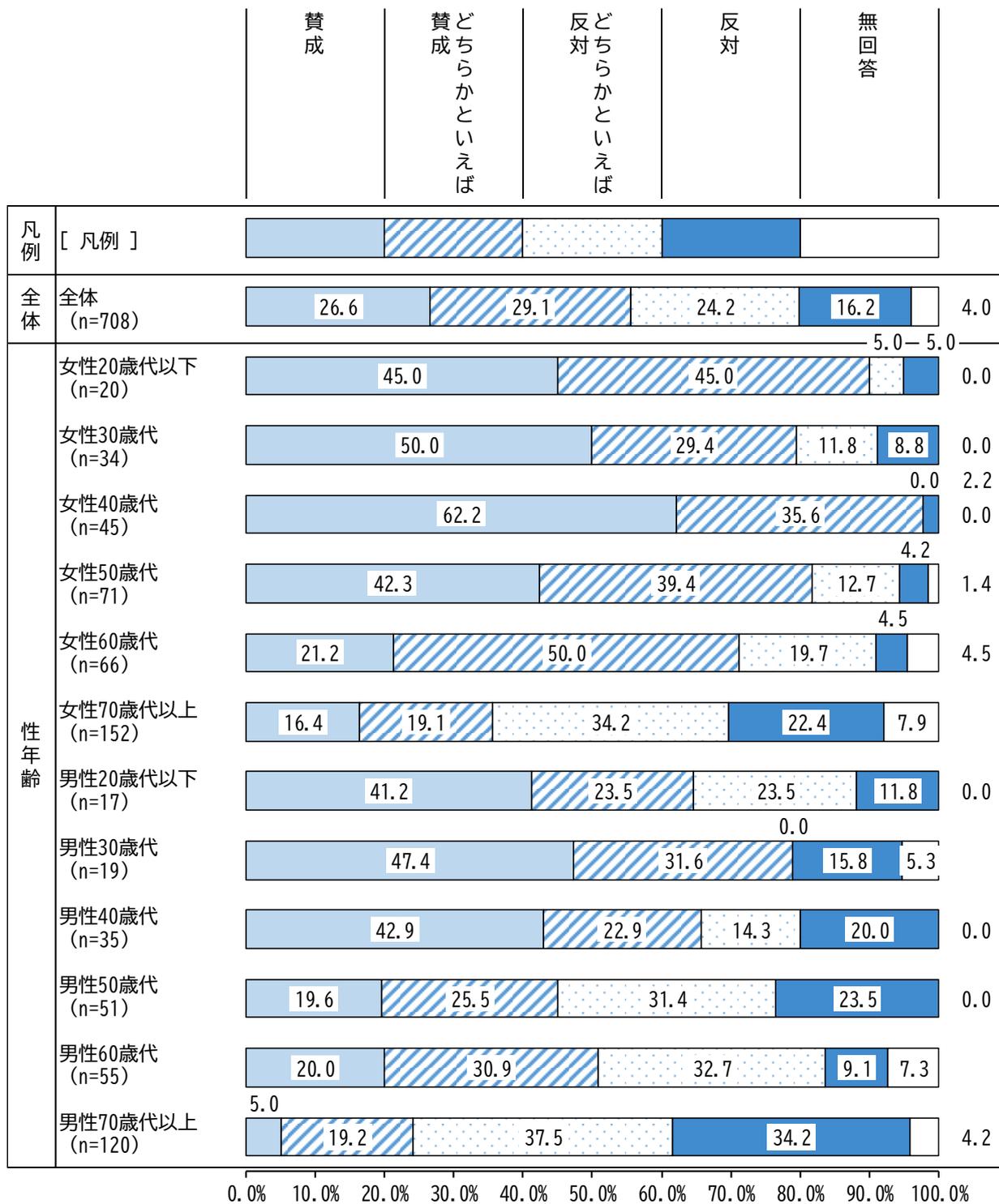
⑨同性同士の結婚を認めてよい

【全体】

- 「どちらかといえば賛成」が29.1%で最も多く、次いで「賛成」が26.6%、「どちらかといえば反対」が24.2%となっています。
- 「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた“賛成”は55.7%となっています。「反対」「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は40.4%となっています。

【⑨同性同士の結婚を認めてよい】



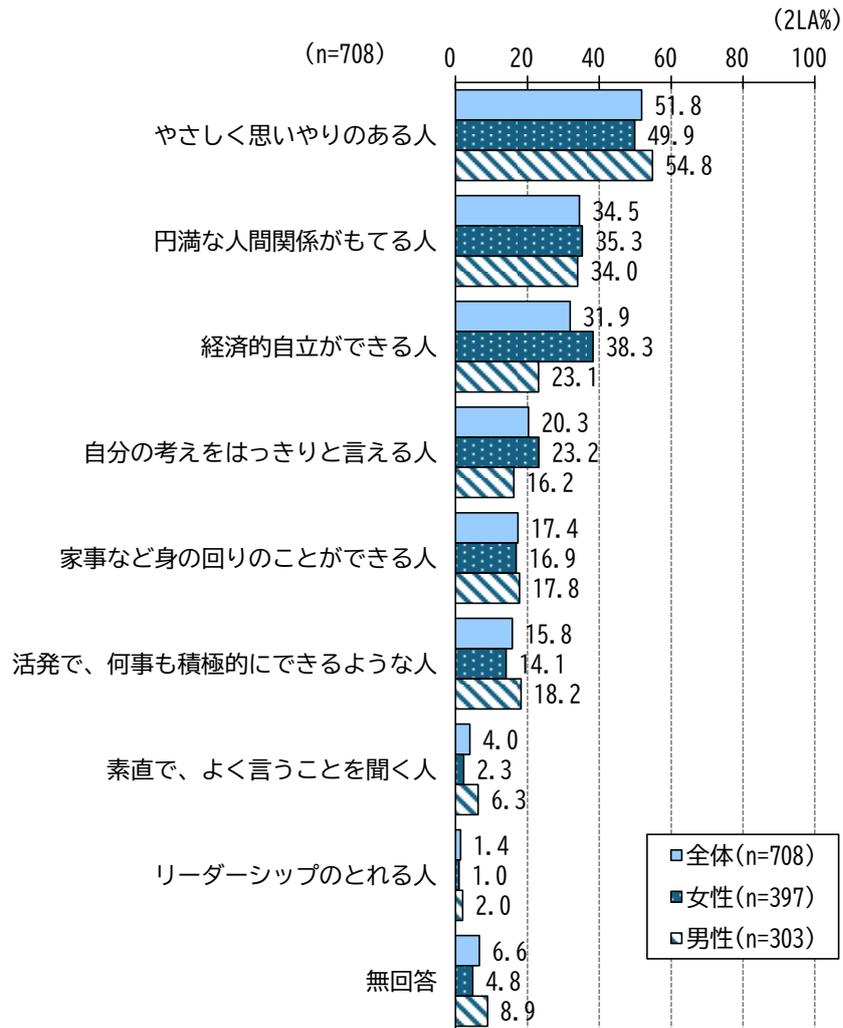


問4 あなたは、自分の子どもが、特にどのような人に育ててほしいと思いますか。女の子、男の子どちらかだけいる方は、両方を想定して、現在子どもがいない方は、いる場合を想定して、お答えください。（「女の子の場合」「男の子の場合」それぞれ〇は2つまで）

①女の子の場合(2LA)

【全体】
 ○ 「やさしく思いやりのある人」が 51.8%で最も多く、次いで「円満な人間関係がもてる人」が 34.5%、「経済的自立ができる人」が 31.9%となっています。

【①女の子の場合(2LA)】



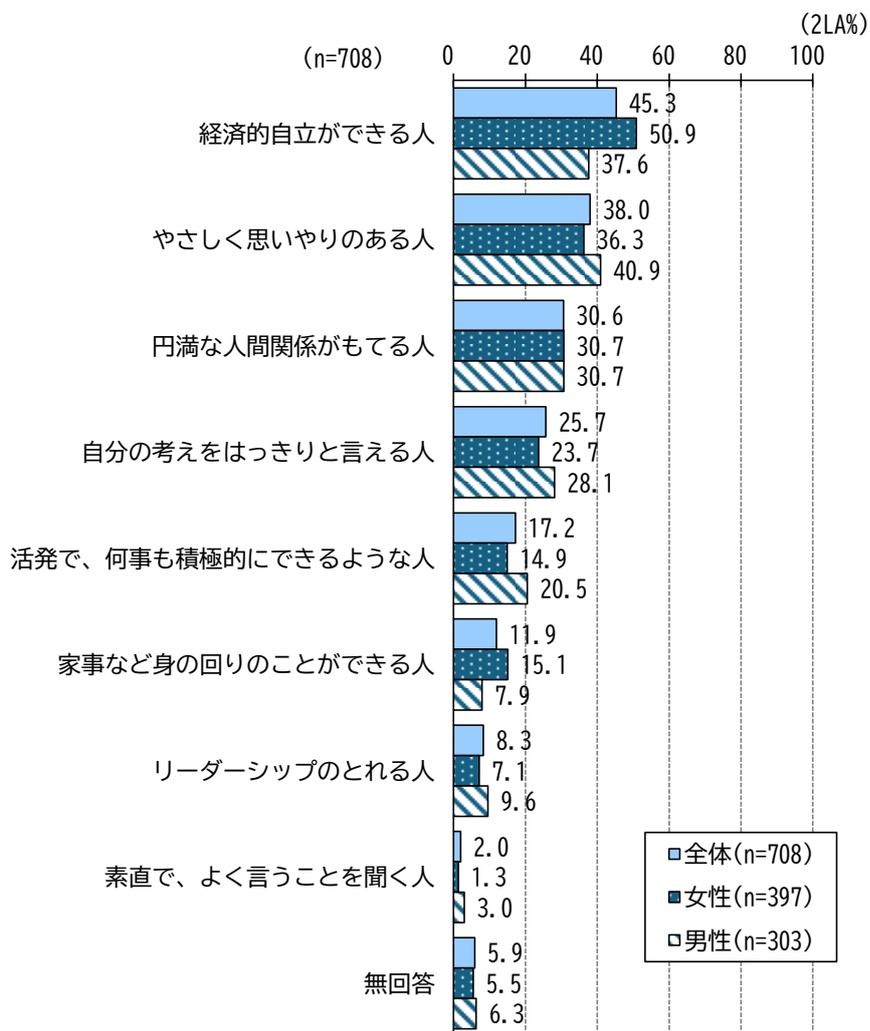
		母数 (n)	①女の子の場合(2LA)								
			やさしく思いやりのある人	自分の考えを はつきりと言える人	円満な人間関係がもてる人	リーダーシップのとれる人	家事など身の回りのことができる人	経済的自立ができる人	素直で、よく言うことを聞く人	活発で、何事も積極的にできるような人	無回答
全体		708	51.8	20.3	34.5	1.4	17.4	31.9	4.0	15.8	6.6
性 年 齢	女性20歳代以下	20	△ 70.0	15.0	△ 55.0	5.0	10.0	25.0	-	10.0	-
	女性30歳代	34	47.1	△ 32.4	35.3	-	8.8	29.4	8.8	△ 26.5	2.9
	女性40歳代	45	▼ 26.7	24.4	△ 51.1	4.4	11.1	△ 46.7	2.2	20.0	4.4
	女性50歳代	71	47.9	22.5	▼ 21.1	-	22.5	△ 52.1	4.2	12.7	5.6
	女性60歳代	66	56.1	19.7	34.8	-	18.2	31.8	-	12.1	6.1
	女性70歳代以上	152	53.3	23.0	34.2	0.7	18.4	34.9	1.3	11.8	5.3
	男性20歳代以下	17	△ 70.6	17.6	41.2	5.9	▼ 5.9	29.4	△ 17.6	5.9	-
	男性30歳代	19	▼ 21.1	△ 36.8	31.6	10.5	15.8	△ 42.1	5.3	▼ 5.3	15.8
	男性40歳代	35	51.4	11.4	34.3	-	20.0	28.6	8.6	25.7	2.9
	男性50歳代	51	60.8	13.7	31.4	2.0	21.6	▼ 21.6	5.9	25.5	5.9
	男性60歳代	55	52.7	16.4	32.7	-	9.1	25.5	9.1	16.4	16.4
	男性70歳代以上	120	56.7	15.0	35.0	1.7	22.5	▼ 17.5	3.3	16.7	8.3

②男の子の場合(2LA)

【全体】

- 「経済的自立ができる人」が45.3%で最も多く、次いで「やさしく思いやりのある人」が38.0%、「円満な人間関係がもてる人」が30.6%となっています。

【②男の子の場合(2LA)】



		②男の子の場合(2LA)									
		母数 (n)	やさしく思いやりのある人	自分の考えを はっきりと言える人	円満な人間関係がもてる人	リーダーシップのとれる人	家事など身の回りのことができる人	経済的自立ができる人	素直で、よく言うことを聞く人	活発で、何事も積極的にできるような人	無回答
全体		708	38.0	25.7	30.6	8.3	11.9	45.3	2.0	17.2	5.9
性 年 齢	女性20歳代以下	20	△ 65.0	▼ 10.0	35.0	5.0	15.0	45.0	-	20.0	-
	女性30歳代	34	△ 52.9	20.6	29.4	2.9	11.8	▼ 35.3	2.9	26.5	5.9
	女性40歳代	45	28.9	17.8	△ 46.7	6.7	△ 24.4	46.7	4.4	20.0	-
	女性50歳代	71	35.2	28.2	▼ 18.3	4.2	△ 25.4	54.9	1.4	12.7	7.0
	女性60歳代	66	43.9	▼ 15.2	33.3	3.0	19.7	50.0	1.5	13.6	1.5
	女性70歳代以上	152	28.9	29.6	29.6	11.2	6.6	54.6	-	11.8	8.6
	男性20歳代以下	17	47.1	35.3	29.4	11.8	△ 29.4	▼ 17.6	5.9	17.6	-
	男性30歳代	19	42.1	△ 36.8	21.1	15.8	10.5	42.1	-	10.5	10.5
	男性40歳代	35	42.9	17.1	40.0	5.7	8.6	▼ 31.4	8.6	△ 28.6	2.9
	男性50歳代	51	43.1	27.5	29.4	9.8	11.8	37.3	3.9	△ 27.5	2.0
	男性60歳代	55	45.5	18.2	36.4	3.6	▼ 1.8	36.4	1.8	21.8	14.5
男性70歳代以上	120	35.0	33.3	28.3	11.7	5.8	42.5	1.7	15.8	5.8	

3 家庭生活について

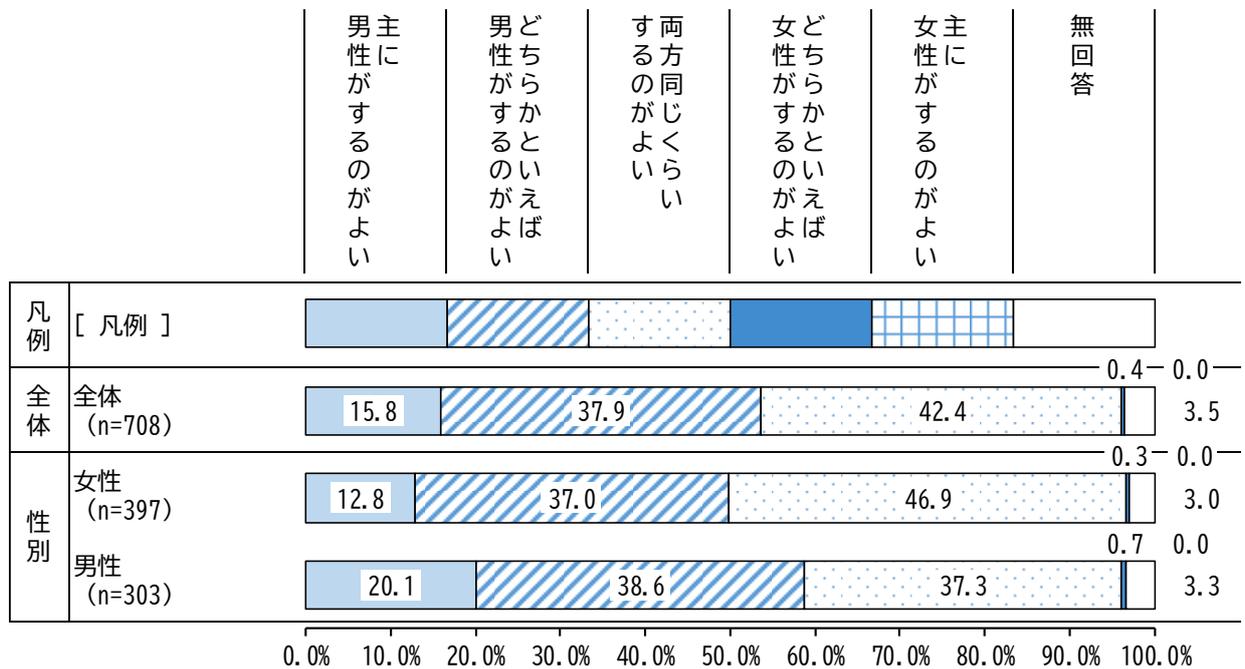
問5 家庭での分担について、あなたはどのようにするのが望ましいと思いますか。また実際にあなたの家庭では、どのように分担していますか。(①～⑦の項目について、理想と現実でそれぞれ○は1つ)

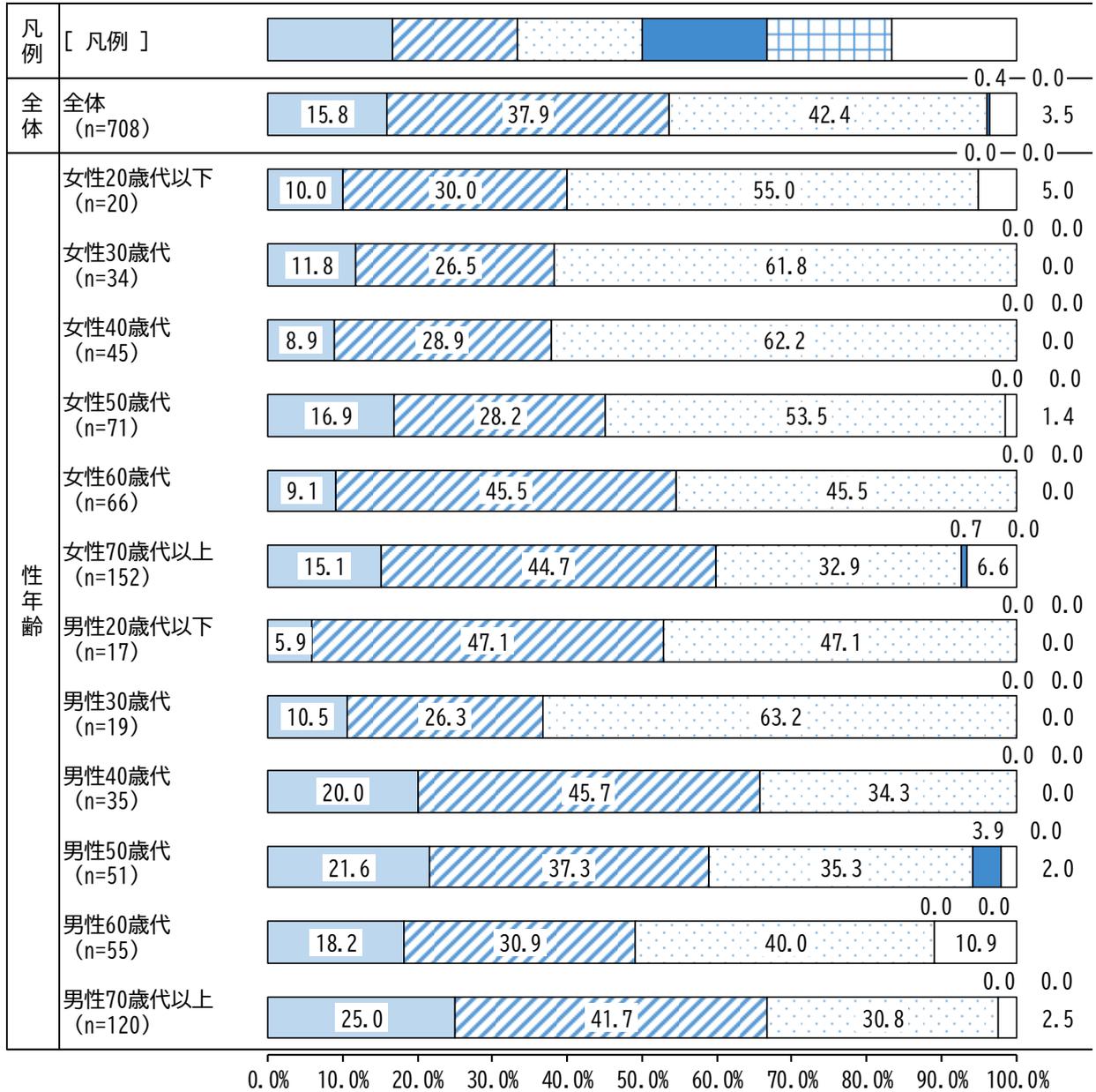
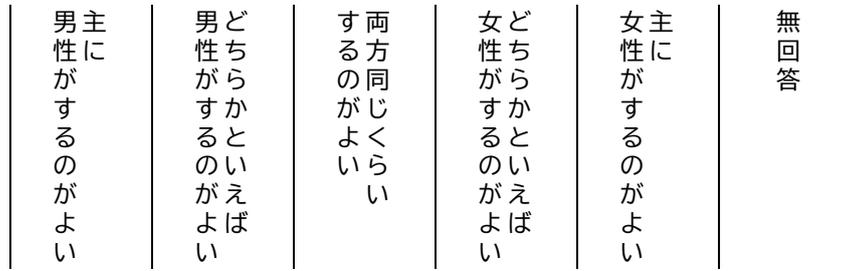
①生活費をかせぐ(理想)

【全体】

- 「両方同じくらいするのがよい」が42.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性がするのがよい」が37.9%、「主に男性がするのがよい」が15.8%となっています。
- 「主に男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は53.7%となっています。「主に女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は0.4%となっています。

【①生活費をかせぐ(理想)】



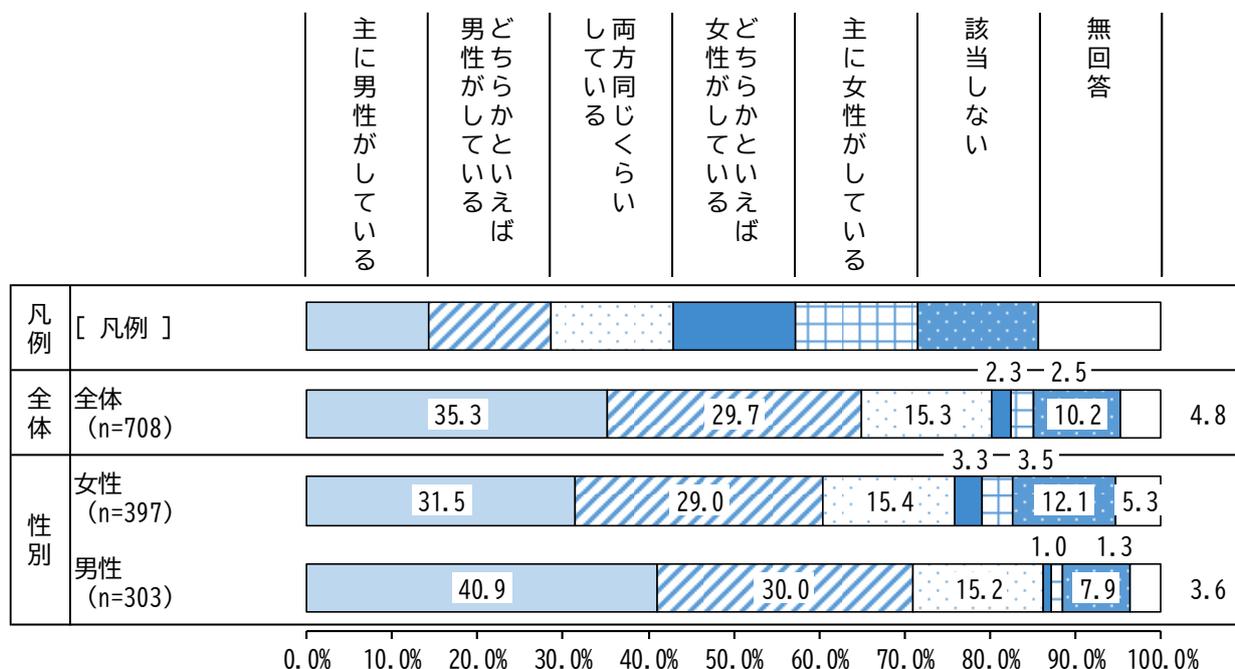


①生活費をかせぐ（現実）

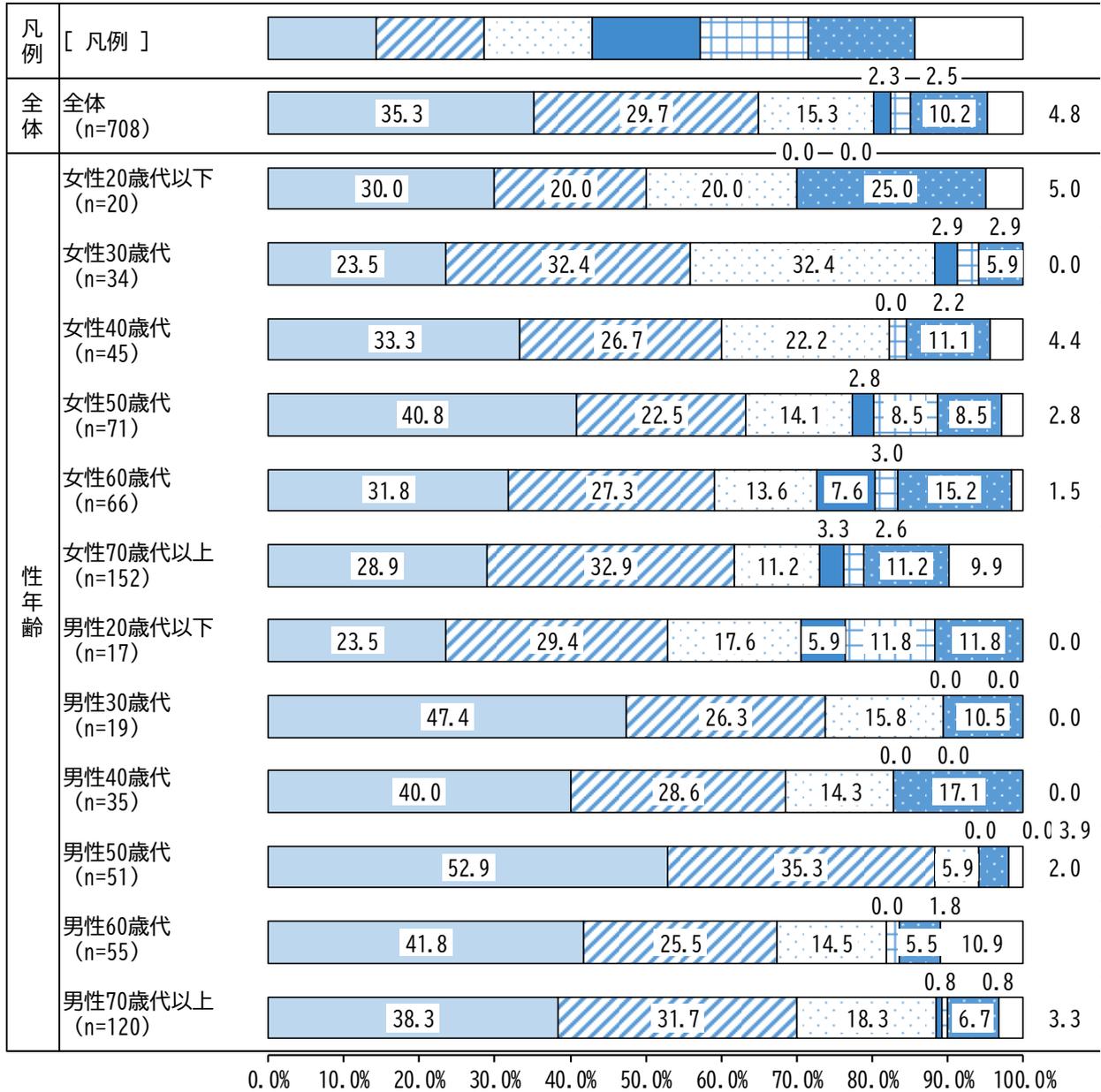
【全体】

- 「主に男性がしている」が 35.3%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性がしている」が 29.7%、「両方同じくらいしている」が 15.3%となっています。
- 「主に男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は 65.0%となっています。「主に女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は 4.8%となっています。

【①生活費をかせぐ（現実）】



主に男性がしている	どちらかといえば男性がしている	両方同じくらいしている	どちらかといえば女性がしている	主に女性がしている	該当しない	無回答
-----------	-----------------	-------------	-----------------	-----------	-------	-----

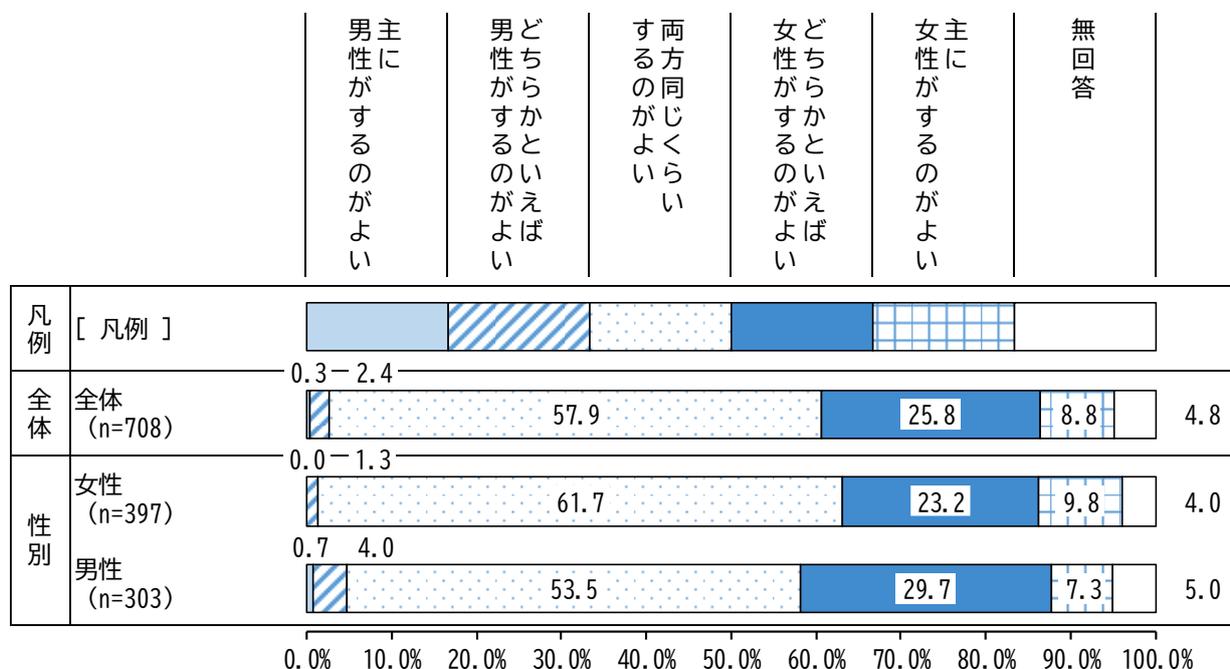


②日々の家計の管理（理想）

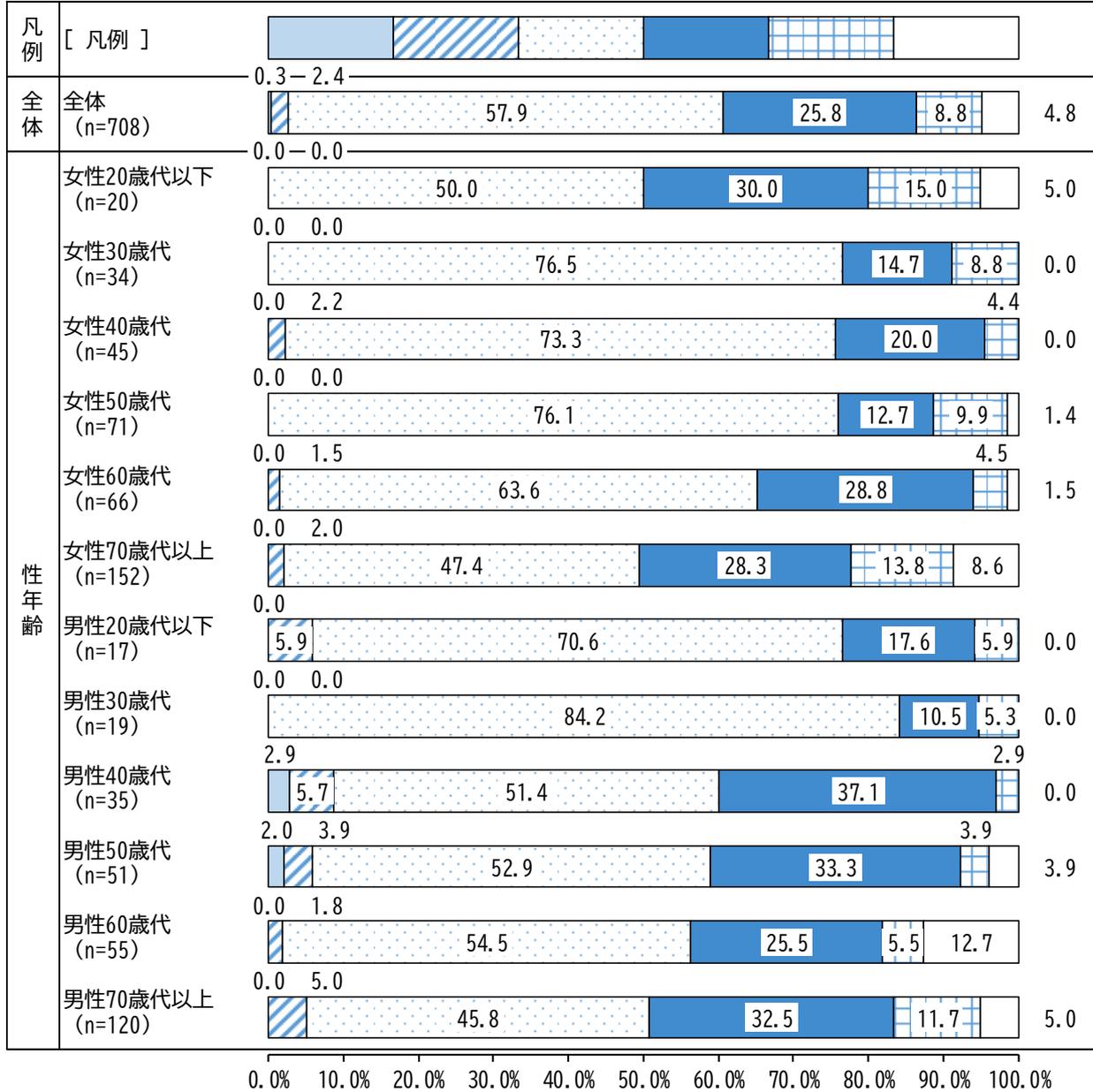
【全体】

- 「両方同じくらいするのがよい」が57.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が25.8%、「主に女性がするのがよい」が8.8%となっています。
- 「主に男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は2.7%となっています。「主に女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は34.6%となっています。

【②日々の家計の管理（理想）】



主に男性がするのがよい	どちらがするかといえはよい	両方が同じくらい	どちらがするかといえはよい	主に女性がするのがよい	無回答
-------------	---------------	----------	---------------	-------------	-----

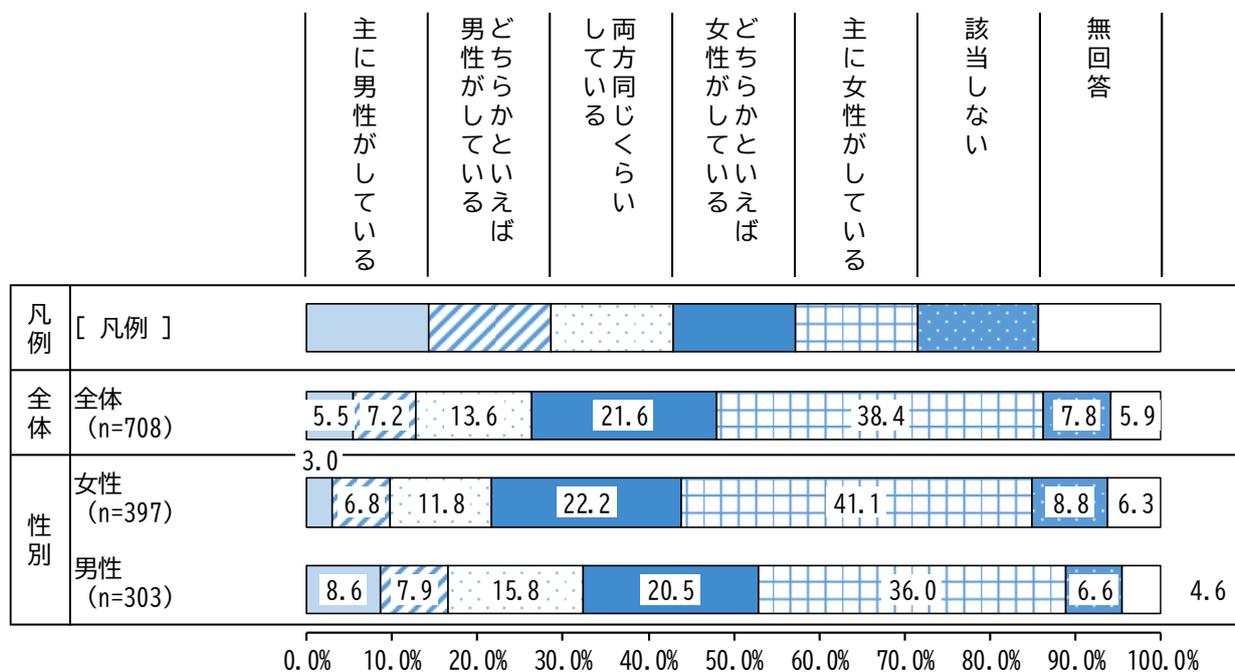


②日々の家計の管理（現実）

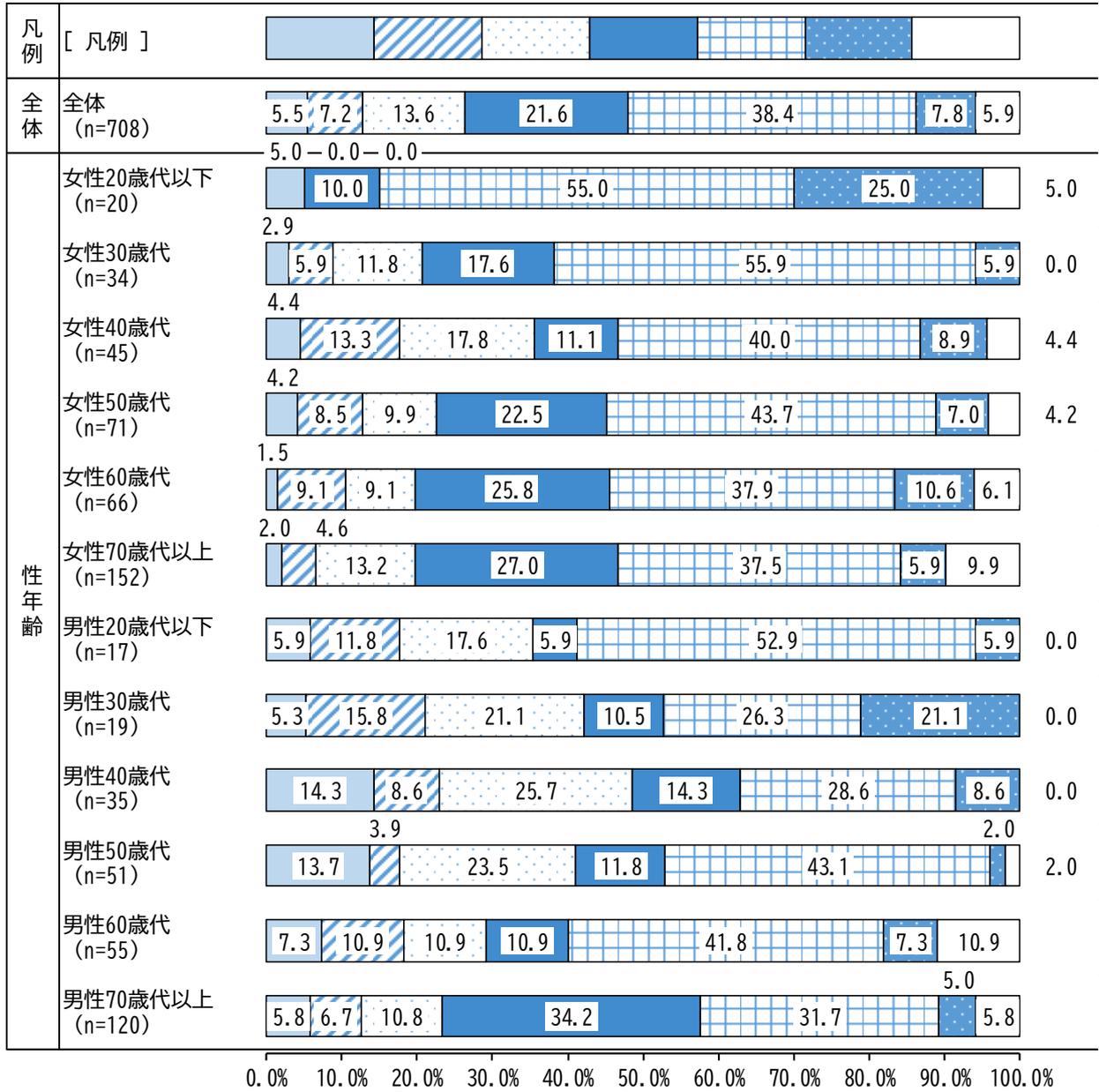
【全体】

- 「主に女性がしている」が 38.4%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がしている」が 21.6%、「両方同じくらいしている」が 13.6%となっています。
- 「主に男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は 12.7%となっています。「主に女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は 60.0%となっています。

【②日々の家計の管理（現実）】



主に男性がしている	どちらかといえば男性がしている	両方同じくらいしている	どちらかといえば女性がしている	主に女性がしている	該当しない	無回答
-----------	-----------------	-------------	-----------------	-----------	-------	-----

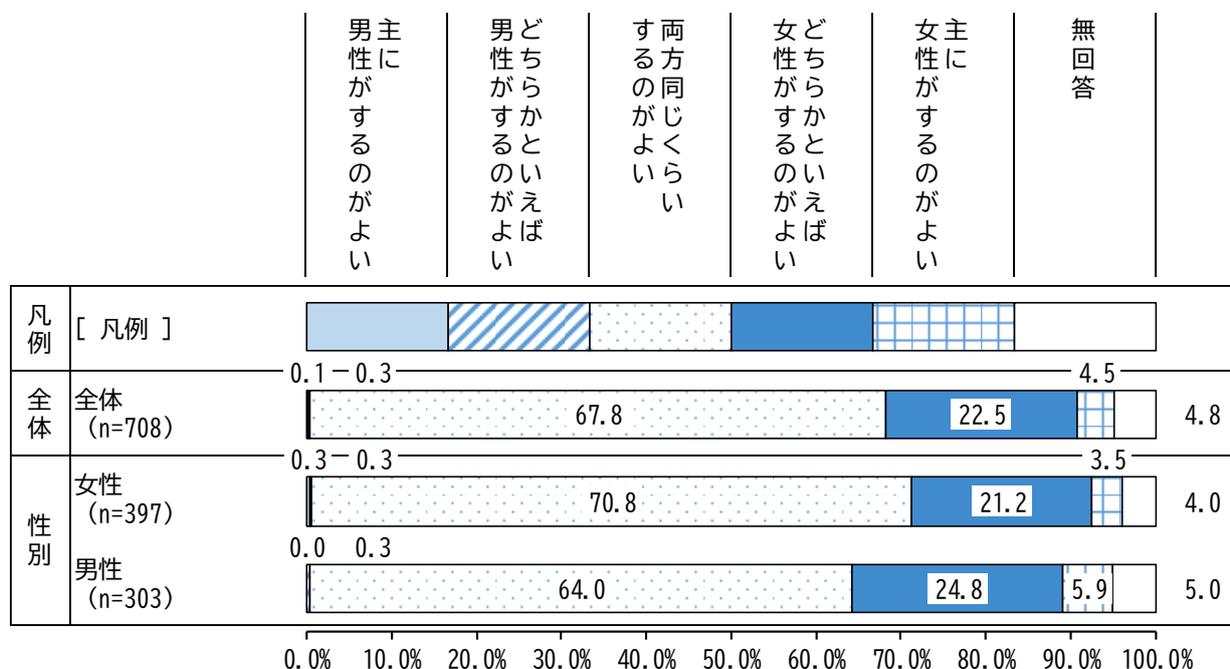


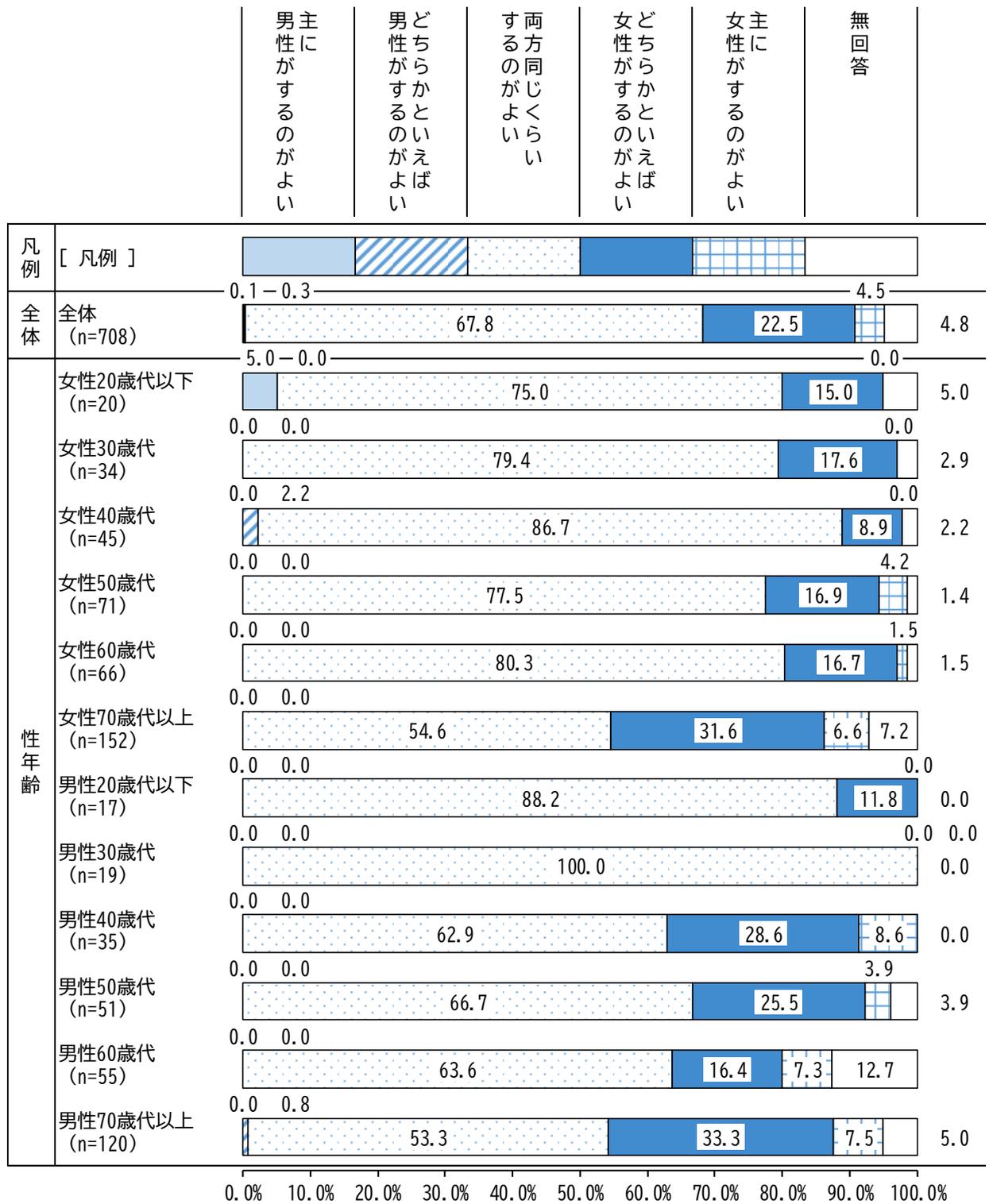
③日常の家事（理想）

【全体】

- 「両方同じくらいするのがよい」が67.8%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が22.5%、「主に女性がするのがよい」が4.5%となっています。
- 「主に男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は0.4%となっています。「主に女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は27.0%となっています。

【③日常の家事（理想）】



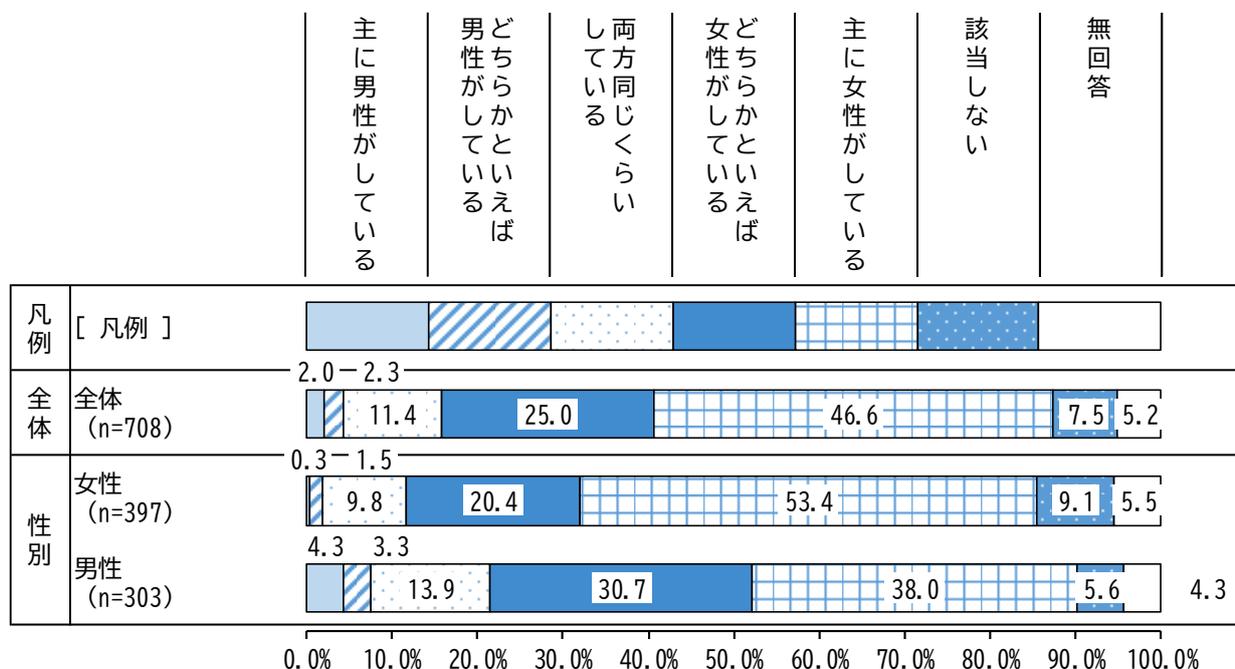


③日常の家事（現実）

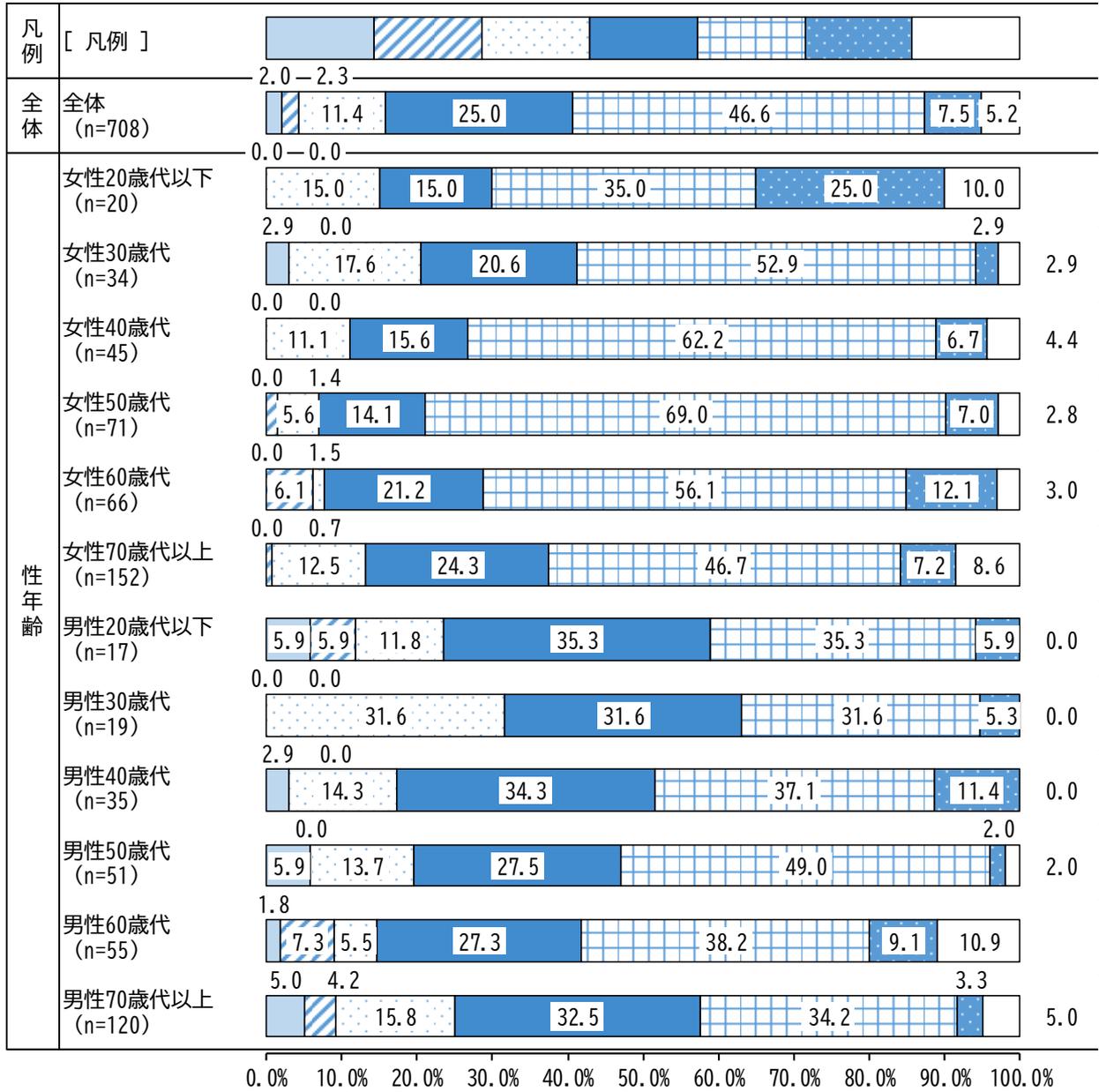
【全体】

- 「主に女性がしている」が46.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がしている」が25.0%、「両方同じくらいしている」が11.4%となっています。
- 「主に男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は4.3%となっています。「主に女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は71.6%となっています。

【③日常の家事（現実）】



主に男性がしている	どちらかといえば男性がしている	両方同じくらいしている	どちらかといえば女性がしている	主に女性がしている	該当しない	無回答
-----------	-----------------	-------------	-----------------	-----------	-------	-----

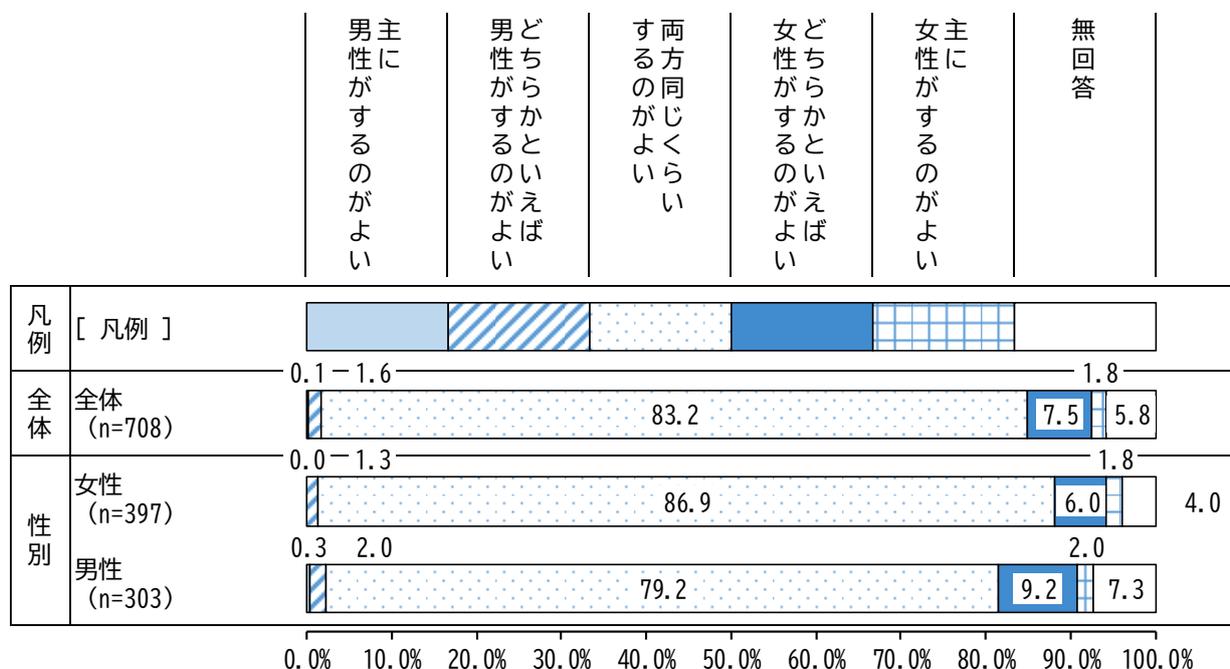


④老親や病身者の介護や看護（理想）

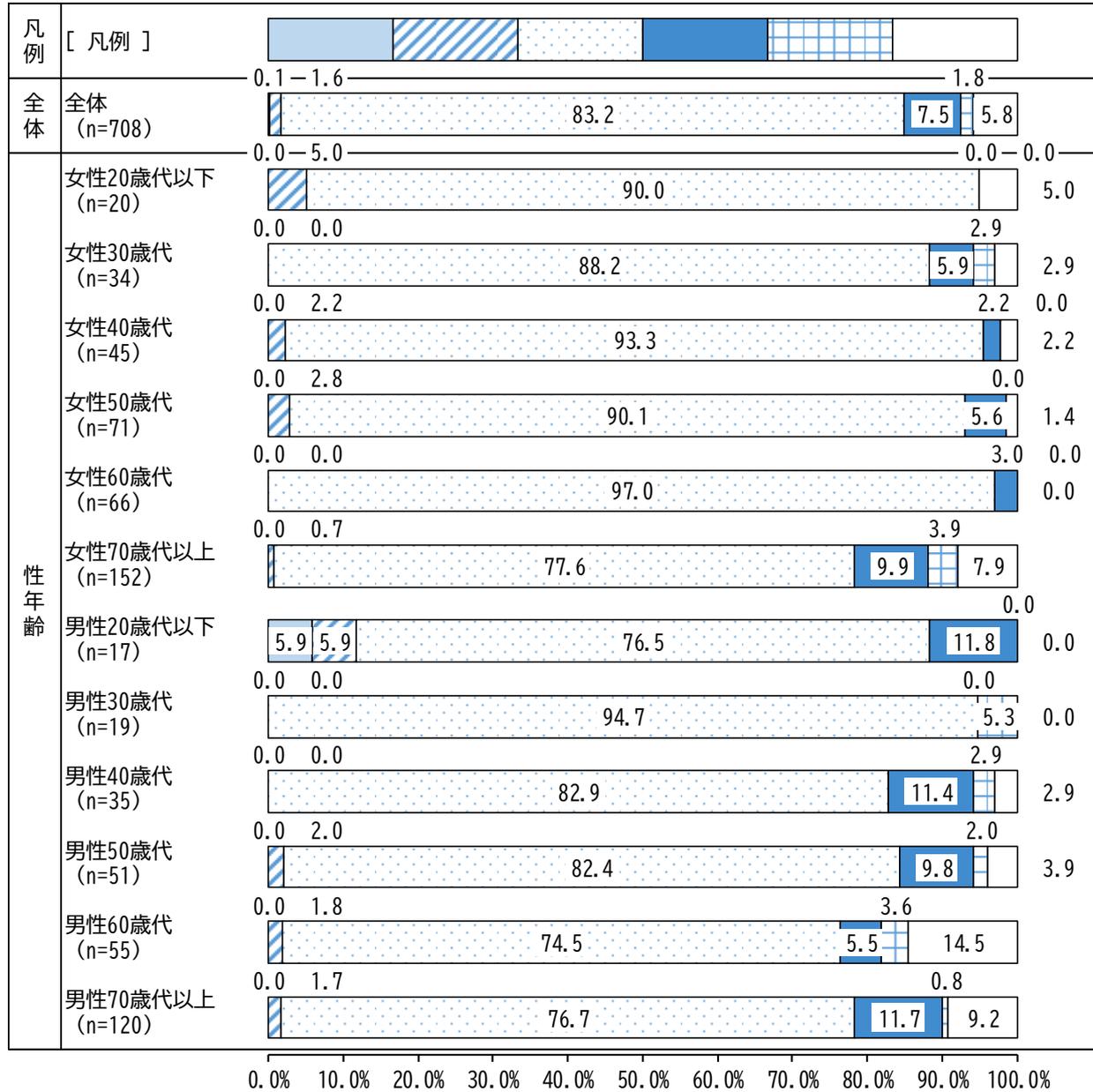
【全体】

- 「両方同じくらいするのがよい」が83.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が7.5%、「主に女性がするのがよい」が1.8%となっています。
- 「主に男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は1.7%となっています。「主に女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は9.3%となっています。

【④老親や病身者の介護や看護（理想）】



主に男性がするのがよい	どちらがするのがよい	両方が同じくらい	どちらがするのがよい	主に女性がするのがよい	無回答
-------------	------------	----------	------------	-------------	-----

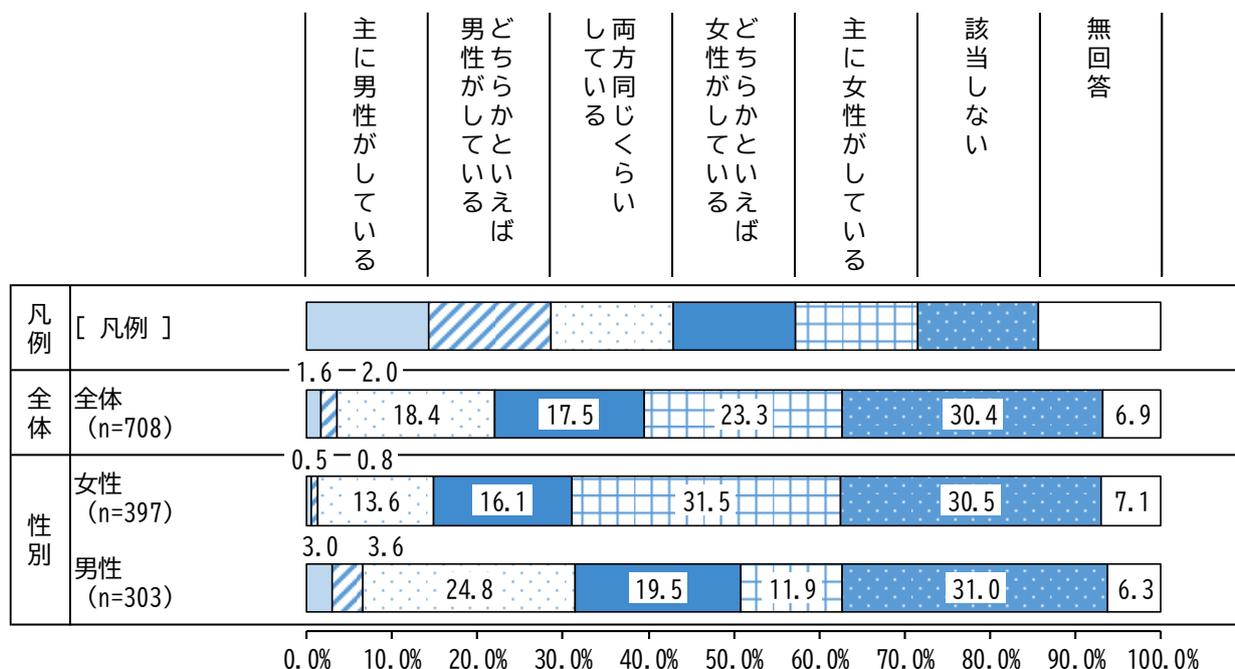


④老親や病身者の介護や看護（現実）

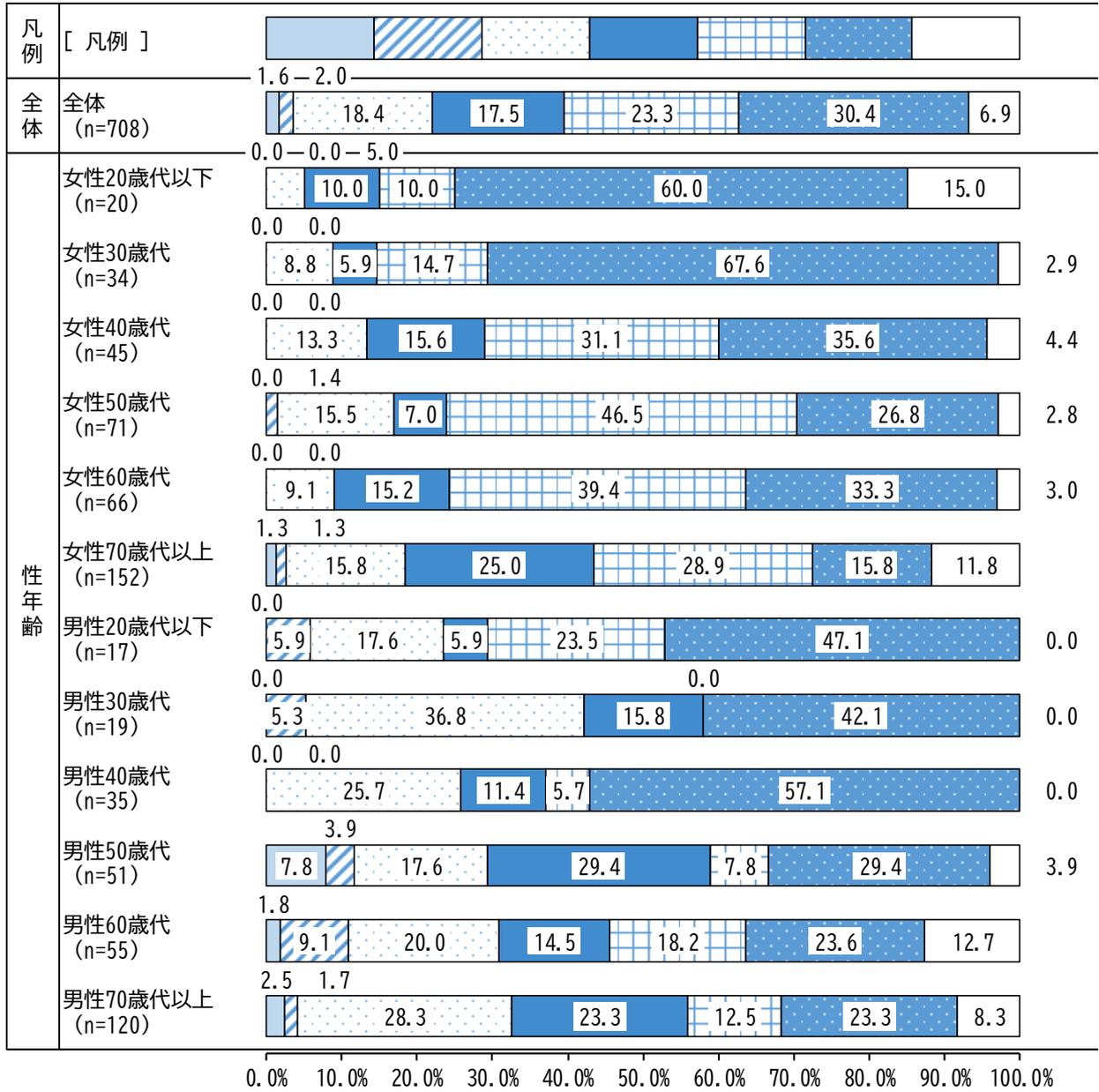
【全体】

- 「該当しない」が30.4%で最も多く、次いで「主に女性がしている」が23.3%、「両方同じくらいしている」が18.4%となっています。
- 「主に男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は3.6%となっています。「主に女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は40.8%となっています。

【④老親や病身者の介護や看護（現実）】



主に男性がしている	どちらがしている 男性がしている	両方同じくらい している	どちらがしている 女性がしている	主に女性がしている	該当しない	無回答
-----------	---------------------	-----------------	---------------------	-----------	-------	-----

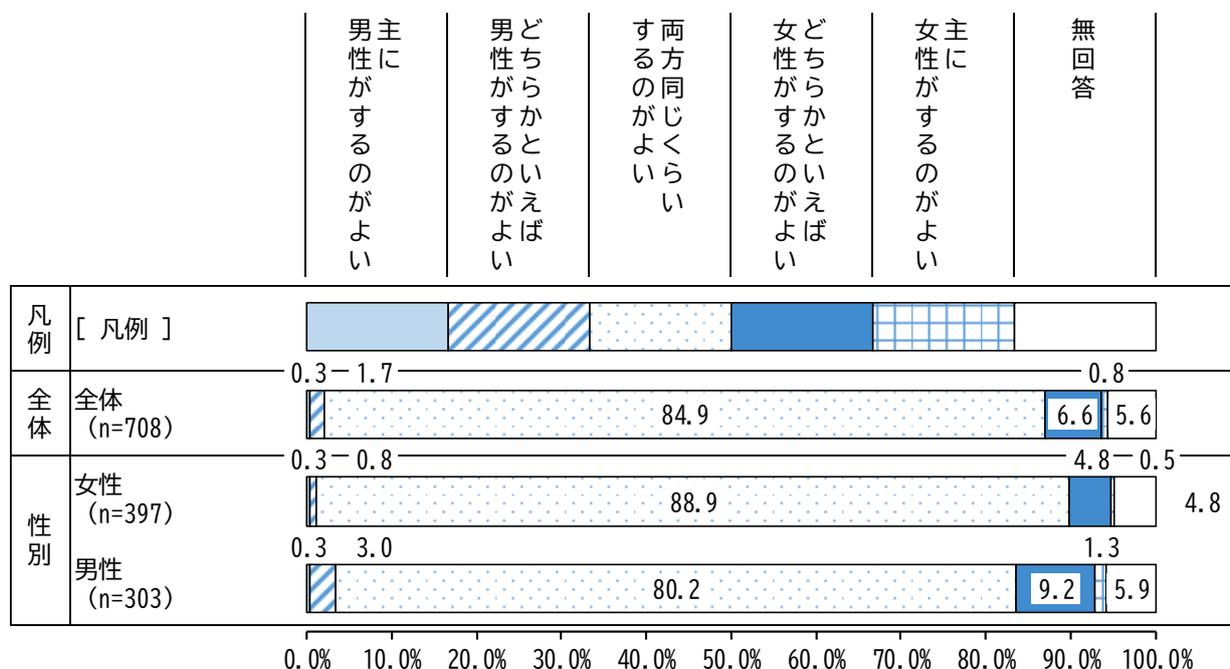


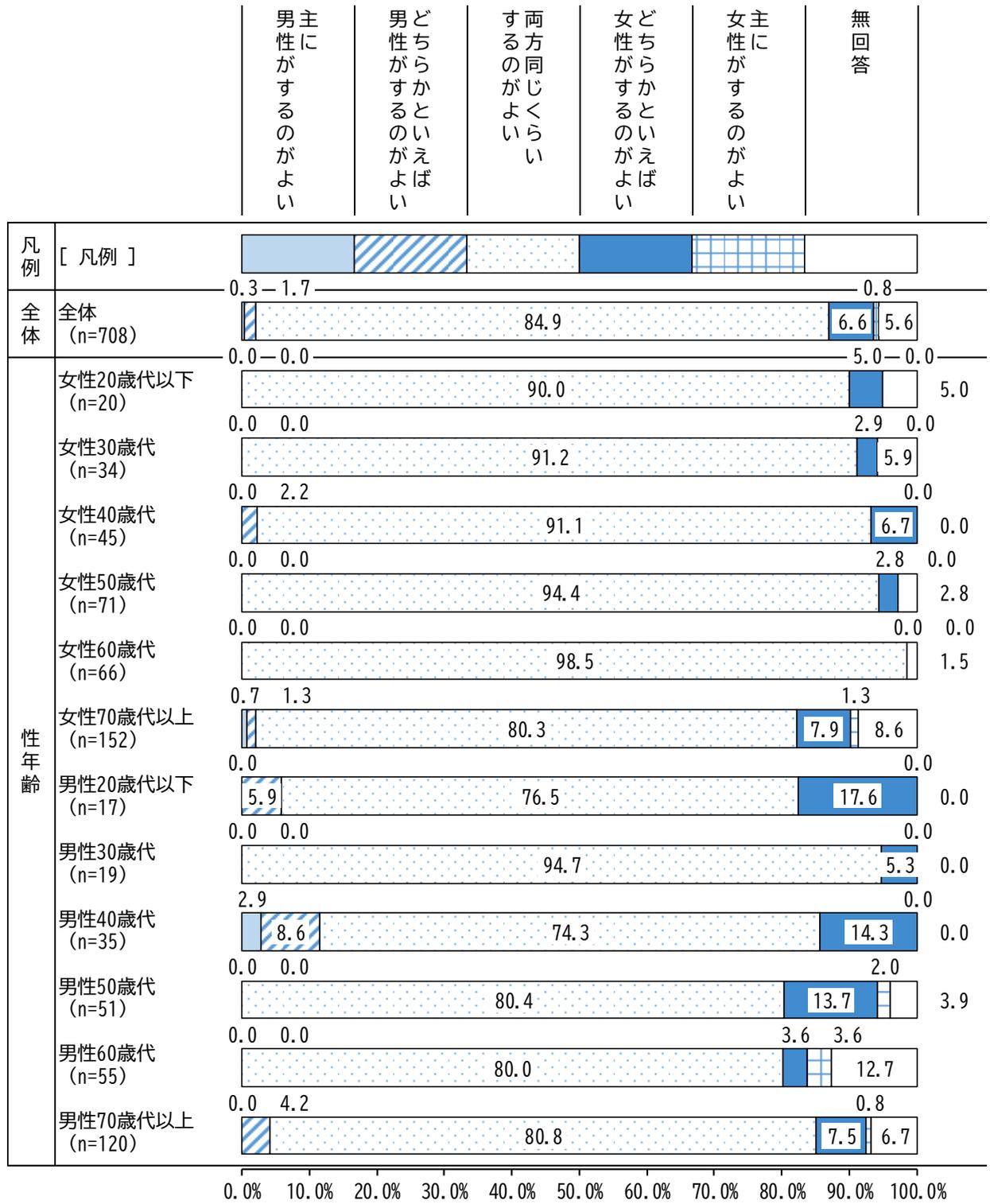
⑤子どもの教育としつけ（理想）

【全体】

- 「両方同じくらいするのがよい」が84.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が6.6%、「どちらかといえば男性がするのがよい」が1.7%となっています。
- 「主に男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は2.0%となっています。「主に女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は7.4%となっています。

【⑤子どもの教育としつけ（理想）】



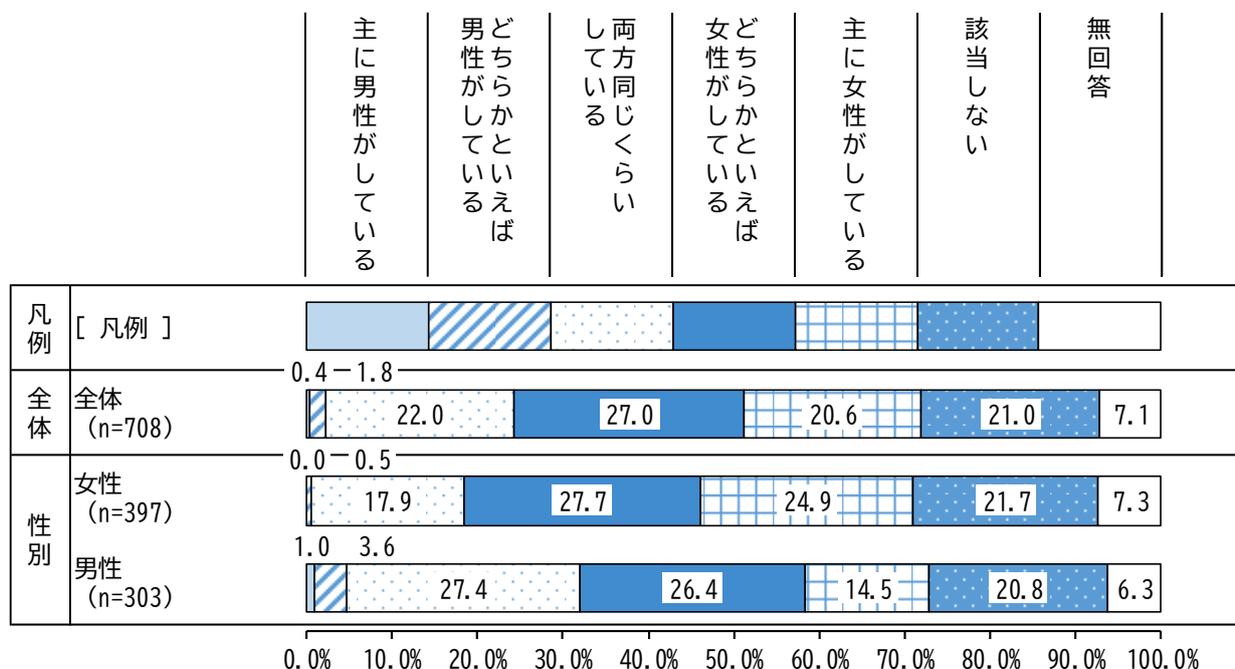


⑤子どもの教育としつけ（現実）

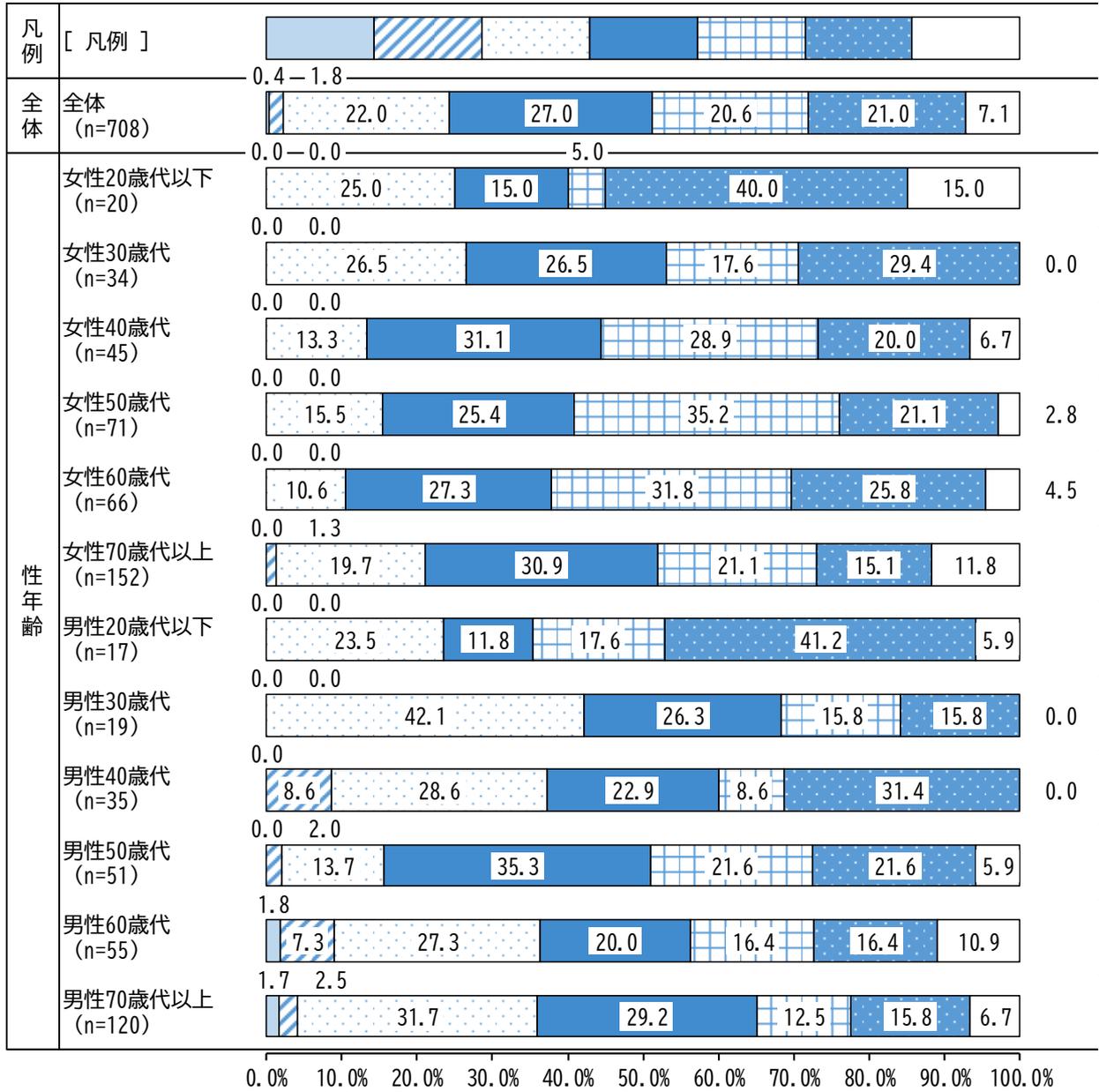
【全体】

- 「どちらかといえば女性がしている」が27.0%で最も多く、次いで「両方同じくらいしている」が22.0%、「該当しない」が21.0%となっています。
- 「主に男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は2.2%となっています。「主に女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は47.6%となっています。

【⑤子どもの教育としつけ（現実）】



主に男性がしている	どちらかといえば男性がしている	両方同じくらいしている	どちらかといえば女性がしている	主に女性がしている	該当しない	無回答
-----------	-----------------	-------------	-----------------	-----------	-------	-----

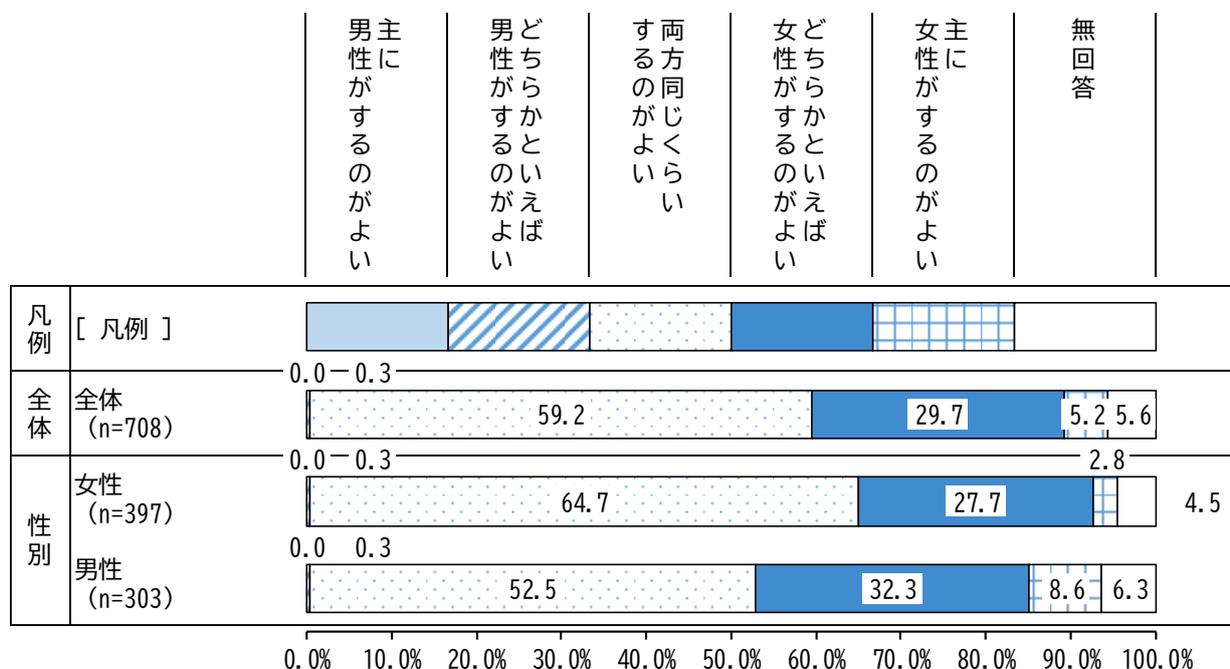


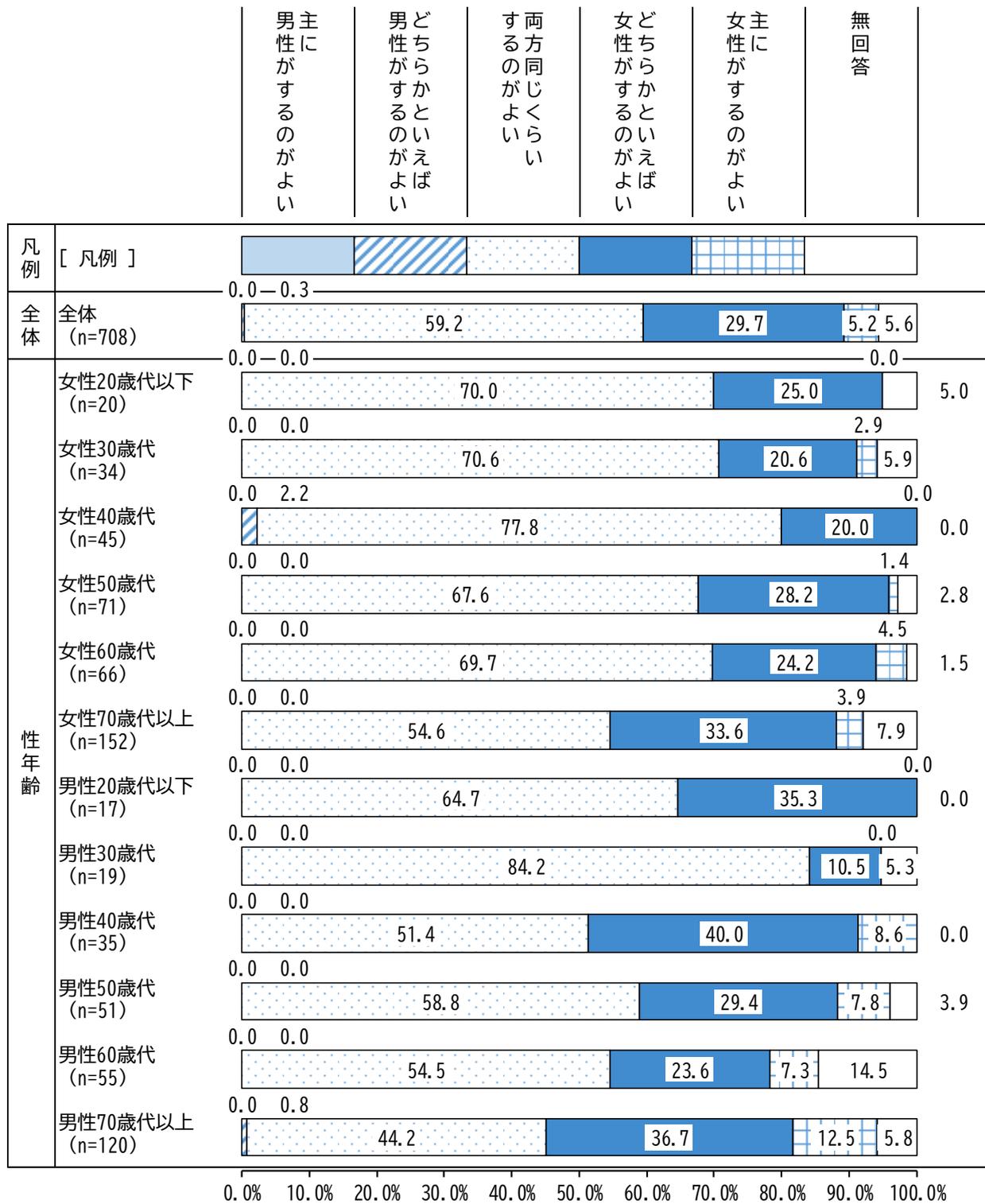
⑥育児（乳幼児の世話）（理想）

【全体】

- 「両方同じくらいするのがよい」が59.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がするのがよい」が29.7%、「主に女性がするのがよい」が5.2%となっています。
- 「主に男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は0.3%となっています。「主に女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は34.9%となっています。

【⑥育児（乳幼児の世話）（理想）】



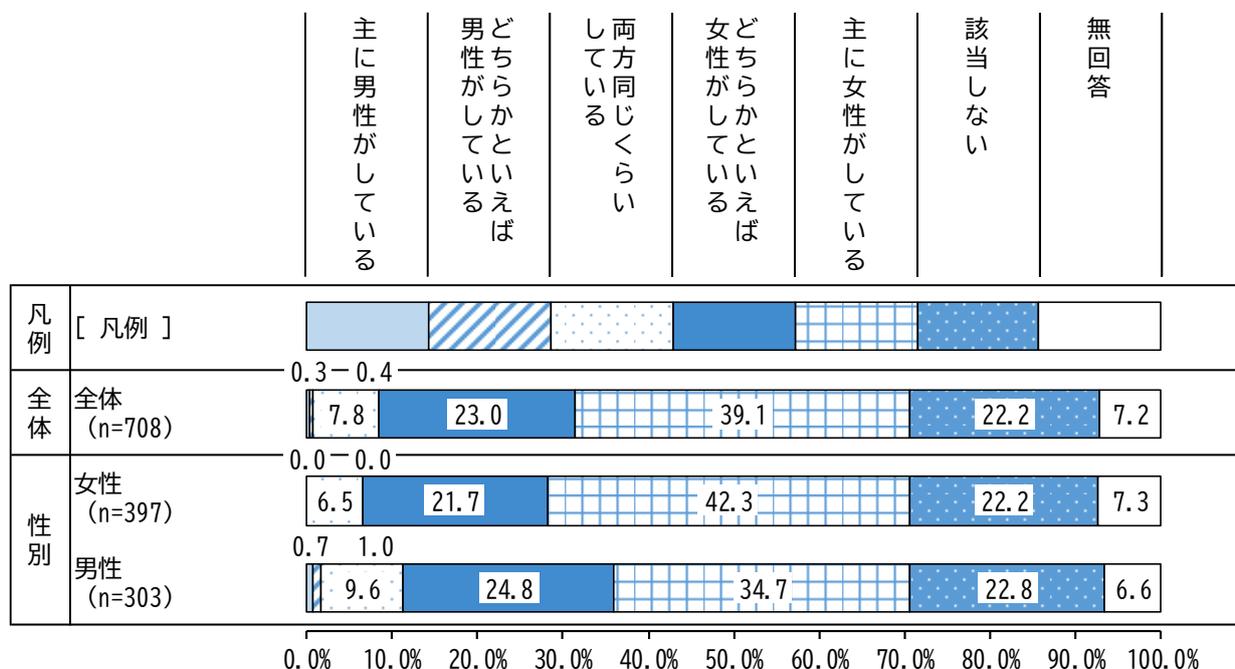


⑥育児（乳幼児の世話）（現実）

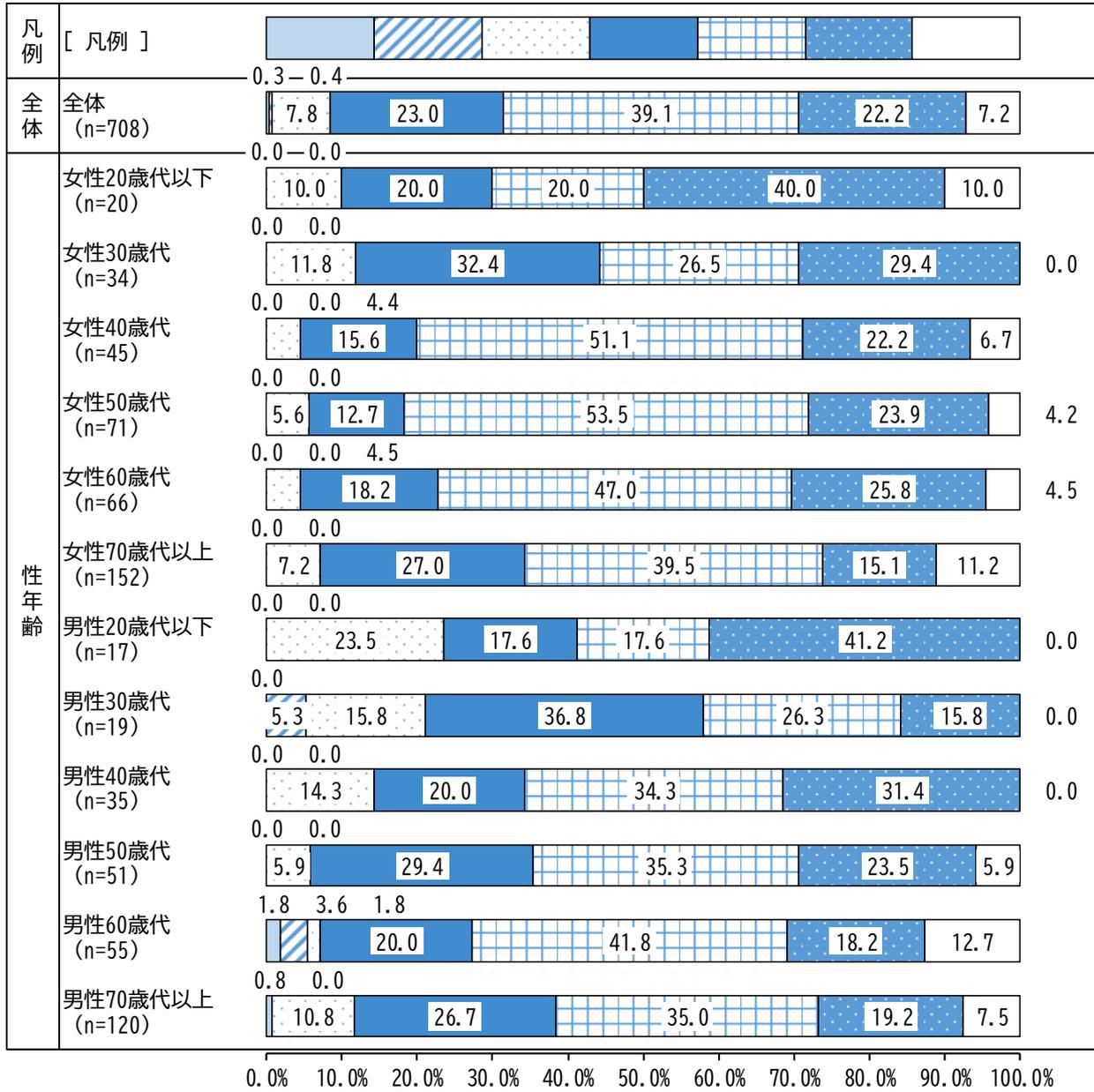
【全体】

- 「主に女性がしている」が 39.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば女性がしている」が 23.0%、「該当しない」が 22.2%となっています。
- 「主に男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は 0.7%となっています。「主に女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は 62.1%となっています。

【⑥育児（乳幼児の世話）（現実）】



主に男性がしている	どちらかといえば男性がしている	両方同じくらいしている	どちらかといえば女性がしている	主に女性がしている	該当しない	無回答
-----------	-----------------	-------------	-----------------	-----------	-------	-----

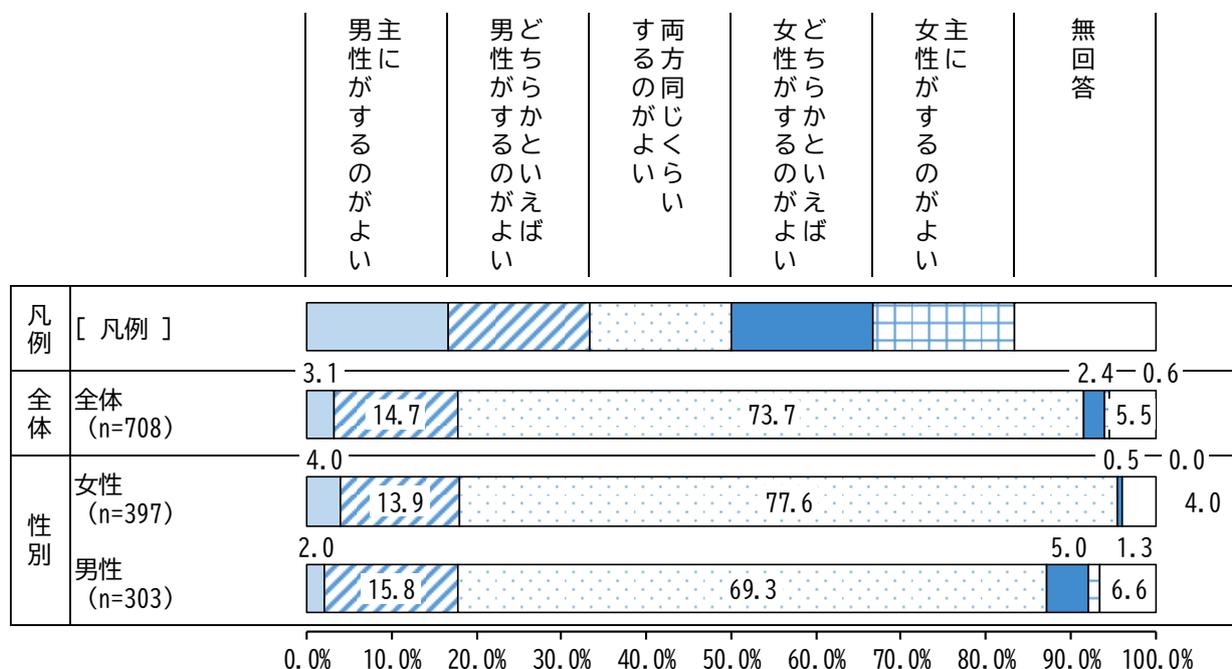


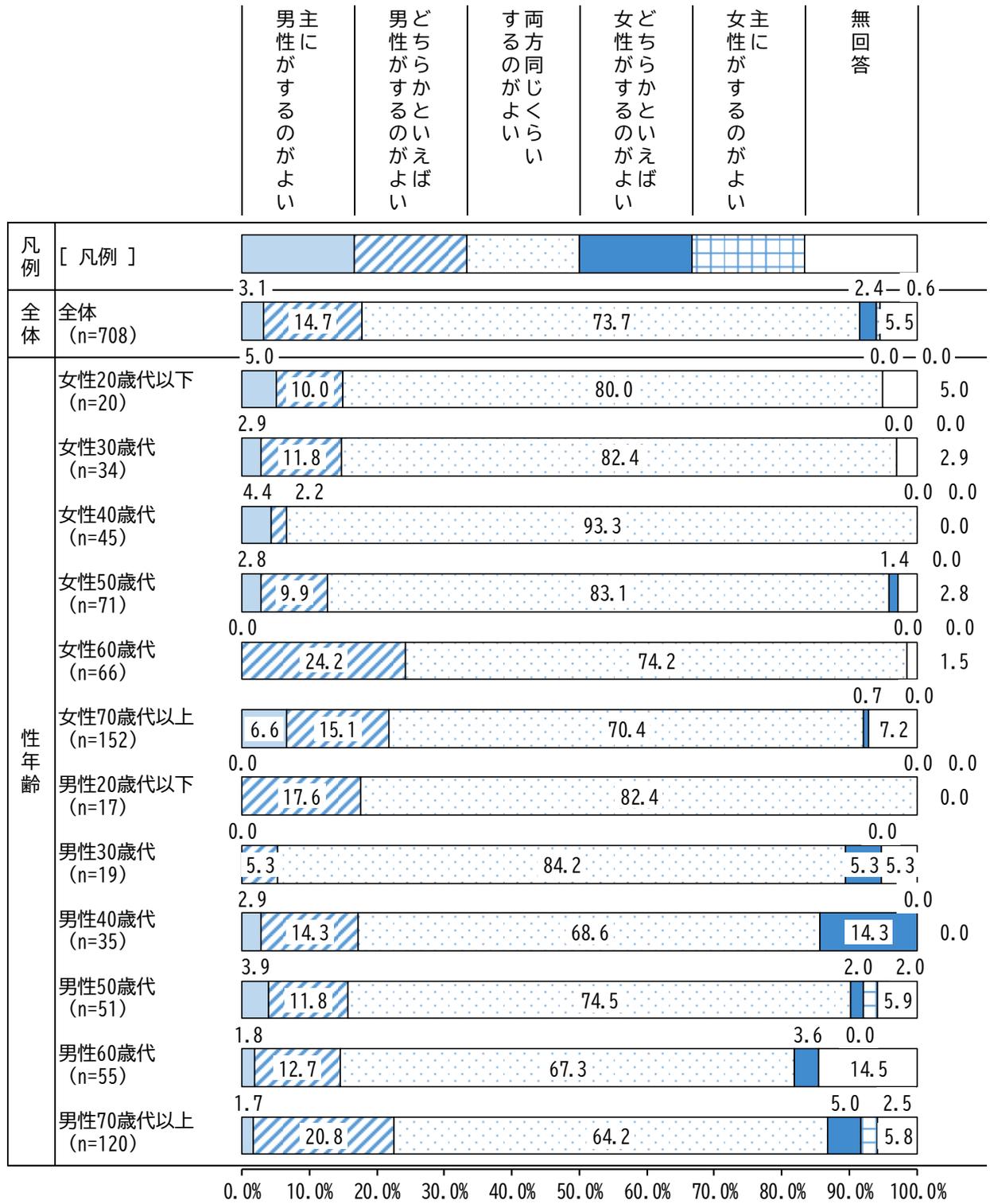
⑦自治会など地域活動への参加（理想）

【全体】

- 「両方同じくらいするのがよい」が73.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性がするのがよい」が14.7%、「主に男性がするのがよい」が3.1%となっています。
- 「主に男性がするのがよい」「どちらかといえば男性がするのがよい」を合わせた“男性がするのがよい”は17.8%となっています。「主に女性がするのがよい」「どちらかといえば女性がするのがよい」を合わせた“女性がするのがよい”は3.0%となっています。

【⑦自治会など地域活動への参加（理想）】



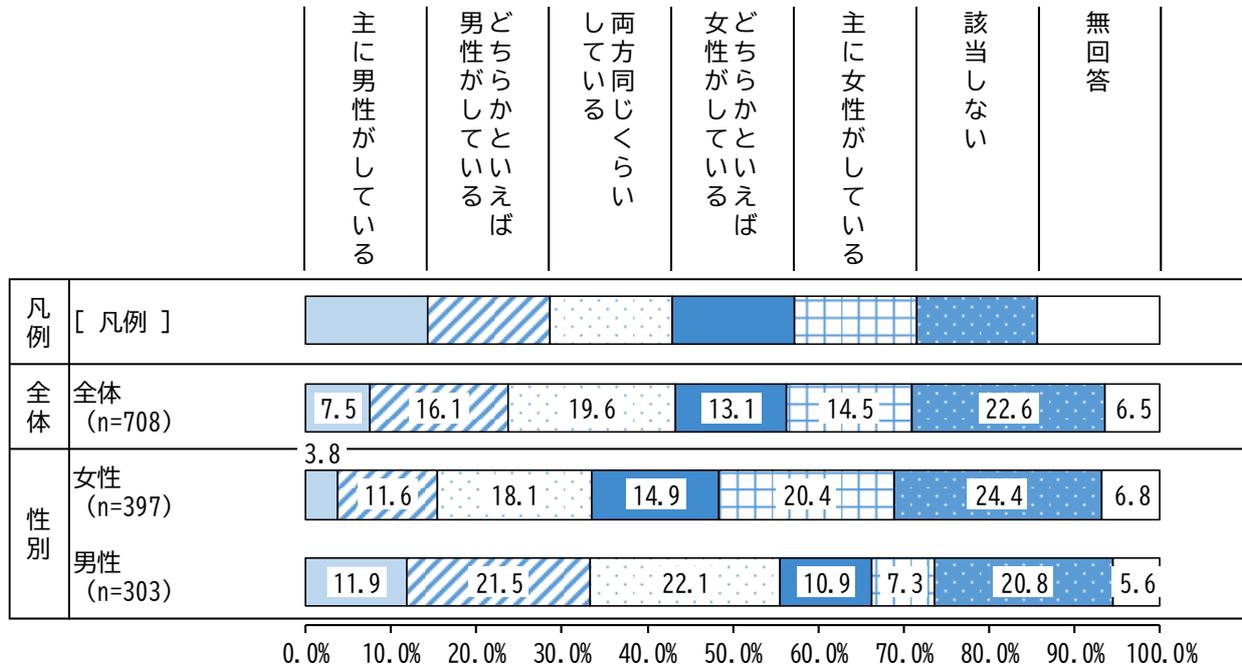


⑦自治会など地域活動への参加（現実）

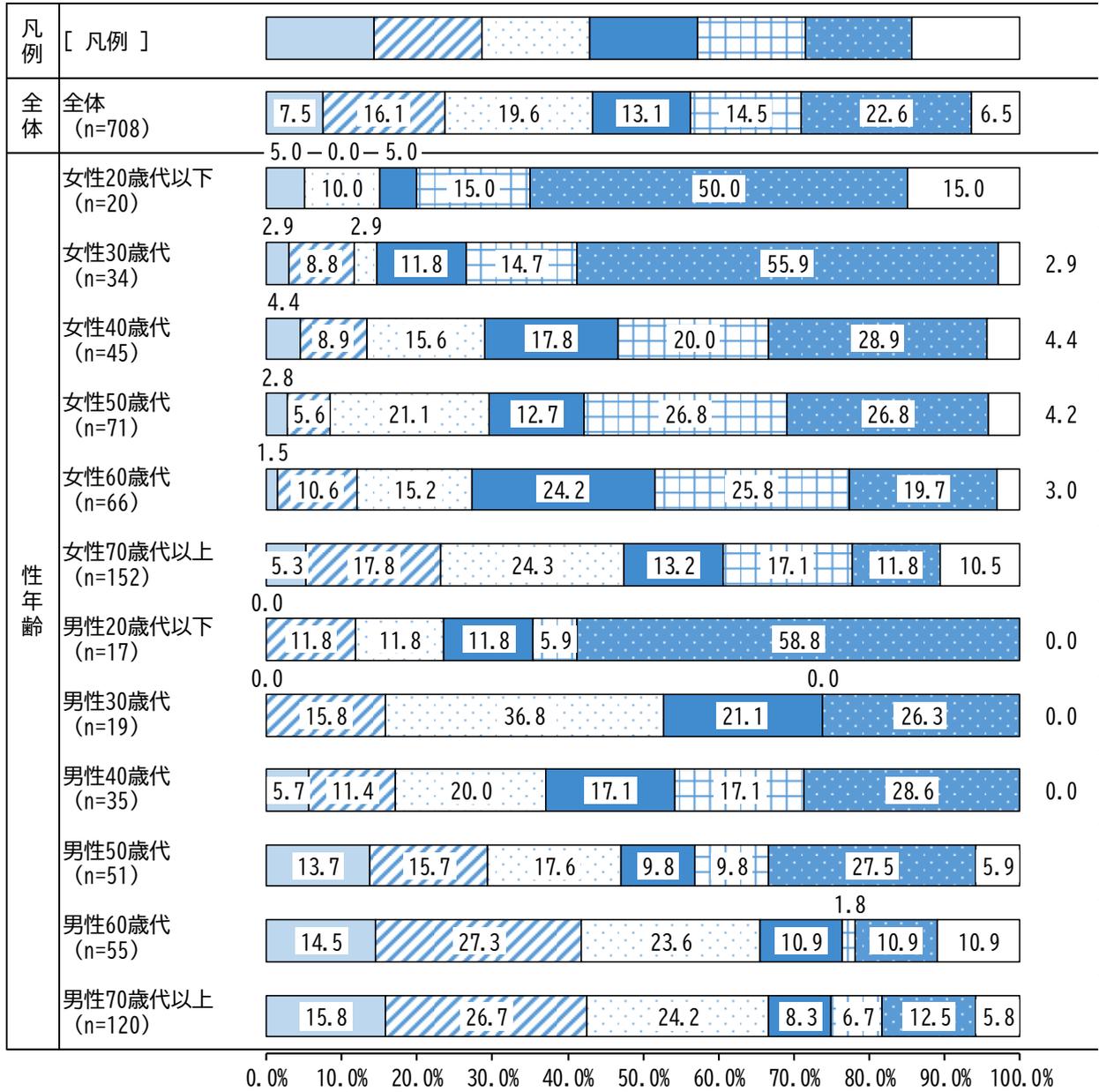
【全体】

- 「該当しない」が22.6%で最も多く、次いで「両方同じくらいしている」が19.6%、「どちらかといえば男性がしている」が16.1%となっています。
- 「主に男性がしている」「どちらかといえば男性がしている」を合わせた“男性がしている”は23.6%となっています。「主に女性がしている」「どちらかといえば女性がしている」を合わせた“女性がしている”は27.6%となっています。

【⑦自治会など地域活動への参加（現実）】



主に男性がしている	どちらかといえば男性がしている	両方同じくらいしている	どちらかといえば女性がしている	主に女性がしている	該当しない	無回答
-----------	-----------------	-------------	-----------------	-----------	-------	-----



4 労働・社会参加について

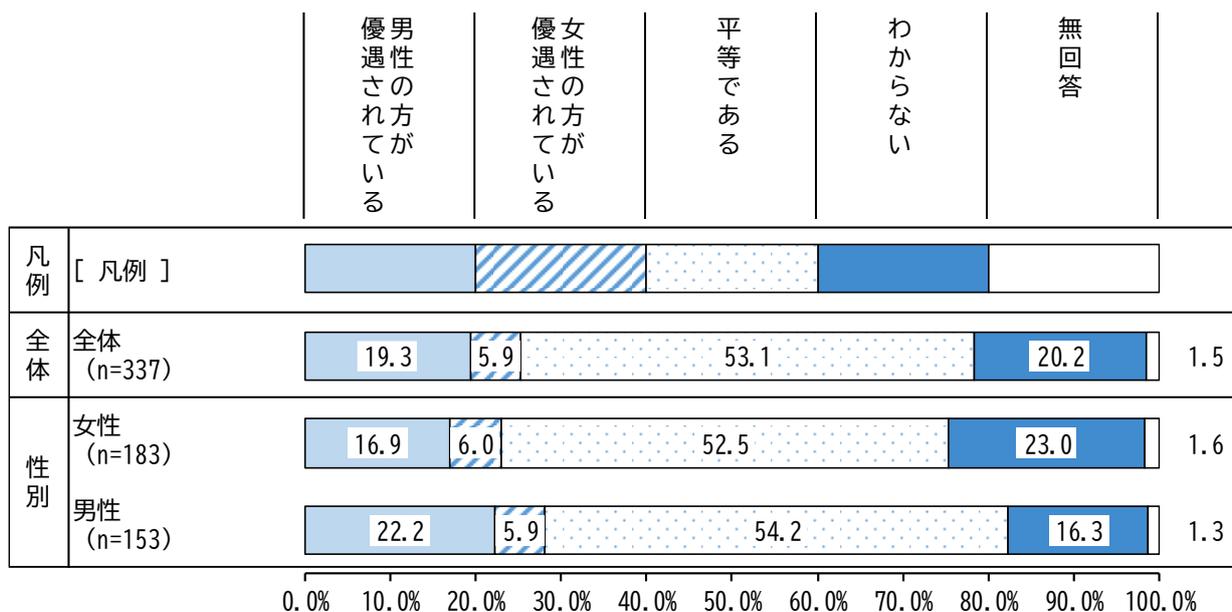
問6 現在、雇用されて働いている方（勤め人（正規社員・職員またはパート・アルバイト・派遣等非正規社員・職員））にお聞きします。あなたの今の職場では、性別によって差があると思いますか。（各項目でそれぞれ○は1つ）

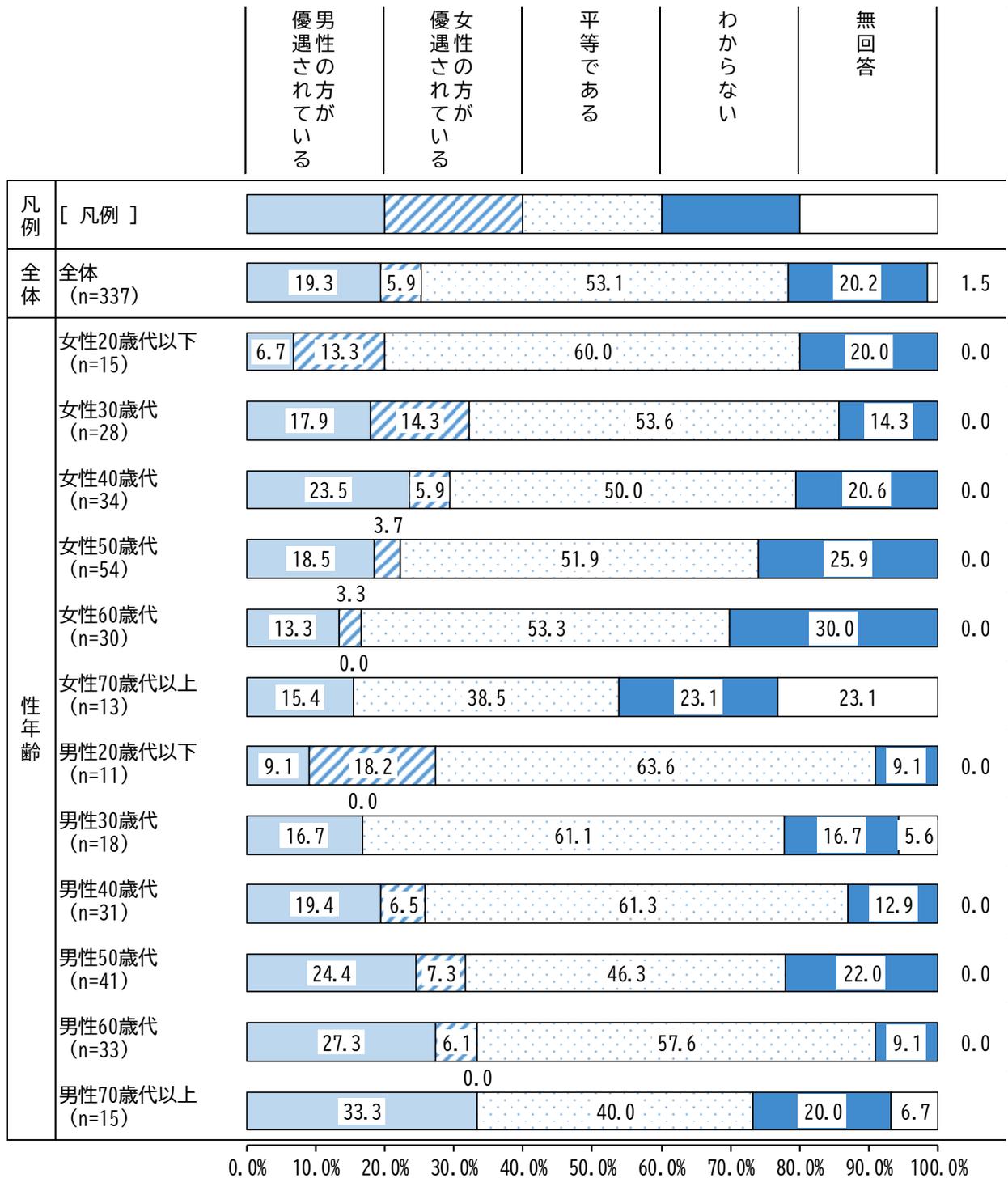
①募集・採用

【全体】

○ 「平等である」が53.1%で最も多く、次いで「わからない」が20.2%、「男性の方が優遇されている」が19.3%となっています。

【①募集・採用】



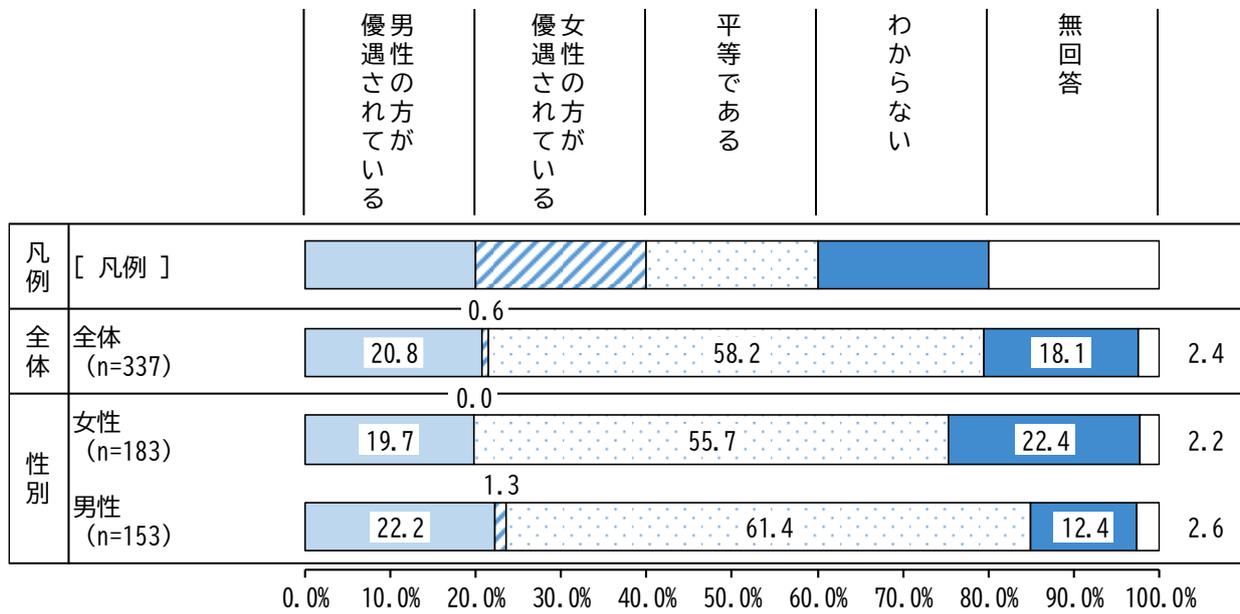


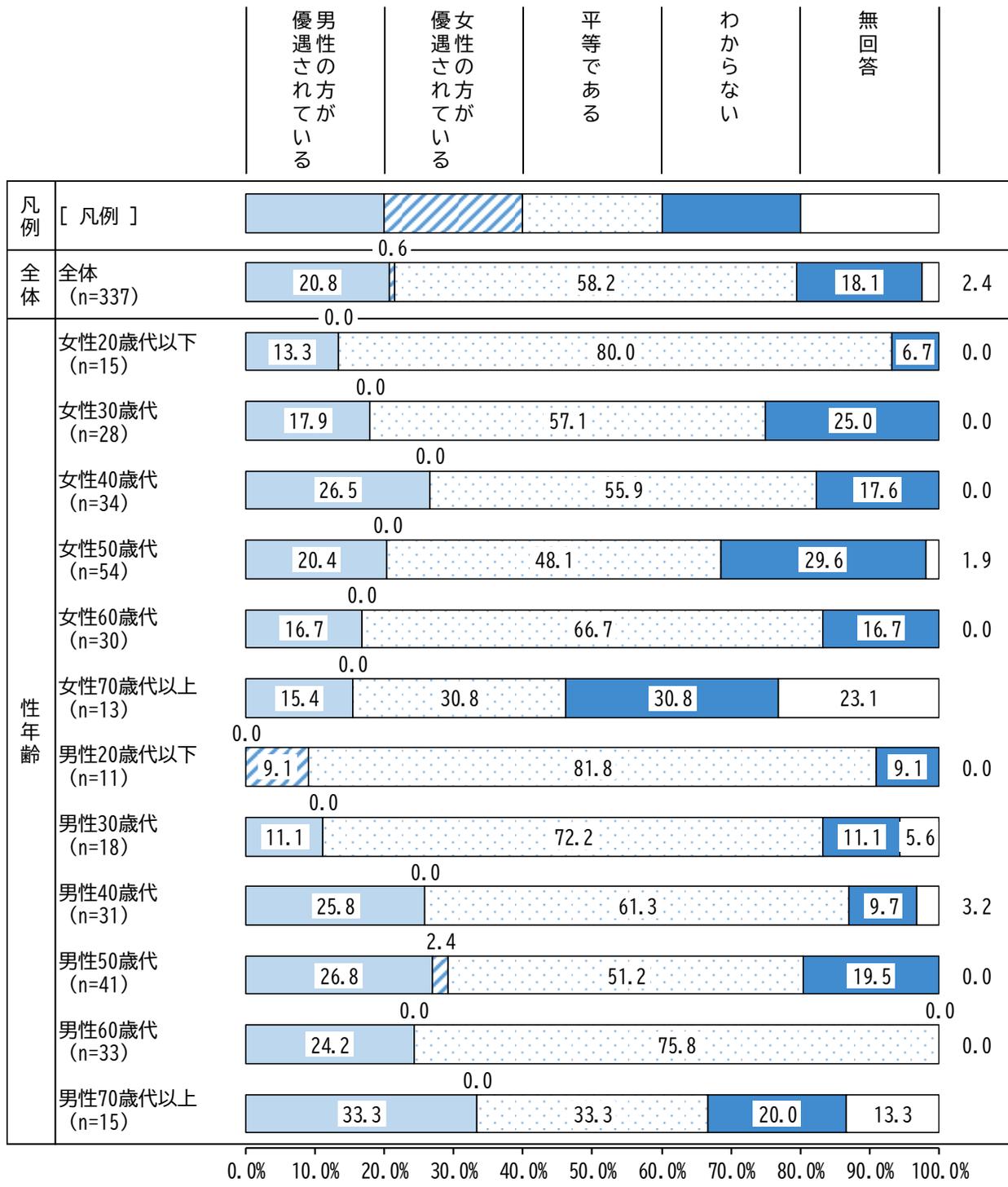
②賃金

【全体】

○ 「平等である」が58.2%で最も多く、次いで「男性の方が優遇されている」が20.8%、「わからない」が18.1%となっています。

【②賃金】



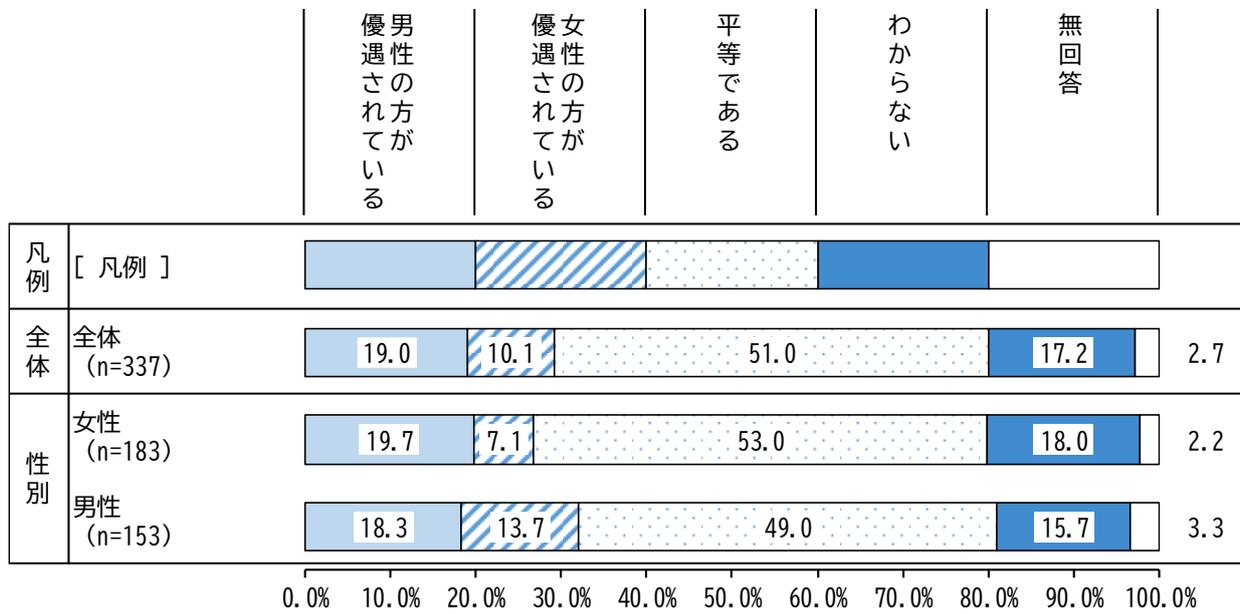


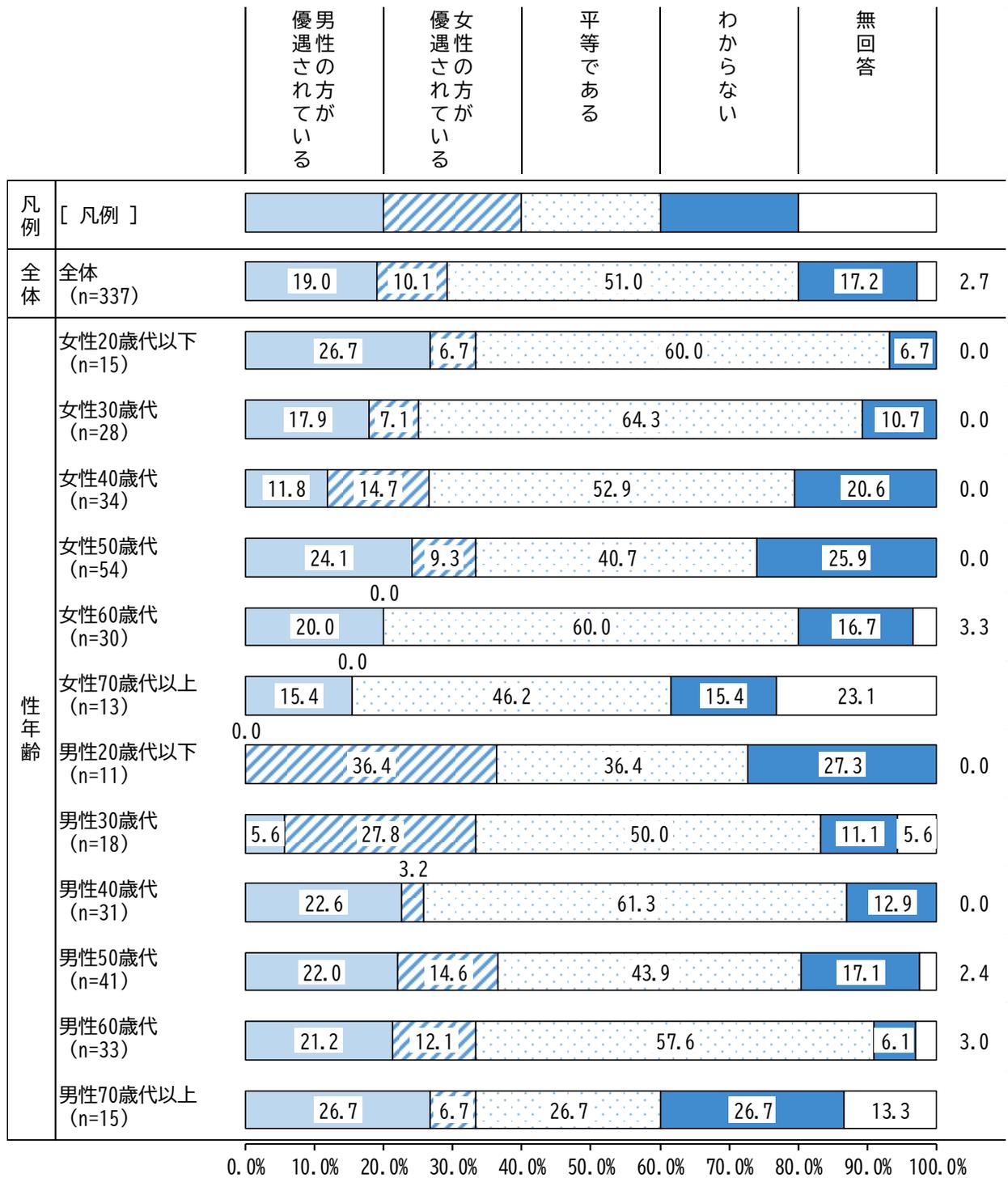
③仕事の内容

【全体】

○ 「平等である」が51.0%で最も多く、次いで「男性の方が優遇されている」が19.0%、「わからない」が17.2%となっています。

【③仕事の内容】



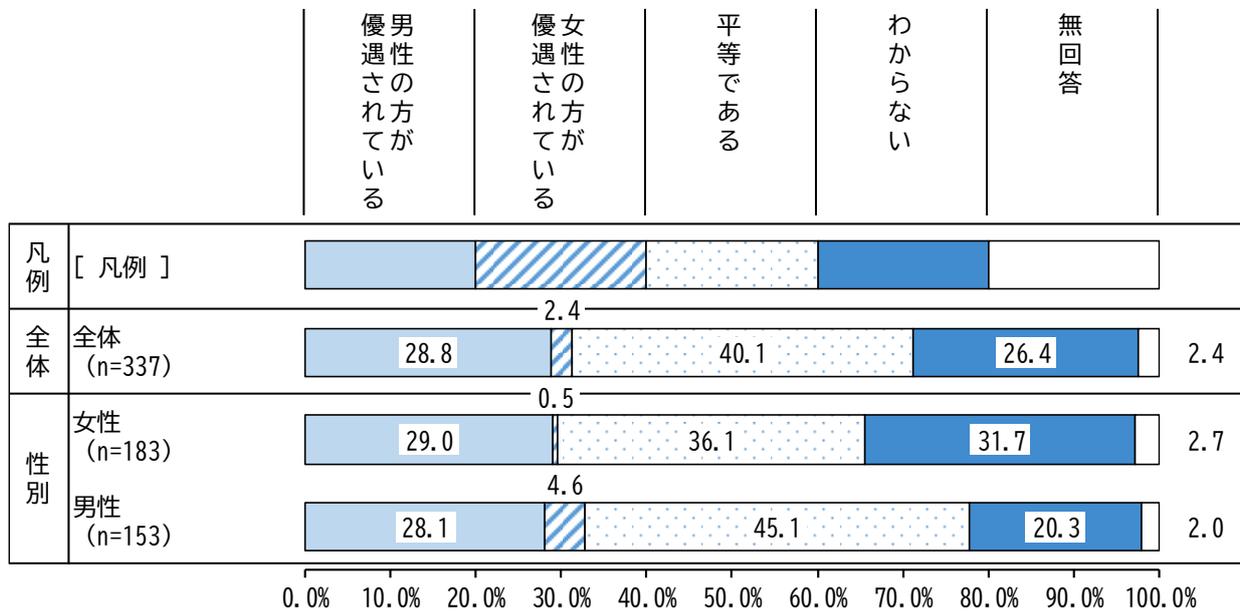


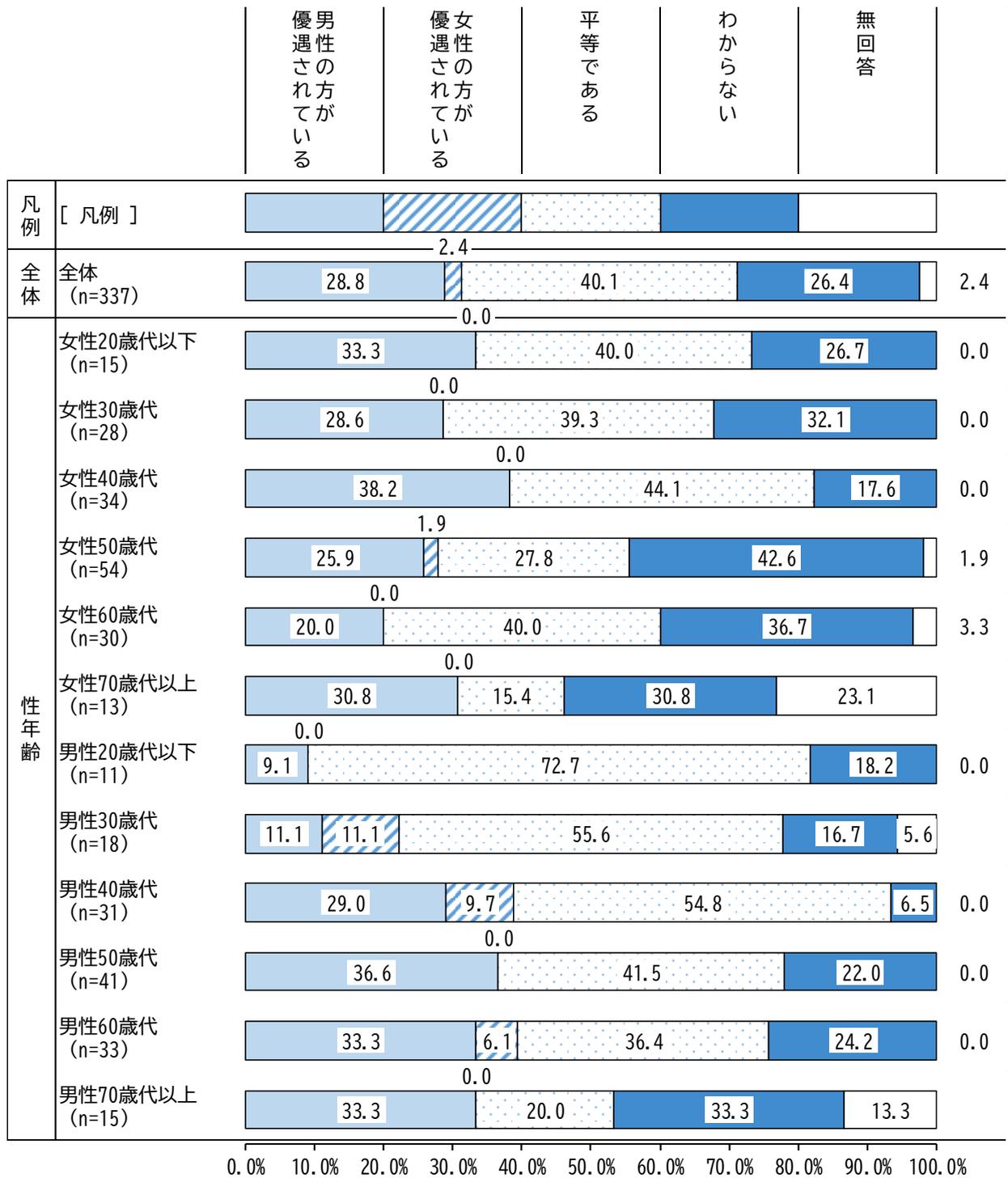
④昇進・昇格

【全体】

○ 「平等である」が40.1%で最も多く、次いで「男性の方が優遇されている」が28.8%、「わからない」が26.4%となっています。

【④昇進・昇格】



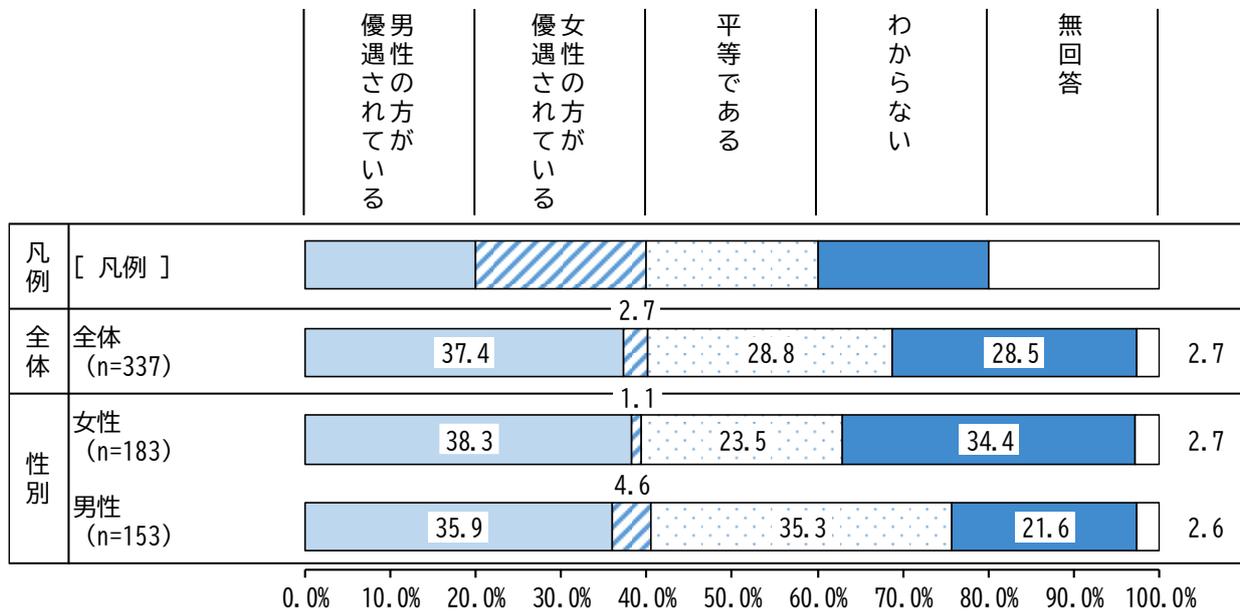


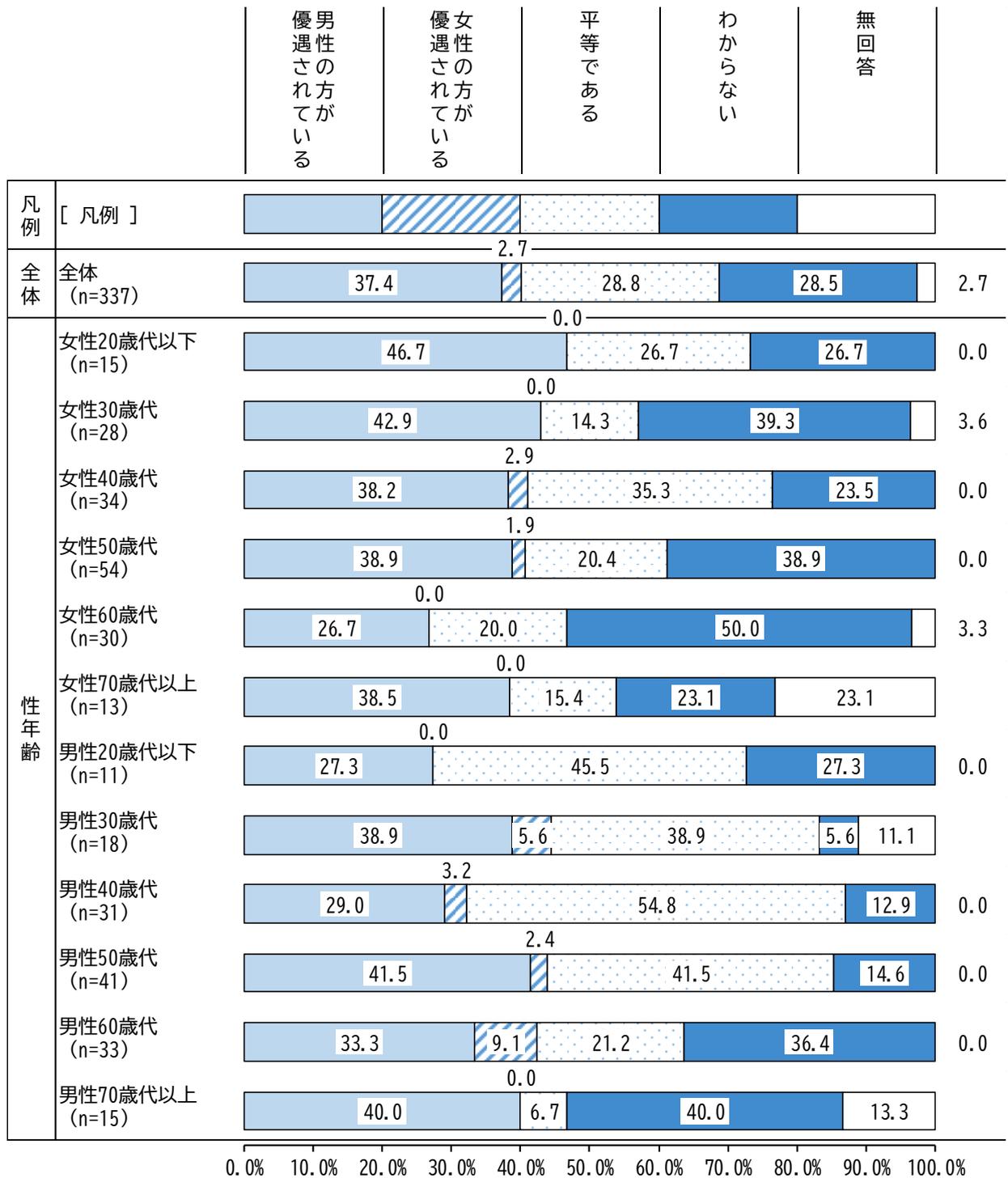
⑤管理職への登用

【全体】

○ 「男性の方が優遇されている」が37.4%で最も多く、次いで「平等である」が28.8%、「わからない」が28.5%となっています。

【⑤管理職への登用】



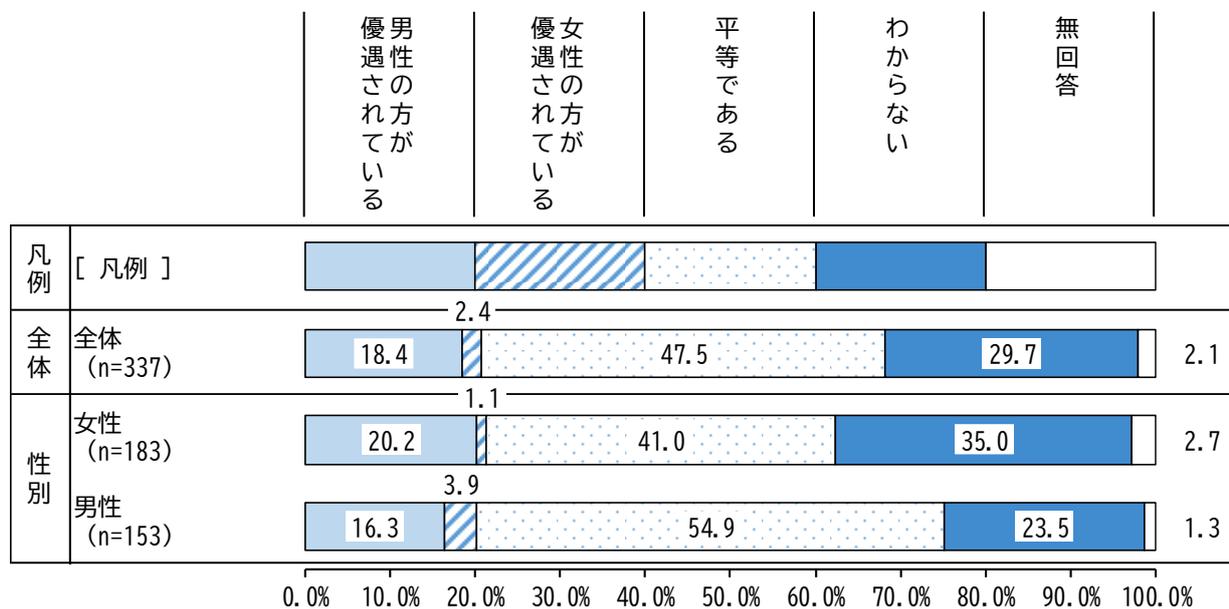


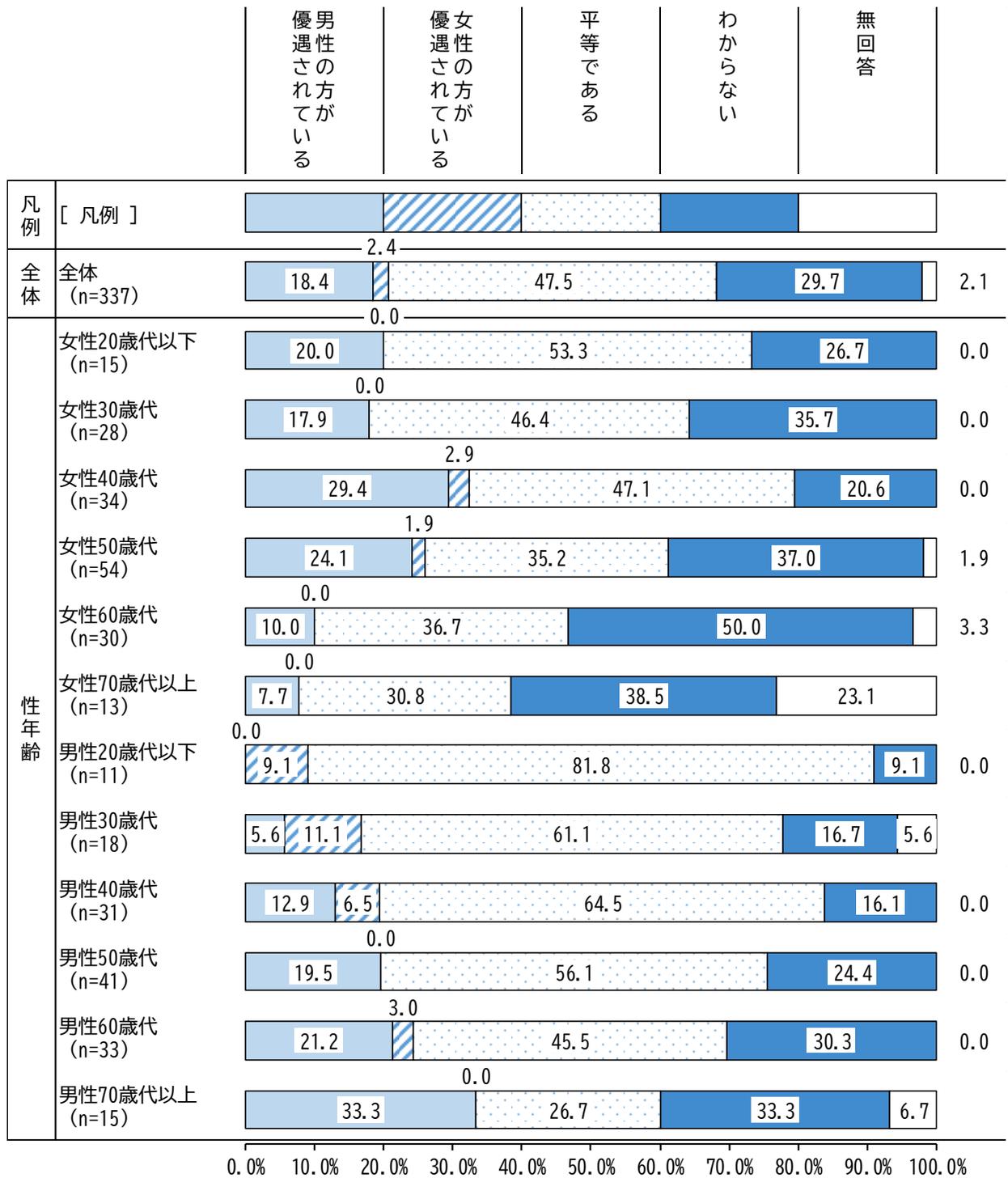
⑥能力評価（業績評価・人事考課など）

【全体】

- 「平等である」が47.5%で最も多く、次いで「わからない」が29.7%、「男性の方が優遇されている」が18.4%となっています。

【⑥能力評価（業績評価・人事考課など）】



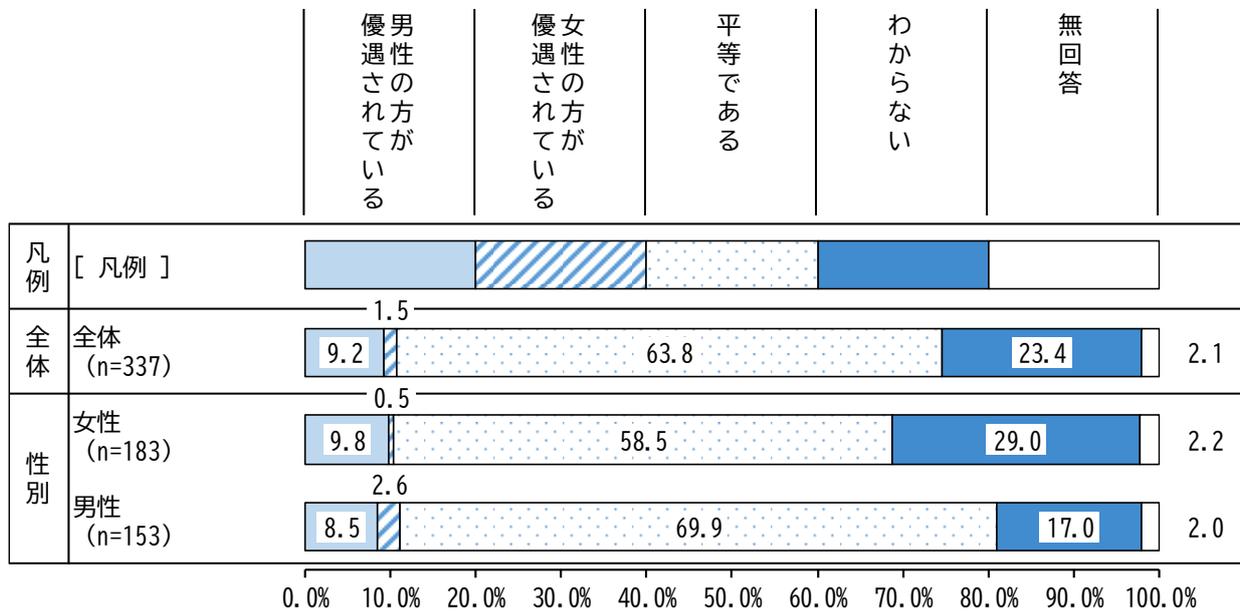


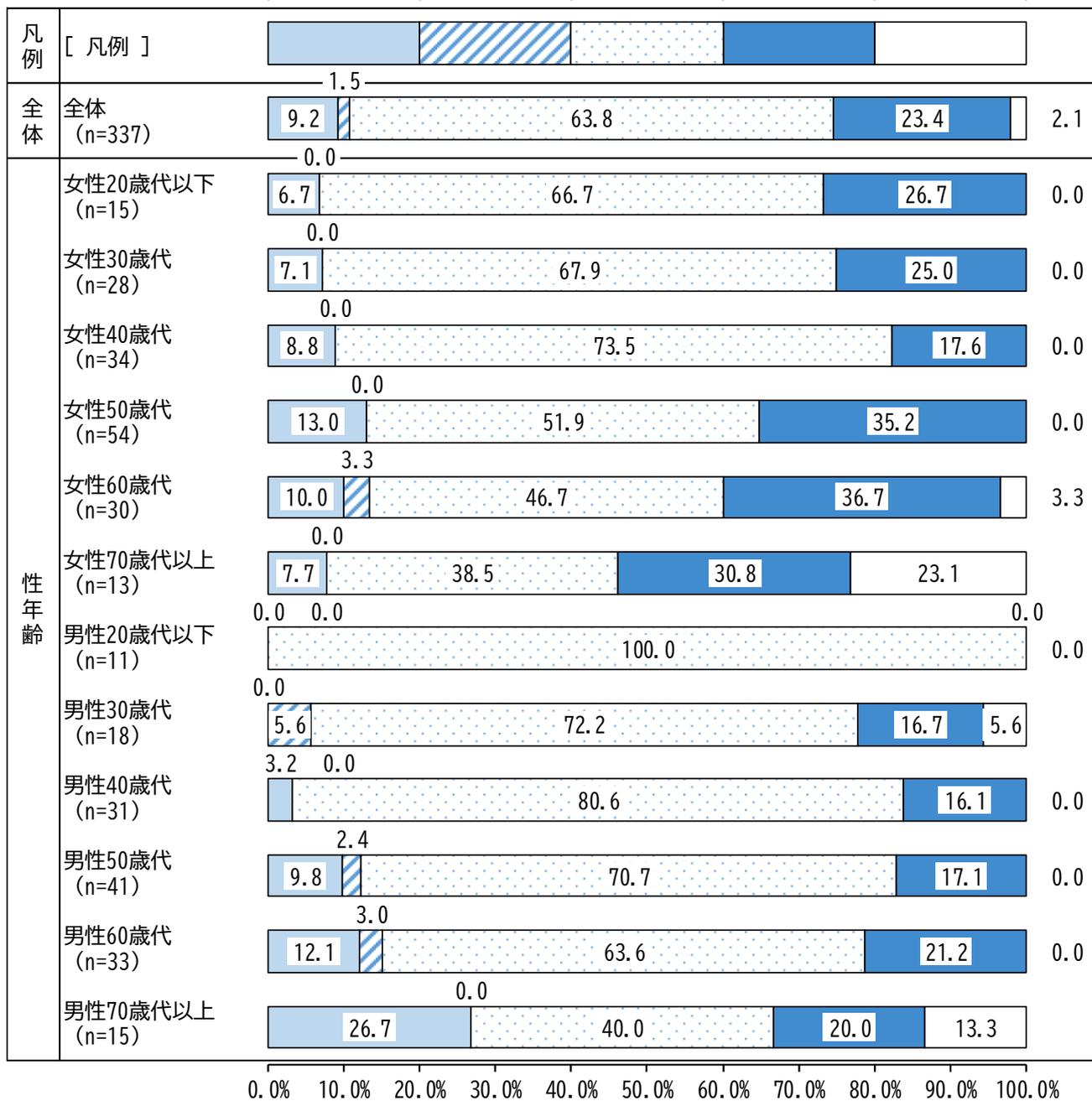
⑦研修の機会や内容

【全体】

- 「平等である」が63.8%で最も多く、次いで「わからない」が23.4%、「男性の方が優遇されている」が9.2%となっています。

【⑦研修の機会や内容】



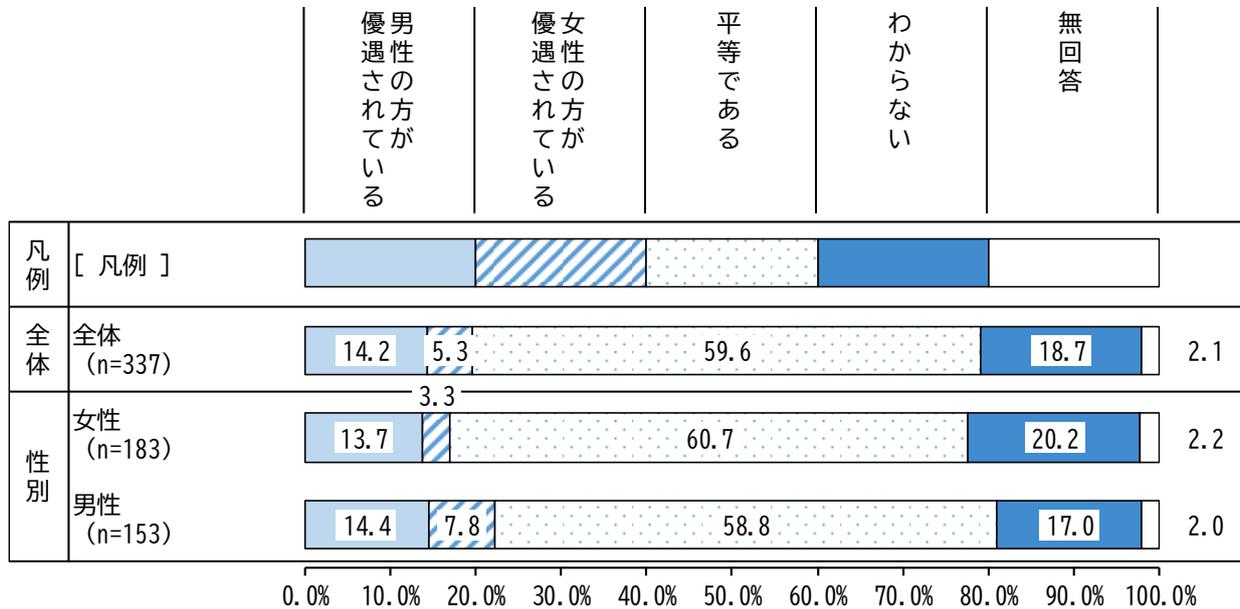


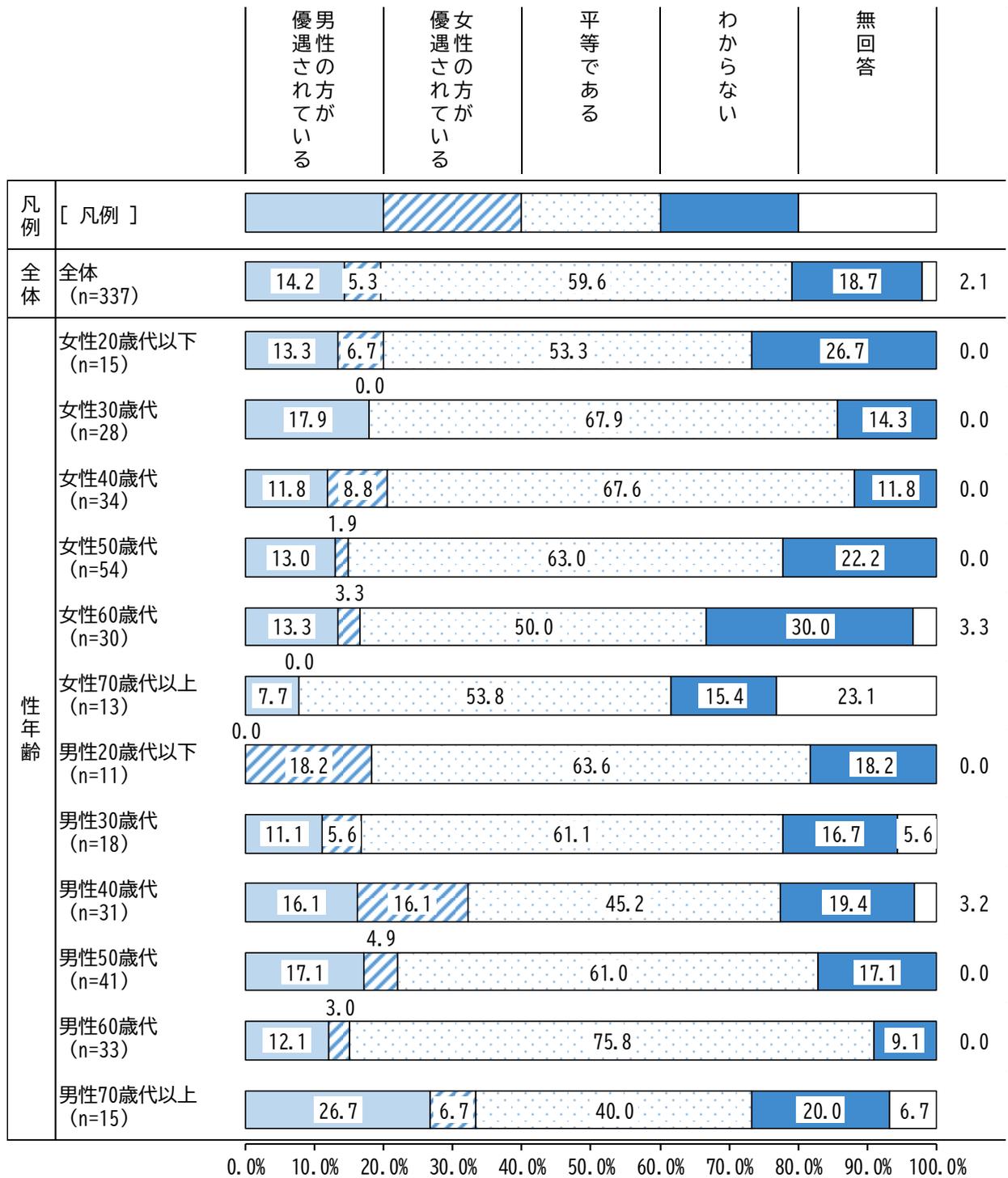
⑧働き続けやすい環境

【全体】

○ 「平等である」が59.6%で最も多く、次いで「わからない」が18.7%、「男性の方が優遇されている」が14.2%となっています。

【⑧働き続けやすい環境】



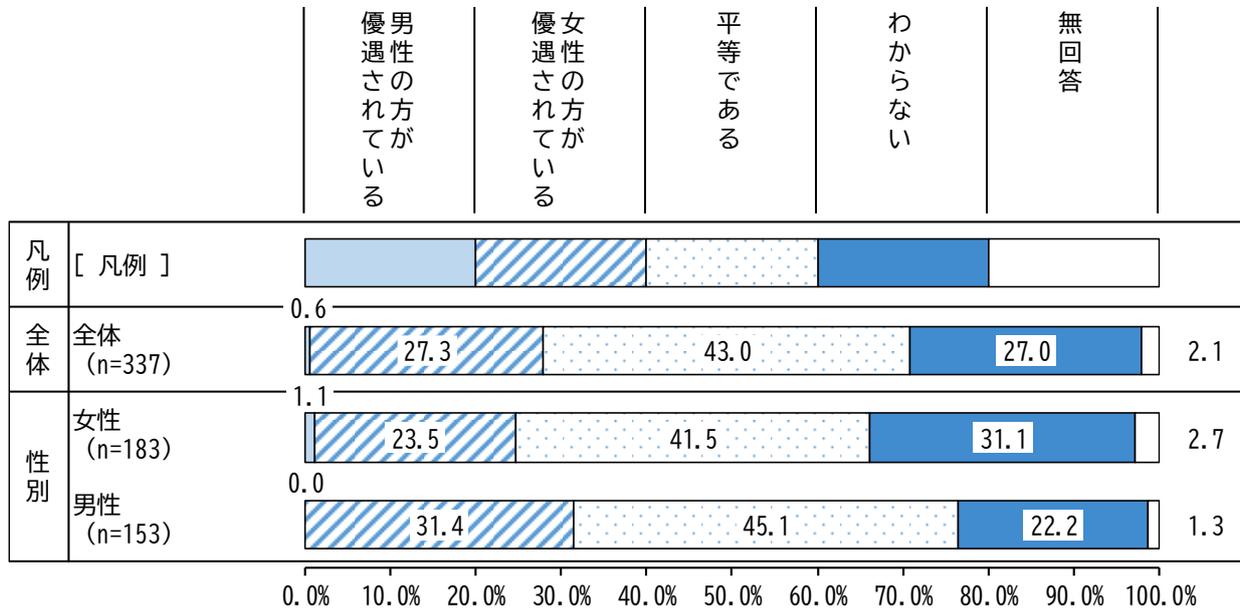


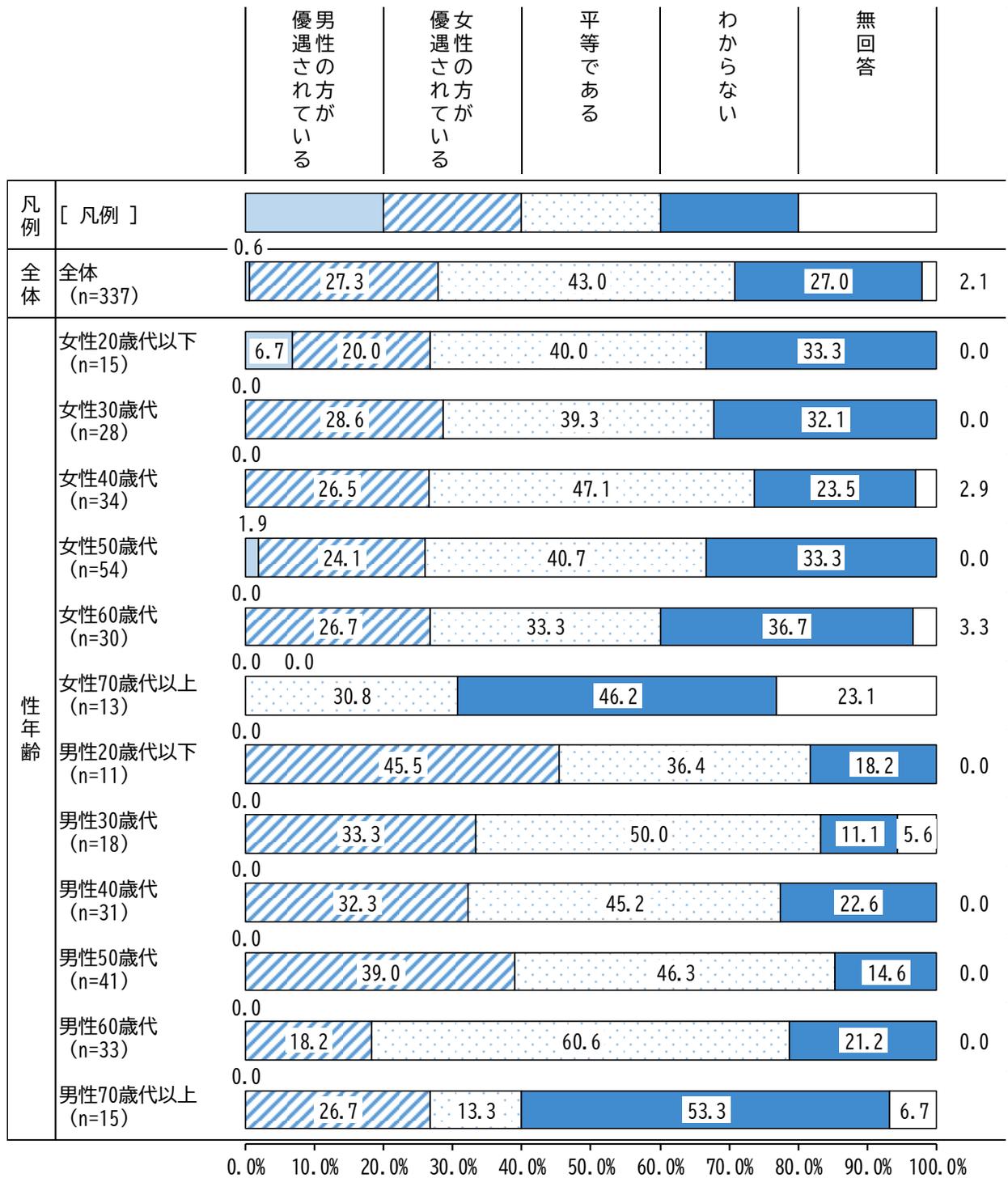
⑨育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ

【全体】

○ 「平等である」が43.0%で最も多く、次いで「女性の方が優遇されている」が27.3%、「わからない」が27.0%となっています。

【⑨育児・介護休暇など休暇の取得のしやすさ】

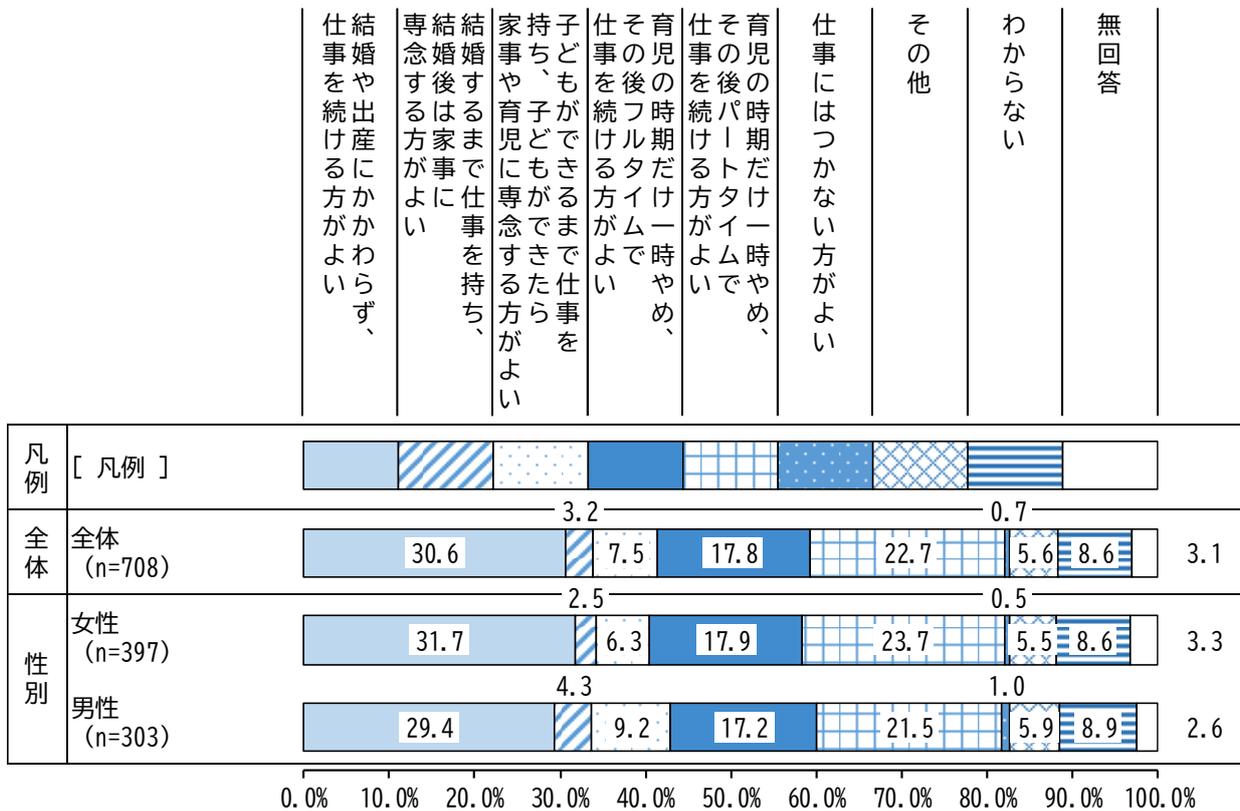




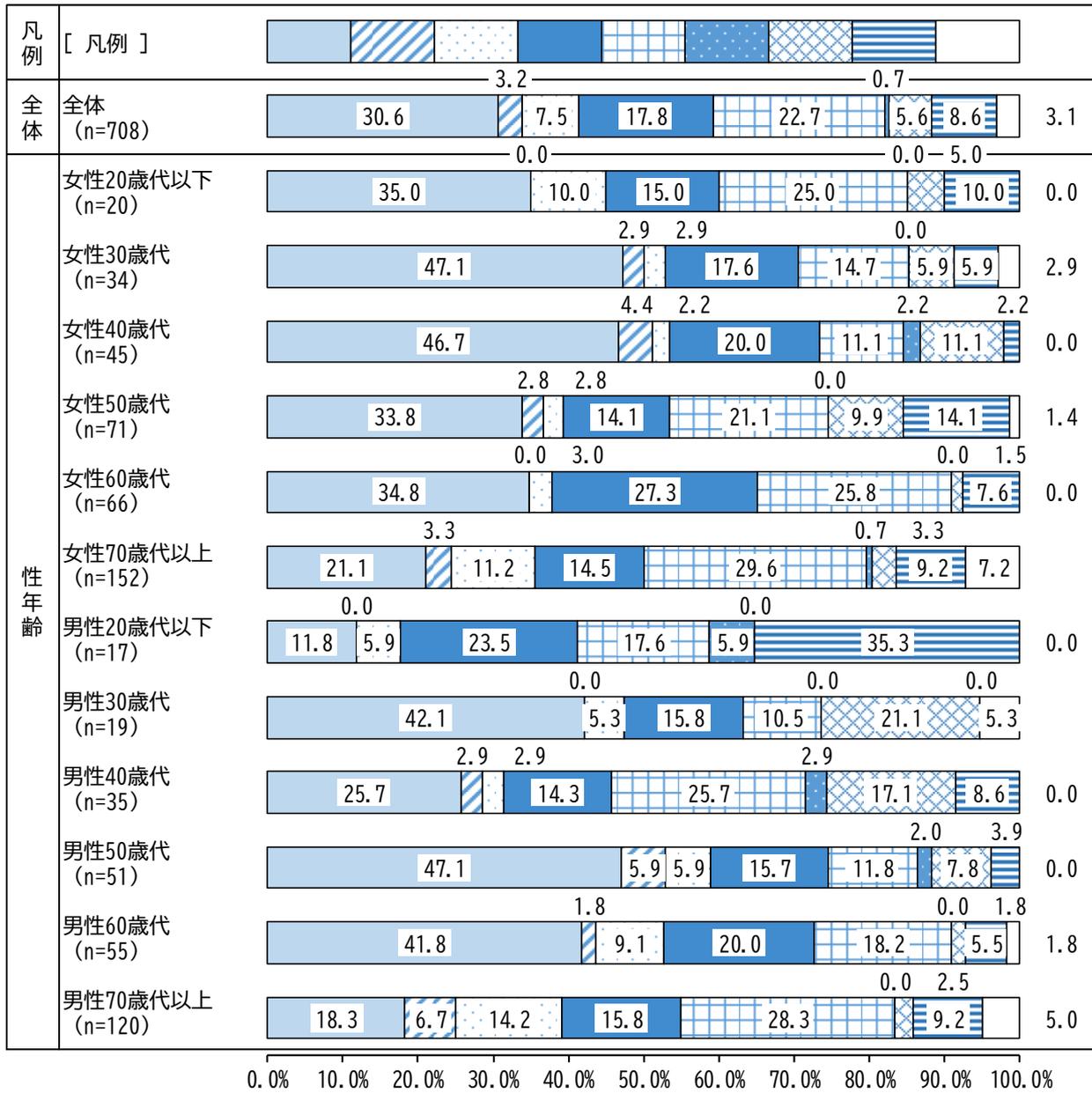
問7 あなたが、女性の働き方として望ましいと思うのは、次のうちどれですか。(○は1つ)

【全体】
 ○ 女性の働き方として望ましいと思うものについて、「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい」が30.6%で最も多く、次いで「育児の時期だけ一時やめ、その後パートタイムで仕事を続ける方がよい」が22.7%、「育児の時期だけ一時やめ、その後フルタイムで仕事を続ける方がよい」が17.8%となっています。

【女性の働き方として望ましいと思うもの】



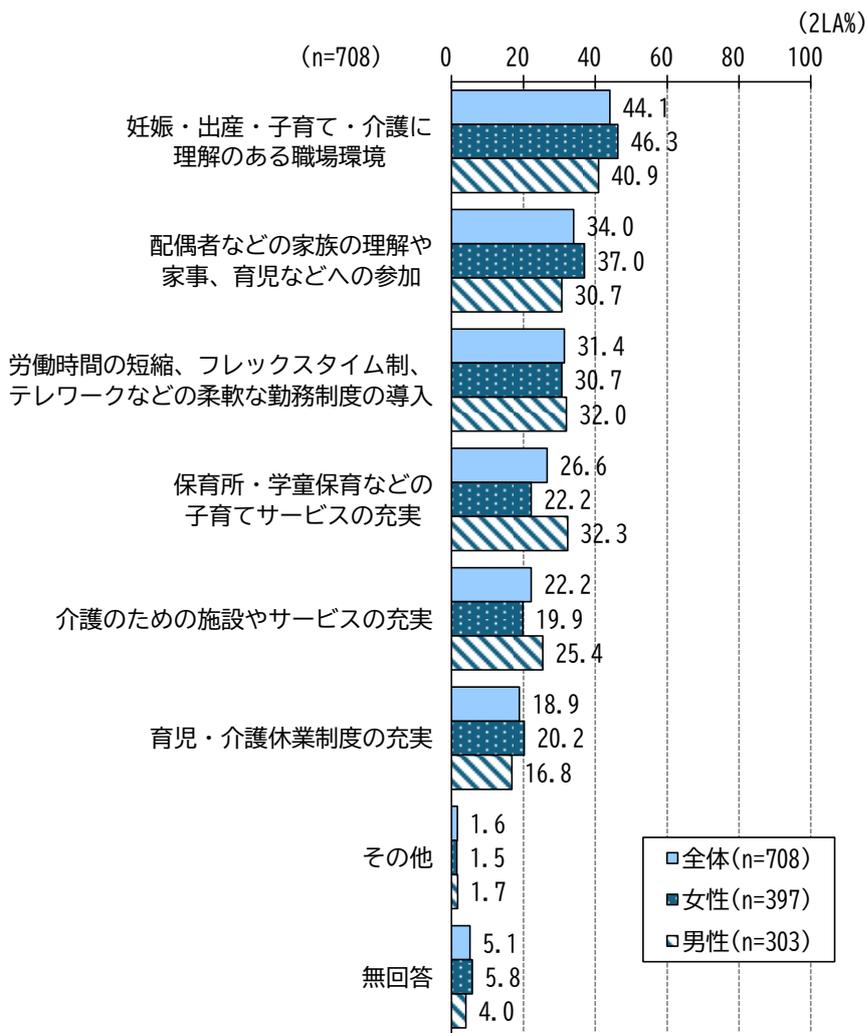
仕事にはつかない方がよい	その他	わからない	無回答
育児の時期だけ一時やめ、その後のパートタイムで仕事を続ける方がよい	育後のフルタイムで仕事を続ける方がよい	子どもができるまで仕事をもち、子どもができたら家事や育児に専念する方がよい	結婚後は家事に専念する方がよい
結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける方がよい			



問8 働く人が、出産・子育て・介護などの理由で、仕事を辞めずに働き続けるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

【全体】
 ○ 仕事を辞めずに働き続けるために必要なことについて、「妊娠・出産・子育て・介護に理解のある職場環境」が44.1%で最も多く、次いで「配偶者などの家族の理解や家事、育児などへの参加」が34.0%、「労働時間の短縮、フレックスタイム制、テレワークなどの柔軟な勤務制度の導入」が31.4%となっています。

【仕事を辞めずに働き続けるために必要なこと(2LA)】



単位：%

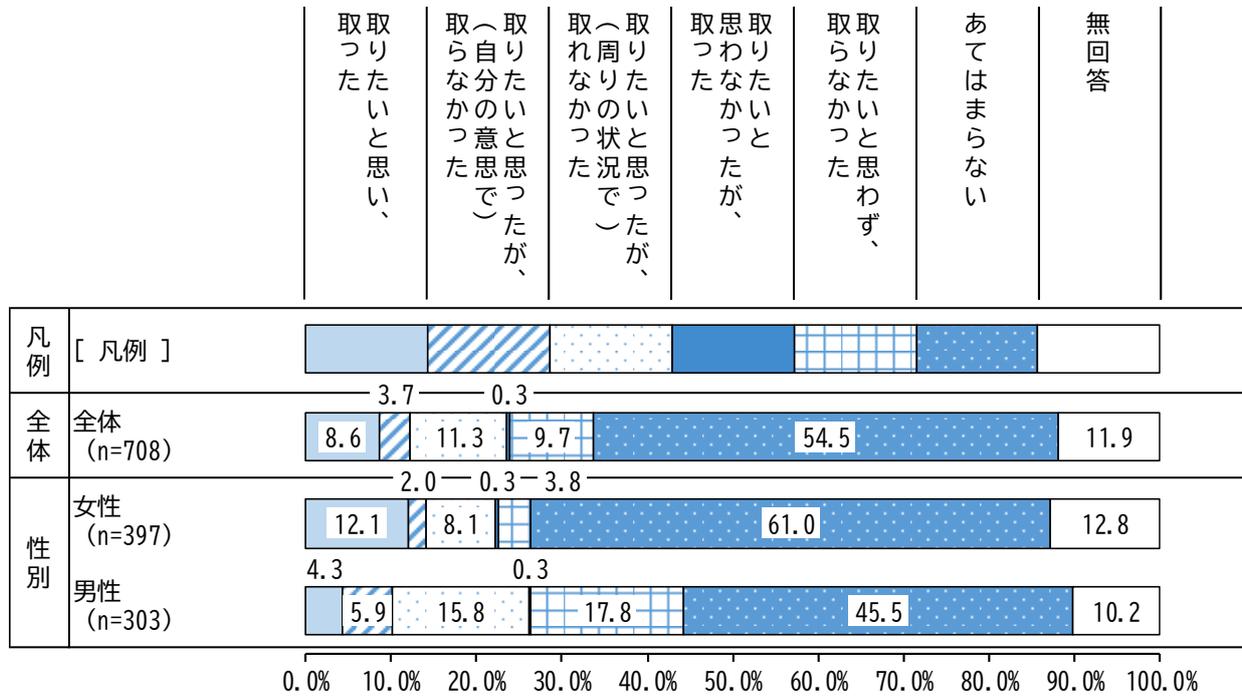
	母数 (n)	仕事を辞めずに働き続けるために必要なこと(2LA)								
		家事、配 偶者な ど、育 児な ど、家 族の 参加 解 や	子保 育所 ・サ ービ スの 充 実	サ ー ビ ス の 充 実 の 施 設 や	育 児 ・ 介 護 休 業 制 度 の 充 実	柔 軟 な 勤 務 制 度 の 導 入	タ イ ム 制 、 テ レ ワ ー ク な ど の フ レ ッ ク ス	理 解 の あ る 職 場 環 境	妊 娠 ・ 出 産 ・ 子 育 て ・ 介 護 に	そ の 他
全体	708	34.0	26.6	22.2	18.9	31.4	44.1	1.6	5.1	
性 年 齢	女性20歳代以下	20	35.0	35.0	-	10.0	△ 50.0	50.0	-	-
	女性30歳代	34	△ 47.1	32.4	▼ 8.8	17.6	38.2	38.2	2.9	2.9
	女性40歳代	45	31.1	▼ 13.3	▼ 8.9	24.4	△ 51.1	△ 66.7	2.2	-
	女性50歳代	71	36.6	26.8	23.9	25.4	32.4	50.7	-	-
	女性60歳代	66	40.9	25.8	18.2	21.2	22.7	50.0	1.5	3.0
	女性70歳代以上	152	35.5	17.8	27.0	19.1	▼ 21.1	37.5	2.0	13.2
	男性20歳代以下	17	35.3	△ 41.2	▼ 11.8	17.6	41.2	47.1	-	-
	男性30歳代	19	36.8	26.3	▼ 10.5	26.3	△ 52.6	▼ 26.3	-	5.3
	男性40歳代	35	25.7	△ 42.9	17.1	14.3	34.3	48.6	5.7	-
	男性50歳代	51	29.4	29.4	21.6	21.6	35.3	45.1	2.0	-
	男性60歳代	55	29.1	△ 41.8	30.9	14.5	30.9	34.5	-	7.3
	男性70歳代以上	120	32.5	26.7	30.8	15.0	25.0	40.8	1.7	5.8

問9 あなたは、これまでに育児休業・介護休業を取りましたか。(各項目でそれぞれ○は1つ)

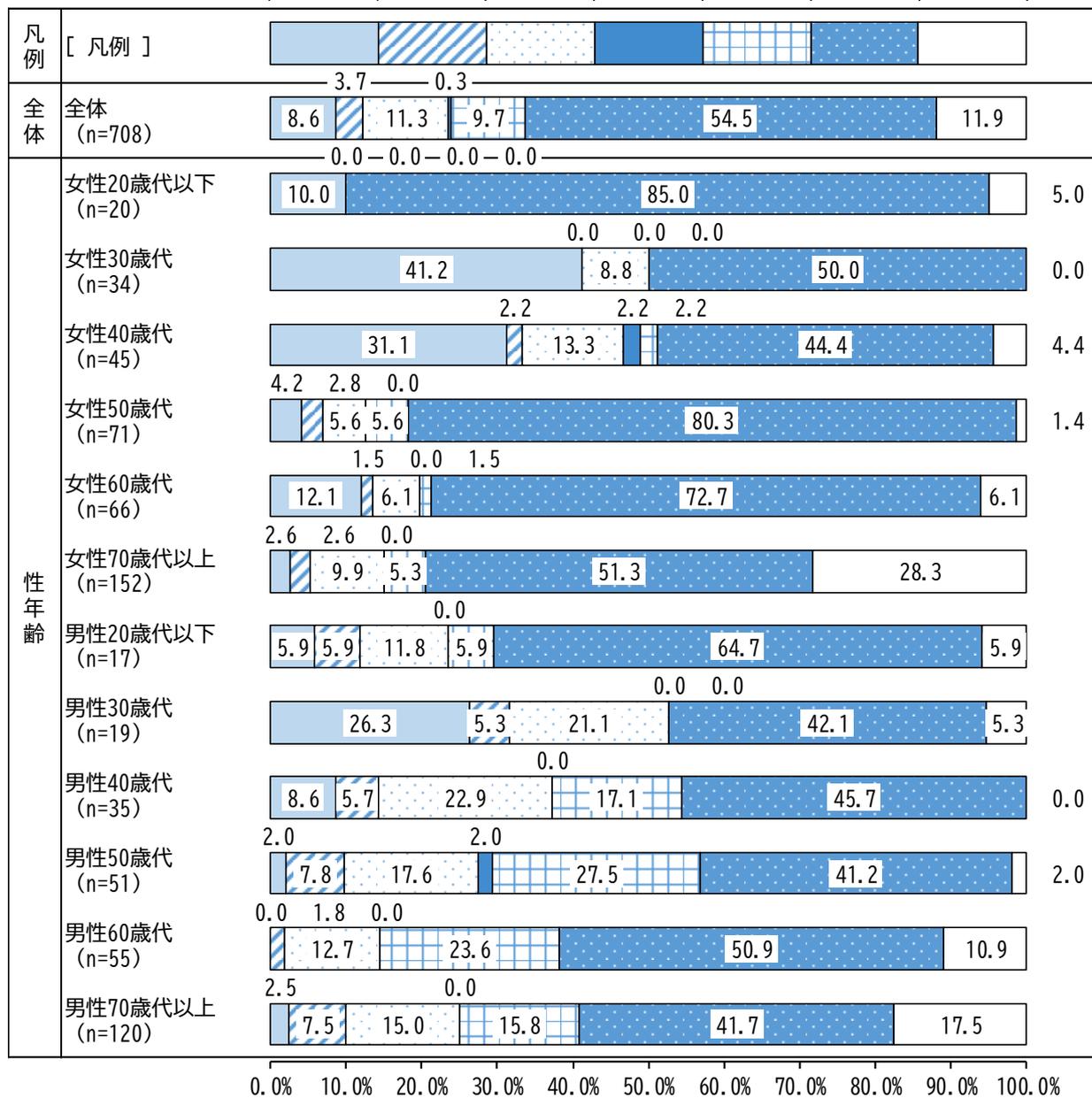
①育児休業について

【全体】
 ○ 育児休業について、「あてはまらない」が54.5%で最も多く、次いで「取りたいと思ったが、(周りの状況で)取れなかった」が11.3%、「取りたいと思わず、取らなかった」が9.7%となっています。

【①育児休業について】



取 つ た い と 思 い、	取 ら な か つ た	取 り た い と 思 つ た が、 (自 分 の 意 思 で)	取 れ な か つ た	取 り た い と 思 つ た が、 (周 り の 状 況 で)	取 つ た 思 わ な か つ た が、	取 り た い と 思 わ ず、 取 ら な か つ た	あ て は ま ら な い	無 回 答
----------------------------------	----------------------------	--	----------------------------	--	---	---	---------------------------------	-------------

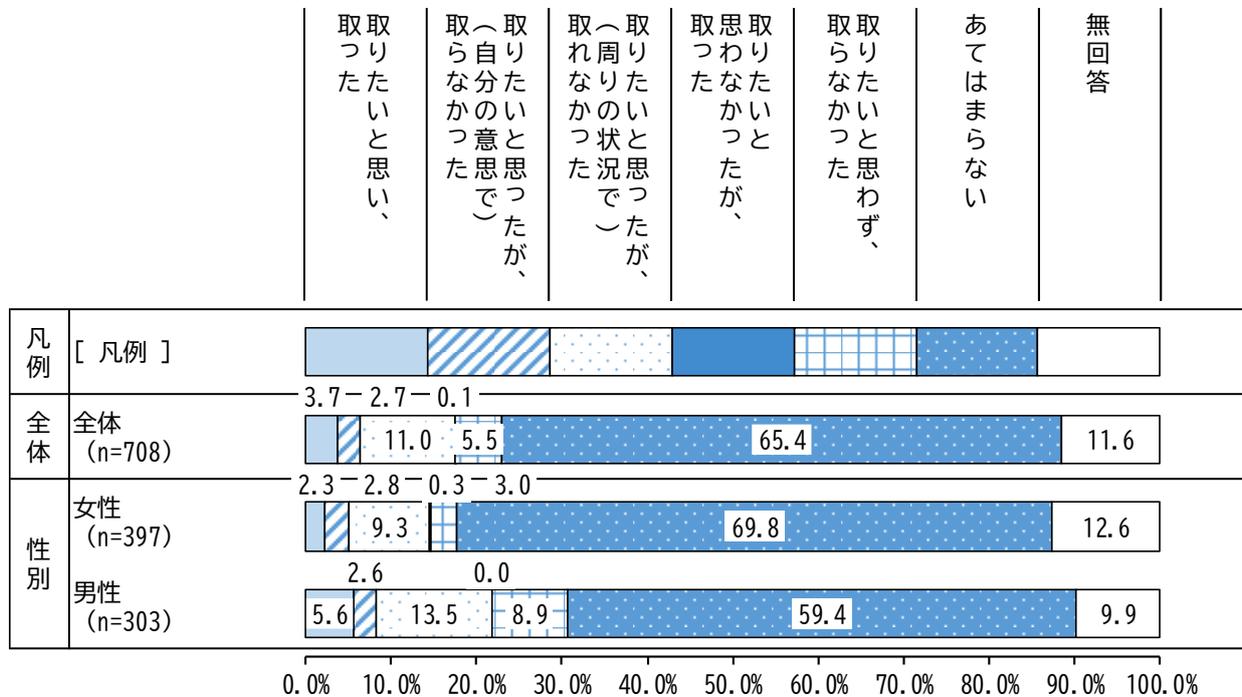


②介護休業について

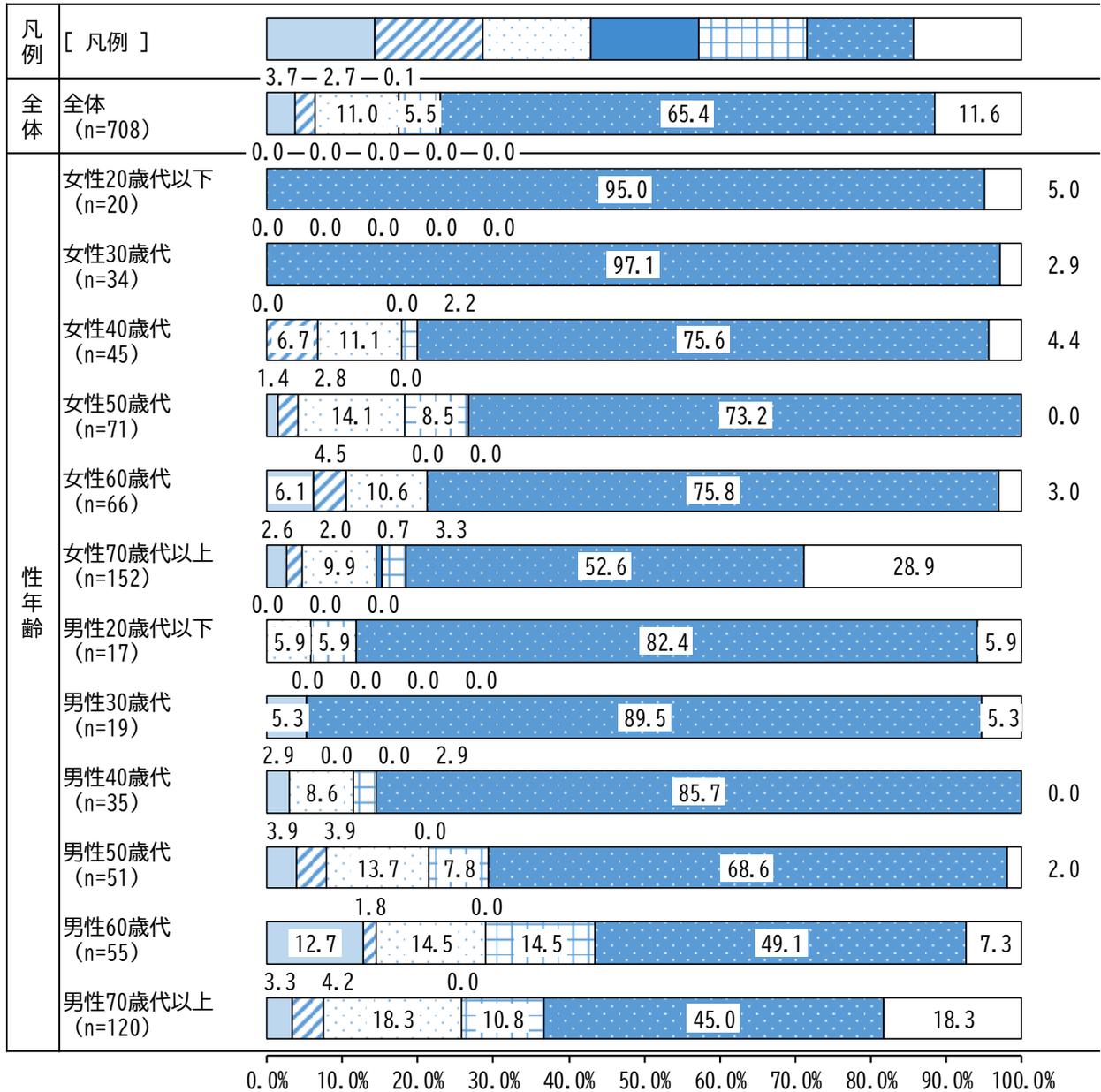
【全体】

- 介護休業について、「あてはまらない」が65.4%で最も多く、次いで「取りたいと思ったが、(周りの状況で)取れなかった」が11.0%、「取りたいと思わず、取らなかった」が5.5%となっています。

【②介護休業について】



取 つ た い と 思 い、	取 ら な か つ た （ 自 分 の 意 思 で ）	取 り た い と 思 つ た が、	取 れ な か つ た （ 周 り の 状 況 で ）	取 つ た 思 わ な か つ た が、	取 り た い と 思 わ ず、	取 ら な か つ た	あ て は ま ら な い	無 回 答
----------------------------------	--	--	--	---	---------------------------------------	----------------------------	---------------------------------	-------------

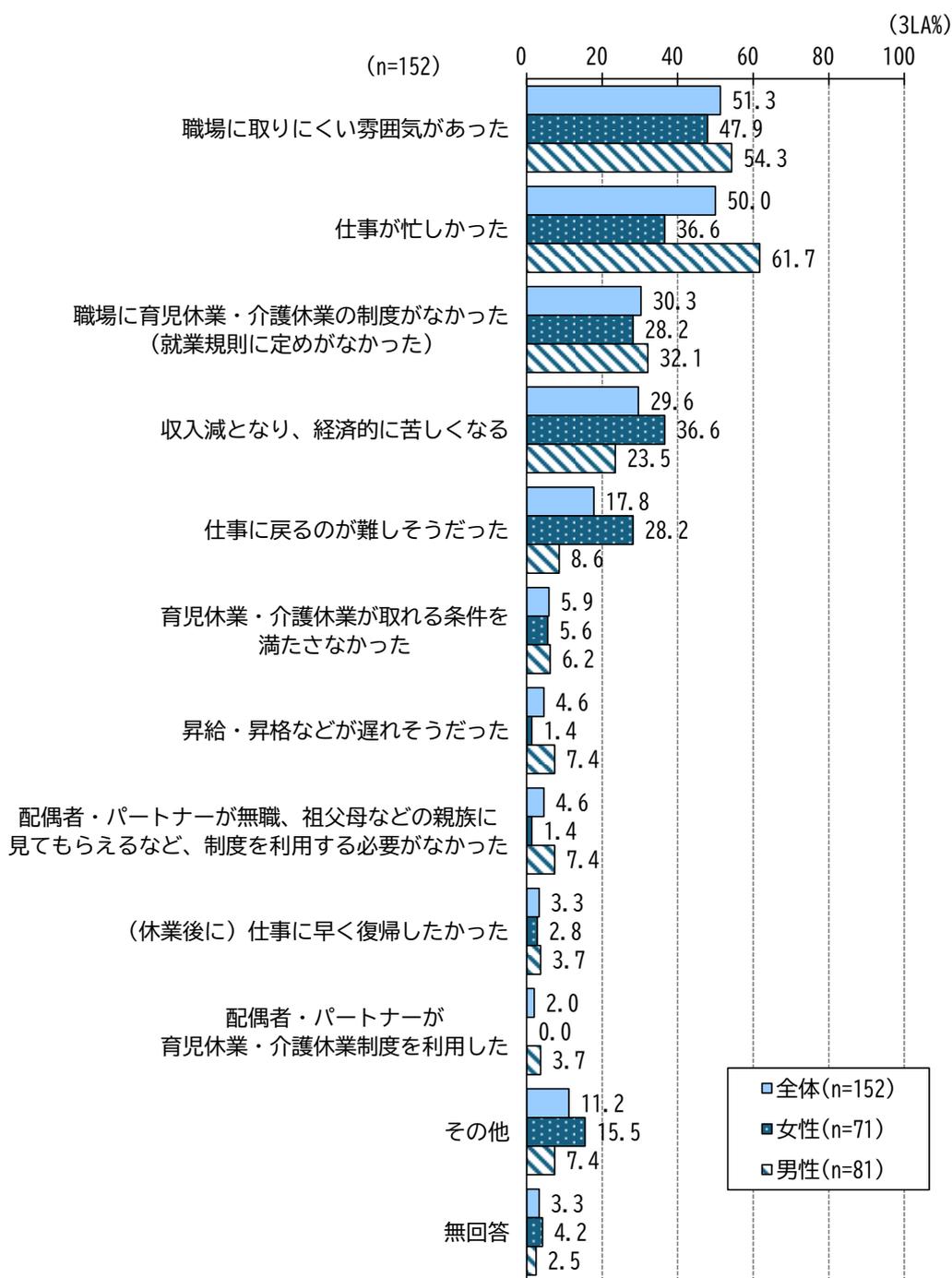


問10 問9で1つでも「取りたいと思ったが、(自分の意思で) 取らなかった」「取りたいと思ったが、(周りの状況で) 取れなかった」と回答した方にお聞きします。
取得できなかった理由は何ですか。(○は3つまで)

【全体】

○ 育児・介護休業を取得できなかった理由について、「職場に取りにくい雰囲気があった」が51.3%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が50.0%、「職場に育児休業・介護休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が30.3%となっています。

【育児・介護休業を取得できなかった理由(3LA)】



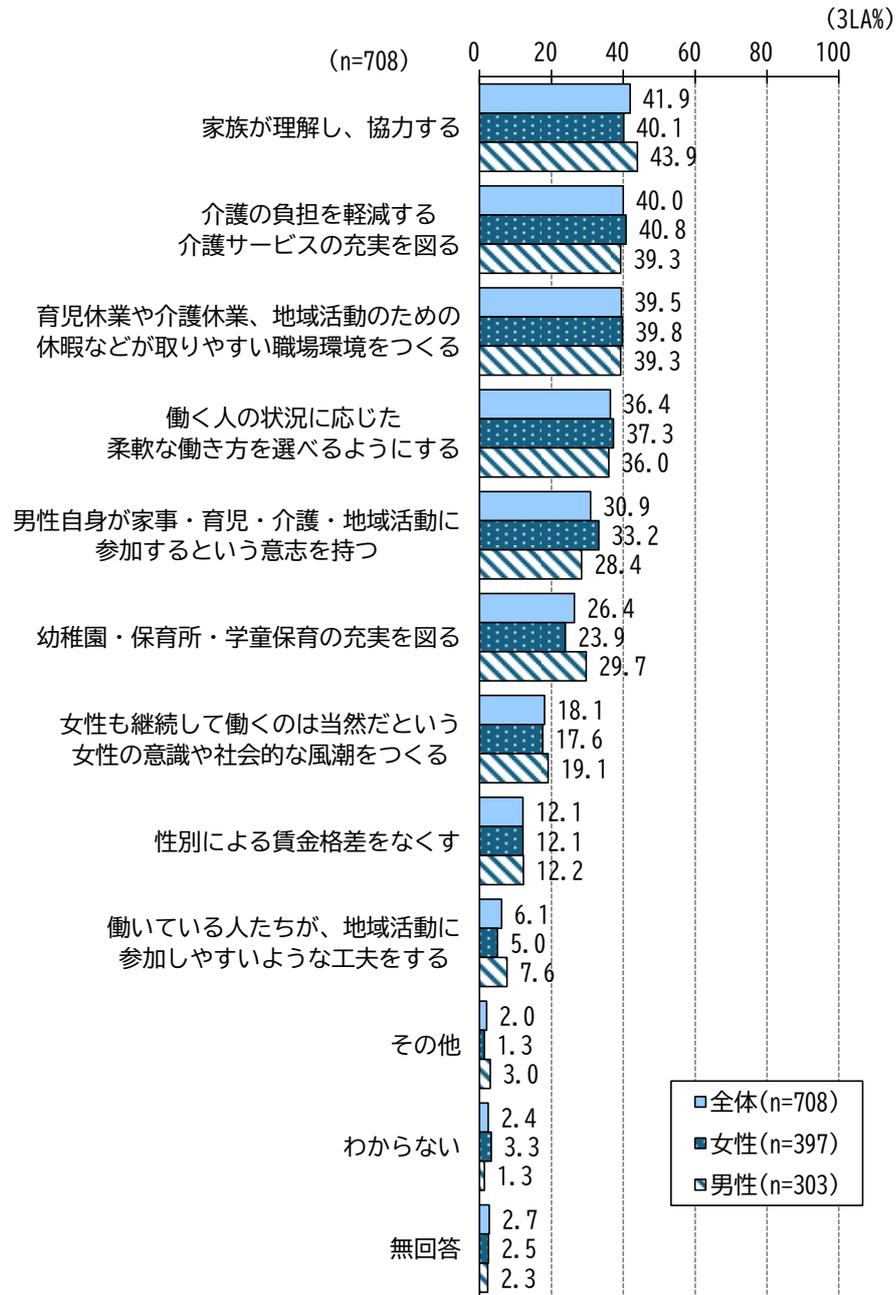
		母数 (n)	育児・介護休業を取得できなかった理由(3LA)											
			あ 職 場 に 取 り に く い 雰 囲 気 が	仕 事 が 忙 し か つ た	仕 事 に 早 く 復 帰 し た か つ た (休業後に)	仕 事 に 戻 る の が 難 し そ う だ つ た	遅 れ 給 ・ 昇 格 な ど が あ つ た	経 済 的 に 苦 し く な る	配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー が 育 児 休 業 を 利 用 し た	制 度 を 利 用 す る 必 要 が な か つ た な ど の 親 族 に 見 て も ら え る な ど、	配 偶 者 ・ パ ー ト ナ ー が 無 職 、 祖 父 母	職 場 に 育 児 休 業 ・ 介 護 休 業 の 制 度 が な か つ た (就業規則に定めがなかった)	取 れ る 条 件 を 満 た さ な か つ た	そ の 他
全体		152	51.3	50.0	3.3	17.8	4.6	29.6	2.0	4.6	30.3	5.9	11.2	3.3
性 年 齢	女性20歳代以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性30歳代	3	△ 66.7	-	-	△ 33.3	-	-	-	-	33.3	△ 33.3	-	-
	女性40歳代	13	53.8	▼ 30.8	-	23.1	7.7	△ 53.8	-	-	▼ 15.4	7.7	7.7	7.7
	女性50歳代	16	43.8	▼ 25.0	6.3	△ 31.3	-	△ 56.3	-	6.3	31.3	-	△ 37.5	-
	女性60歳代	13	▼ 30.8	53.8	-	△ 30.8	-	▼ 15.4	-	-	△ 46.2	-	15.4	-
	女性70歳代以上	26	53.8	42.3	3.8	26.9	-	30.8	-	-	23.1	7.7	7.7	7.7
	男性20歳代以下	3	△ 66.7	△ 66.7	△ 33.3	-	△ 33.3	△ 66.7	-	-	-	-	-	-
	男性30歳代	5	▼ 20.0	△ 80.0	-	△ 40.0	-	20.0	△ 20.0	△ 20.0	▼ 20.0	-	20.0	-
	男性40歳代	10	▼ 40.0	△ 60.0	-	10.0	-	△ 60.0	-	-	▼ 10.0	-	-	20.0
	男性50歳代	15	△ 73.3	46.7	-	13.3	6.7	26.7	-	13.3	▼ 20.0	-	13.3	-
	男性60歳代	13	53.8	△ 69.2	-	▼ 7.7	-	23.1	7.7	7.7	30.8	7.7	7.7	-
男性70歳代以上	35	54.3	△ 62.9	5.7	▼ 2.9	11.4	▼ 8.6	2.9	5.7	△ 48.6	11.4	5.7	-	

問11 性別にかかわらず、仕事と子育て、介護、地域活動を両立させるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

- 仕事と子育て、介護、地域活動を両立させるために必要なことについて、「家族が理解し、協力する」が41.9%で最も多く、次いで「介護の負担を軽減する介護サービスの充実を図る」が40.0%、「育児休業や介護休業、地域活動のための休暇などが取りやすい職場環境をつくる」が39.5%となっています。

【仕事と子育て、介護、地域活動を両立させるために必要なこと(3LA)】



単位：%

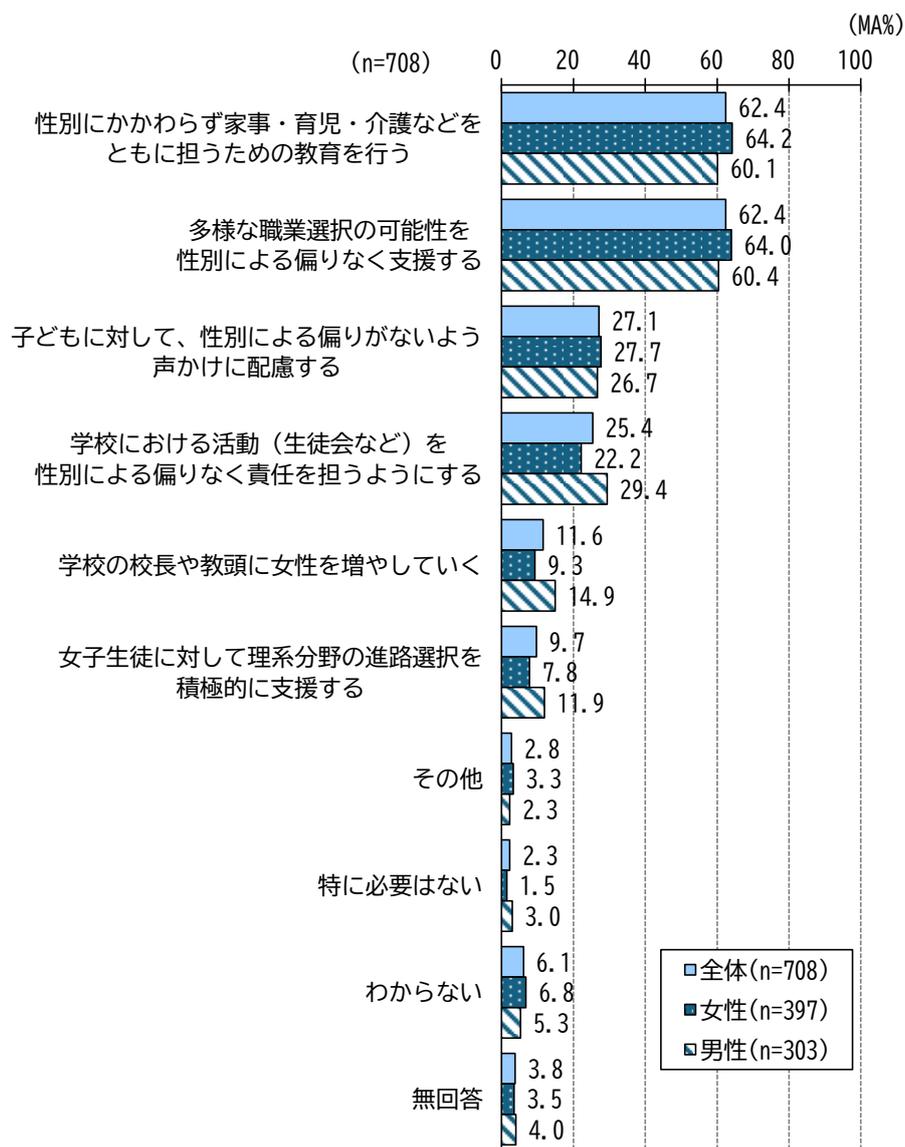
		仕事と子育て、介護、地域活動を両立させるために必要なこと(3LA)																		
		母数 (n)	社会的な風潮をつくる	女性も継続して働くの意識や	地域活動に参加するとい	男性自身が家事・育児・介護・	家族が理解し、協力する	取りやすい職場環境をつくる	育児休業や介護休業、	働き方を選べるようにする	働いている人たちが、	働き方を選べるようにする	性別による賃金格差をなくす	充実を図る	幼稚園・保育所・学童保育の	介護サービスの充実を図る	介護の負担を軽減する	その他	わからない	無回答
全体		708	18.1	30.9	41.9	39.5	6.1	36.4	12.1	26.4	40.0	2.0	2.4	2.7						
性 年 齢	女性20歳代以下	20	▼ 5.0	30.0	40.0	△ 65.0	5.0	40.0	15.0	△ 45.0	▼ 5.0	-	-	-						
	女性30歳代	34	14.7	△ 44.1	41.2	32.4	11.8	44.1	14.7	△ 47.1	▼ 14.7	2.9	2.9	-						
	女性40歳代	45	17.8	△ 42.2	▼ 24.4	42.2	15.6	△ 51.1	17.8	▼ 15.6	33.3	-	2.2	-						
	女性50歳代	71	22.5	32.4	38.0	36.6	1.4	38.0	14.1	28.2	△ 50.7	2.8	1.4	-						
	女性60歳代	66	19.7	△ 43.9	37.9	△ 51.5	3.0	42.4	6.1	22.7	40.9	-	3.0	-						
	女性70歳代以上	152	13.8	25.0	47.4	32.2	3.3	28.3	10.5	▼ 16.4	△ 50.0	1.3	5.3	6.6						
	男性20歳代以下	17	17.6	35.3	47.1	△ 52.9	5.9	△ 47.1	11.8	△ 41.2	▼ 17.6	5.9	-	-						
	男性30歳代	19	26.3	26.3	△ 52.6	△ 52.6	5.3	△ 52.6	10.5	△ 36.8	▼ 15.8	-	-	-						
	男性40歳代	35	25.7	25.7	▼ 31.4	31.4	5.7	40.0	14.3	31.4	▼ 28.6	8.6	2.9	-						
	男性50歳代	51	15.7	29.4	39.2	45.1	7.8	41.2	11.8	21.6	39.2	3.9	2.0	-						
	男性60歳代	55	23.6	29.1	45.5	43.6	5.5	30.9	14.5	30.9	45.5	-	1.8	1.8						
男性70歳代以上	120	15.8	29.2	47.5	31.7	10.0	29.2	11.7	30.0	47.5	2.5	0.8	4.2							

問12 あなたは、子どもたちが将来、性別にかかわらず社会の様々な分野で活躍できるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 性別にかかわらず社会で活躍できるために必要なことについて、「性別にかかわらず家事・育児・介護などをともに担うための教育を行う」「多様な職業選択の可能性を性別による偏りなく支援する」が62.4%で最も多く、次いで「子どもに対して、性別による偏りがないよう声かけに配慮する」が27.1%、「学校における活動（生徒会など）を性別による偏りなく責任を担うようにする」が25.4%となっています。

【性別にかかわらず社会で活躍できるために必要なこと(MA)】



		母数 (n)	性別にかかわらず社会で活躍するために必要なこと(MA)									無回答
			と家事・育児・介護などの教育を行う	性別にかかわらず声かけに配慮する	子どもに対して、偏りがないよう	（学校・会など）を性別による偏りなく責任を担うようにする	進路選択を積極的に支援する	女子生徒に対して理系分野の	多様な職業選択の可能性を	性別による偏りなく支援する	学校の校長や教頭に	
全体		708	62.4	27.1	25.4	9.7	62.4	11.6	2.8	2.3	6.1	3.8
性 年 齢	女性20歳代以下	20	70.0	20.0	20.0	15.0	65.0	5.0	-	-	5.0	-
	女性30歳代	34	70.6	35.3	20.6	5.9	55.9	14.7	5.9	5.9	2.9	-
	女性40歳代	45	60.0	26.7	28.9	13.3	△ 82.2	4.4	6.7	2.2	-	-
	女性50歳代	71	63.4	31.0	23.9	7.0	63.4	7.0	5.6	-	9.9	1.4
	女性60歳代	66	△ 72.7	30.3	21.2	7.6	71.2	9.1	3.0	1.5	7.6	-
	女性70歳代以上	152	59.2	23.7	19.7	5.9	57.2	11.2	1.3	1.3	8.6	8.6
	男性20歳代以下	17	52.9	△ 41.2	△ 41.2	11.8	△ 82.4	11.8	-	-	-	5.9
	男性30歳代	19	57.9	△ 42.1	31.6	△ 26.3	▼ 47.4	△ 26.3	-	-	5.3	-
	男性40歳代	35	▼ 48.6	28.6	▼ 14.3	17.1	▼ 45.7	14.3	△ 14.3	8.6	5.7	2.9
	男性50歳代	51	64.7	19.6	25.5	5.9	52.9	17.6	-	5.9	7.8	-
	男性60歳代	55	70.9	21.8	34.5	3.6	△ 76.4	9.1	1.8	-	5.5	3.6
	男性70歳代以上	120	59.2	27.5	31.7	14.2	59.2	15.0	0.8	2.5	4.2	5.8

5 暴力・ハラスメントについて

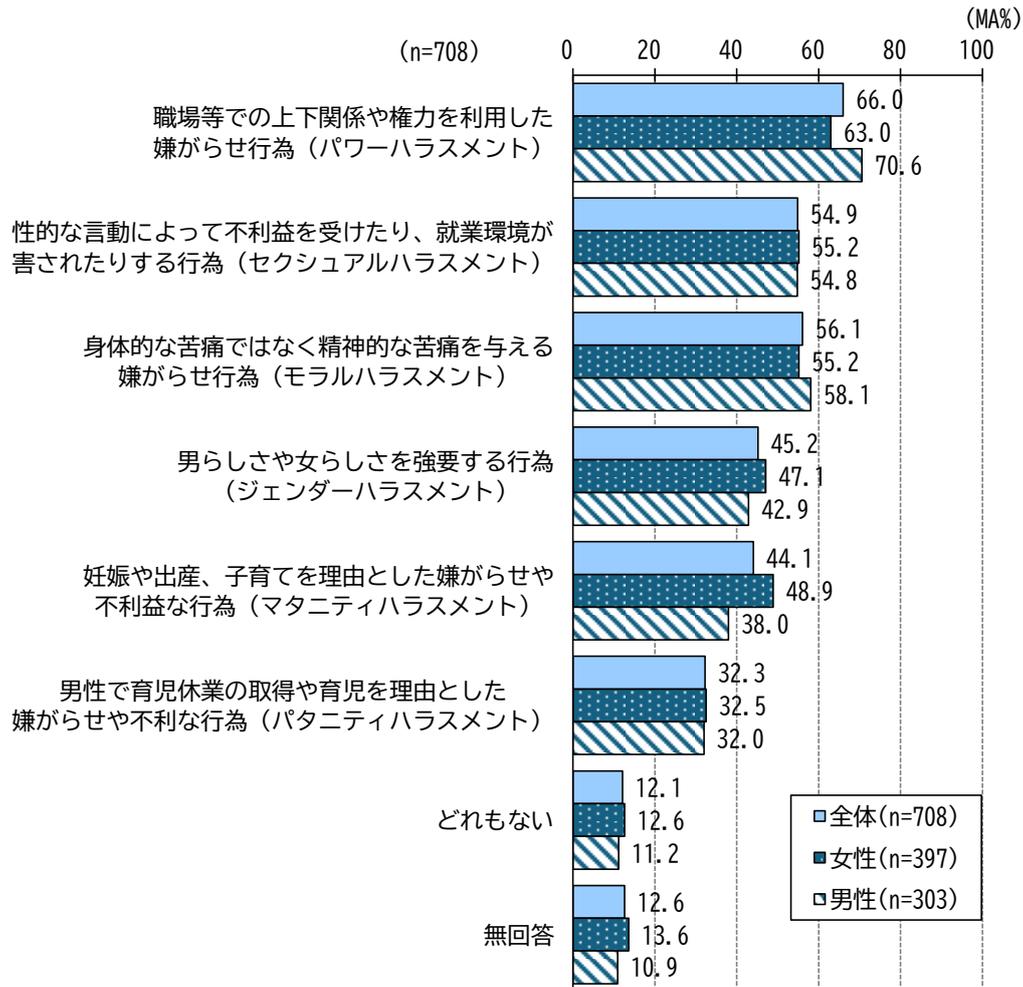
問13 あなたは、次のような行為を知っていますか。また、経験したことがありますか。
 (「知っている」「経験したことがある」それぞれ○はいくつでも)

①知っている(MA)

【全体】

- 「職場等での上下関係や権力を利用した嫌がらせ行為(パワーハラスメント)」が66.0%で最も多く、次いで「身体的な苦痛ではなく精神的な苦痛を与える嫌がらせ行為(モラルハラスメント)」が56.1%、「性的な言動によって不利益を受けたり、就業環境が害されたりする行為(セクシュアルハラスメント)」が54.9%となっています。

【①知っている(MA)】



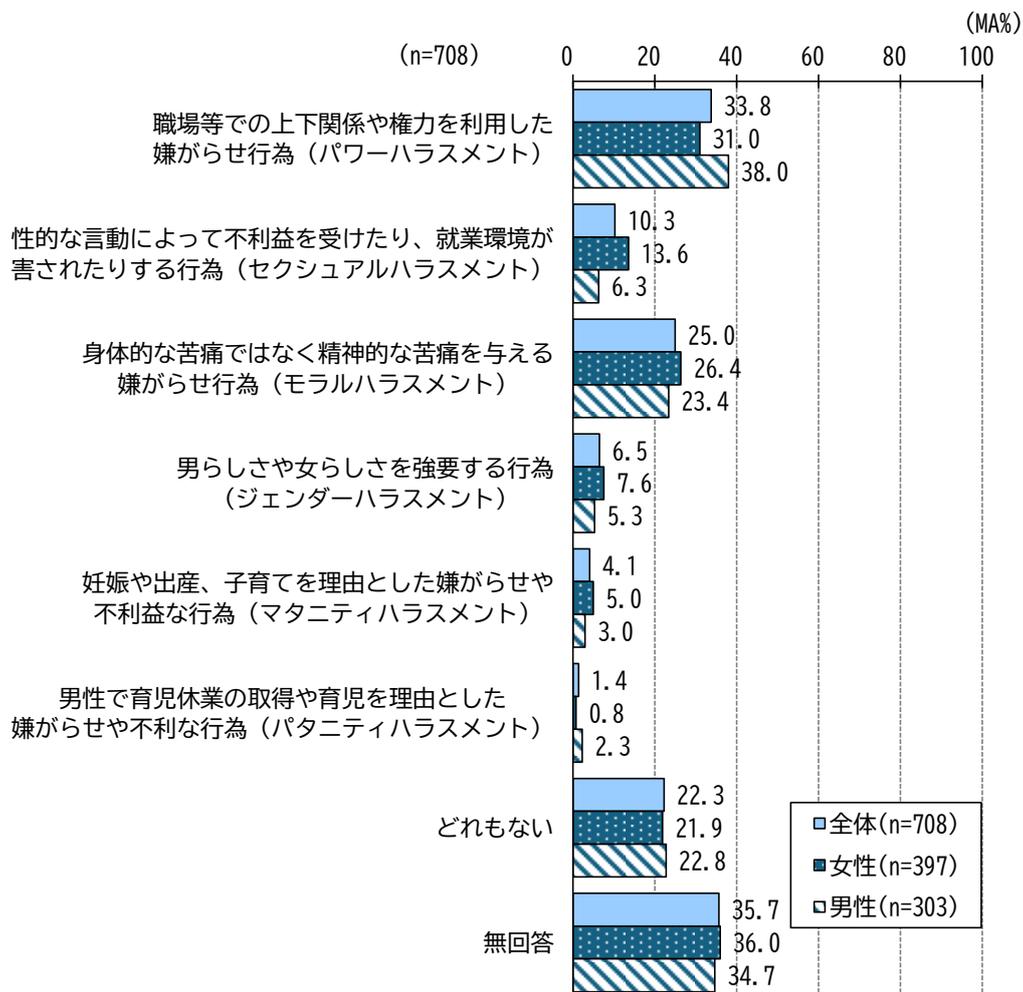
	母数 (n)	①知っている(MA)								
		嫌職 場等 がら せ行 為(パ ワー ハラ スメン ト)	性的 な言 動に よつ て不 利益 を 受け たり (セク シユ アル ハラ スメン ト)	精神 的な 苦痛 を 与え る嫌 がら せ行 為 (モラ ルハ ラス メン ト)	身体 的な 苦痛 では なく 精神 的な 苦痛 を 与え る嫌 がら せ行 為 (モラ ルハ ラス メン ト)	男 らし さや 女ら しさを 強要 する 行為 (ジエ ンダ ーハ ラス メン ト)	妊 娠や 出産 、子 育て を理 由とし た嫌 がら せ行 為 (マタ ニテイ ハラ スメン ト)	男 性で 育児 休業 の取 得や 育児 を理 由とし た嫌 がら せや 不利 な行 為 (パタ ニテイ ハラ スメン ト)	ど れも ない	無 回 答
全体	708	66.0	54.9	56.1	45.2	44.1	32.3	12.1	12.6	
性 年 齢	女性20歳代以下	20	75.0	△ 70.0	△ 70.0	55.0	△ 70.0	35.0	20.0	-
	女性30歳代	34	△ 76.5	△ 76.5	△ 67.6	△ 64.7	△ 64.7	△ 50.0	8.8	5.9
	女性40歳代	45	△ 80.0	△ 66.7	△ 75.6	△ 68.9	△ 68.9	△ 55.6	2.2	11.1
	女性50歳代	71	73.2	△ 76.1	△ 76.1	△ 64.8	△ 70.4	△ 43.7	8.5	4.2
	女性60歳代	66	68.2	60.6	59.1	54.5	53.0	36.4	7.6	10.6
	女性70歳代以上	152	▼ 46.1	▼ 32.9	▼ 33.6	▼ 25.0	▼ 25.0	▼ 15.1	19.1	24.3
	男性20歳代以下	17	△ 94.1	△ 88.2	△ 88.2	△ 76.5	△ 58.8	35.3	5.9	-
	男性30歳代	19	△ 84.2	△ 68.4	△ 84.2	△ 63.2	△ 57.9	△ 52.6	5.3	-
	男性40歳代	35	71.4	51.4	57.1	37.1	37.1	34.3	17.1	5.7
	男性50歳代	51	△ 88.2	64.7	△ 66.7	51.0	△ 54.9	39.2	5.9	-
	男性60歳代	55	△ 76.4	60.0	58.2	49.1	40.0	30.9	7.3	10.9
	男性70歳代以上	120	▼ 55.0	▼ 42.5	46.7	▼ 31.7	▼ 25.8	26.7	15.8	20.0

②経験したことがある(MA)

【全体】

- 「職場等での上下関係や権力を利用した嫌がらせ行為（パワーハラスメント）」が 33.8%で最も多く、次いで「身体的な苦痛ではなく精神的な苦痛を与える嫌がらせ行為（モラルハラスメント）」が 25.0%、「どれもない」が 22.3%となっています。

【②経験したことがある(MA)】



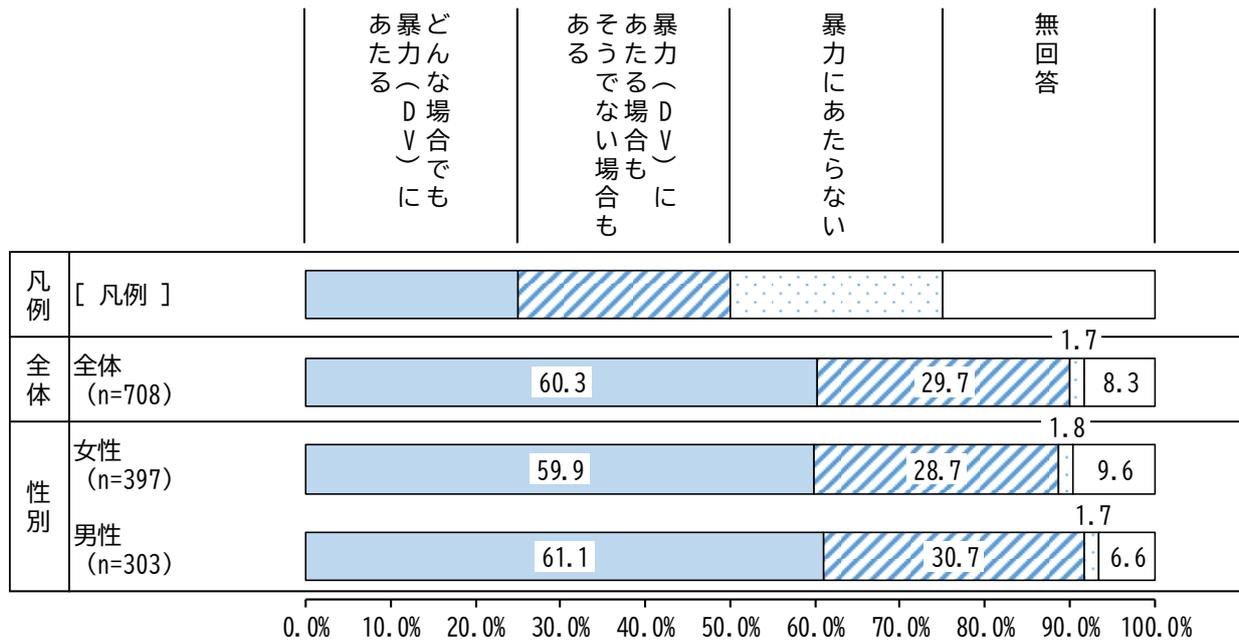
		母数 (n)	②経験したことがある(MA)							無回答
			嫌職場等での上下関係や権力を利用した行為(セクシユアルハラスメント)	性的な言動、就業環境が害されたりする行為(セクシユアルハラスメント)	精神的な苦痛を与える嫌がらせ行為(モラルハラスメント)	身体的な苦痛ではなく精神的な苦痛(モラルハラスメント)	男らしさや女らしさを強要する行為(ジェンダーハラスメント)	嫌がらせや不利益な行為(マタニティハラスメント)	妊娠や出産、子育てを理由とした(パタニティハラスメント)	
全体		708	33.8	10.3	25.0	6.5	4.1	1.4	22.3	35.7
性 年 齢	女性20歳代以下	20	▼ 20.0	△ 25.0	30.0	-	-	-	△ 45.0	15.0
	女性30歳代	34	41.2	△ 20.6	△ 38.2	5.9	△ 17.6	-	23.5	23.5
	女性40歳代	45	△ 51.1	△ 22.2	△ 37.8	11.1	8.9	2.2	15.6	22.2
	女性50歳代	71	35.2	16.9	31.0	8.5	1.4	-	22.5	31.0
	女性60歳代	66	42.4	18.2	33.3	13.6	9.1	3.0	16.7	25.8
	女性70歳代以上	152	▼ 16.4	3.9	▼ 14.5	3.9	1.3	-	21.1	54.6
	男性20歳代以下	17	▼ 17.6	5.9	▼ 11.8	11.8	5.9	5.9	△ 58.8	17.6
	男性30歳代	19	36.8	15.8	△ 36.8	5.3	10.5	5.3	26.3	21.1
	男性40歳代	35	42.9	11.4	34.3	5.7	2.9	2.9	28.6	25.7
	男性50歳代	51	△ 52.9	7.8	29.4	5.9	3.9	3.9	15.7	27.5
	男性60歳代	55	40.0	7.3	29.1	1.8	1.8	1.8	23.6	30.9
	男性70歳代以上	120	31.7	2.5	15.8	5.8	1.7	0.8	17.5	47.5

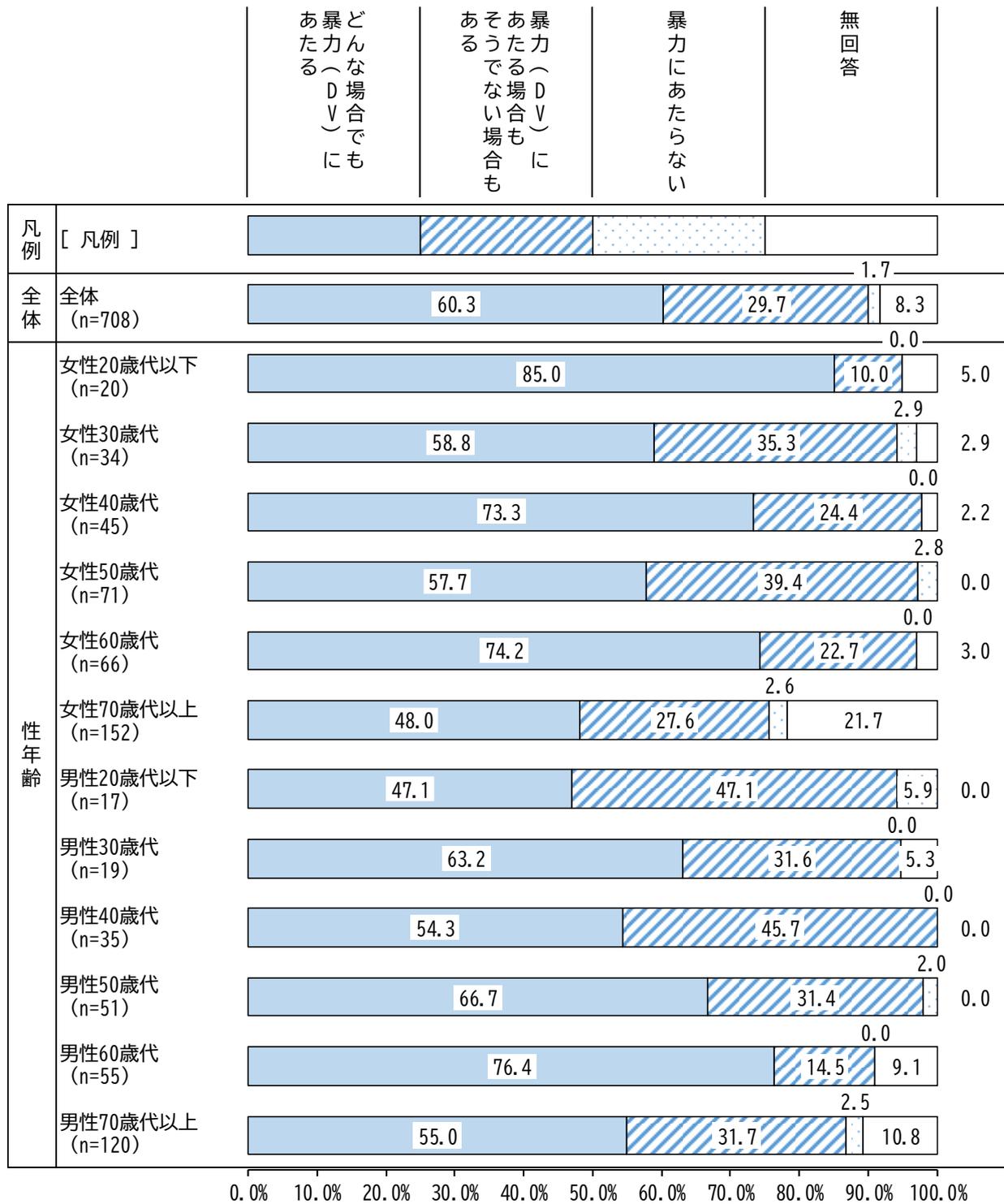
問14 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナー、恋人の間で行われて、された人が怖いと感じた場合、それを暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。あなたのお考えに近いものを選んでください。（各項目でそれぞれ○は1つ）

①物を投げる・壊す

【全体】
 ○ 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が60.3%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が29.7%、「暴力にあたらない」が1.7%となっています。

【①物を投げる・壊す】



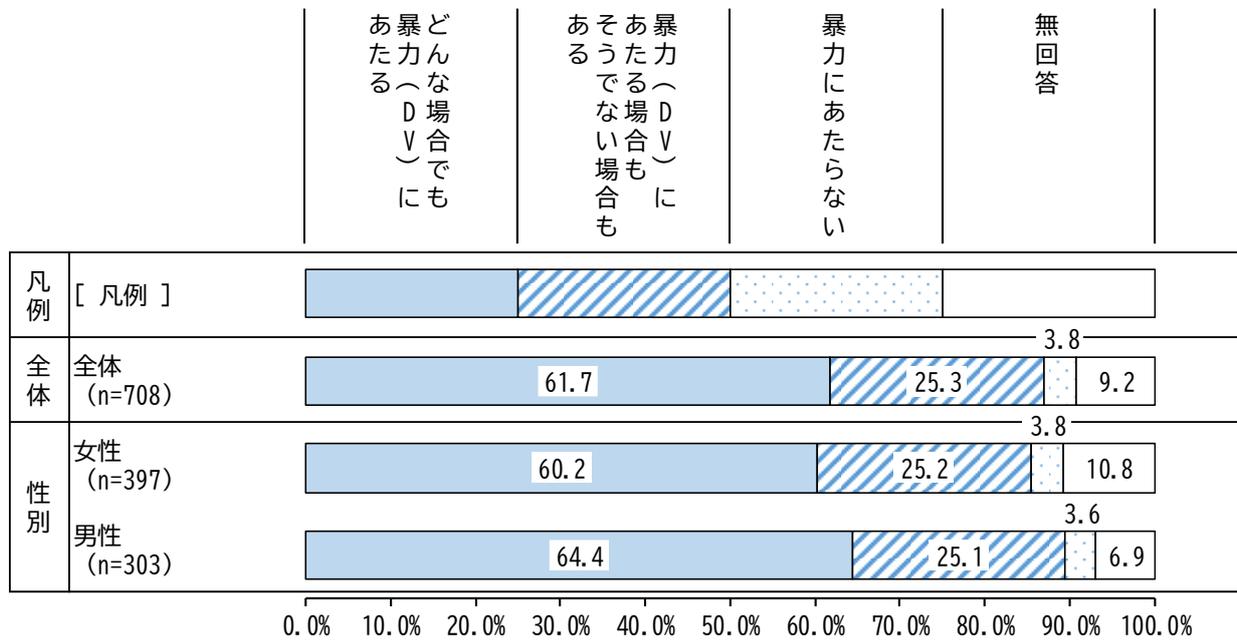


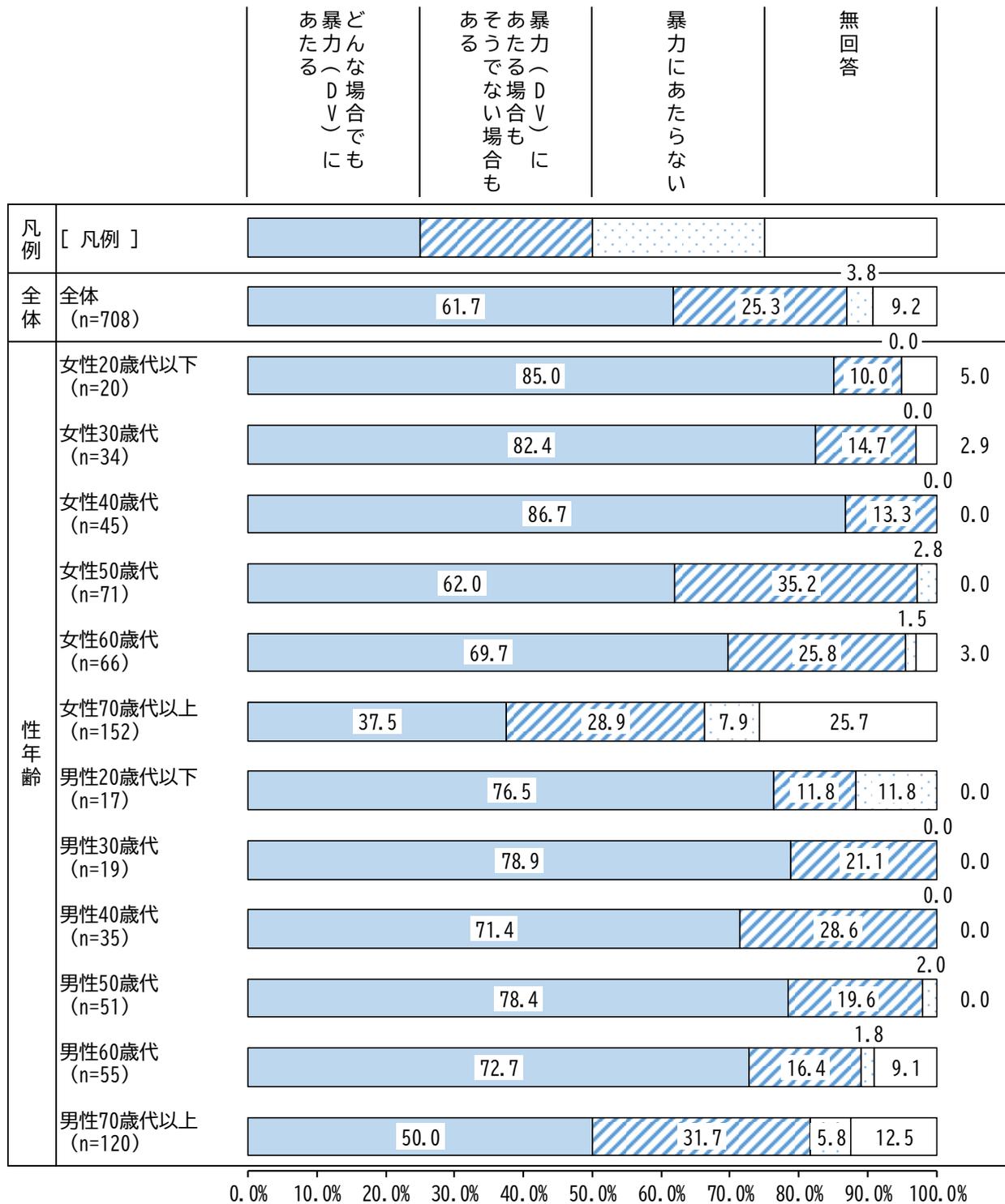
②殴るふりをして、おどす

【全体】

○ 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が61.7%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が25.3%、「暴力にあたらない」が3.8%となっています。

【②殴るふりをして、おどす】



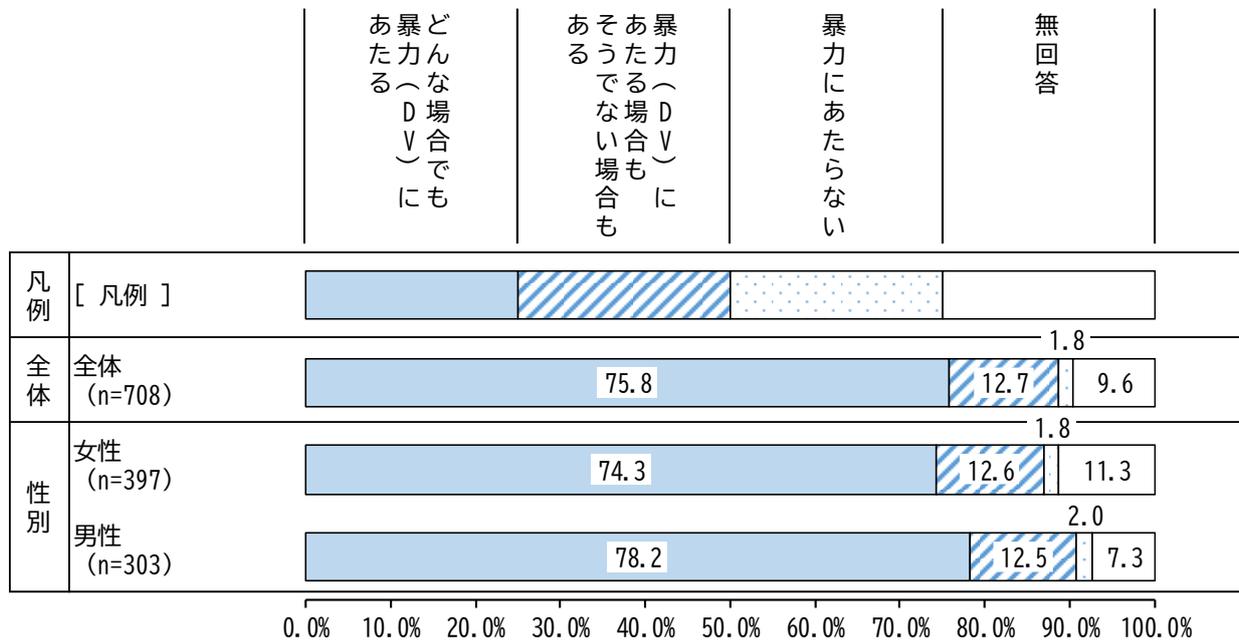


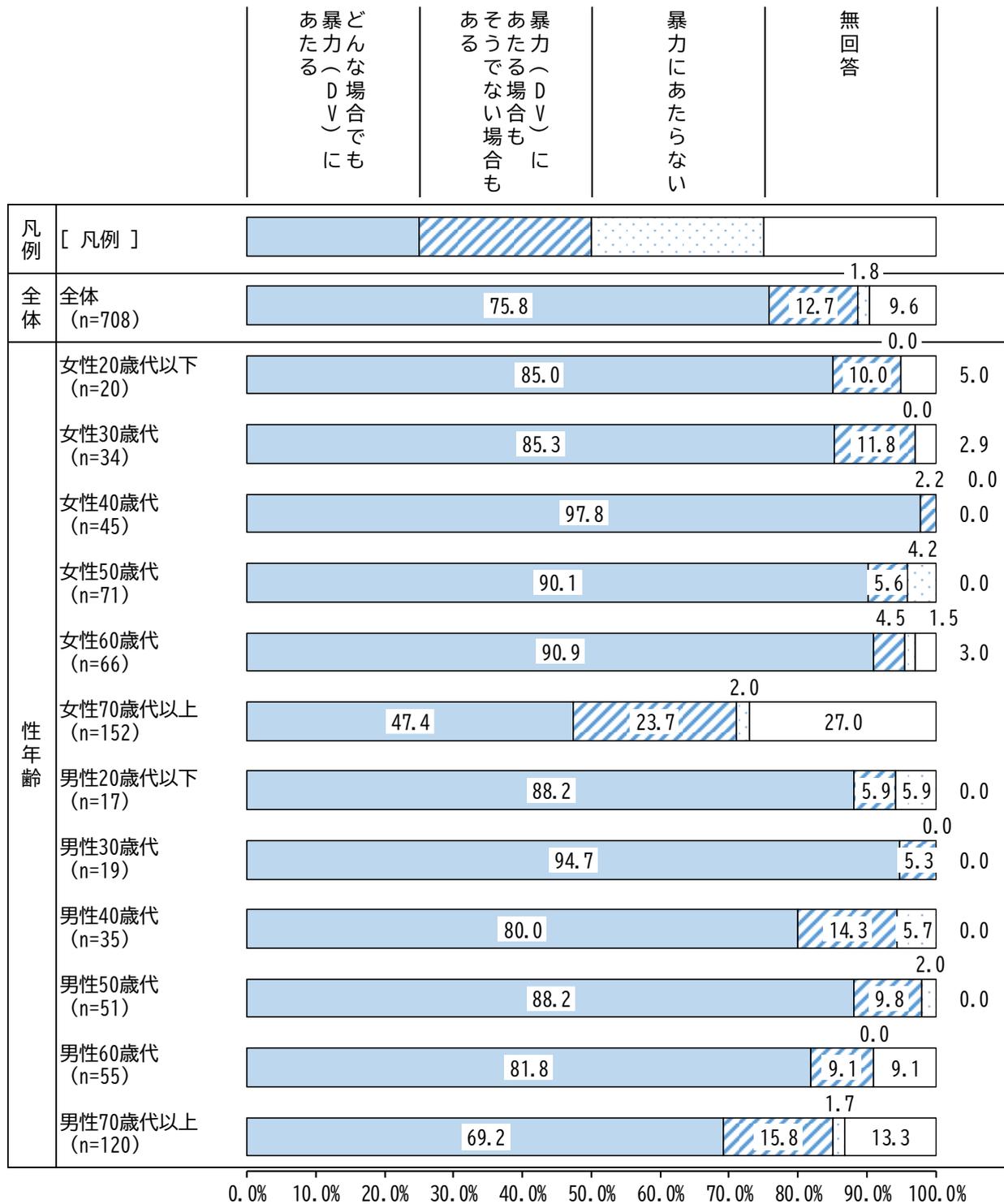
③望まないのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない

【全体】

○ 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が75.8%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が12.7%、「暴力にあたらぬ」が1.8%となっています。

【③望まないのに性的な行為を強要する、避妊に協力しない】



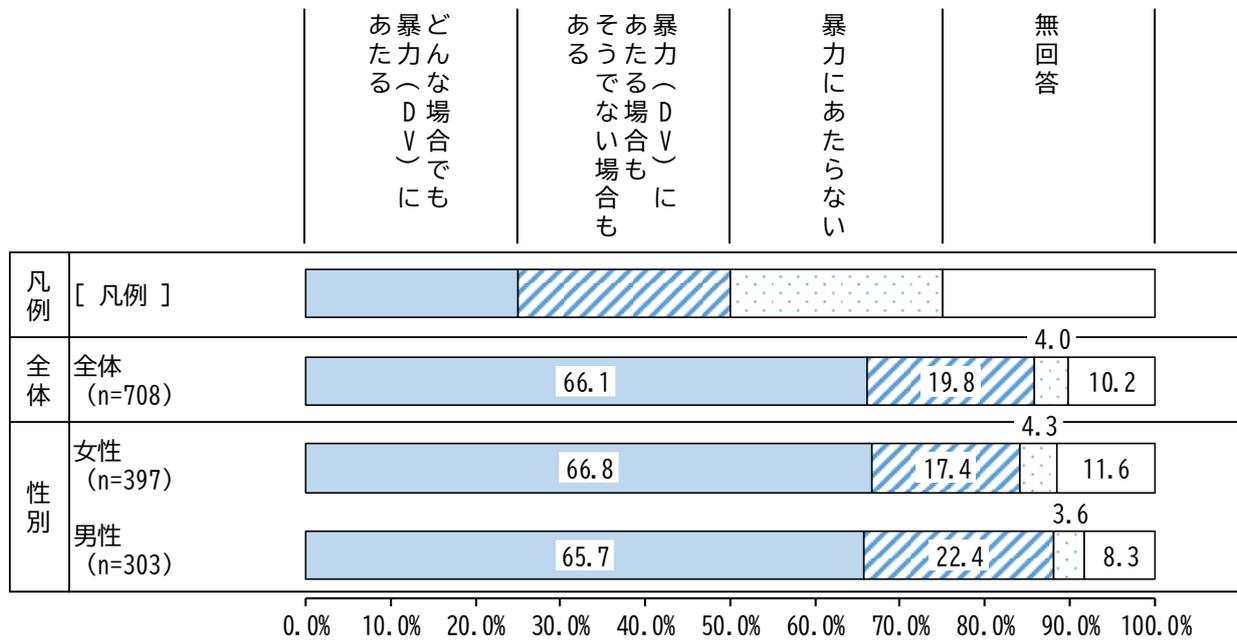


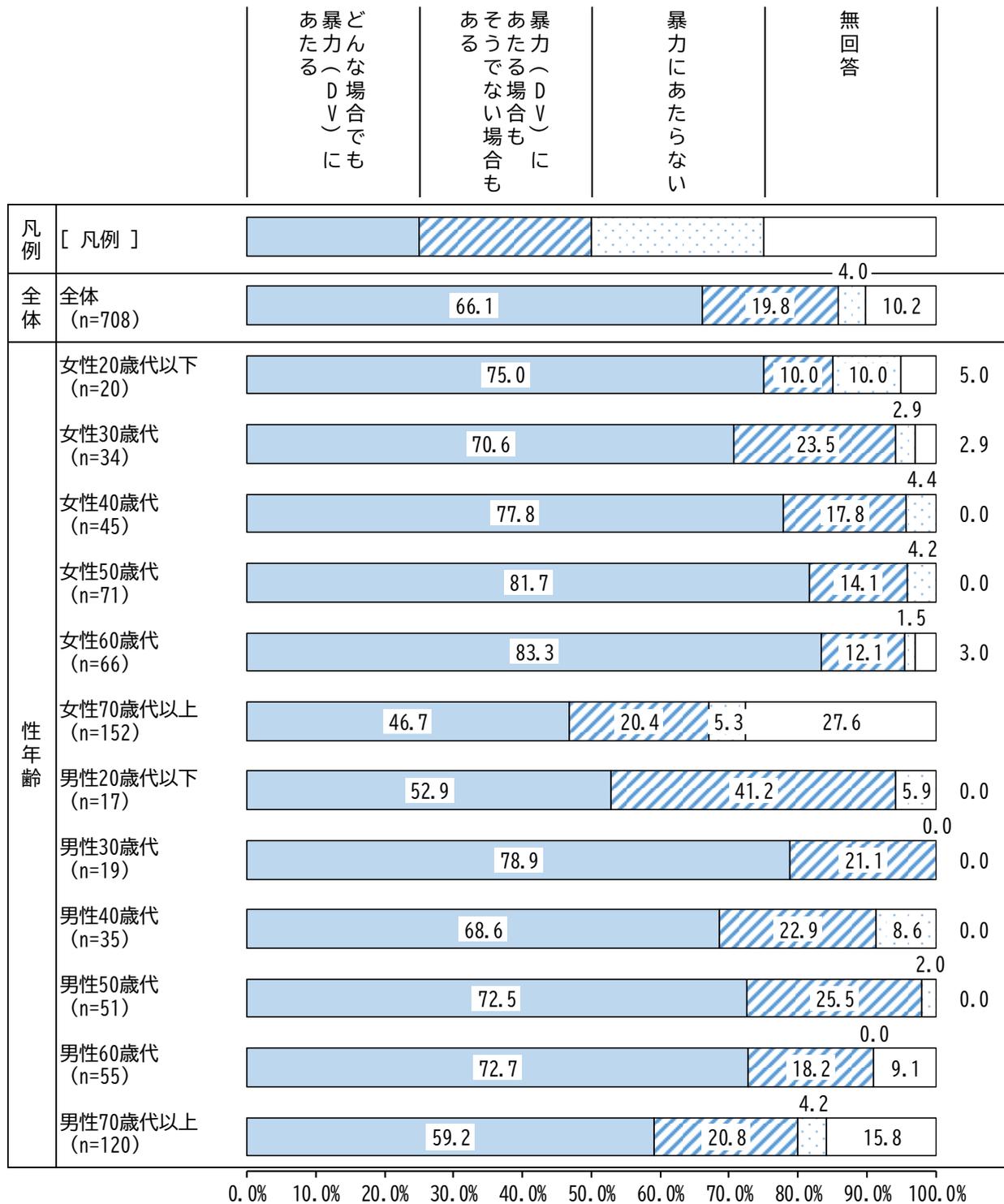
④無理やりポルノ画像などを見せる

【全体】

○ 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が66.1%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が19.8%、「暴力にあたらない」が4.0%となっています。

【④無理やりポルノ画像などを見せる】



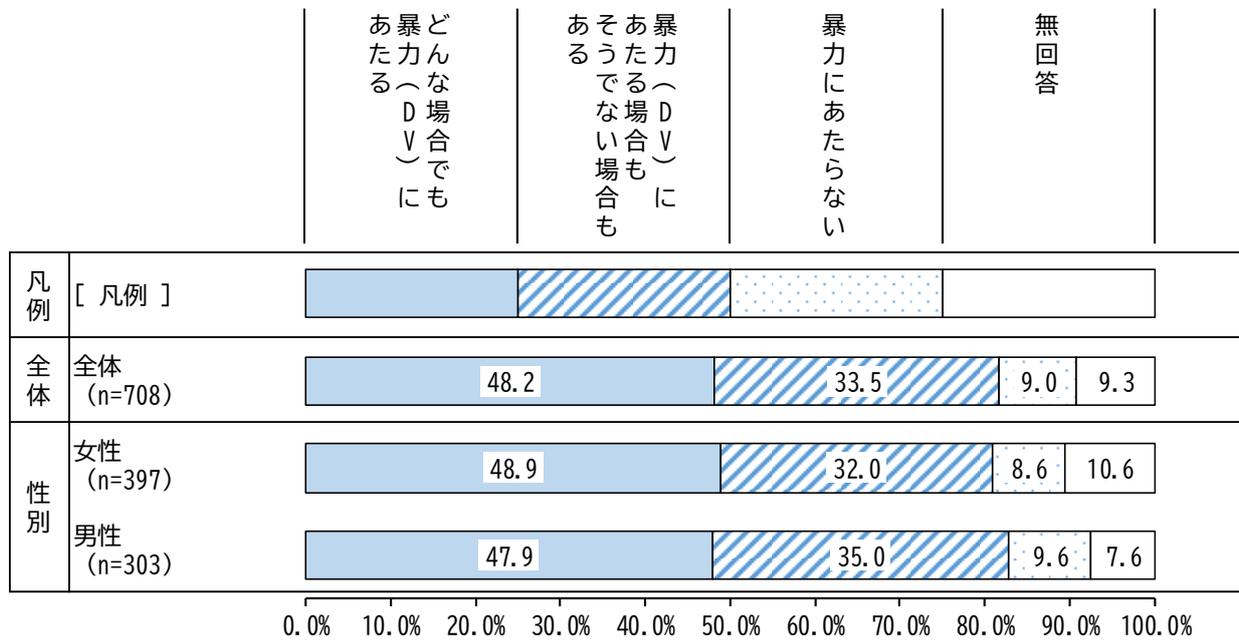


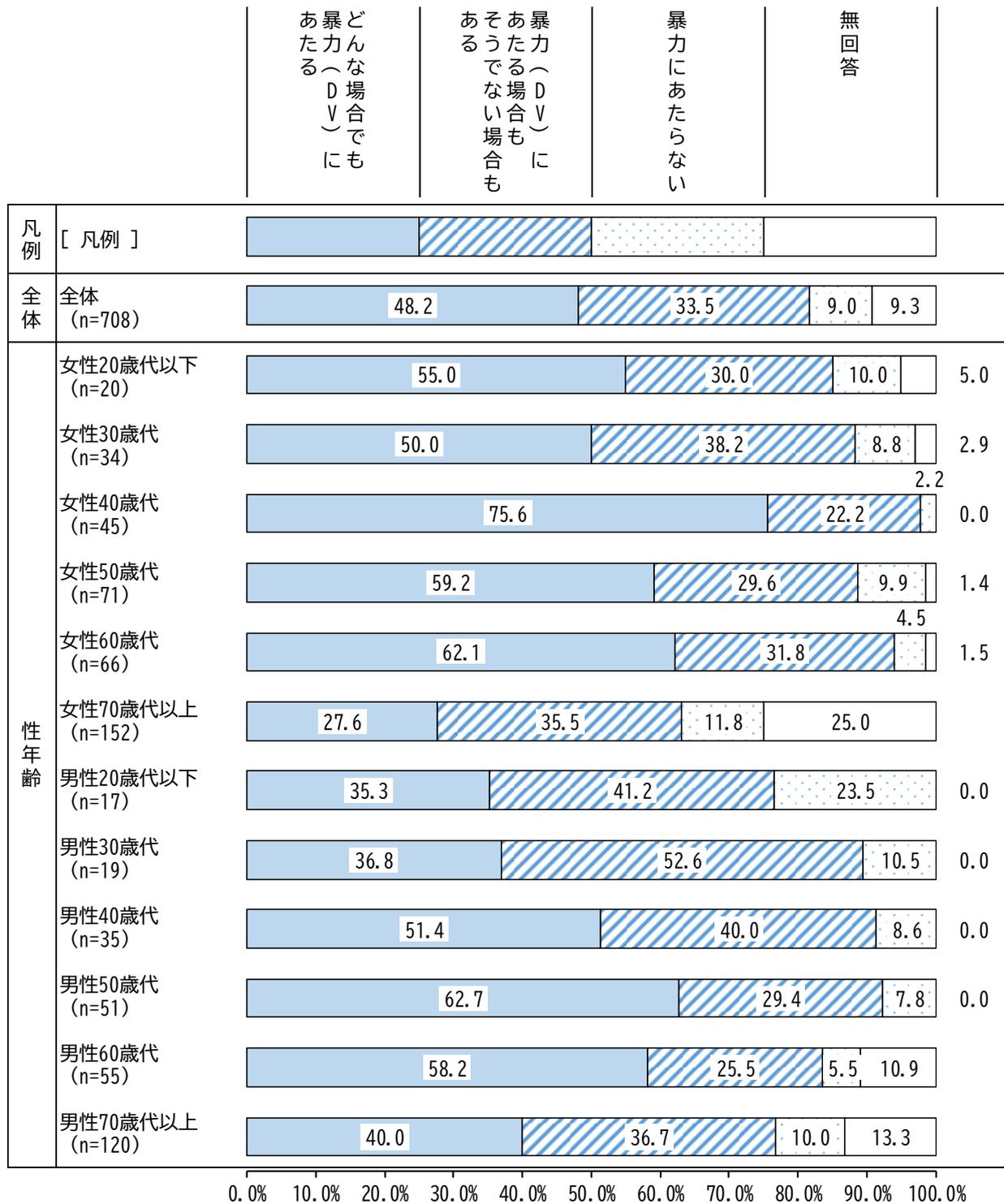
⑤なにを言っても無視し続ける

【全体】

○ 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が48.2%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が33.5%、「暴力にあたらない」が9.0%となっています。

【⑤なにを言っても無視し続ける】



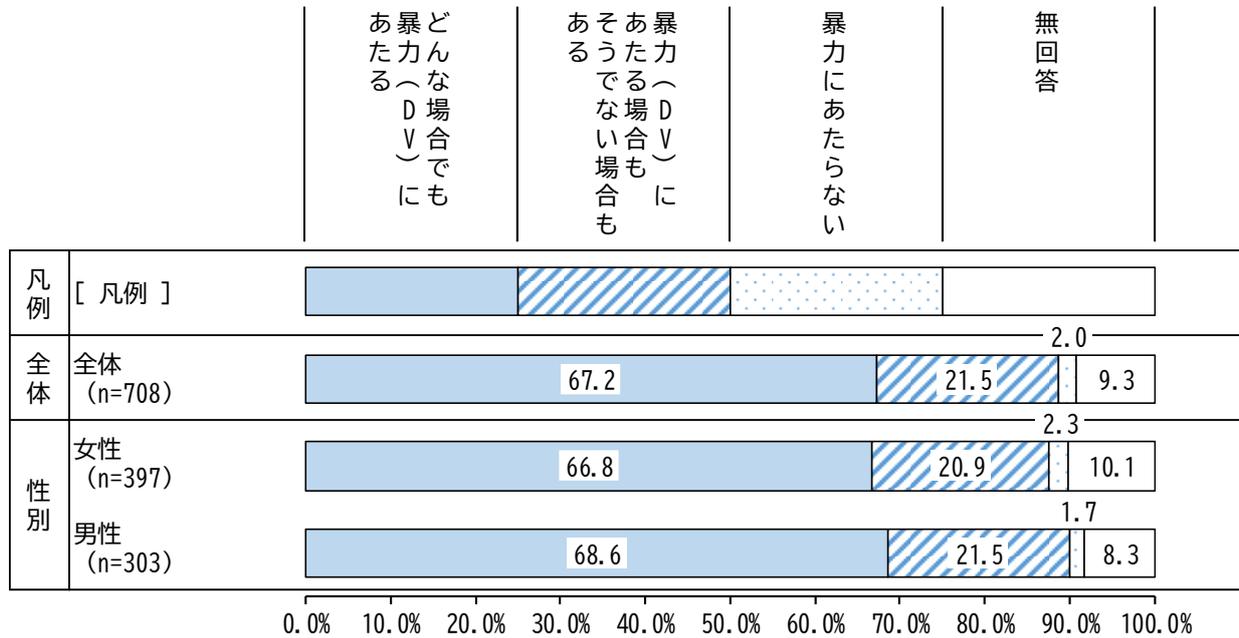


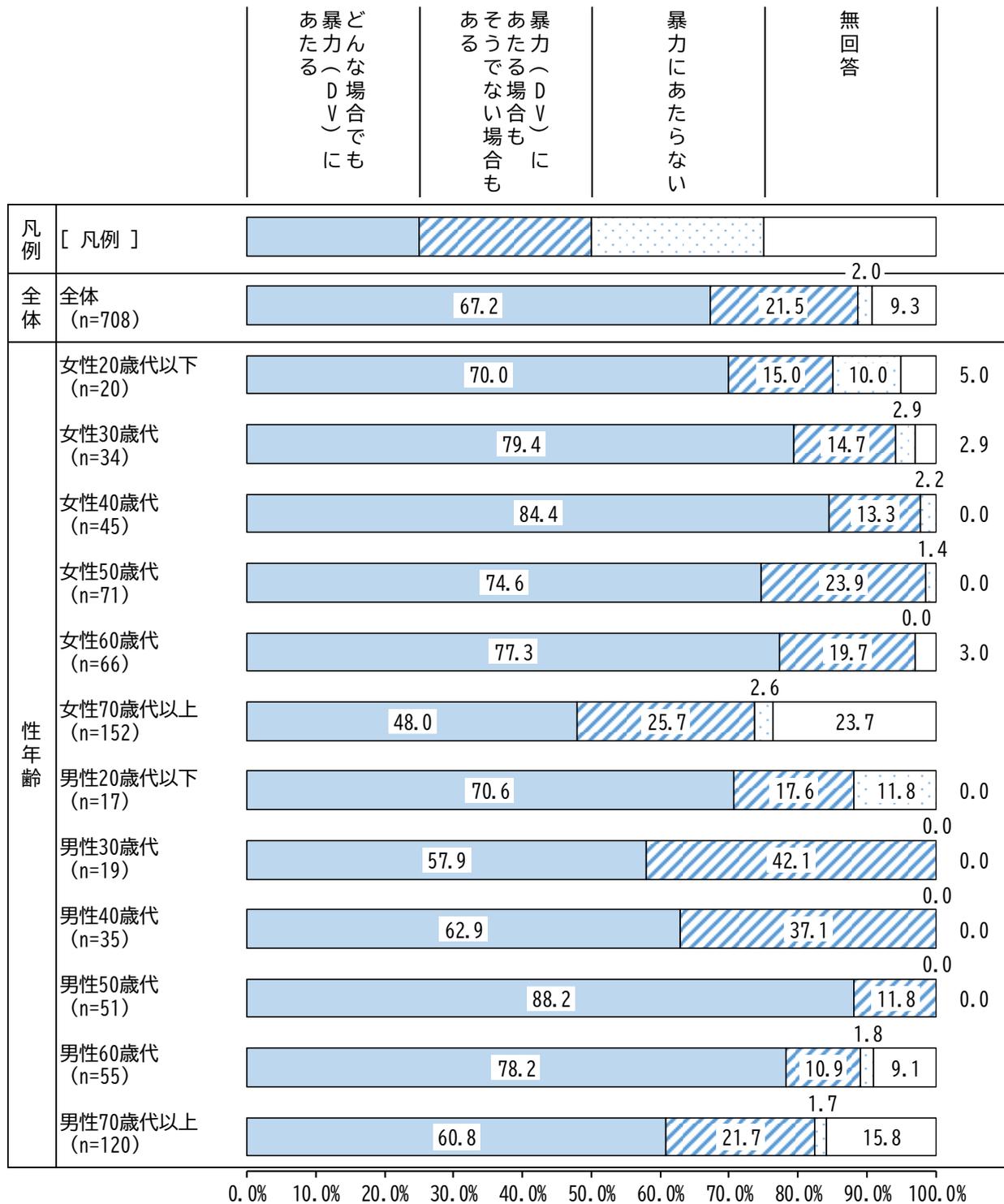
⑥暴言をはいたり、ばかにしたり、見下したりする

【全体】

- 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が67.2%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が21.5%、「暴力にあたらない」が2.0%となっています。

【⑥暴言をはいたり、ばかにしたり、見下したりする】



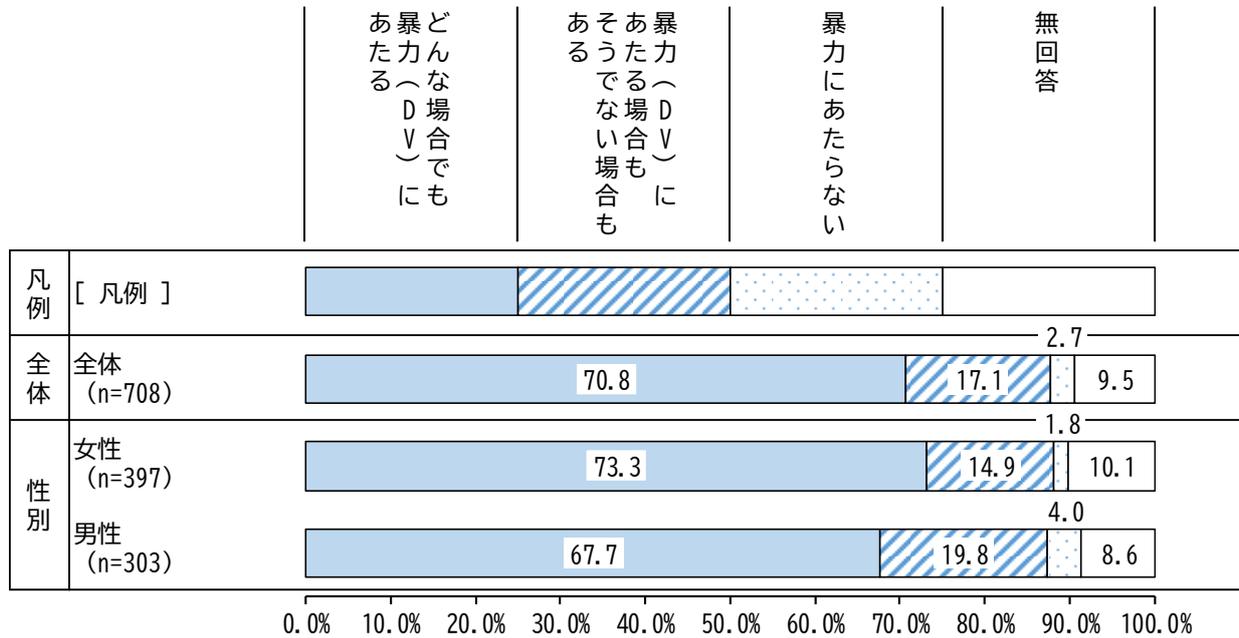


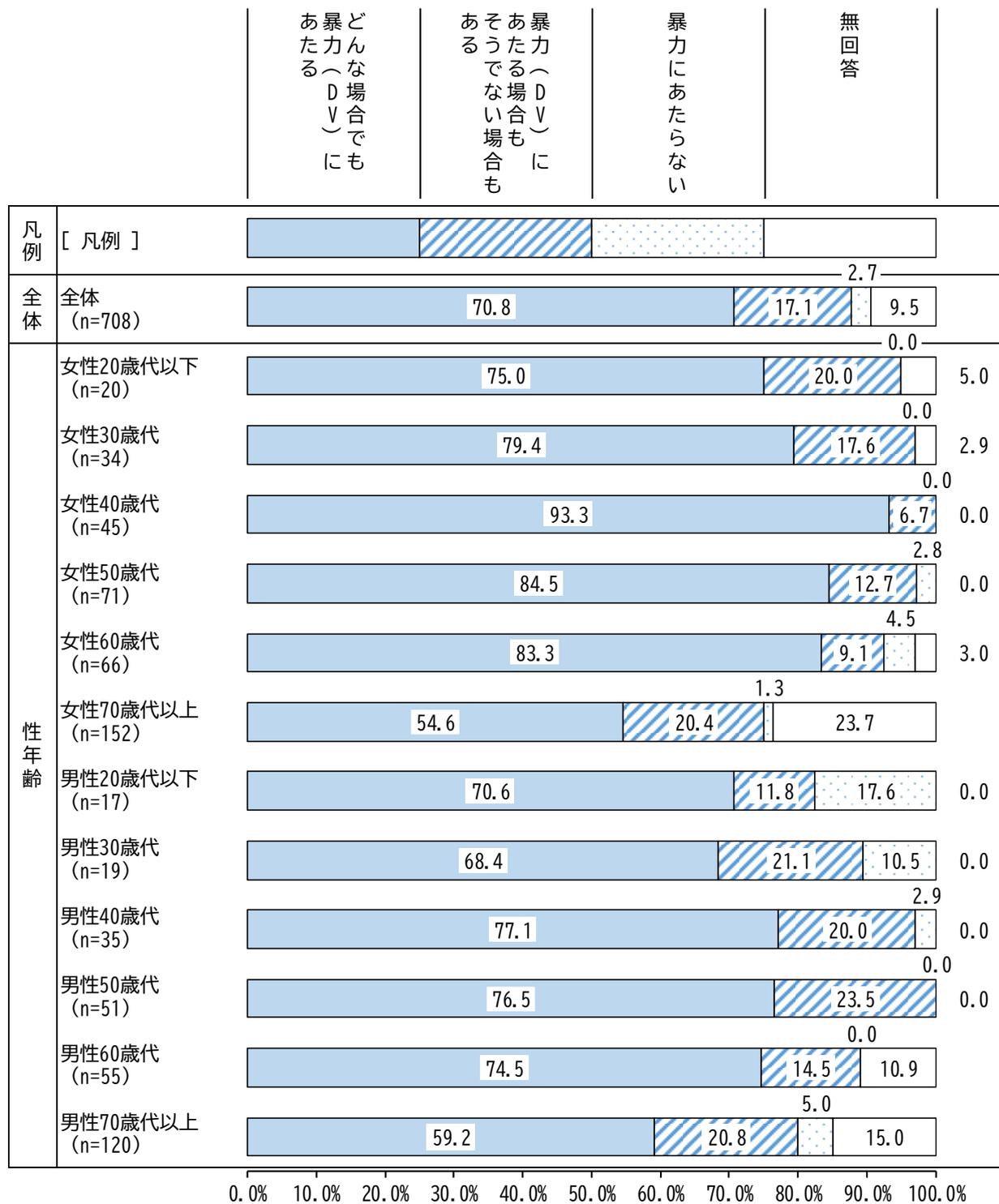
⑦自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要する

【全体】

- 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が70.8%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が17.1%、「暴力にあたらぬ」が2.7%となっています。

【⑦自由にお金を使わせない、必要な生活費を渡さない、借金を強要する】



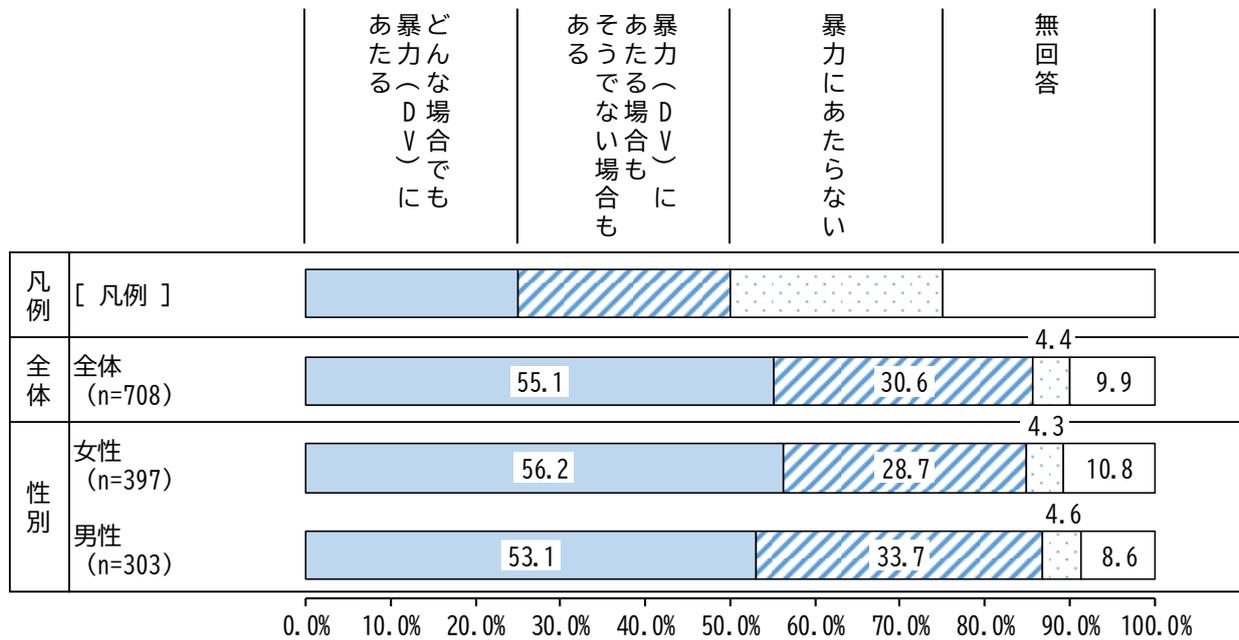


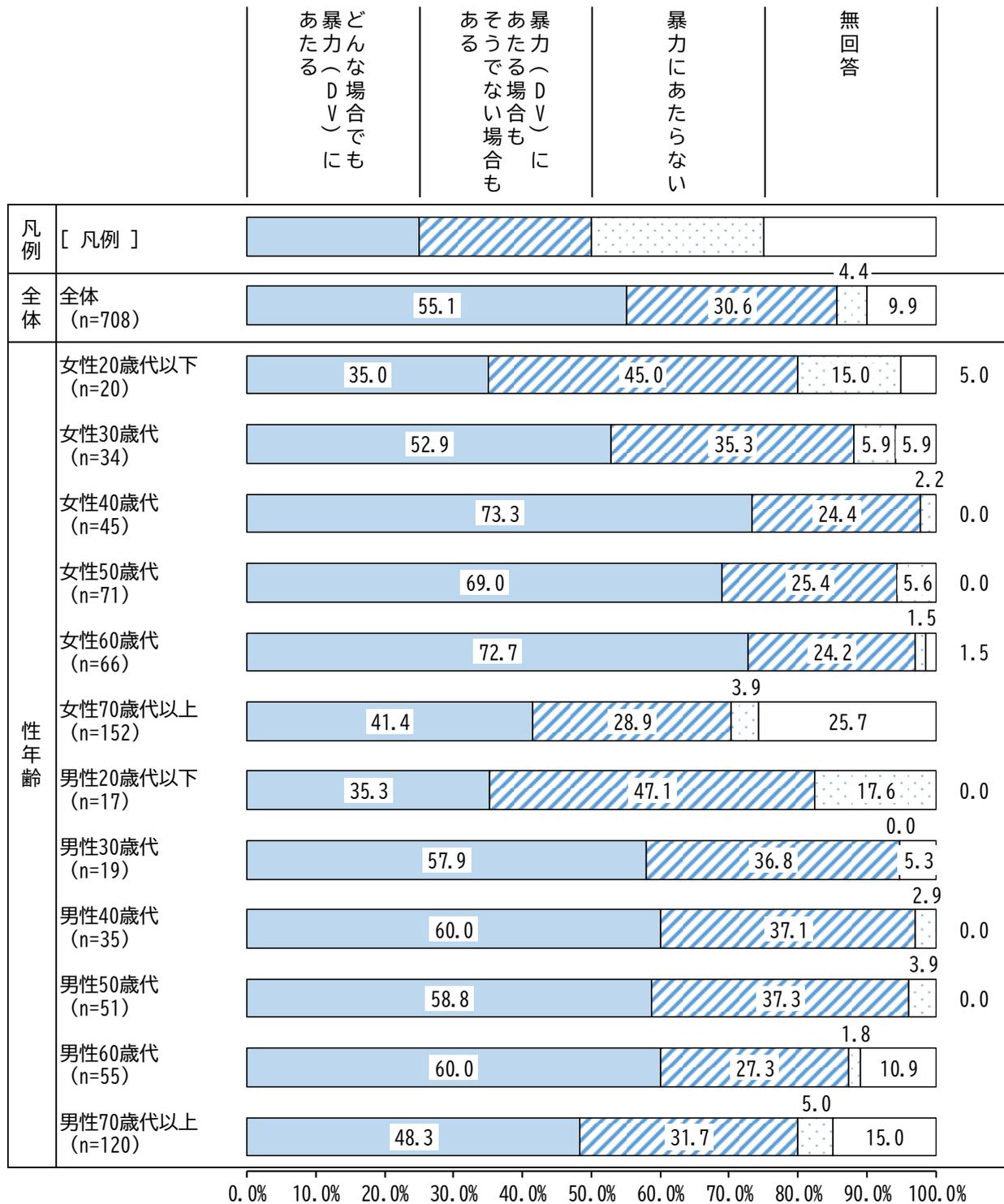
⑧友達や身内とのメールや電話のチェックや、つきあいを制限する

【全体】

○ 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が55.1%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が30.6%、「暴力にあたらぬ」が4.4%となっています。

【⑧友達や身内とのメールや電話のチェックや、つきあいを制限する】



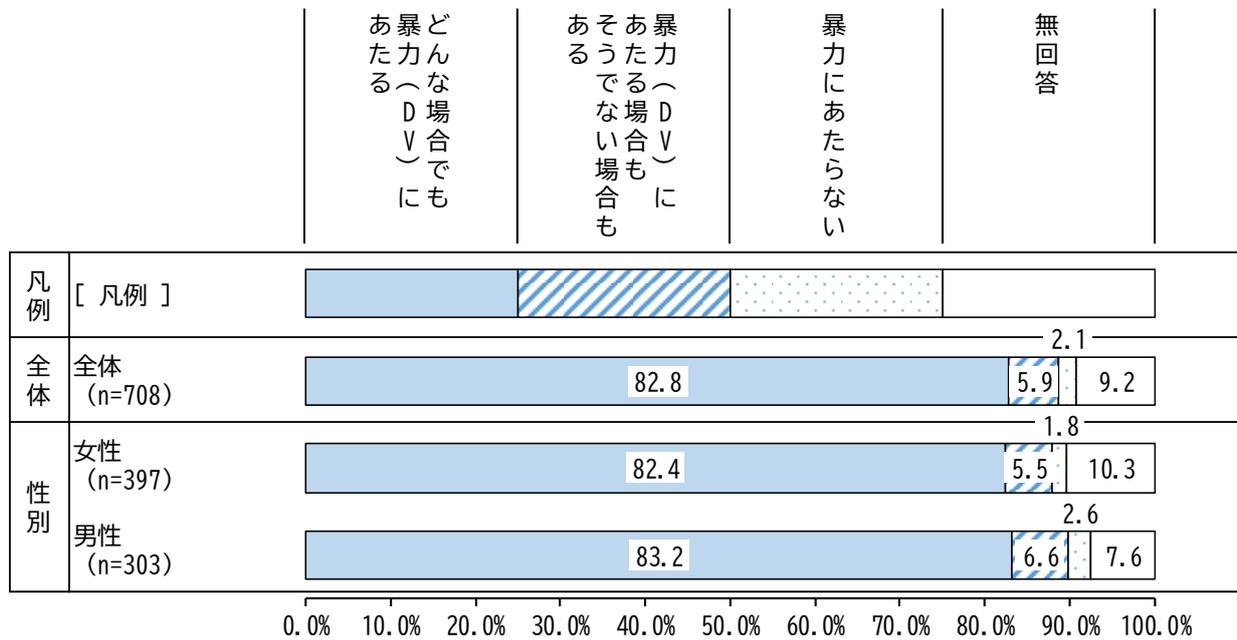


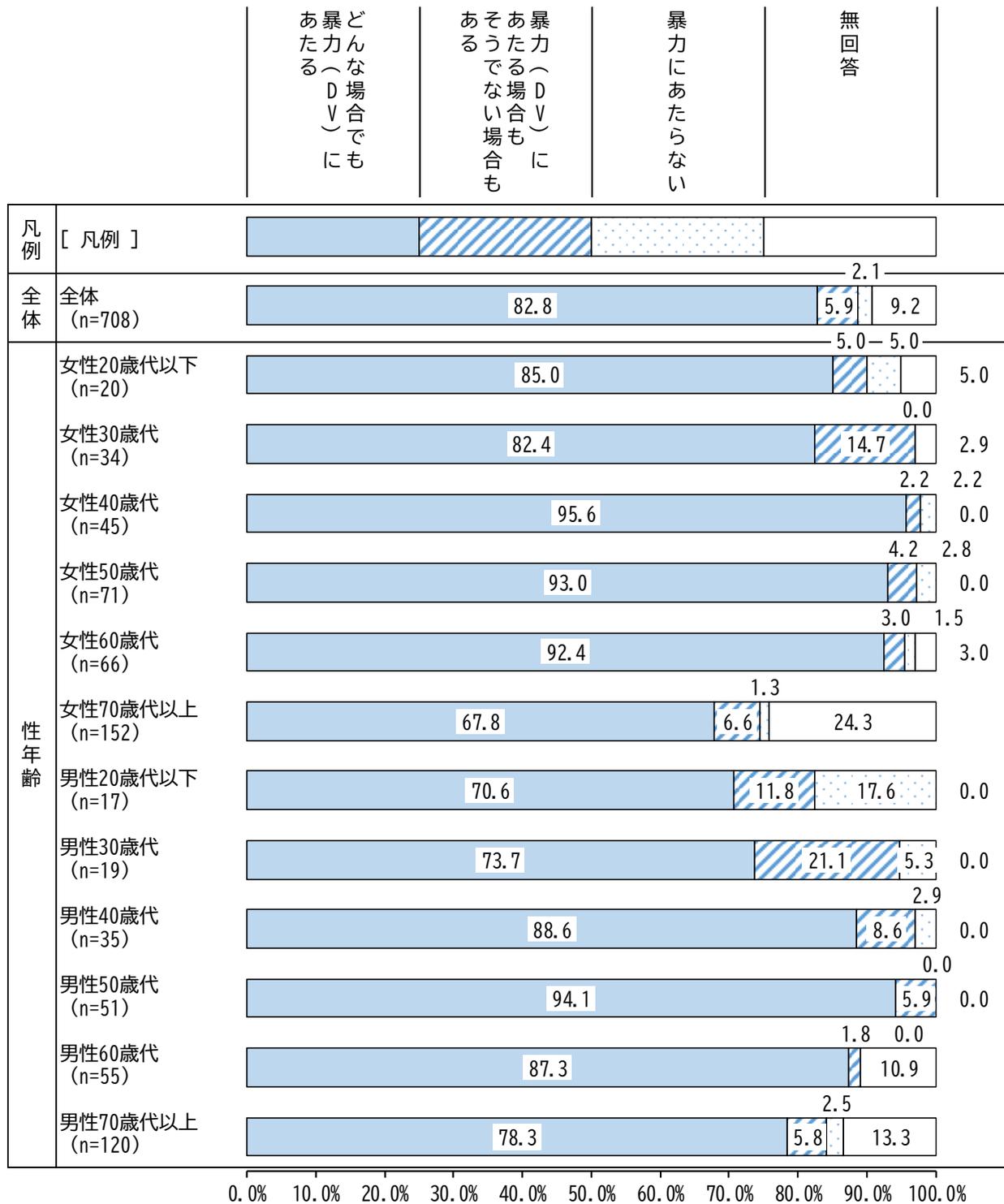
⑨本人の許可なく性的な写真や動画をSNSなどに投稿する

【全体】

- 「どんな場合でも暴力（DV）にあたる」が82.8%で最も多く、次いで「暴力（DV）にあたる場合もそうでない場合もある」が5.9%、「暴力にあたらぬ」が2.1%となっています。

【⑨本人の許可なく性的な写真や動画を SNS などに投稿する】

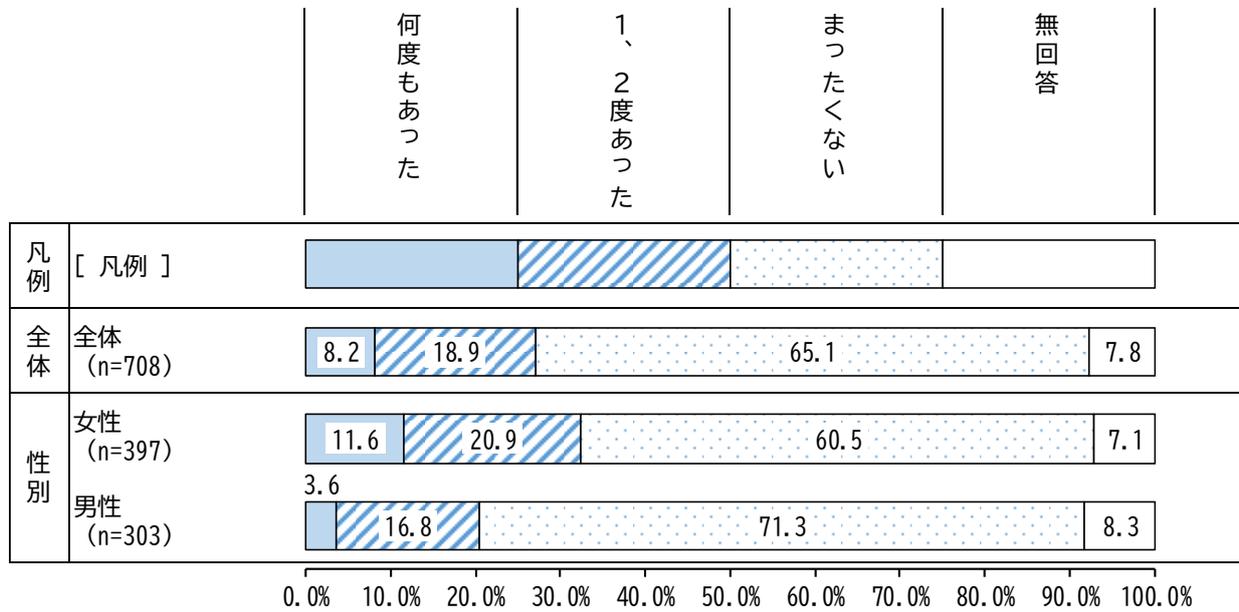


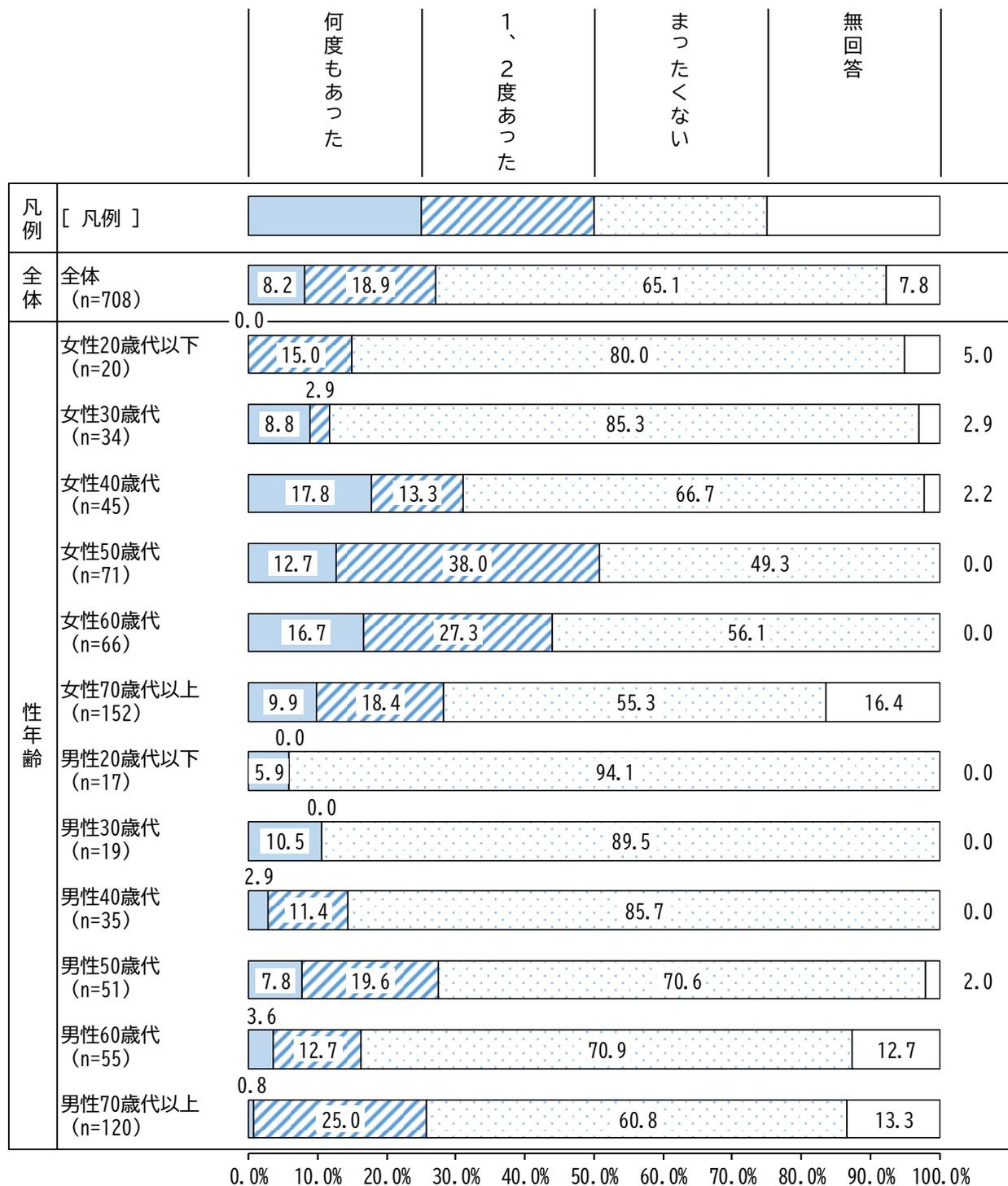


問15 あなたは、配偶者・パートナー、恋人から、問14のようなことをされたことがありますか。(○は1つ)

【全体】
 ○ 配偶者・パートナー、恋人から暴力(DV)を受けたことがあるかについて、「まったくない」が65.1%で最も多く、次いで「1、2度あった」が18.9%、「何度もあった」が8.2%となっています。

【配偶者・パートナー、恋人から暴力(DV)を受けたことがあるか】





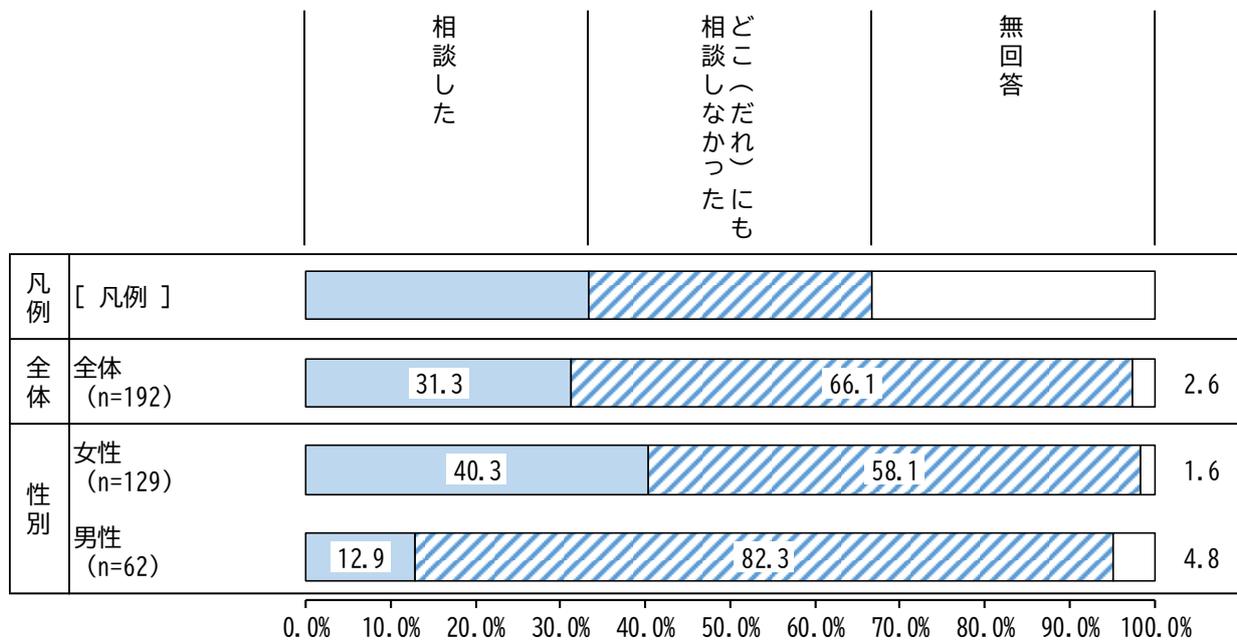
問15-1 問15で「何度もあった」「1、2度あった」と回答した人にお聞きします。

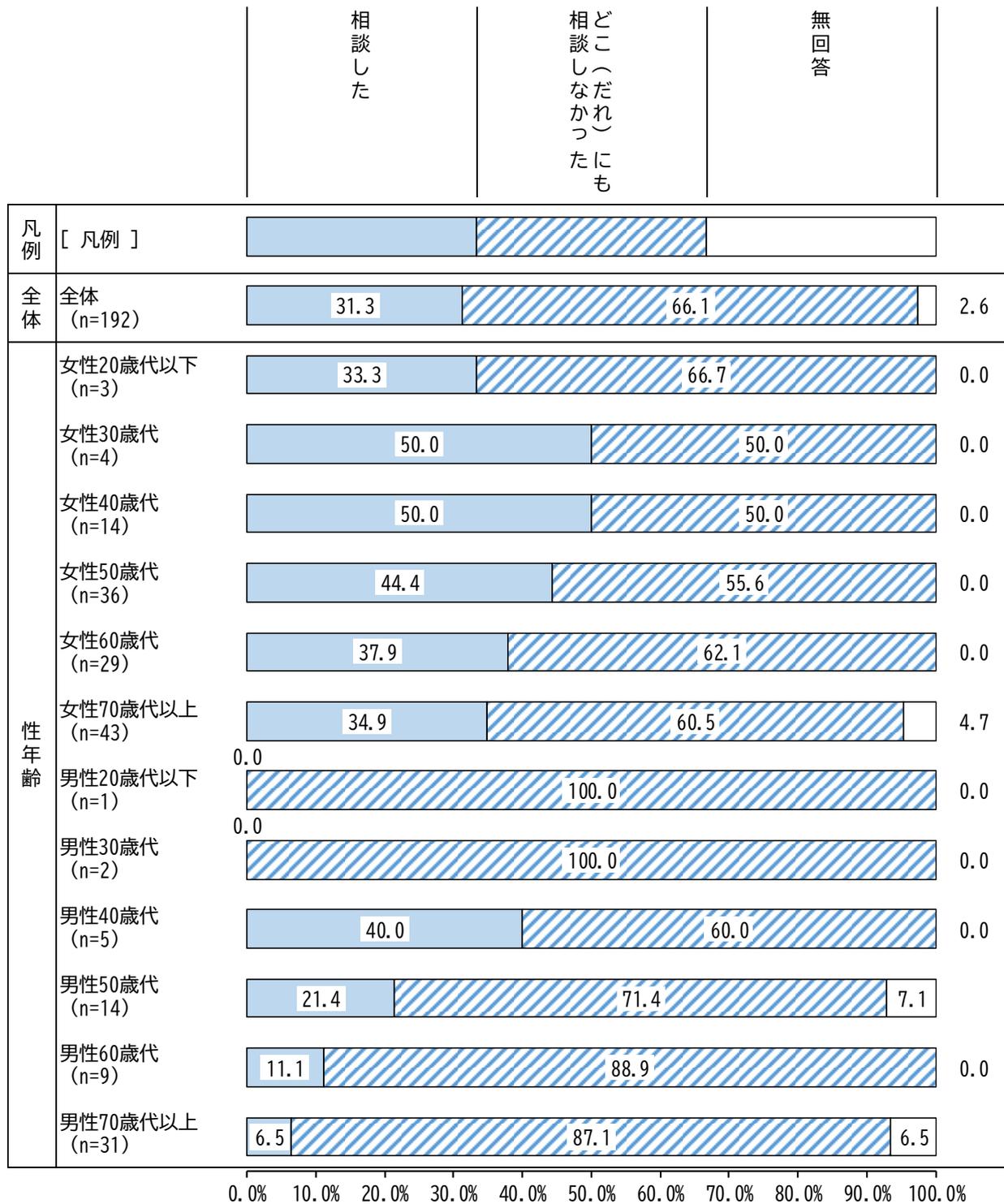
あなたは、そのことをだれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

【全体】

○ だれかに打ち明けたり、相談したかについて、「相談した」が31.3%、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が66.1%となっています。

【だれかに打ち明けたり、相談したか】

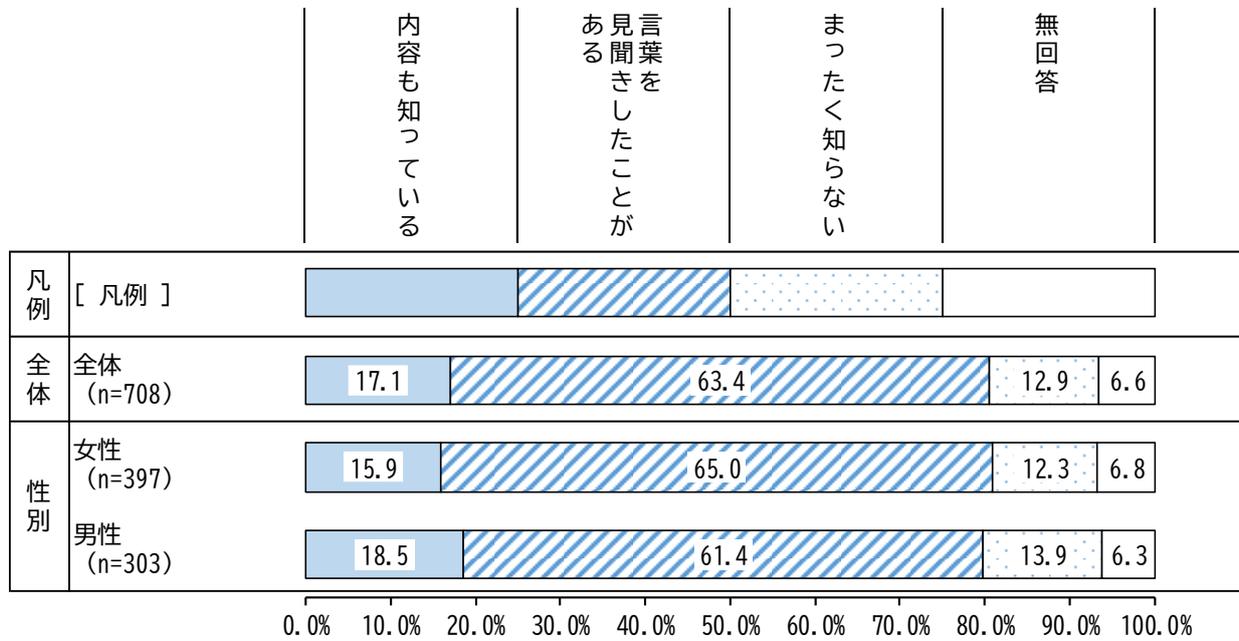


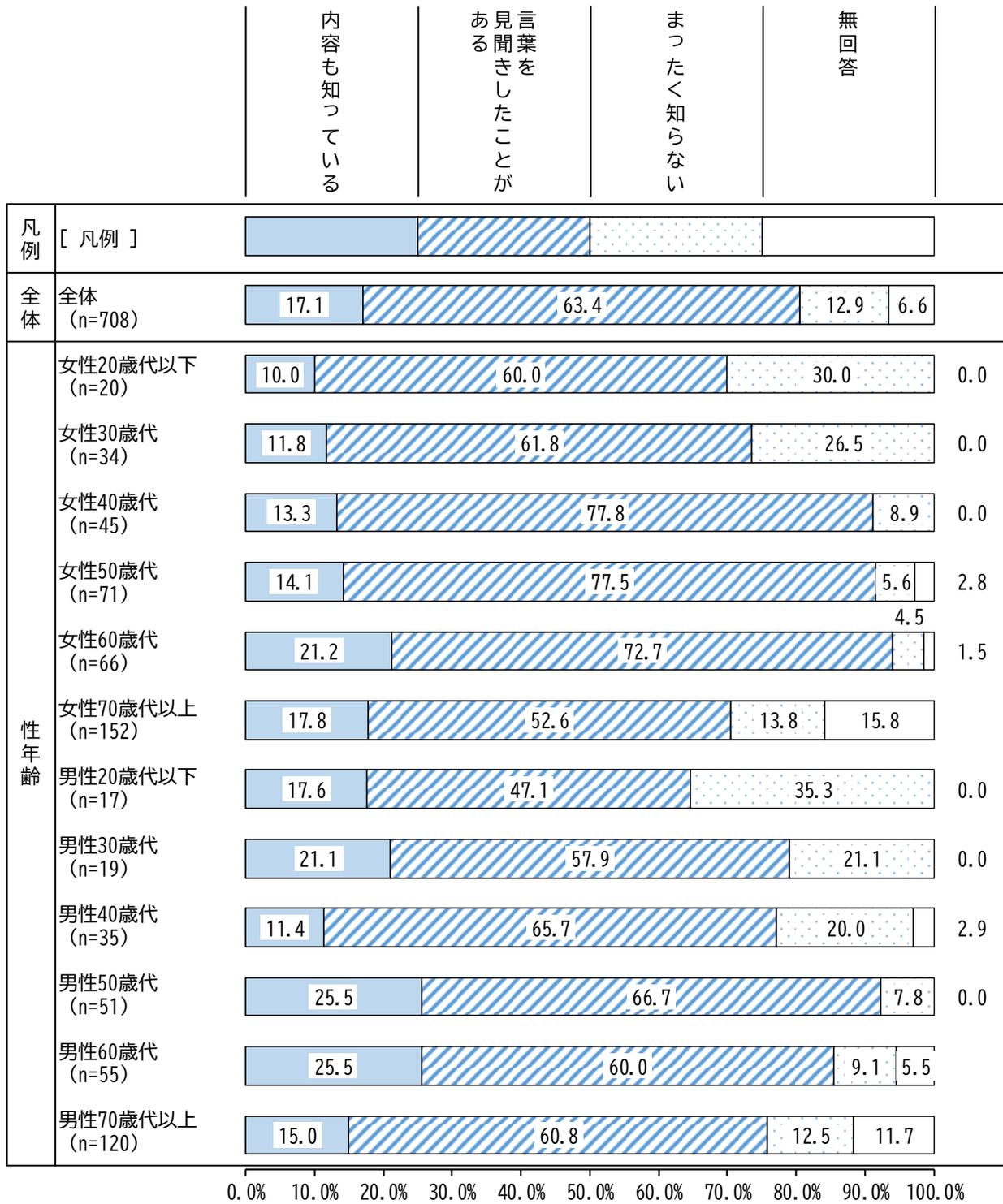


問16 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）防止法についてどの程度知っていますか。（○は1つ）

【全体】
 ○ ドメスティック・バイオレンス（DV）防止法について、「言葉を見聞きしたことがある」が63.4%で最も多く、次いで「内容も知っている」が17.1%、「まったく知らない」が12.9%となっています。

【ドメスティック・バイオレンス（DV）防止法】



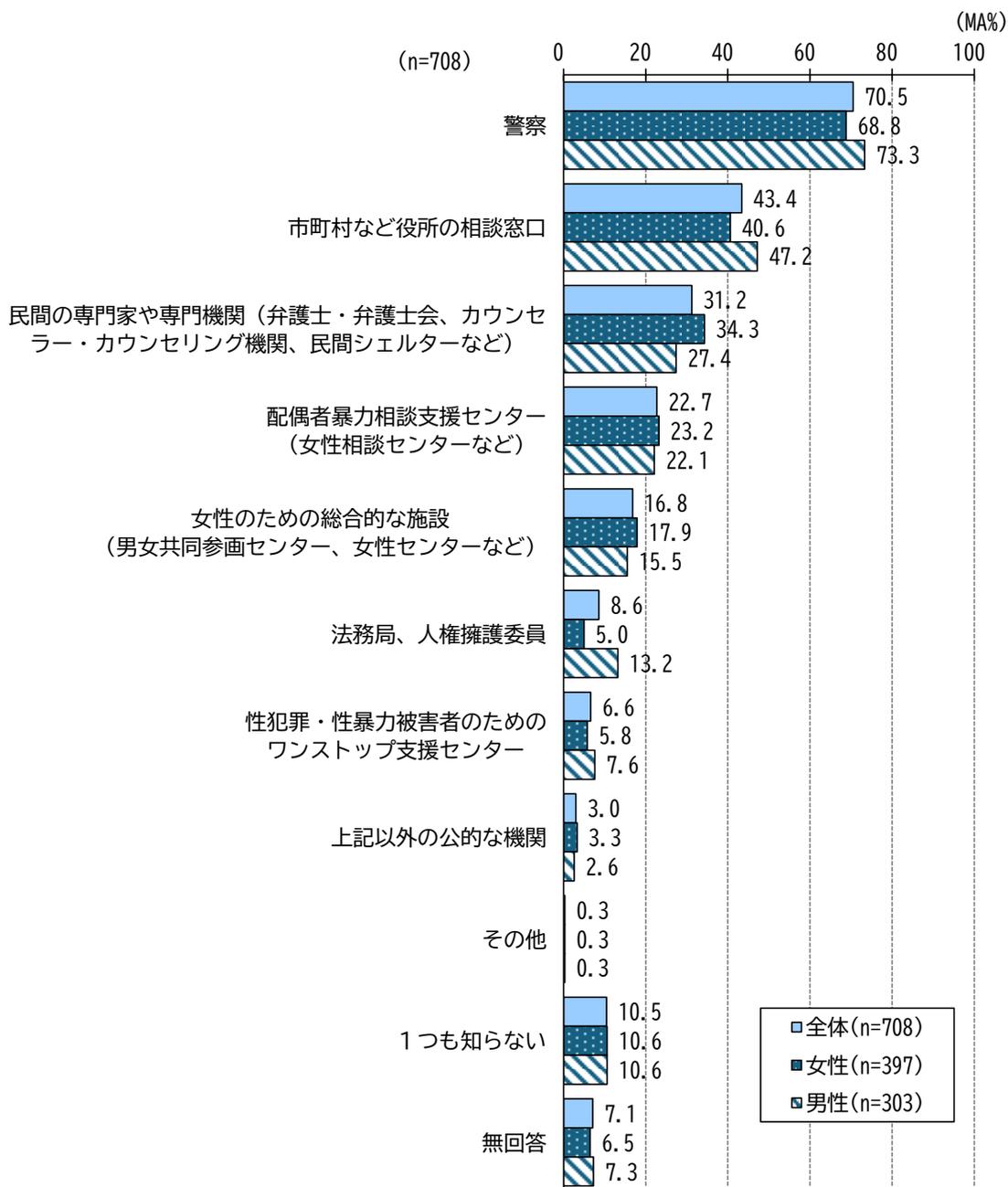


問17 あなたは、DVや性暴力を受けた人や様々な困難を抱える女性が相談できる相談窓口としてどのようなものを知っていますか。(〇はいくつでも)

【全体】

- 相談窓口の認知度について、「警察」が70.5%で最も多く、次いで「市町村など役所の相談窓口」が43.4%、「民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）」が31.2%となっています。

【相談窓口の認知度(MA)】



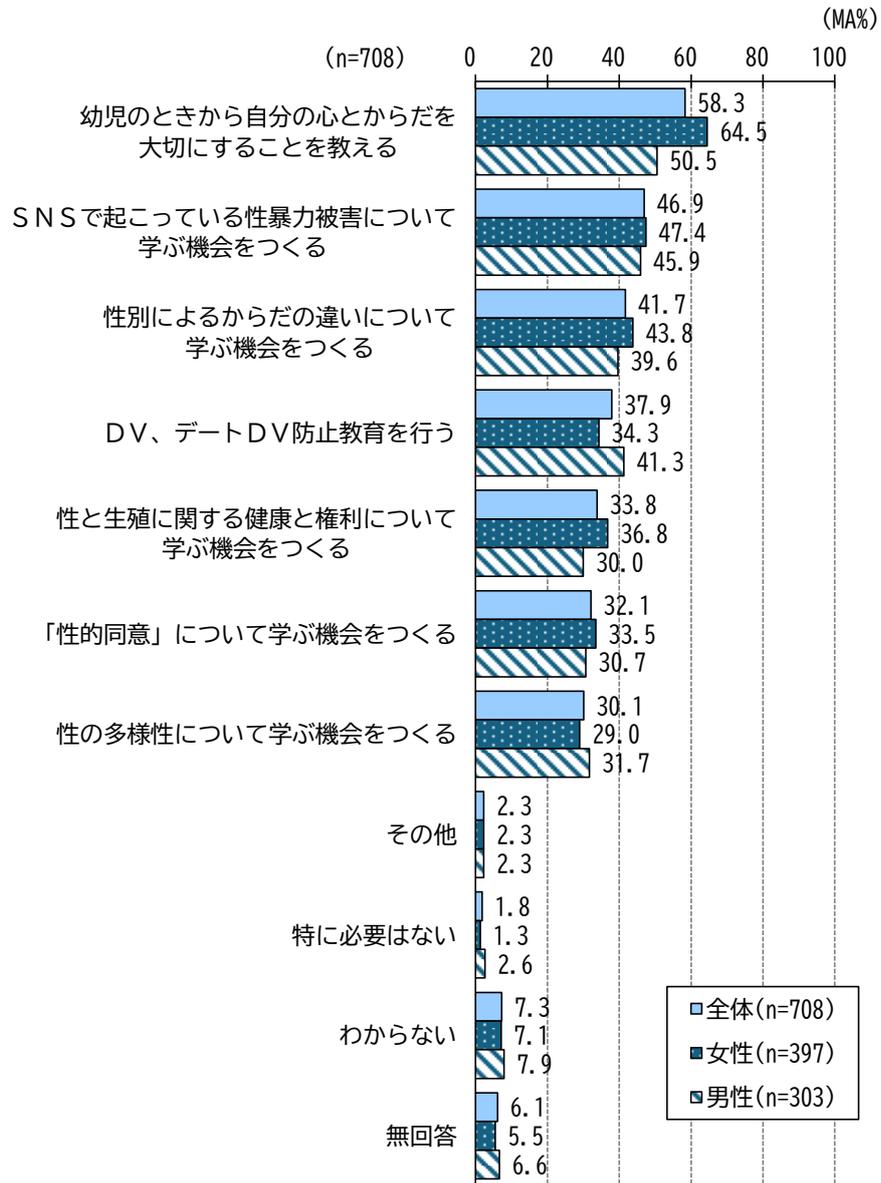
	母数 (n)	相談窓口について(MA)											
		配偶者暴力相談支援センター (女性相談センターなど)	女性のための総合的な施設 (男女共同参画センター、 女性センターなど)	性犯罪・性暴力被害者のための ワンストップ支援センター	警察	法務局、 人権擁護委員	市町村など役所の相談窓口	上記以外の公的な機関	弁護士会、 弁護士・カウンセラー・ 民間シエルトターなど	民間の専門家や専門機関 (弁護士・カウンセラー・ 民間シエルトターなど)	その他	1つも知らない	無回答
全体	708	22.7	16.8	6.6	70.5	8.6	43.4	3.0	31.2	0.3	10.5	7.1	
性 年 齢	女性20歳代以下	20	20.0	15.0	5.0	△ 90.0	-	▼ 30.0	-	25.0	-	-	-
	女性30歳代	34	14.7	17.6	8.8	△ 85.3	2.9	41.2	-	32.4	-	2.9	-
	女性40歳代	45	△ 35.6	△ 31.1	11.1	△ 82.2	11.1	48.9	4.4	△ 42.2	2.2	4.4	-
	女性50歳代	71	16.9	14.1	2.8	78.9	2.8	47.9	2.8	△ 42.3	-	9.9	-
	女性60歳代	66	△ 33.3	18.2	6.1	71.2	4.5	45.5	4.5	△ 45.5	-	7.6	1.5
	女性70歳代以上	152	20.4	17.1	4.6	▼ 51.3	5.3	34.2	3.9	25.7	-	17.8	16.4
	男性20歳代以下	17	▼ 11.8	17.6	5.9	76.5	11.8	△ 64.7	△ 17.6	29.4	-	11.8	-
	男性30歳代	19	31.6	26.3	10.5	△ 84.2	10.5	47.4	-	▼ 21.1	-	5.3	-
	男性40歳代	35	△ 34.3	14.3	14.3	71.4	5.7	45.7	-	40.0	-	20.0	-
	男性50歳代	51	23.5	11.8	5.9	78.4	7.8	41.2	2.0	29.4	2.0	9.8	-
	男性60歳代	55	21.8	18.2	9.1	△ 83.6	△ 20.0	49.1	3.6	32.7	-	7.3	5.5
	男性70歳代以上	120	18.3	14.2	5.0	65.0	15.8	48.3	1.7	21.7	-	10.0	15.0

問18 あなたは、暴力やハラスメントを未然に防ぐために、子どものときから学校や家庭でどのようなことを行うことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

【全体】

○ 暴力やハラスメントを防ぐために必要なことについて、「幼児のときから自分の心とからだを大切にすることを教える」が58.3%で最も多く、次いで「SNSで起こっている性暴力被害について学ぶ機会をつくる」が46.9%、「性別によるからだの違いについて学ぶ機会をつくる」が41.7%となっています。

【暴力やハラスメントを防ぐために必要なこと(MA)】



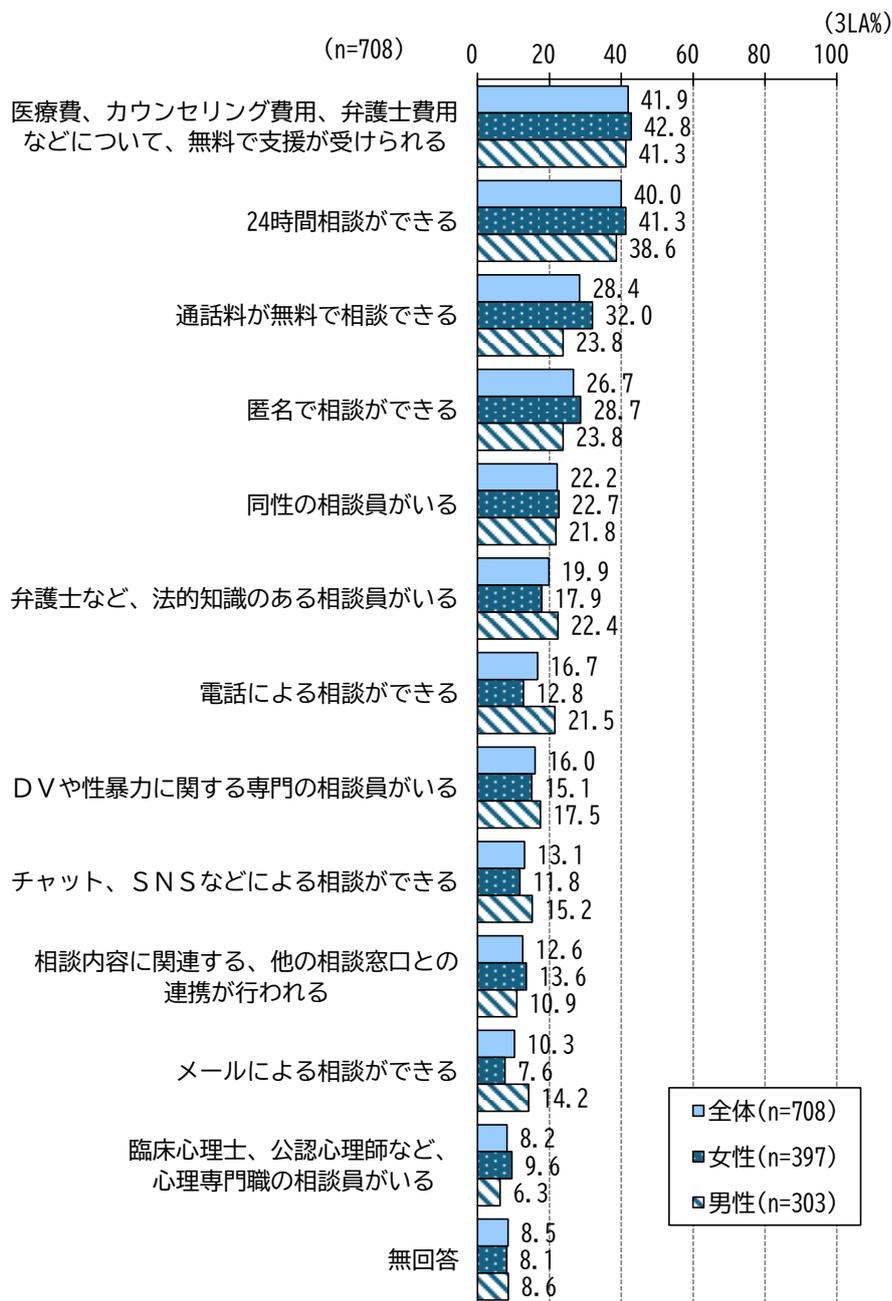
		母数 (n)	暴力やハラスメントを防ぐために必要なこと(MA)													
			大切な心の時から教える	幼児のときから	学ぶ機会をつくる	違いによるからだの	性別によるからだの	DV、デートDV防止教育を行う	「性的同意」について学ぶ機会をつくる	「権利」について学ぶ機会をつくる	性と生殖に関する健康と	性の多様性について学ぶ機会をつくる	SNSで起こっている性暴力被害について学ぶ機会をつくる	その他	特に必要はない	わからない
全体		708	58.3	41.7	37.9	32.1	33.8	30.1	46.9	2.3	1.8	7.3	6.1			
性 年 齢	女性20歳代以下	20	△ 70.0	△ 60.0	40.0	△ 55.0	▼ 20.0	▼ 20.0	△ 60.0	-	-	-	-			
	女性30歳代	34	△ 73.5	41.2	35.3	△ 47.1	41.2	29.4	△ 58.8	-	-	2.9	-			
	女性40歳代	45	△ 75.6	△ 57.8	46.7	△ 53.3	40.0	△ 51.1	△ 64.4	4.4	2.2	-	-			
	女性50歳代	71	64.8	47.9	△ 49.3	39.4	40.8	35.2	△ 60.6	5.6	-	8.5	-			
	女性60歳代	66	66.7	33.3	37.9	25.8	34.8	25.8	50.0	3.0	-	7.6	-			
	女性70歳代以上	152	55.9	39.5	▼ 20.4	▼ 21.7	34.9	20.4	▼ 29.6	0.7	2.6	10.5	14.5			
	男性20歳代以下	17	△ 76.5	△ 70.6	41.2	△ 52.9	41.2	△ 41.2	△ 64.7	11.8	-	-	-			
	男性30歳代	19	△ 78.9	42.1	△ 52.6	△ 47.4	26.3	△ 42.1	△ 57.9	5.3	-	-	-			
	男性40歳代	35	▼ 42.9	▼ 28.6	42.9	37.1	▼ 22.9	28.6	54.3	5.7	2.9	8.6	-			
	男性50歳代	51	51.0	41.2	45.1	37.3	33.3	△ 41.2	54.9	-	3.9	9.8	-			
	男性60歳代	55	49.1	40.0	△ 49.1	29.1	27.3	36.4	43.6	1.8	1.8	9.1	5.5			
	男性70歳代以上	120	▼ 45.0	37.5	33.3	▼ 19.2	30.8	23.3	▼ 35.0	0.8	2.5	9.2	13.3			

問19 あなたは、DVや性暴力の被害や、様々な困難を抱える女性が悩みを相談できる窓口などで特に配慮してほしいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

【全体】

○ 窓口で特に配慮してほしいことについて、「医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる」が41.9%で最も多く、次いで「24時間相談ができる」が40.0%、「通話料が無料で相談できる」が28.4%となっています。

【窓口で特に配慮してほしいこと(3LA)】



	母数 (n)	窓口で特に配慮してほしいこと(3LA)													
		メールによる相談ができる	チャット、SNSなどによる相談ができる	電話による相談ができる	通話料が無料で相談できる	24時間相談ができる	弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる	医療費、カウンセリング費用、連携が行われる	他の相談窓口との相談内容に関連する、	同性の相談員がいる	匿名で相談ができる	相談士など、法的知識のある	臨床心理士、公認心理師など、心理専門職の相談員がいる	DVや性暴力に関する専門の相談員がいる	無回答
全体	708	10.3	13.1	16.7	28.4	40.0	41.9	12.6	22.2	26.7	19.9	8.2	16.0	8.5	
性 年 齢	女性20歳代以下	20	10.0	△ 45.0	15.0	20.0	▼ 30.0	50.0	10.0	25.0	35.0	10.0	10.0	10.0	-
	女性30歳代	34	17.6	△ 32.4	8.8	29.4	41.2	38.2	2.9	29.4	29.4	23.5	11.8	▼ 5.9	2.9
	女性40歳代	45	6.7	△ 24.4	8.9	24.4	37.8	△ 53.3	△ 24.4	22.2	△ 44.4	22.2	11.1	13.3	-
	女性50歳代	71	8.5	12.7	12.7	29.6	△ 60.6	△ 52.1	14.1	21.1	29.6	23.9	1.4	14.1	2.8
	女性60歳代	66	15.2	6.1	▼ 4.5	36.4	△ 54.5	42.4	18.2	19.7	31.8	15.2	13.6	22.7	-
	女性70歳代以上	152	2.0	▼ 0.7	19.1	35.5	▼ 27.6	36.8	9.9	21.7	21.1	14.5	10.5	15.8	19.1
	男性20歳代以下	17	11.8	△ 29.4	△ 29.4	29.4	△ 52.9	41.2	5.9	△ 35.3	35.3	23.5	5.9	-	-
	男性30歳代	19	15.8	△ 26.3	26.3	31.6	△ 52.6	42.1	△ 26.3	15.8	△ 36.8	10.5	-	▼ 5.3	-
	男性40歳代	35	20.0	△ 25.7	8.6	37.1	45.7	▼ 31.4	2.9	25.7	34.3	20.0	8.6	8.6	5.7
	男性50歳代	51	15.7	△ 25.5	11.8	▼ 17.6	39.2	37.3	7.8	31.4	31.4	25.5	7.8	21.6	-
	男性60歳代	55	△ 21.8	20.0	18.2	21.8	32.7	50.9	14.5	12.7	▼ 14.5	23.6	7.3	20.0	10.9
男性70歳代以上	120	8.3	▼ 0.8	△ 29.2	21.7	34.2	42.5	10.8	20.0	17.5	22.5	5.8	22.5	14.2	

6 泉大津市の取組について

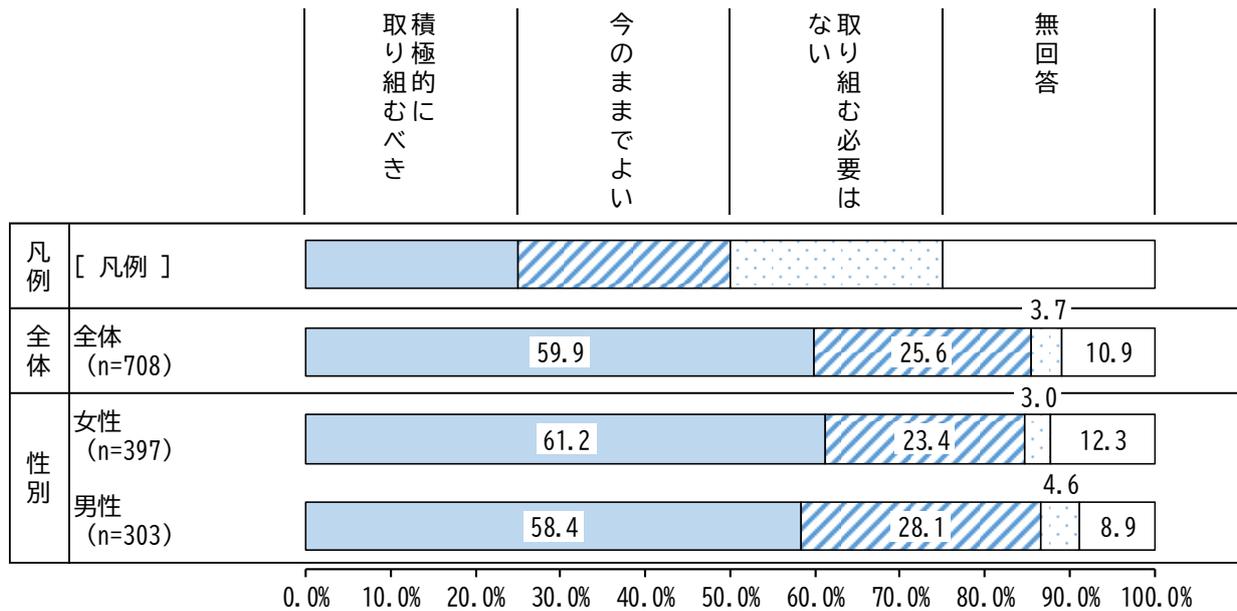
問20 あなたは次のような取組について、泉大津市にどのような期待をしていますか。

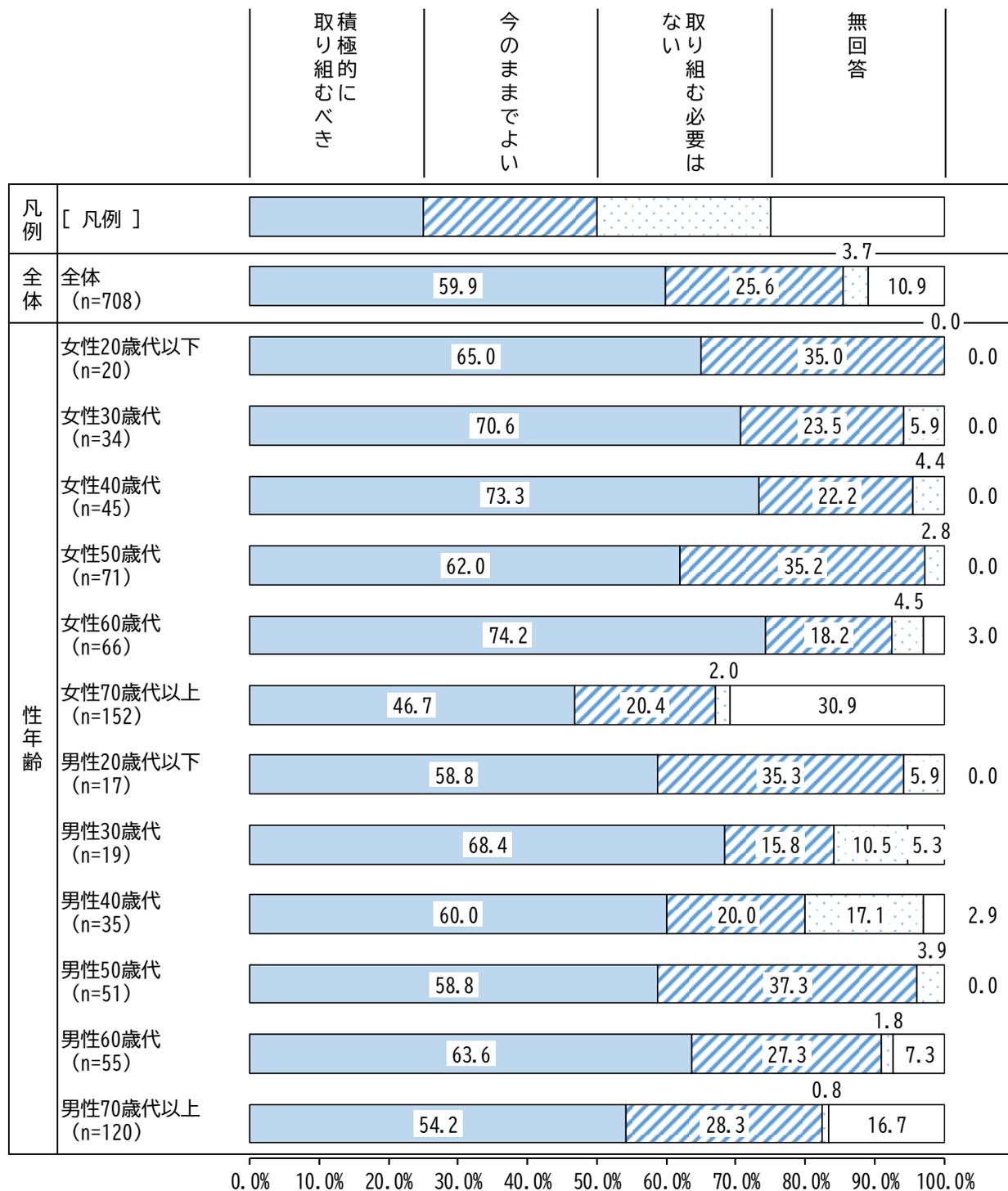
①～④までそれぞれについてお答えください。(各項目でそれぞれ○は1つ)

①性別に基づく無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、性別による不平等を解消するための取組

【全体】
 ○ 「積極的に取り組むべき」が 59.9%で最も多く、次いで「今のままでよい」が 25.6%、「取り組む必要はない」が 3.7%となっています。

【①性別に基づく無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、性別による不平等を解消するための取組】

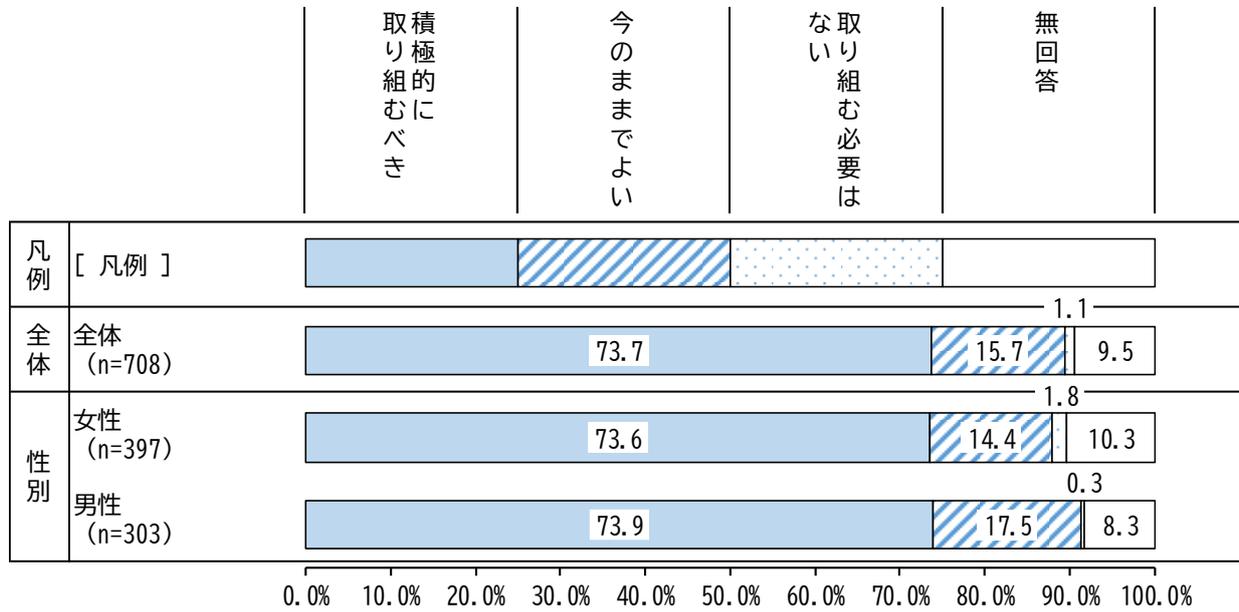


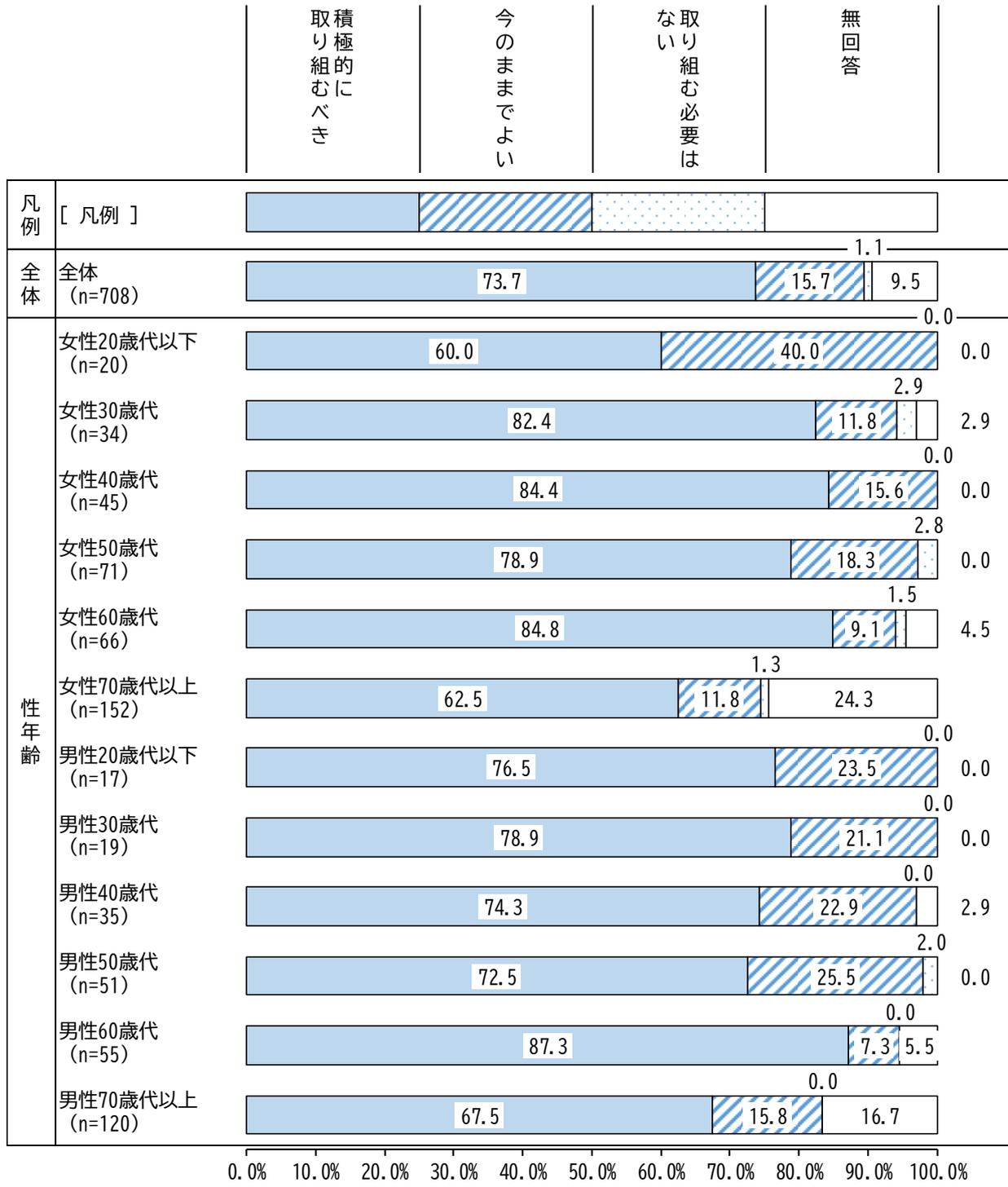


②ドメスティック・バイオレンス（DV）をなくし、被害を受けた人を支援する取組

【全体】
 ○ 「積極的に取り組むべき」が73.7%で最も多く、次いで「今のままでよい」が15.7%、「取り組む必要はない」が1.1%となっています。

【②ドメスティック・バイオレンス（DV）をなくし、被害を受けた人を支援する取組】

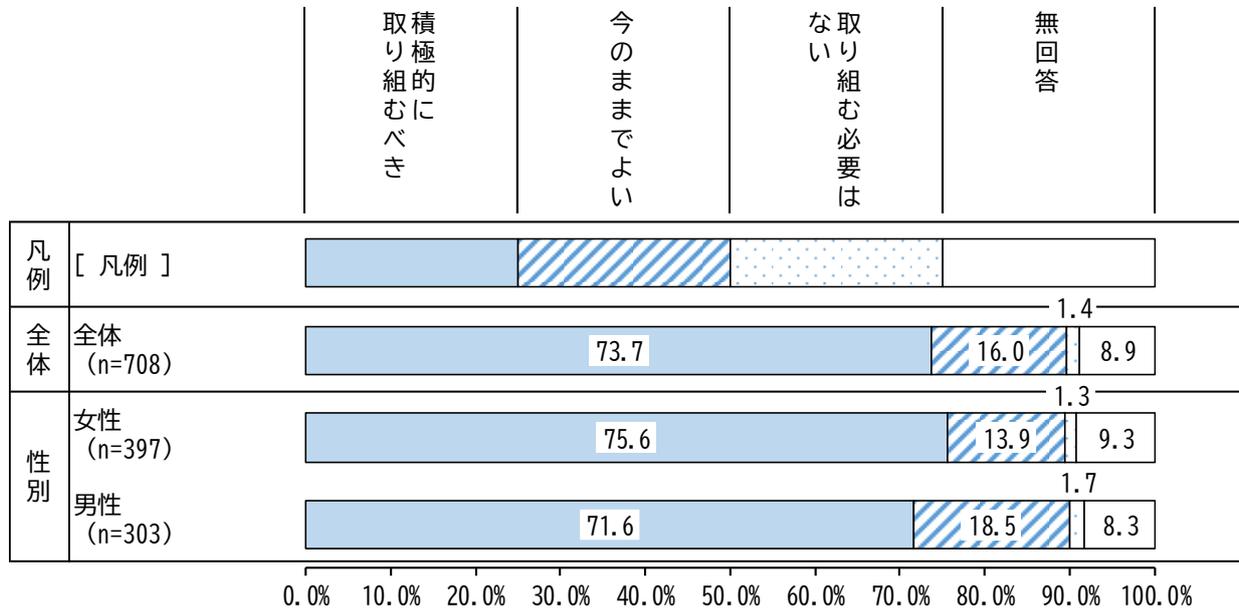


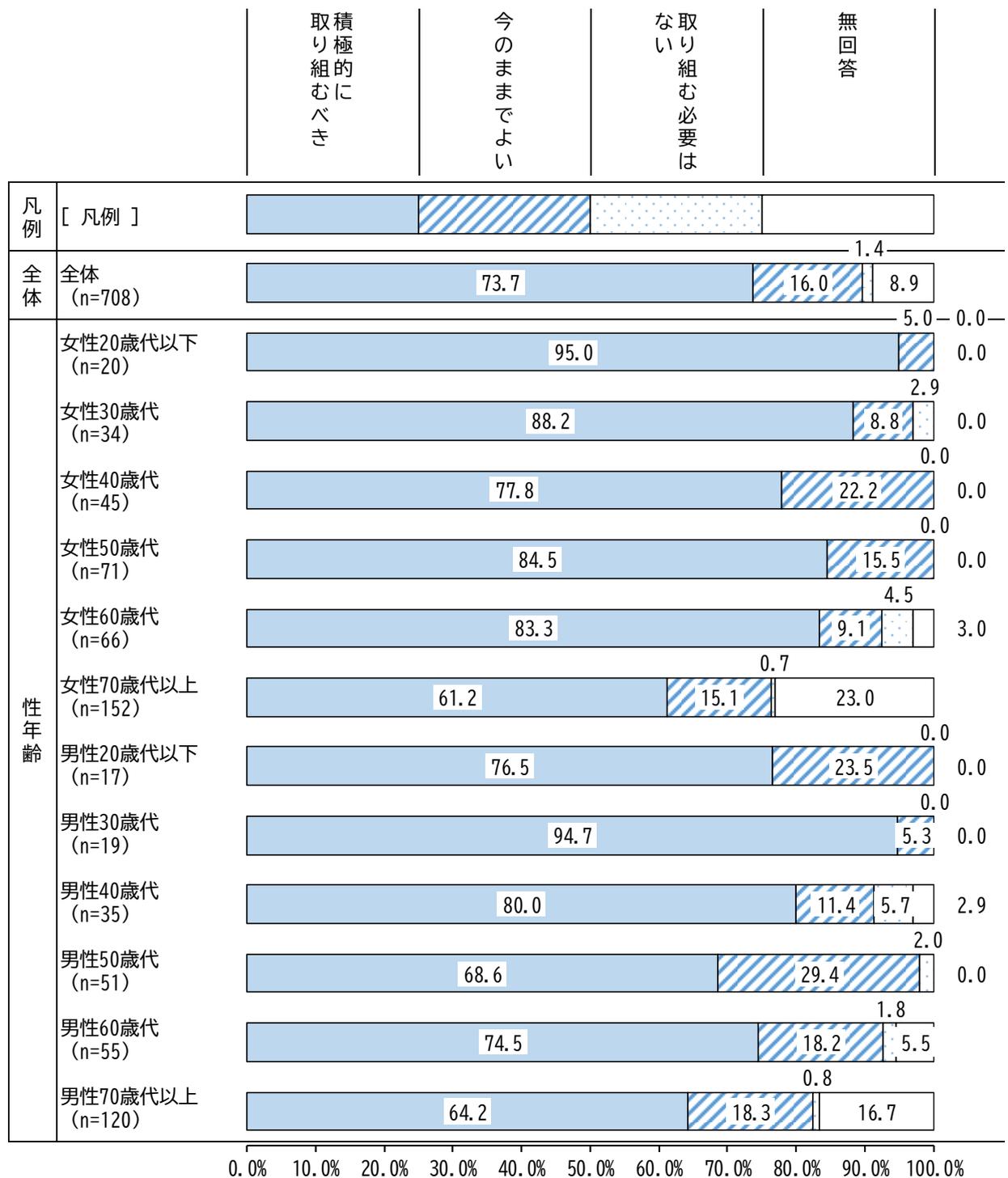


③だれもがワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できるための取組

【全体】
 ○ 「積極的に取り組むべき」が73.7%で最も多く、次いで「今のままでよい」が16.0%、「取り組む必要はない」が1.4%となっています。

【③だれもがワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現できるための取組】





④セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の理解と浸透をうながす取組

【全体】
 ○ 「積極的に取り組むべき」が55.5%で最も多く、次いで「今のままでよい」が29.1%、「取り組む必要はない」が3.1%となっています。

【④セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の理解と浸透をうながす取組】

